

MP1570A  
SONET/SDH/PDH/ATM アナライザ  
取扱説明書  
Vol.3  
ATM 測定

第6版

製品をご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。  
本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

# 安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために、危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分理解して機器を操作するようにしてください。

下記の表示およびシンボルは、そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また、外観図などが本書に含まれるとき、製品に張り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

## 説明書中の表示について

- |   |           |   |
|---|-----------|---|
|  | <b>危険</b> | 回避しなければ、死亡または重傷に至る切迫した危険状況があることを警告しています。                                    |
|  | <b>警告</b> | 回避しなければ、死亡または重傷に至る可能性がある潜在的危険について警告しています。                                   |
|  | <b>注意</b> | 回避しなければ、軽度または中程度の人体の傷害に至る可能性がある潜在的危険、または、物的損害の発生のみが予測されるような危険状況について警告しています。 |

## 機器に表示または説明書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに、または説明書に、安全上あるいは操作上の注意を喚起するための表示があります。これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して、注意に従ってください。

- |   |   |
|---|---|
|    | 禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。          |
|  | 守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。   |
|  | 警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。 |
|  | 注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。         |
|  | このマークを付けた部品がリサイクル可能であることを示しています。        |

MP1570A  
SONET/SDH/PDH/ATM アナライザ  
取扱説明書 Vol.3 ATM 測定

2000年（平成12年）4月2日（初版）  
2003年（平成15年）12月10日（第6版）

- ・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
- ・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。

Copyright © 2000-2003, ANRITSU CORPORATION  
Printed in Japan

# 安全にお使いいただくために

## 警告



1 左のアラートマークを表示した箇所の操作をするときは、必ず取扱説明書を参照してください。取扱説明書を読まないで操作などを行った場合は、負傷する恐れがあります。また、本器の特性劣化の原因にもなります。なお、このアラートマークは、危険を示すほかのマークや文言と共に用いられることもあります。

### 2 測定カテゴリについて

本器は、測定カテゴリ I (CAT I) の機器です。CAT II, III, および IV に該当する場所の測定には絶対に用いないでください。

測定器を安全に使用するため、IEC 61010では測定カテゴリとして、使用する場所により安全レベルの基準をCAT I ~CAT IVで分類しています。概要は下記のとおりです。

CAT I: コンセントからトランスなどを経由した機器内の二次側の電気回路

CAT II: コンセントに接続する電源コード付き機器(可搬形工具・家庭用電気製品など)の一次側電気回路

CAT III: 直接分電盤から電気を取り込む機器(固定設備)の一次側および分電盤からコンセントまでの電気回路

CAT IV: 建造物への引き込み電路、引き込み口から電力量メータおよび一次側電流保護装置(分電盤)までの電気回路

### 3 レーザ光に関する警告

- ・ 本器のコネクタのケーブル接続面、および本器に接続されたケーブルを覗かないでください。レーザー光が目に入ると、被ばくし、負傷する恐れがあります。
- ・ 本器のコネクタの近くには、後のページに掲載した「レーザー光の安全について」に示すように、安全に使用していただくための表示をしています。

4 本器へ電源を供給するには、本器に添付された3芯電源コードを接地極付コンセントへ接続し、本器が接地されるようにして使用してください。もし、接地極付コンセントがない場合は、本器へ電源を供給する前に、変換アダプタから出ている緑色の線の先端の端子、または背面パネルの接地用端子を必ず接地してから、ご使用ください。接地しないで電源を投入すると、負傷または死につながる感電事故を引き起こす恐れがあります。また、精密部品を破損する可能性があります。



# 安全にお使いいただくために



## 警告

修理

WARNING

- 5 本器は、お客様自身では修理できませんので、カバーを開け、内部の分解などしないでください。本器の保守は、所定の訓練を受け、火災や感電事故などの危険を熟知した当社または代理店のサービスマンにご依頼ください。本器の内部には、高圧危険部分があり不用意にさわると負傷または死につながる感電事故を引き起こす恐れがあります。また、精密部品を破損する可能性があります。

転倒

- 6 本器は、必ず決められた設置方法に従って設置してください。本器を決められた設置方法以外で設置すると、わずかの衝撃でバランスを崩して足元に倒れ、負傷する恐れがあります。また、本器の電源スイッチの操作が困難になる設置は避けてください。

電池の溶液

- 7 電池をショートしたり、分解や加熱したり、火に入れたりしないでください。電池が破損し中の溶液が流出することがあります。

電池に含まれる溶液は有毒です。

もし、電池が破損などにより溶液が流出した場合は、触れたり、口や目に入れないでください。誤って口に入れた場合は、ただちに吐き出し、口をゆすいでください。目に入った場合は、擦らずに流水でよく洗ってください。いずれの場合も、ただちに医師の治療を受けてください。皮膚に触れた場合や衣服に付着した場合は、洗剤でよく洗い流してください。

LCD

- 8 本器の表示部分にはLCD(Liquid Crystal Display)を使用しています。強い力を加えたり、落としたりしないでください。強い衝撃が加わると、LCDが破損し中の溶液(液晶)が流出することがあります。

この溶液は強いアルカリ性で有毒です。

もし、LCDが破損し溶液が流出した場合は、触れたり、口や目に入れないでください。誤って口に入れた場合は、ただちに吐き出し、口をゆすいでください。目に入った場合は、擦らずに流水でよく洗ってください。いずれの場合も、ただちに医師の治療を受けてください。皮膚に触れた場合や衣服に付着した場合は、洗剤でよく洗い流してください。

# 安全にお使いいただくために

## 注意

ヒューズ交換

CAUTION 

- 1 ヒューズを交換するときは、電源コードを電源コンセントから抜いて、本説明書記載のヒューズと交換してください。または本器背面のヒューズの表示と同じ形名、または同じ特性のヒューズを使用してください。

ヒューズの表示において

T□□□Aはタイムラグ形ヒューズであることを示します。

□□□AまたはF□□□Aは普通熔断形ヒューズであることを示します。

電源コードを電源コンセントから抜かないでヒューズの交換をすると、感電する可能性があります。

清掃



- 2 電源やファンの周囲のほこりを清掃してください。
  - ・ 電源コンセントに付着したほこりなどは、ときどき、清掃してお使いください。ほこりが電極にたまると火災になる恐れがあります。
  - ・ ファンの周りのほこりなどを清掃し、風穴をふさがないようにしてください。風穴をふさぐと、本器内部の温度が上昇し、火災になる恐れがあります。
- 3 光信号の最大入力レベルはMU150002A 10G inputの場合0 dBm、MU150002A option 01 2.5G inputの場合-8 dBm、MU150017A/B inputの場合+3 dBmです。最大入力レベルを超える信号を入力すると、内部のデバイスや回路を破損することがあります。

自己折り返し試験を行う場合は、出力コネクタと入力コネクタの間に15 dB(MP0127A/MP0128A/MP0129A, MU150008A/MU150009A/MU150010A装着時)、10 dB(MU150002A装着時)、または5 dB(MU150017A/B装着時)のアッテネータを必ず装着してください。

# 安全にお使いいただくために



レーザー光の安全について 光出力に対する安全は、光出力警告用手段の正常動作によって確保されます。光出力を使用する前に電源をONまたは光出力スイッチをONにした際、光出力警告用手段の発行が確認できない場合は、光出力警告用手段の故障が考えられます。そのときは本器を使用しないで安全のため、必ず当社あるいは当社代理店に修理を依頼してください。

MP1570A SONET/SDH/PDH/ATMアナライザの各光学ユニットにはClass 1(関連規格IEC 60825-1)、または、Class I、Ⅲb(関連規格21CFR 1040.10)のレーザー光を放射する部分を含んでいます(表1参照)。本器の上面パネル、および各ユニットの正面パネルのラベルにClassが表示されています。(表2および図2～5参照)。

このユニットの光コネクタのケーブル接続面や、本器に接続されたケーブルの端面をのぞかないでください。レーザー光が目に入ると危険な場合があります。

記載した以外の手順による作業は、レーザー放射による被爆をもたらすことがあります。取り扱いには十分注意してください。

表1 各ユニットのクラス分け

形名	規格	
	IEC 60825-1	21CFR 1040.10
MP0111A	Class 1	Class I
MP0112A	Class 1	Class I
MP0113A	Class 1	Class I
MP0122B	Class 1	Class I
MP0127A	Class 1	Class III b
MP0128A	Class 1	Class III b
MP0129A	Class 1	Class III b
MU150001A/B	Class 1	Class III b
MU150008A	Class 1	Class III b
MU150009A	Class 1	Class III b
MU150010A	Class 1	Class III b
MU150031A/C	Class 1	Class III b
MU150061A/B	Class 1	Class III b

Class 1は、レーザー光に関して危険の程度を示すものです。IEC 60825-1では以下のように定められています。

Class 1 設計上安全であるレーザー光です。この条件には、ビーム内観察用の光学器具の使用を含みます。

## 安全にお使いいただくために

また、Class I, II a, II, IIIa, IIIbは、21CFR 1040.10では以下のように定められています。

Class I 設計上、安全とされるレーザ光です。

Class II a 400～710 nmの波長の範囲で放出されるレーザ光で、 $1 \times 10^3$ 秒より短いか等しい時間で観察するときは危険とみなしませんが、 $1 \times 10^3$ 秒より長い時間での長時間にわたる観察では危険です。

Class II 400～710 nmの波長の範囲で放出されるレーザ光で、長時間にわたる観察は危険です。

Class III a 400～710 nmの波長の範囲で放出されるレーザ光で、ビーム内観察または長時間にわたる観察は危険です。また、直接光学機器(たとえば双眼鏡, 望遠鏡, 顕微鏡など)で観察する場合は危険です。

Class III b レーザ光の直接の放射は皮膚および眼に対して危険です。

---

# 安全にお使いいただくために

表 2

No.	ラベル	説明
[1]		開口ラベル (FDA 21CFR 1040.10)
[2]		説明用ラベル (FDA 21CFR 1040.10)
[3]		説明用ラベル (IEC 60825-1)
[4]		警告ラベル (IEC 60825-1)
[5]		品質証明ラベル (FDA 21CFR 1040.10)
[6]		シリアル番号表示ラベル (FDA 21CFR 1040.10)

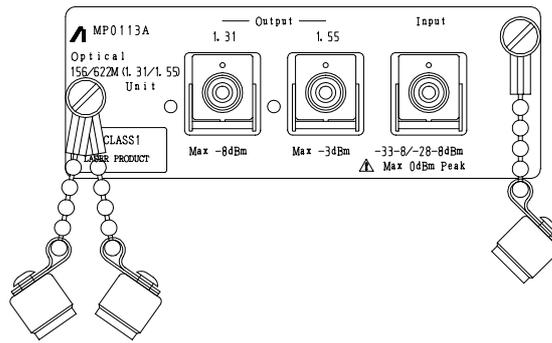


図 1 MP0111A, MP0112A, MP0113A ユニットの正面図

 **注意**

---

お客様が上記のユニットだけを購入された場合には、張り銘板が添付されるので、図の位置に銘板を貼り付けてください。

---

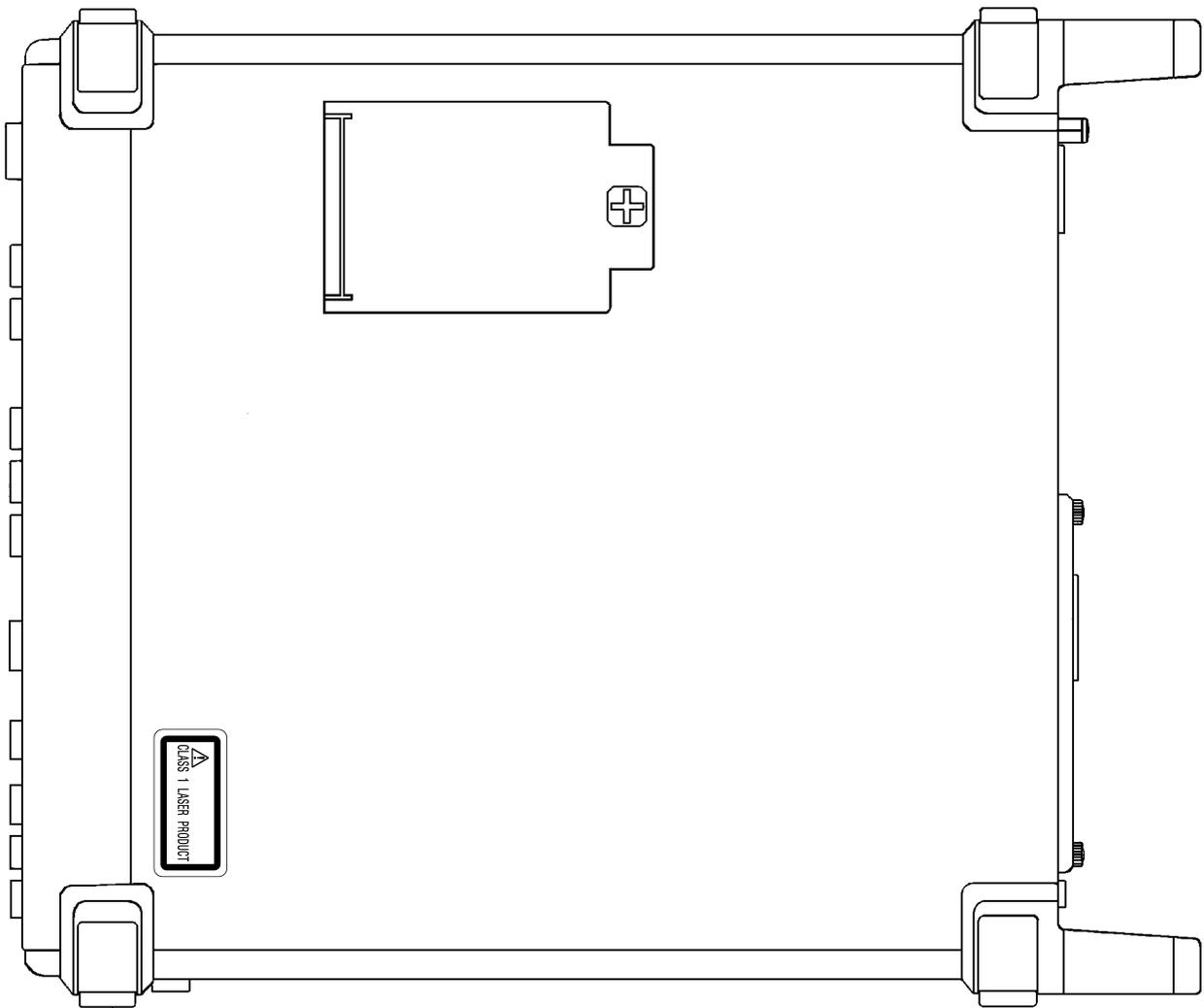
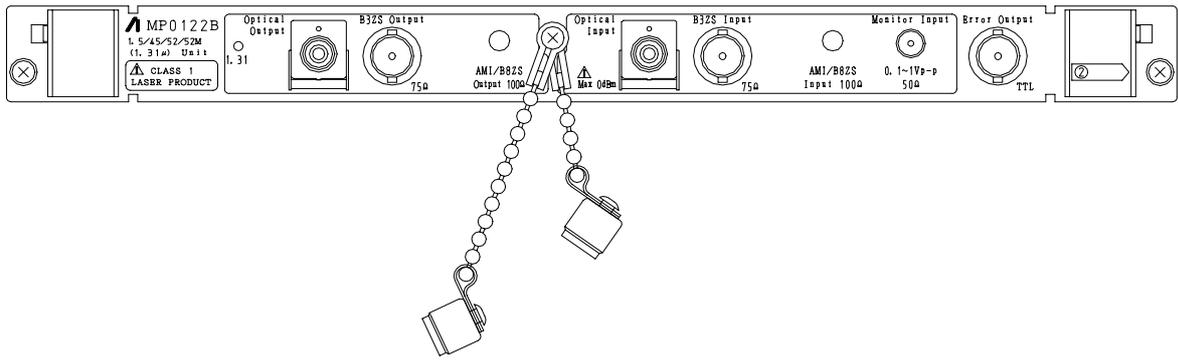


図2 MP0122B ユニットの正面とメインフレームの上面パネル  
(出荷先が USA を除く場合)

**⚠ 注意**

お客様が上記のユニットだけを購入された場合には、張り銘板が添付されるので、図の位置に銘板を貼り付けてください。

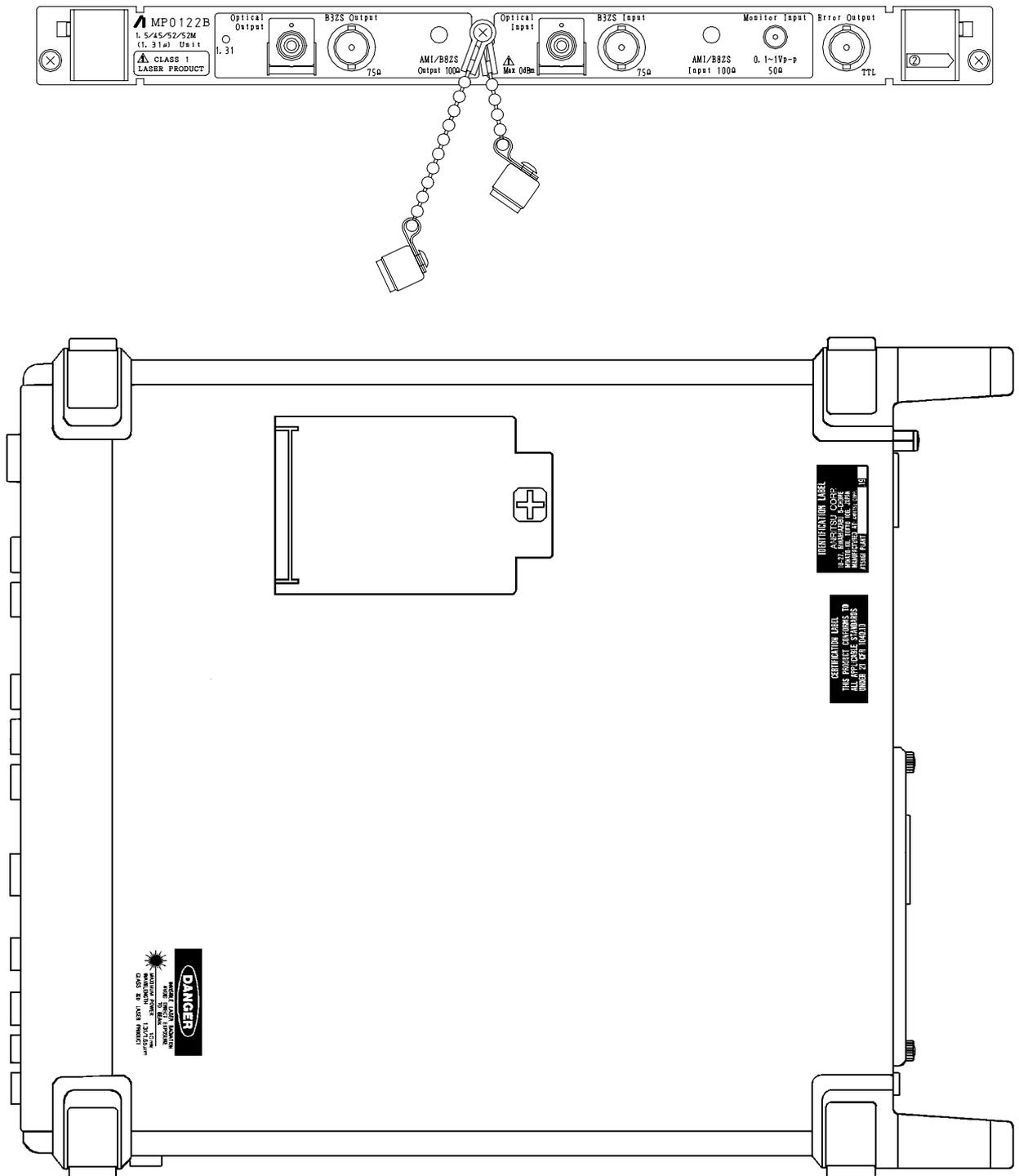


図 3 MP0122B ユニットの正面とメインフレームの上面パネル  
(出荷先が USA の場合)

**⚠ 注意**

お客様が上記のユニットだけを購入された場合には、張り銘板が添付されるので、図の位置に銘板を貼り付けてください。

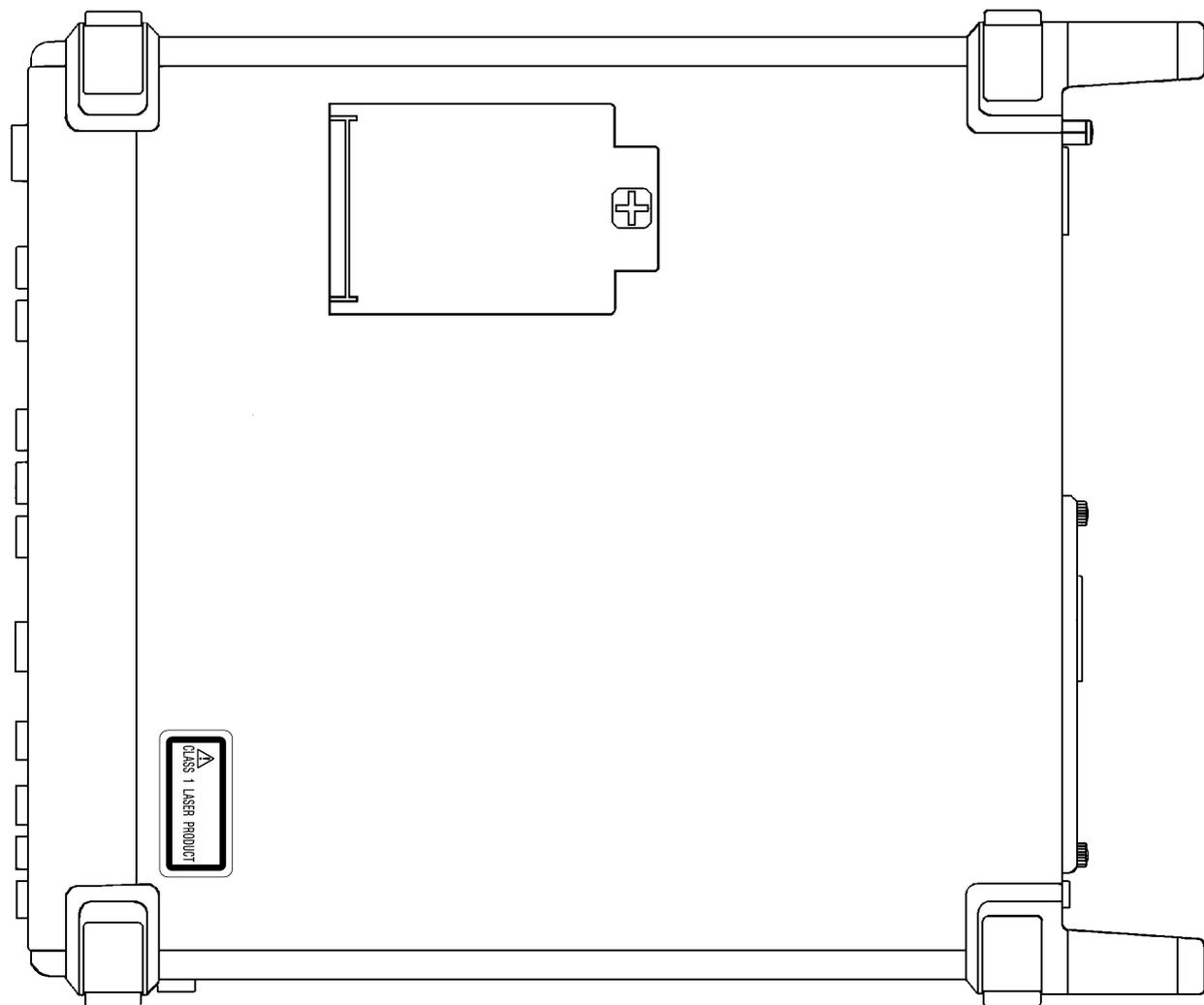
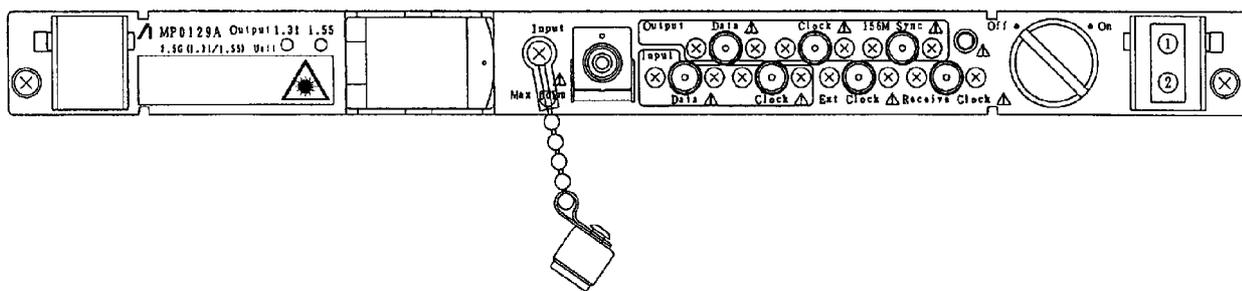


図 4 MP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150008A, MU150009A, MU150010A  
 ユニットの正面とメインフレームの上面パネル  
 (出荷先が USA を除く場合)

**⚠ 注意**

お客様が上記のユニットだけを購入された場合には、張り銘板が添付されるので、図の位置に銘板を貼り付けてください。

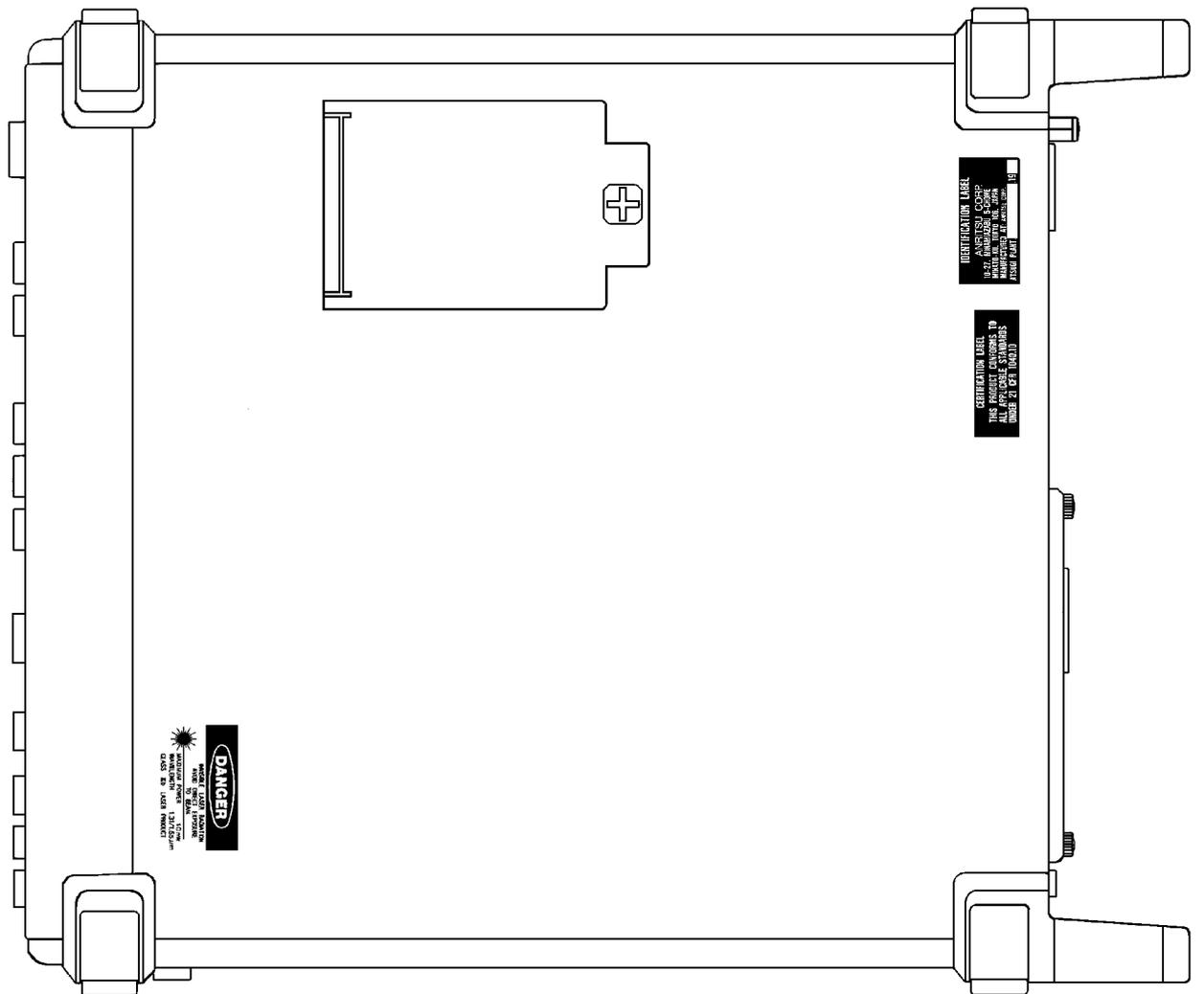
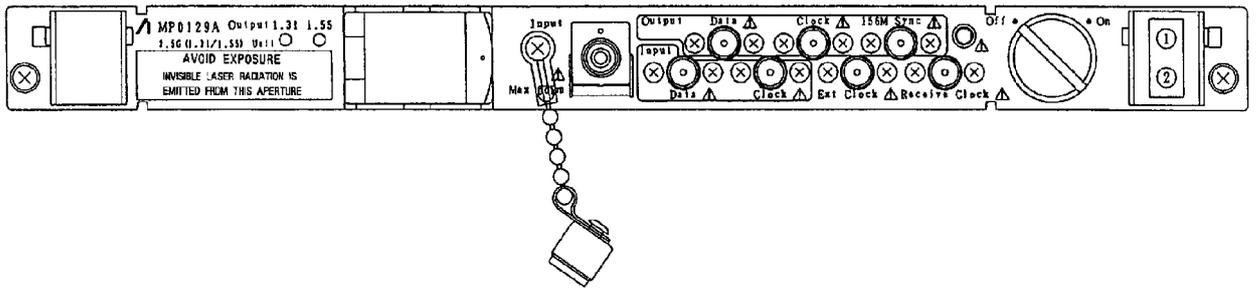


図 5 MP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150008A, MU150009A, MU150010A  
 ユニットの正面とメインフレームの上面パネル  
 (出荷先が USA の場合)

**!** 注意

お客様が上記のユニットだけを購入された場合には、張り銘板が添付されるので、図の位置に銘板を貼り付けてください。

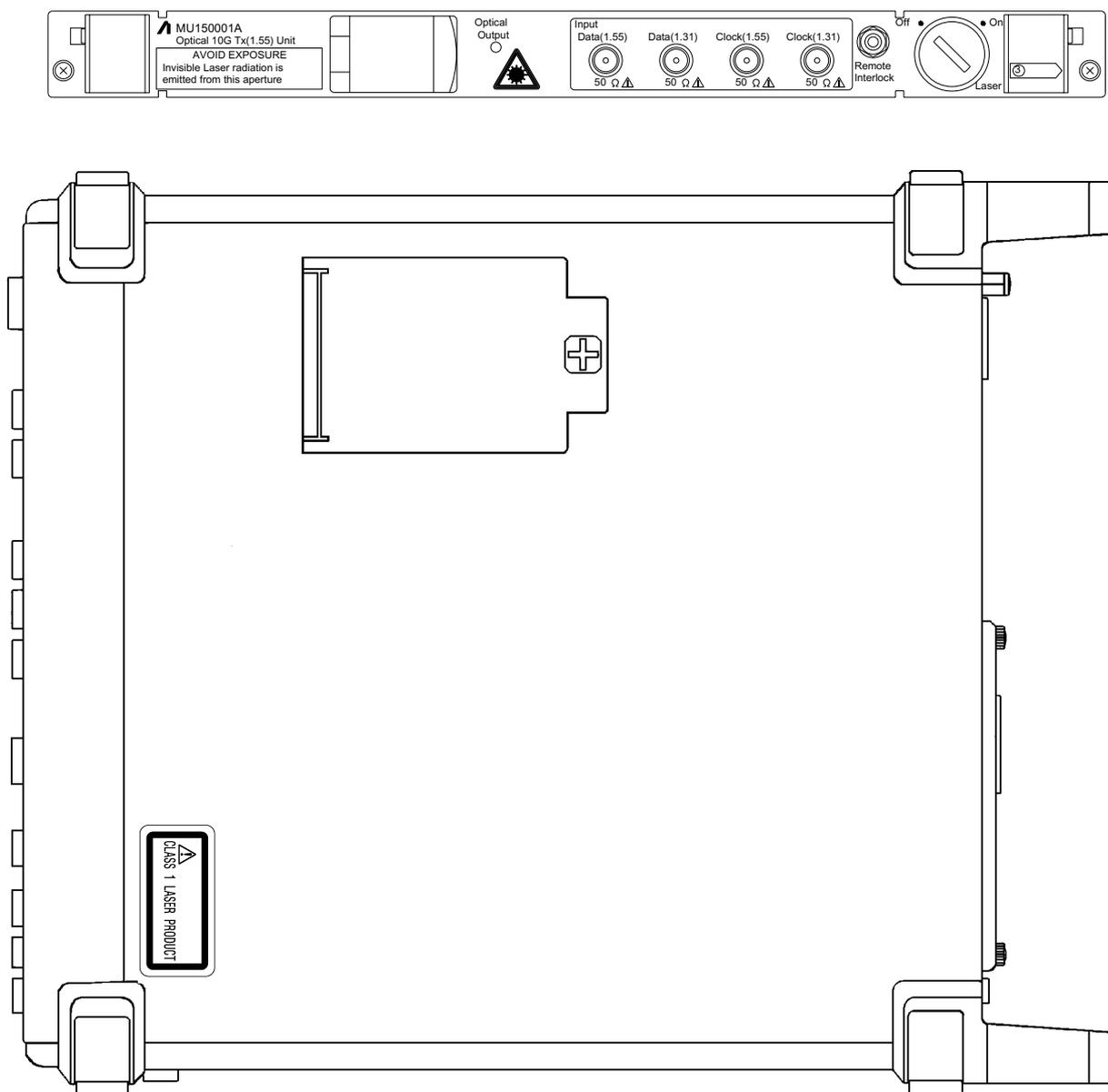


図 6 MU150001A/B, MU150031A/C, MU150061A/B  
 ユニットの正面とメインフレームの上面パネル  
 (出荷先が USA を除く場合)

**!** 注意

お客様が上記のユニットだけを購入された場合には、張り銘板が添付されるので、図の位置に銘板を貼り付けてください。

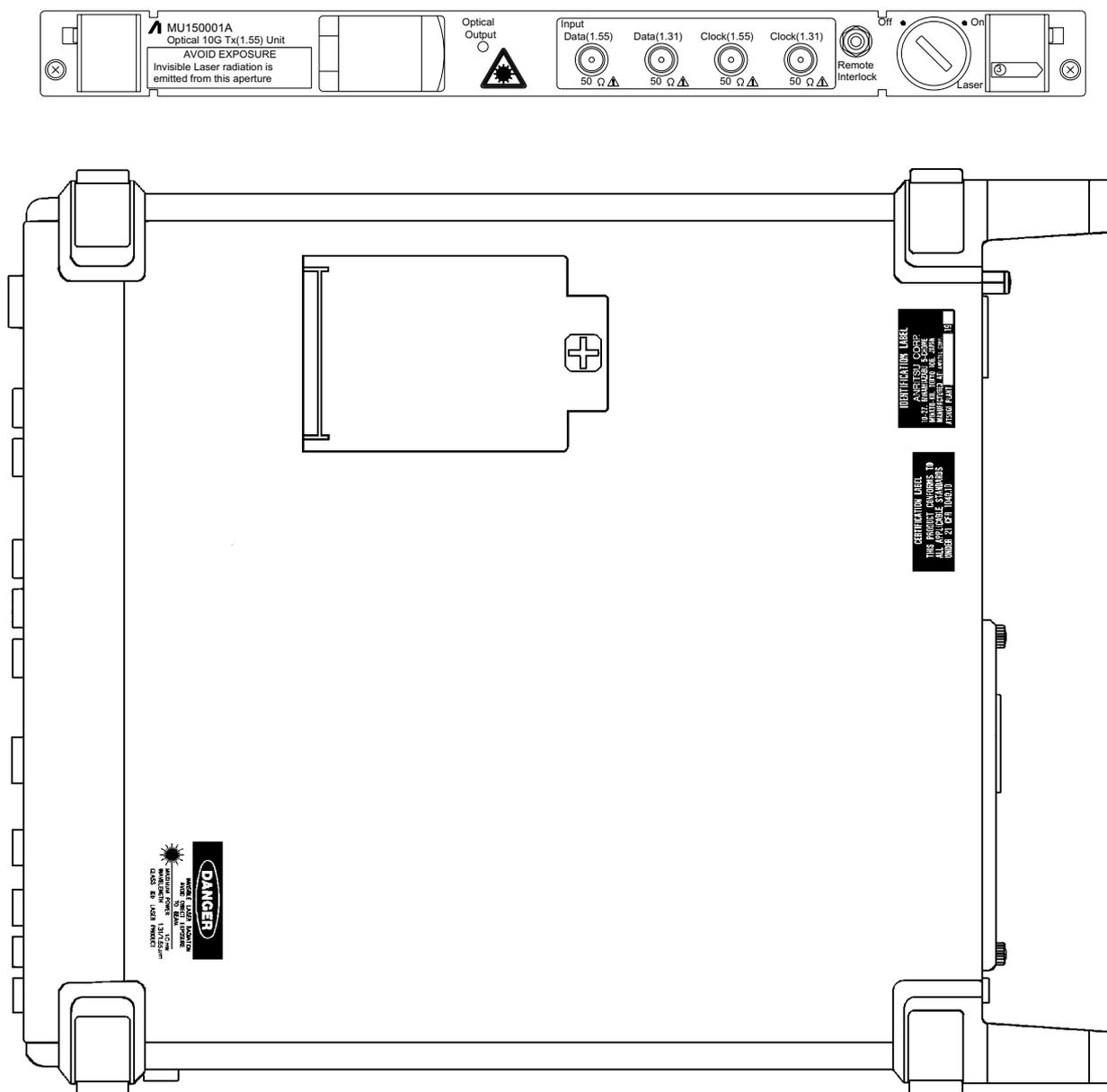


図 7 MU150001A/B, MU150031A/C, MU150061A/B  
 ユニットの正面とメインフレームの上面パネル  
 (出荷先が USA の場合)

**注意**

お客様が上記のユニットだけを購入された場合には、張り銘板が添付されるので、図の位置に銘板を貼り付けてください。

## 安全にお使いいただくために

### 安全予防の機能:

MP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150001A, MU150001B, MU150008A, MU150009A, MU150010A, MU150031A/C, MU150061A/B 2.5G ユニット・10G ユニットは、使用者の人体に対する障害を防止するため、次の安全予防の機能を備えています。

- ・ レーザ放射の遮断  
出力部にケーブルが接続されていないときは、Optical Output 部の保護ブタが閉じて、レーザの放射を遮断します。
- ・ キーによるレーザの出力制御  
レーザ出力は、レーザ On/Off 部のキースイッチにより制御されます。  
レーザ Off の位置でキーを取り外すことができ、この状態ではレーザを放出することはできません。
- ・ リモートインタロックコネクタによる遠隔制御  
レーザ出力を安全な遠隔地で制御するために Laser Output Remote Interlock 部の“リモートインタロックコネクタ”でレーザの出力を制御することができます。  
このコネクタ端がアースに接続されたときに、レーザを放出することができる状態となります。コネクタ両端が開放のときは、レーザを放出することはできません。開放時は、コネクタ端の電位が+5 V となります。0/+5 V のインタフェースを有す装置でレーザの出力を制御することもできます。
- ・ レーザ放出の表示  
レーザが放出されている間 Optical Output 部の「レーザ放出表示器ランプ」が点灯します。
- ・ レーザ放出の警告  
レーザを放出する設定を行うと、レーザの放出に先立ち「レーザ放出表示器 LED」が3~4秒点灯し、レーザが放出されることを警告します。この間レーザは放出されません。

### 取り扱いについて:

レーザ製品を安全に使用して頂くために MP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150001A, MU150001B, MU150008A, MU150009A, MU150010A, MU150031A/C, MU150061A/B 2.5G ユニット・10G ユニットの取り扱いについて次に述べます。

- ・ このユニットを本体メインフレームに挿入する場合、本体メインフレームから取り外す場合、本体の電源ボタンを Off にしてから作業を行ってください。
- ・ このユニットの光出力部にケーブルを接続する場合、および光出力部からケーブルを取り外す場合、必ずレーザ On/Off 部のキースイッチを Off にしてから作業してください。

## 安全にお使いいただくために



本器内のメモリの  
バックアップ用電池交換  
について

本器はメモリのバックアップ用電池として、フッ化黒鉛リチウム電池を使用しています。交換は当社サービス部門にて行いますので、最寄りの当社営業所または代理店へお申し付けください。

注: 本器の電池寿命は購入後、約7年です。早めの交換が必要です。

MP0111A, MP0112A, MP0113A, MP0122B, MP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150001A, MU150001B, MU150008A, MU150009A, MU150010A, MU150031A/C, およびMU150061A/Bの光出力を装置へ接続する際は、装置の最大定格入力レベルに十分ご注意ください。

レーザキースイッチがOnのまま電源スイッチをOnにすると、光信号が出力される場合があります。電源スイッチをOnにする前にレーザキースイッチがOff状態であることを、必ず確認してください。

- 予期しない光信号の出力を防ぐため、電源スイッチをOffにする前に、レーザキースイッチを必ずOffにしてください。

光入力を接続する場合には、入力レベルを確認し最大定格を超えたレベルを入力しないでください。特にMP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150002A, MU150008A, MU150009A, MU150010A, MU150017A/Bは、最大定格レベルを超えて入力すると入力部のデバイスを破壊する恐れがあります。自己折り返し接続を行う場合はMP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150008A, MU150009A, MU150010Aでは入出力間に添付の15 dB, MU150002Aでは10 dB, MU150017A/Bでは5 dBの光減衰器を挿入してください。光ケーブルのみで直接入出力間を接続すると、入力部のデバイスを破壊します。

フロッピーディスクドライブ  
について

フロッピーディスクドライブはほこりなどに弱いので、正常動作を維持するために定期的に磁気ヘッドのクリーニングを行ってください。

## 品質証明

アンリツ株式会社は、本製品が出荷時の検査により公表規格を満足していること、ならびにそれらの検査には、産業技術総合研究所 (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology) および通信総合研究所 (Communications Research Laboratory) などの国立研究所によって認められた公的校正機関にトレーサブルな標準器を基準として校正した測定器を使用したことを証明します。

## 品質保証

アンリツ株式会社は、納入後 1 年以内に製造上の原因に基づく故障が発生した場合は、無償で修復することを保証します。

ただし、次のような場合は上記保証の対象外とさせていただきます。

- ・ 取扱説明書に記載されている保証対象外に該当する故障の場合。
- ・ お客様の誤操作、誤使用、無断改造・修理による故障の場合。
- ・ 通常の使用を明らかに超える過酷な使用による故障の場合。
- ・ お客様の不适当または不十分な保守による故障の場合。
- ・ 火災、風水害、地震、そのほか天災地変などの不可抗力による故障の場合。
- ・ 指定外の接続機器、応用機器、応用部品、消耗品による故障の場合。
- ・ 指定外の電源、設置場所による故障の場合。

また、この保証は、原契約者のみ有効で、再販売されたものについては保証しかねます。

アンリツ株式会社は、本製品の欠陥に起因する損害のうち、予見できない特別の事情に基づき生じた損害およびお客様の取引上の損失については、責任を負いかねます。

## 当社へのお問い合わせ

本製品の故障については、本説明書(紙版説明書では巻末、CD 版説明書では別ファイル)に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

## 国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり、外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので、国外へ持ち出して使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は、輸出および国外持ち出しの際には、「外国為替及び外国貿易法」により、日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。

本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は、事前に必ず弊社の営業担当までご連絡ください。

輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は、軍事用途等に不正使用されないように、破砕または裁断処理していただきますようお願い致します。

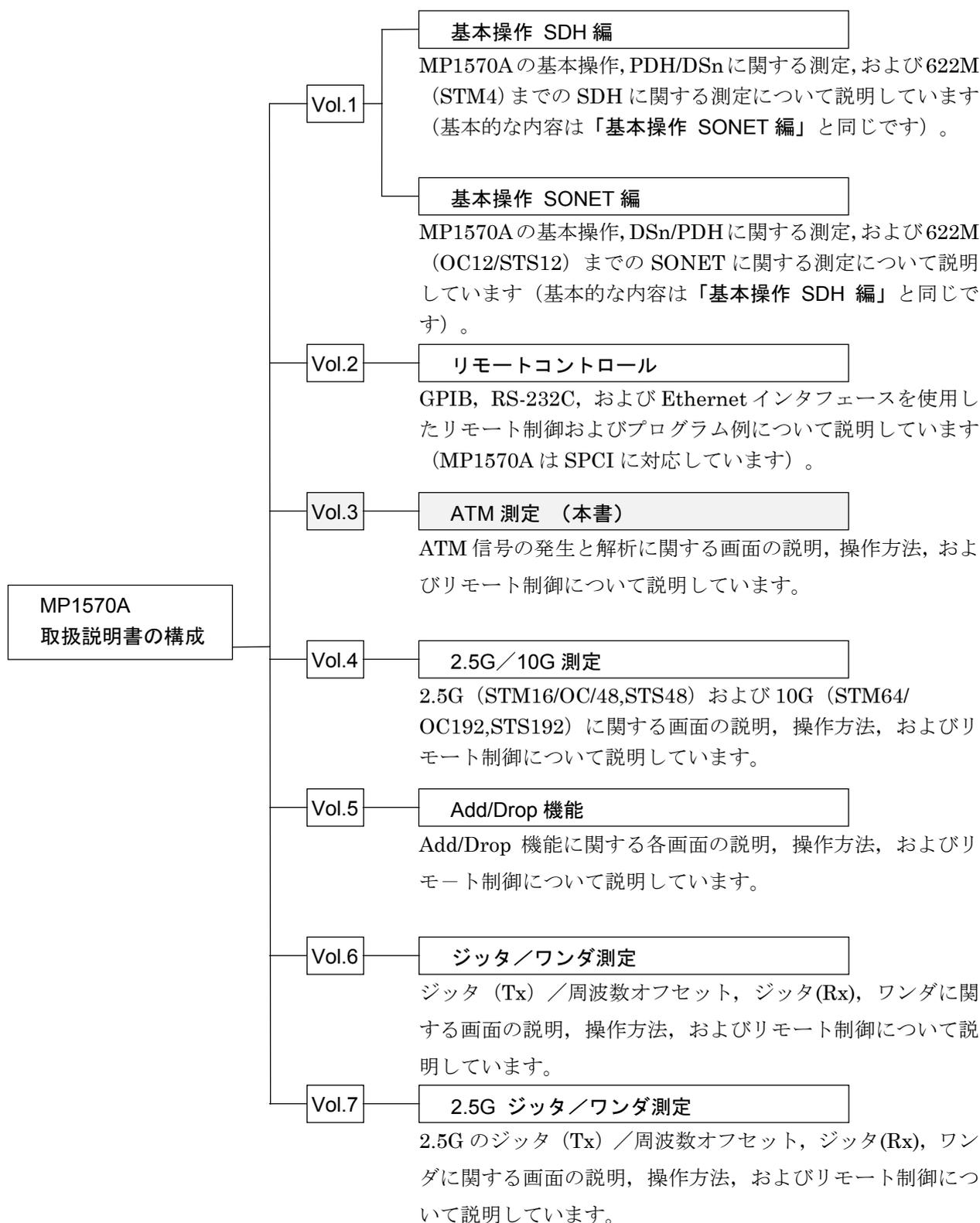
## 廃棄対策について

MP1570A の本体にはリチウム電池を使用しています。

また、MP0111A, MP0112A, MP0113A, MP0122B, MP0127A, MP0128A, MP0129A, MU150001A, MU150001B, MU150002A, MU150008A, MU150009A, MU150010A, MU150017A/B, MU150031A/C, MU150061A/Bには、砒素を含むPD/LDモジュールを使用しています。また、MP0130Aには砒素を含むICを使用しています。廃棄する場合は各国の条例および各地方の条例に従って処理するように注意してください。



MP1570A SDH/PDH/ATM アナライザの取扱説明書は、Vol.1～Vo.7 で構成されています。Vol.1 の基本操作は、「SDH 編」と「SONET 編」があります。使用の目的に合わせて使い分けてください。



---

# 本取扱説明書の使い方

---

## 本書で説明する内容について

本書（MP1570A 取扱説明書 Vol.3 ATM 測定）では、おもに ATM 信号の発生と解析に関する画面の説明、操作方法、およびリモート制御について説明しています。

## 画面の表記について

本器は、「Setup」、「Test menu」、「Result」、および「Analyze」の4つの主画面を持っています。また、それぞれの主画面は副画面を持っています（詳細は、MP1570A 取扱説明書 Vol.1 の「4章 画面とパラメータの設定手順について」をご覧ください）。

たとえば主画面に「Setup」、副画面に「Mapping」を選択する場合には、本書では「Setup : Mapping 画面」と表記しています。

## 正面パネルのキーの表記について

本文中に出てくる   は、正面パネルのキーを表します。



1章 概要 .....	1-1
1.1 製品の概要 .....	1-3
1.2 MP0123A ATM ユニットの装着について .....	1-5
1.3 ユニットの組み合わせについて .....	1-5
2章 各画面の説明 .....	2-1
2.1 画面の構成 .....	2-3
2.2 Setup 主画面 .....	2-5
2.3 Test menu 主画面 .....	2-18
2.4 Result 主画面 .....	2-32
2.5 Analyze 主画面 .....	2-39
3章 測定例 .....	3-1
3.1 エラーとアラームの試験 .....	3-3
3.2 1-point CDV 測定 .....	3-10
4章 リモートコントロール .....	4-1
4.1 共通コマンド .....	4-3
4.2 MP1570A 固有ステータスレジスタ .....	4-4
4.3 デバイスメッセージの詳細 .....	4-12
4.4 装置固有コマンド .....	4-13
付録	
付録A 規格 .....	A-1
付録B 自己診断エラーコード表 .....	B-1
付録C テキストファイル形式について .....	C-1
付録D OH Preset Data 初期値 .....	D-1
付録E リモートコマンドと画面の関係 .....	E-1



この章では, MP0123A ATMユニットとATMに関する測定の概要について説明します。

1.1 製品の概要 .....	1-3
1.2 MP0123A ATMユニットの装着について .....	1-5
1.3 ユニットの組み合わせについて .....	1-5



## 1.1 製品の概要

MP0123A ATMユニットを装着によって、MP1570A SONET/SDH/PDH/ATMアナライザは1.5～622Mbit/sのATM信号の発生と解析を行うことができます。評価する信号にしたがって、MP0121A 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット、MP0122A/B 1.5/45/52Mユニット、およびインタフェースユニットを装着します。特長を下記に示します。

### ATM測定機能

現在ある4つのAALプロトコルタイプや、0.191に対応した測定ができます。

- ・ 0.191
- ・ AAL1
- ・ AAL2
- ・ AAL3/4
- ・ AAL5

### 遅延ゆらぎ測定機能

受信セル間のゆらぎの測定や、送信したセルが受信されるまでのセルの遅延ゆらぎの測定ができます。

- ・ 1 point-CDV
- ・ 2 point-CDV

### ライブモニタ機能

最大1023チャンネルまでのセル流量を、同時にモニタすることができます。

### トラフィックモニタ

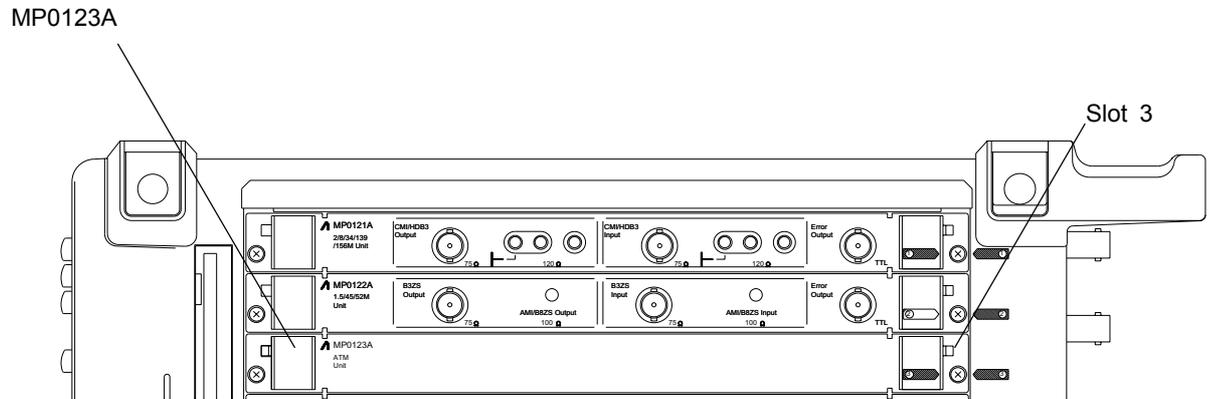
棒グラフと折れ線グラフにより、セル1本分データの平均値、および1本中の最大値と最小値を表示します。

**注**

MP0123A ATMユニットを使用する場合は、MP0121A 2/8/34/139/156 M(CMD)ユニット、MP0122A/B 1.5/45/52Mユニット、またはインタフェースユニットを併用して使用します。MP0121A、MP0122A/B、およびインタフェースユニットの説明に関しては、MP1570A取扱説明書のVol.1をご覧ください。

## 1.2 MP0123A ATMユニットの装着について

MP1570Aの右側面にあるプラグ イン ユニット用スロットのSlot 3に、MP0123A ATMユニットを装着します。ATMユニットには、入出力のコネクタはありません。



## 1.3 ユニットの組み合わせについて

MP0123A ATMユニットを使用する場合は、622M以下のユニットを同時に使用します。したがって、MP0121A 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット、MP0122A/B 1.5/45/52Mユニット、または正面のインタフェースユニットを併用して使用します。

### 注

下記のユニットの組み合わせの場合には、本器は動作しません。

- MP0123A ATMユニットと、MU150002A Optical 10G Rx(Narrow)ユニットが、同時に装着されるとき
- Slot 3にMP0123A ATMユニットが装着されているときに、Slot 1にMP0122A/B 1.5/45/52Mユニットが装着されるとき



## 2章 各画面の説明

---

この章では,MP1570AにMP0123A ATMユニットを装着した場合の画面の構成と表示について説明します。

2.1 画面の構成 .....	2-3
2.2 Setup主画面.....	2-5
2.2.1 Mapping副画面 .....	2-5
2.2.2 OH Preset data副画面 .....	2-7
2.2.3 ATM Cell edit副画面 .....	2-10
2.2.4 Measurement condition副画面 .....	2-17
2.3 Test menu主画面 .....	2-18
2.3.1 Manual副画面 (TC layer) .....	2-18
2.3.2 Manual副画面 (Tx Cell) .....	2-19
2.3.3 Manual副画面 (Rx Cell) .....	2-27
2.3.4 1-point CDV副画面 .....	2-30
2.3.5 2-point CDV副画面 .....	2-31
2.4 Result主画面 .....	2-32
2.4.1 Error/Alarm副画面 .....	2-32
2.4.2 1-point CDV副画面 .....	2-37
2.4.3 2-point CDV副画面 .....	2-38
2.5 Analyze主画面 .....	2-39
2.5.1 Error/Alarm副画面 .....	2-39
2.5.2 OH monitor副画面 .....	2-40
2.5.3 Cell monitor副画面 .....	2-41
2.5.4 Live Monitor副画面 .....	2-42
2.5.5 Traffic monitor副画面 .....	2-46
2.5.6 Cell capture副画面 .....	2-48
2.5.7 1-point CDV副画面 .....	2-52
2.5.8 2-point CDV副画面 .....	2-54
2.5.9 Recall副画面 .....	2-56



## 2.1 画面の構成

MP1570AにMP0123A ATMユニットを装着した場合の、主画面と副画面の構成は下記の通りです。

主画面	副画面	おもな機能
Setup	Mapping	被測定物とのインタフェースの条件，および測定に関する基本設定を行います。
	Memory	測定条件やAnalyze主画面のグラフデータの保存や読み出しを行います。
	Print	プリンタの自動印字に関して設定します。
	OH preset	送信信号のオーバヘッド初期値を設定します。
	ATM Cell edit	セルパターンの設定，ペイロードの編集，および確認を行います。
	Measurement condition	エラーとアラームの検出解除条件を設定します。
	System	ブザー，時計，画面色，GPIB，およびRS-232Cを設定します。
	Floppy disk	測定条件やAnalyze主画面のグラフデータの保存や読み出しを行います。
	Selftest	セルフテストを行います。
	Custom fuction	他のSetup画面で設定しない項目を設定します。
Test menu	Manual	マニュアル測定の測定条件を設定します。
	Performance check	マニュアル測定の測定条件を設定します。
	1-point CDV	受信セル間のゆらぎの測定の設定をします。
	2-point CDV	送信したセルが受信されるまでのセルのゆらぎを測定するための設定をします。

主画面	副画面	おもな機能
Result	Error/Alarm	エラーとアラームの測定結果を表示します。
	Justification	ジャスティフィケーションの測定結果を表示します。
	Zoom	エラーとアラームの測定結果を拡大して表示します。
	Performance	パフォーマンス測定の結果を表示します。
	1-point CDV	受信セル間のゆらぎの測定結果を表示します。Test menu主画面で、「1-point CDV」が選択されたときに表示されます。
	2-point CDV	送信したセルが受信されるまでのセルのゆらぎの測定結果を表示します。Test menu主画面で、「2-point CDV」が選択されたときに表示されます。
	B2	B2測定の測定結果を表示します。
Analyze	Error/Alarm	エラーとアラーム測定の測定結果のグラフ表示を行います。
	OH monitor	オーバヘッドのモニタ結果を表示します。 パストレースのモニタもここに表示されます。
	Freq. monitor	
	Frequency	
	Cell monitor	受信、または送信するセルをモニタします。 MP0123Aを装着したときに表示されます。
	Live monitor	1023チャンネルのセルを自動検出しそれぞれの測定を行います。 その中の選択された30chに対して解析とグラフの表示を行います。 MP0123Aを装着したときに表示されます。
	Traffic monitor	受信のフィルターを通過したセル数をグラフ表示し、モニタを行います。 MP0123Aを装着したときに表示されます。
	Cell capture	1~2016あるセルをトリガし、セル情報の表示と解析を行います。 MP0123Aを装着したときに表示されます。
	1-ponit CDV	受信セル間ゆらぎの測定結果の分析グラフを表示します。 MP0123Aを装着したときに表示されます。
	2-point CDV	送信したセルが受信されるまでのセルの遅延ゆらぎの測定結果、分析グラフを表示します。 MP0123Aを装着したときに表示されます。
	Opt. power meter	光受信パワーのモニタ結果を表示します。
	Recall	メモリ、またはフロッピーディスクに保存したグラフデータを表示します。

## 2.2 Setup主画面

ここでは、Setup主画面の各副画面の表示について説明します。

### 2.2.1 Mapping副画面

測定の基本設定を行う画面です。

- 測定中に、この画面の設定を変更した場合は、測定が再スタートします。
- 動作モードをTx&Rxとして送信と受信を同時に設定する方法と、Tx/Rxとして送信と受信を別々に設定する方法があります。

#### Tx & Rx の場合

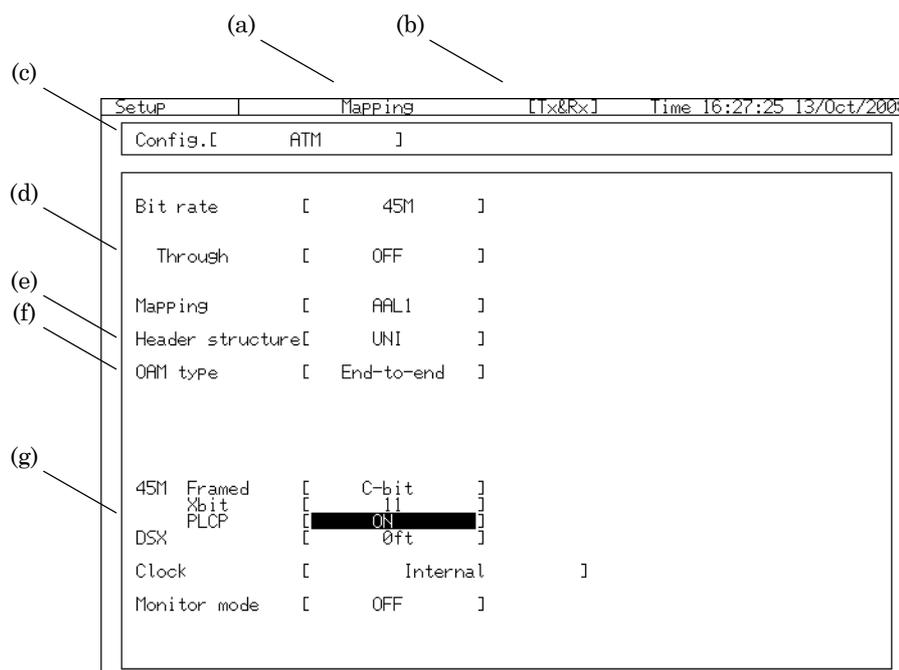


	表 示	説 明
(a)	[副画面選択]	Setup主画面の副画面を選択します。他の画面の時も同様に、この位置で副画面を選択します。
(b)		設定方法を選択します。 Tx & Rx ....送信と受信を同時に設定します。 Tx / Rx .....送信と受信を別々を設定します。
(c)	Config.	- 測定する信号のフォーマットを指定します。ATM測定時は、「ATM」を選択します。
(d)	Through	スルーモードのOn/Offを設定します。
(e)	Header Structure	セルヘッダタイプ、UNI、およびNNIを選択します。 - MP0123Aを装着したときに表示されます。
(f)	OAM type	OAMタイプ、End-to-end、およびSegmentから選択します。 - MP0123Aを装着したときに表示されます。
(g)	PLCP	ビットレート45Mで測定時の、PLCPのON/OFFを設定します。

Tx / Rxの場合

Setup	Mapping	[Tx/Rx]	Time 06:58:09 05/Jan/2000
Config.[ ATM ]			
Tx Bit rate	[ 156M ]		
Mapping	[ AAL5 ]		
Header structure	[ UNI ]		
OAM type	[ End-to-end ]		
Clock	[ Internal ]		
Rx Bit rate	[ 156M ]		
Mapping	[ AAL5 ]		
Header structure	[ UNI ]		
OAM type	[ End-to-end ]		

- 送信に関する設定は画面上部、受信に関する設定は画面下部で行います。表示の内容は、Tx&Rxの場合と同じです。

マッピング選択ウィンドウを開いた場合。

Setup	Mapping	[Tx/Rx]	Time 07:00:06 05/Jan/2000
Config.[ ATM ]			
Tx Bit rate	[ 156M ]		
Mapping	[ AAL5 ]		
Header structure	[ UNI ]		
OAM type	[ End-to-end ]		
<p>The diagram shows a mapping selection window. On the left, there are two columns of SDH rates: 5114, 5111, 5110, 1391, 321, 21, 451, and 11.5M. On the right, there are two columns of PDH rates: 2048, 1536, 1024, 512, 256, 128, 64, and 32. In the center, there are two boxes labeled 'SDH' and 'PDH'. On the far right, there are four boxes labeled 'AAL1', 'AAL2', 'AAL3/4', and 'ATM'. Lines connect the SDH and PDH boxes to the AAL and ATM boxes, indicating the mapping relationships.</p>			
Clock	[ Internal ]		
Rx Bit rate	[ 156M ]		
Mapping	[ AAL5 ]		
Header structure	[ UNI ]		
OAM type	[ End-to-end ]		

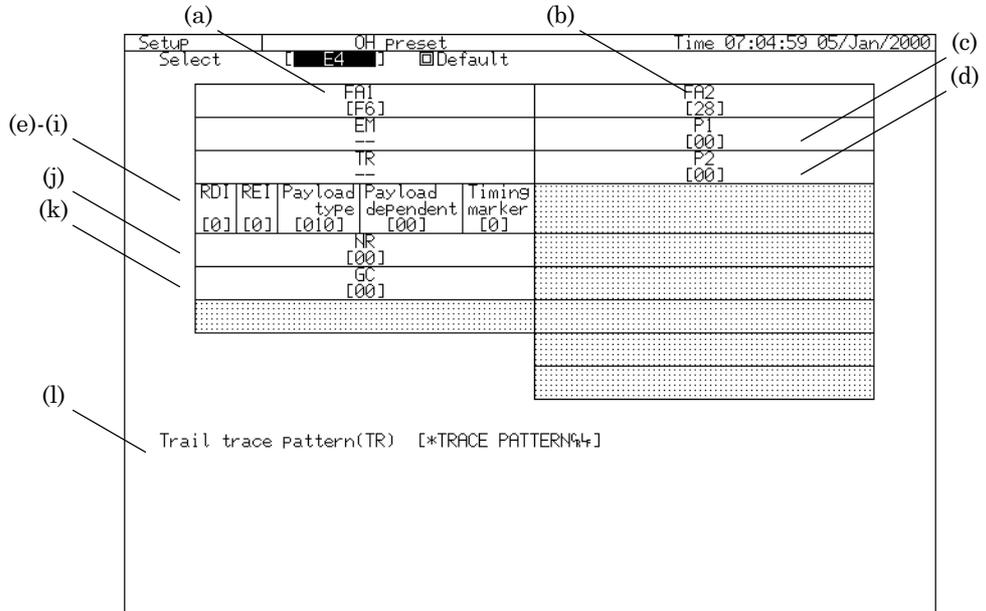
## 2.2.2 OH Preset副画面

送信オーバーヘッドの値の設定を行う画面です。

Select = E3の場合

	表 示	説 明
(a)	Select	オーバーヘッドの選択をします。 - MP0121A 2/8/34/139/156Mユニットが装着されたときに、E3とE4が表示されます。 - MP0122A/B 1.5/45/52Mユニットが装着されたときに、DS3 PLC Pが表示されます。
(b)	Default	送信データを初期化します。
(c)	FA1	FA1を設定します。
(d)	FA2	FA2を設定します。
(e)	RDI	RDIを設定します。
(f)	REI	REIを設定します。
(g)	Payload type	ペイロードのタイプを、二進かニーモニックで設定します。
(h)	Payload dependent	ペイロードを設定します。
(i)	Timing marker	Timing markerを設定します。
(j)	NR	NRを設定します。
(k)	GC	GCを設定します。
(l)	Trail trace pattern	Trail trace patternをASCII文字列（16文字）で設定します。

Select = E4の場合



	表示	説明
(a)	FA1	FA1を設定します。
(b)	FA2	FA2を設定します。
(c)	P1	P1を設定します。
(d)	P2	P2を設定します。
(e)	RDI	RDIを設定します。
(f)	REI	REIを設定します。
(g)	Payload type	ペイロードのタイプを、二進かニーモニックで設定します。
(h)	Payload dependent	ペイロードを設定します。
(i)	Timing marker	Timing markerを設定します。
(j)	NR	NRを設定します。
(k)	GC	GCを設定します。
(l)	Trail trace pattern	Trail trace patternをASCII文字列（16文字）で設定します。

Select = DS3 PLCPの場合

(a)

PLCP	Frame	POH	POH	PLCP Payload
A1	A2	P11	26	First ATM cell
[F6]	[28]	[2C]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P10	25	ATM cell
[F6]	[28]	[29]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P09	24	ATM cell
[F6]	[28]	[25]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P08	23	ATM cell
[F6]	[28]	[20]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P07	22	ATM cell
[F6]	[28]	[1C]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P06	21	ATM cell
[F6]	[28]	[19]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P05	X	ATM cell
[F6]	[28]	[15]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P04	B1	ATM cell
[F6]	[28]	[10]	--	-- -- -- ...
A1	A2	P03	G1	ATM cell
[F6]	[28]	[0C]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P02	X	ATM cell
[F6]	[28]	[09]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P01	X	ATM cell
[F6]	[28]	[05]	[00]	-- -- -- ...
A1	A2	P00	C1	Twelfth ATM cell
[F6]	[28]	[00]	--	Trailer

(b)

	表示	説明
(a)		オーバーヘッドを設定します。 B1とC1以外の設定ができます。
(b)	Trailer sequence	Trailerを設定します。

2.2.3 ATM Cell edit 副画面

セルパターンの設定とペイロードの編集を行う画面です。

Cell type = Foregroundの場合

	表示	説明
(a)	Cell type	編集セルタイプを選択します。
(b)	Payload	ATM:0.191時のペイロード (38byte) を編集します。
(c)	TCPT	ATM:0.191時のTCPTを編集します。 - Payloadにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集ウィンドウが表示されます。カーソルキーを使って指定するバイト位置にカーソルを移動して、 <b>Set</b> を押します。数値入力ウィンドウが開くので指定する値を、二進で入力します。
(d)	Payload	User program時のペイロード(48byte)を編集します。
(e)	P-format	AAL1時のCSIのP-formatを編集します。
(f)	RTS	AAL1時のCSIのRTSを編集します。
(g)	Pointer	AAL1時のPointerを設定します。
(h)	Payload	AAL1時のペイロード(47byte)を編集します。 - Payloadにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集ウィンドウが表示されます。カーソルキーを使って指定するバイト位置にカーソルを移動して、 <b>Set</b> を押します。数値入力ウィンドウが開くので指定する値を、二進で入力します。

	表 示	説 明
(i)	CID	AAL2時のprimary packetのCIDを設定します。
(j)	LI	AAL2時のprimary packetのLIを設定します。
(k)	PPT	AAL2時のprimary packetのPPTを設定します。
(l)	UUI	AAL2時のprimary packetのUUIを設定します。
(m)	Payload	AAL2時のprimary packetのペイロード (64byte) を設定します。
(n)	CID	AAL2時のDummy packetのCIDを設定します。
(o)	PPT	AAL2時のDummy packetのPPTを設定します。
(p)	UUI	AAL2時のDummy packetのUUIを設定します。
(q)	MID	AAL3/4時のSAR-PDUのMIDを編集します。
(r)	CPI	AAL3/4時のCPCS-PDUのCPIを編集します。
(s)	BTag	AAL3/4時のCPCS-PDUのBTag, ETagを編集します。
(t)	BASize	AAL3/4時のCPCS-PDUのBASizeを編集します。
(u)	Payload	AAL3/4時のペイロードを編集します。 - 編集は別画面で行います。Payloadにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、ペイロードデータ設定画面が表示されます。
(v)	Length	AAL3/4時,CPCS-PDUのLengthを編集します。
(w)	Payload	AAL5時のペイロードを編集します。 - 編集は別画面で行います。Payloadにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、ペイロードデータ設定画面が表示されます。 - オプション15が装着されている場合は、編集タイプを「Payload」と「IP」から選択することができます。
(x)	CPCS-UU	AAL5時のCPCS-UUを編集します。
(y)	CPI	AAL5時のCPIを編集します。
(z)	Length	AAL5時のLengthを編集します。

Payload data表示画面 (AAL3/4, AAL5, Payload選択時)

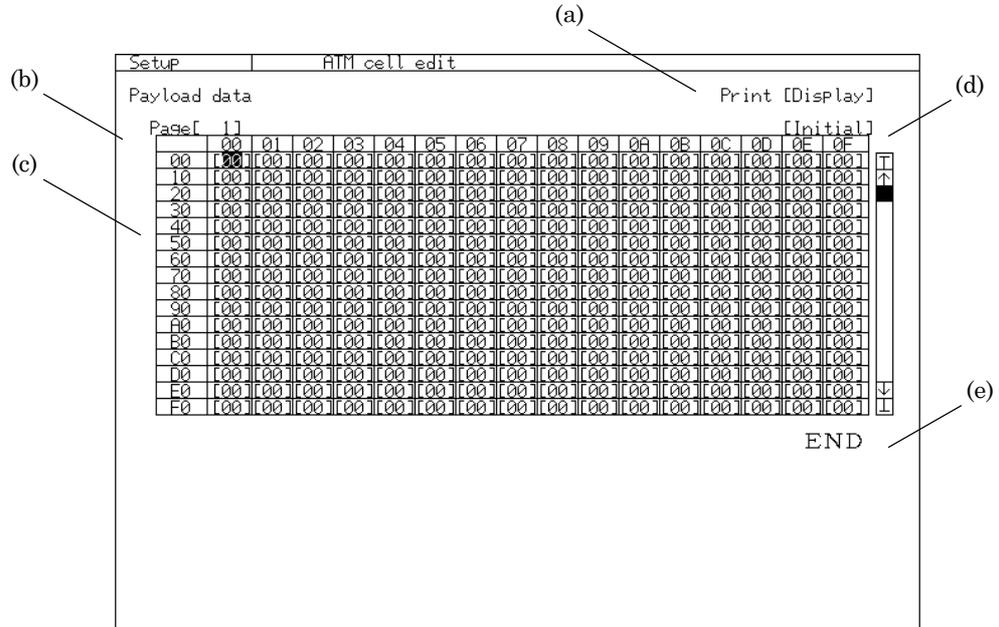


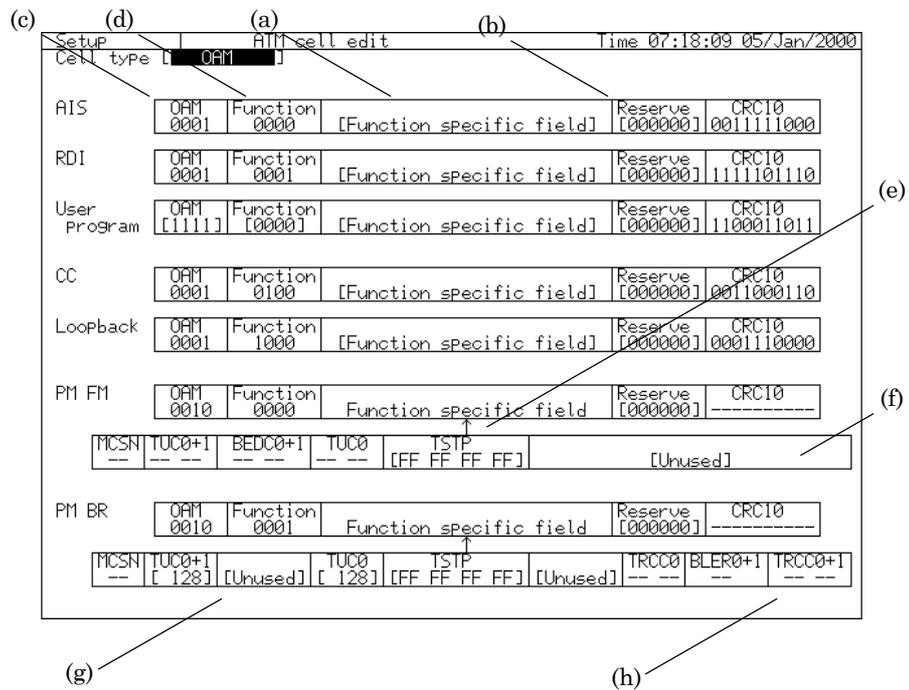
	表 示	説 明
(a)	Print	印字範囲を設定します。
(b)	Page	表示ページの選択をします。
(c)	(Payload)	65535byteを設定します。このデータは、AAL3/4とAAL5で共用しています。
(d)	Initial	データを初期化します。
(e)	(スクロール)	表示しているデータのページを移動します。 上 :先頭ページへ移動します。 下 :最終ページへ移動します。 上 :1ページ前にスクロールします。 下 :1ページ後ろにスクロールします。
(f)	END	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、Foreground Cell表示画面に戻ります。

## Payload data 表示画面 (AAL5:IP選択時)

The screenshot shows the 'ATM cell edit' setup screen. At the top, it says 'Setup' and 'ATM cell edit'. Below that, there's a 'Payload data' section with fields for LLC, OUI, Ether, and IP PDU. The IP PDU field is highlighted with (a). To the right of the IP PDU field is a 'Print[Display]' button with a 'Default' checkbox, labeled (h). Below the payload data is a 'Header' section with fields for Version, IHL, Type of service, Total length, Identification, Flag, Fragment offset, Time to live, Protocol, and Header checksum. Below the header is a section for 'Source address' and 'Destination address'. At the bottom, there's an 'Information' section with a 'Page' field and a grid of hexadecimal data. The 'Page' field is labeled (b). The grid is labeled (c). On the right side of the grid, there are four arrow buttons: a top arrow (labeled (e)), a bottom arrow (labeled (f)), a left arrow, and a right arrow. At the bottom right of the grid is an 'END' button, labeled (f). The label (g) points to the 'IP PDU' field.

	表 示	説 明
(a)	Print	印字範囲を設定します。
(b)	Page	表示ページの選択をします。
(c)	(Payload)	65535byteを設定します。このデータは、AAL3/4とAAL5で共用しています。
(d)	Initial	データを初期化します。
(e)	(スクロール)	表示しているデータのページを移動します。 ⊣ :先頭ページへ移動します。 ⊢ :最終ページへ移動します。 ↑ :1ページ前にスクロールします。 ↓ :1ページ後ろにスクロールします。
(f)	END	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、Foreground Cell表示画面に戻ります。
(g)	IP PDU	IP ver.4またはIP ver.6に選択します。
(h)	Default	初期値の状態に設定します。
(i)	Header	Payload dataのヘッダ部分を表示します。 拡張ヘッダの入力フィールドには対応していません。

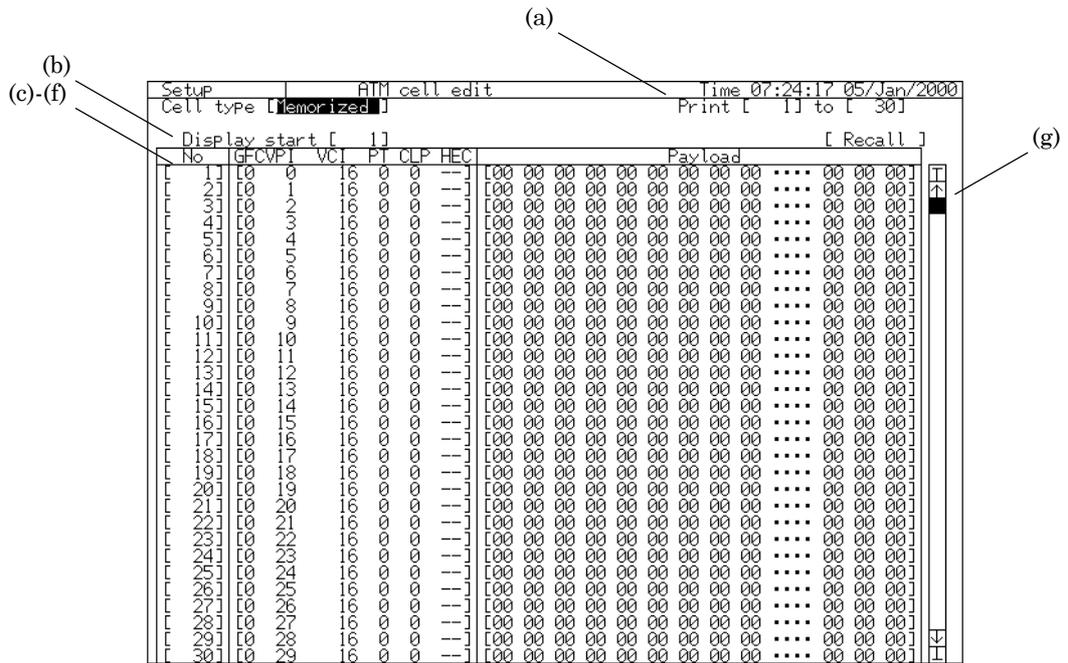
Cell type=OAMの場合



	表示	説明
(a)	Function Specific field	AIS, RDI, User program, CC, Loopbackの各Function Sepcific fieldを編集します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集ウインドウが表示されます。
(b)	Reserve	AIS, RDI, User program, CC, Loopback, PM FM, PM BRの各RESを編集します。
(c)	OAM	User programを編集します。
(d)	Function	User programのFunctionを編集します。
(e)	TSTP	PM FM, PM BRの各TSTPを設定します。
(f)	(Unused)	PM FM, PM BRの各Unusedを編集します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集ウインドウが表示されます。
(g)	TUCO+1	PM Backward ReportのTUCO+1を設定します。 PM BRのTUCO+1にカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集ウインドウが表示されます。
(h)	TUCO	PM Backward ReportのTUCOを設定します。 PM BRのTUCOにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集ウインドウが表示されます。



Cell type=Memorizedの場合



	表示	説明
(a)	Print	印字開始位置と終了位置を設定します。
(b)	Display start	表示開始のセル番号を設定します。(1~2016)
(c)		データの読み込み方法を選択します。 Capturedは、Captureデータがない場合は、選択できません。
(d)	No.	1行単位の編集動作を選択します。 No.項目のカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集動作選択ウィンドウが表示されます。
(e)	(Header)	No.1~No.2016のヘッダパターンを編集します。 編集するHeaderにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、ウィンドウが表示されます。
(f)	Payload	No.1~No.2016のペイロードパターンを編集します。 編集するPayloadにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、ウィンドウが表示されます。
(g)	(スクロール)	表示しているデータのページを移動します。 〒..... 先頭ページへ移動します。 ↑ ..... 最終ページへ移動します。 ↑ ..... 1ページ前にスクロールします。 ↓ ..... 1ページ後ろにスクロールします。

## 2.2.4 Measurement condition画面

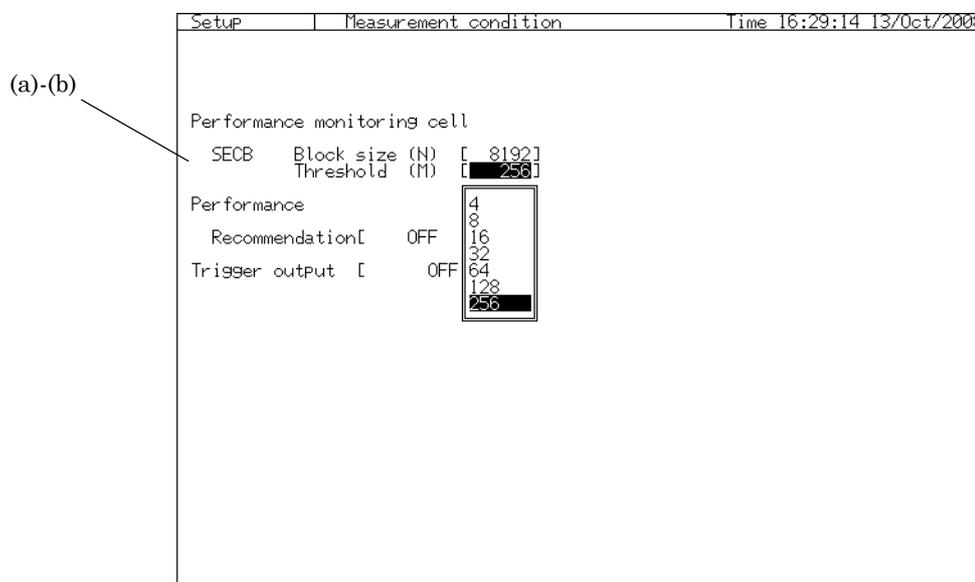
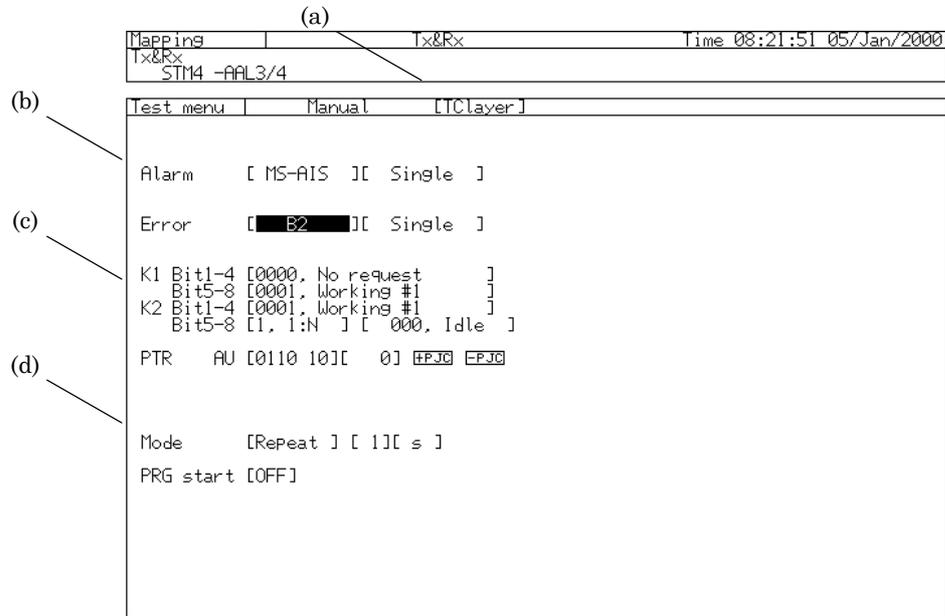


	表 示	説 明
(a)	Frame size error AAL5 Threshold	MappingでAAL5が選択されたときのフレームサイズエラーのしきい値を設定します。
(b)	SECB	SECB時のブロックサイズ (N) としきい値 (M) を設定します。どちらかの設定を変更すると、もう一方の値も変更されます。

## 2.3 Test menu 主画面

### 2.3.1 Manual副画面 (TC layer)



	表示	説明
(a)		Manual副画面を切り換えます。 TC layer ..... SONET/SDH/PDH/ATM Tx cell ..... ATM送信 Rx cell ..... ATM受信
(b)	Alarm/Error	TCレイヤで付加するエラーとアラームの項目を選択します。
(c)	Alarm/Error	K1およびK2バイトやポインタ値のTCレイヤでのプリセットを行います。
(d)	Mode	エラーとアラームの測定のモードを選択します。

## 2.3.2 Manual副画面 (Tx Cell)

各セル測定のため、送信に関して設定する画面です。

[Select]=Traffic, Distribution=CBRの場合

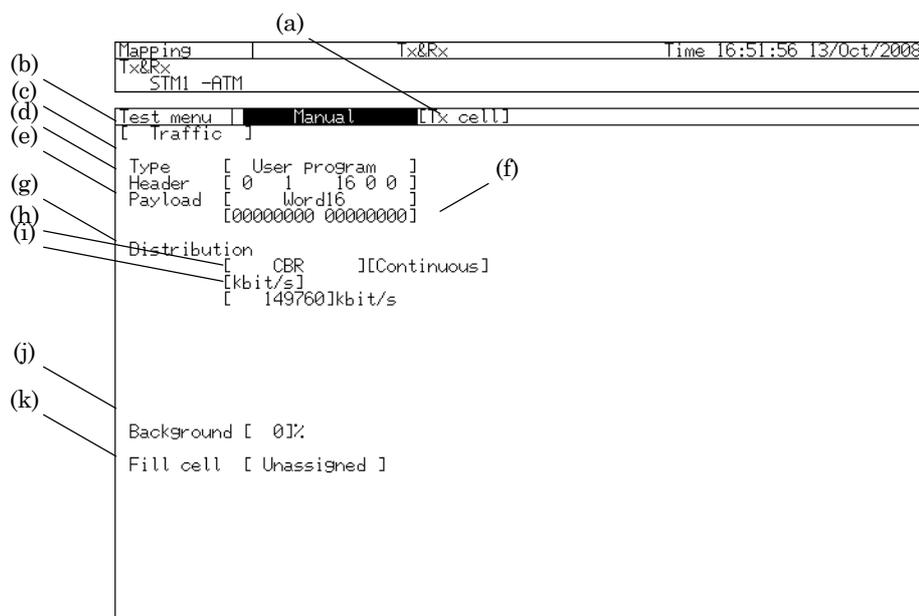
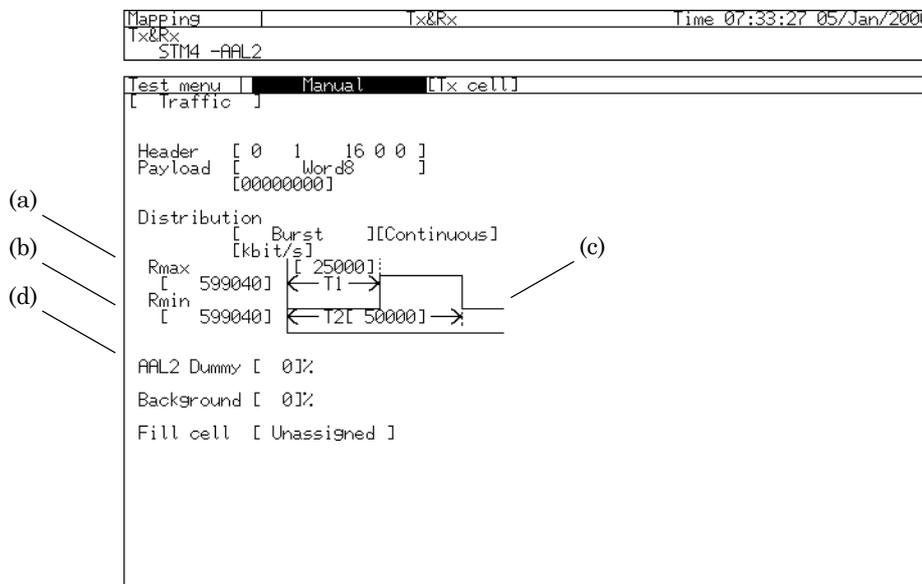


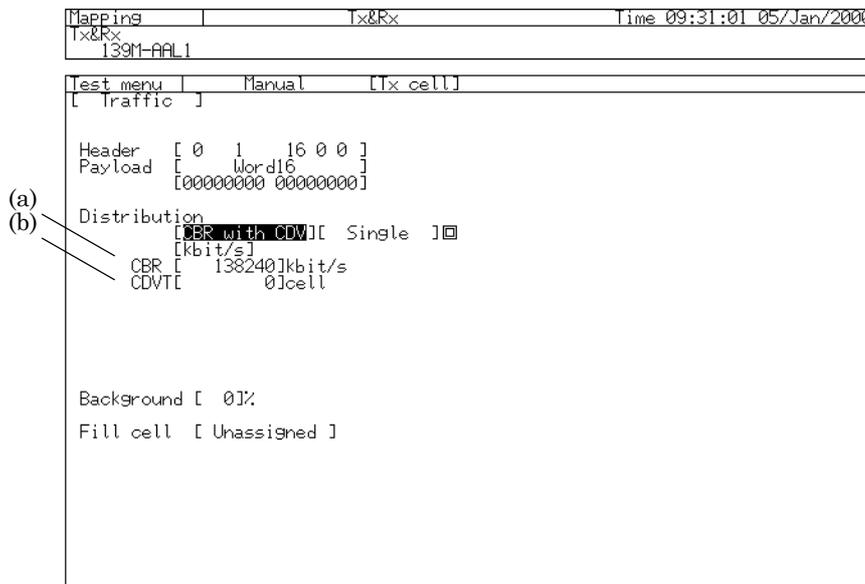
	表 示	説 明
(a)		Manual副画面を切り換えます。 Tclayer ..... SONET/SDH/PDH/ATM Tx cell ..... ATM送信 Rx cell ..... ATM受信
(b)	[Select]	送信セルの設定種類を選択します。
(c)	Type	ATMセルタイプの選択を行います。 Memorized選択時、右側にMemorizedセルの繰り返し個数を設定します。 MappingでATM選択時に表示されます。
(d)	Header	ヘッダボタンを編集します。 <input type="button" value="Set"/> を押すと編集ウインドウが表示されます。
(e)	Payload	ペイロードタイプを設定します。
(f)	(Word16)	Payload=Word16,Word8を設定時にワードパターンを設定します。
(g)	Distribution	セルトラフィックタイプを設定します。
(h)		送出タイプを選択します。 - Single選択時、ワンショットボタンによりセルが送出されます。 - Distribution g が「Poisson」のときは、パラメータの選択はありません。 - ワンショットボタンにより送出されるセルは下記のとおりです。 Distributionが「CBR」のとき ..... 1セル Distributionが「Burst」のとき ..... 1周期分のセル Distributionが「CBR with CDV」のとき .... 1周期分のセル Distributionが「Sawtooth」のとき ..... 1周期分のセル Distributionが「CBR with CDV」のとき .... 1周期は2000セル時間
(i)		Distributionの設定パラメータの単位を設定します。 「kbit/s」, 「cell/s」, および「%」から選択でき、その下で値を設定します。
(j)	Background	バックラウンドセルのトラフィックを設定します。 10数種のバックグラウンドセル各々について設定できます。
(k)	Fill cell	Fillセルに使用するセル (UnsignedまたはIdle) を選択します。

[Select]=Traffic,Distribution=Burst,Mapping=AAL2の場合



	表示	説明
(a)	Rmax	Rmaxを設定します。 RminがRmaxを超える値の場合は、Rminと同じ値に設定されます。
(b)	Rmin	Rminを設定します。 RmaxがRminを下回る値の場合は、Rmaxと同じ値に設定されます。
(c)	T1,T2	パラメータの値を設定します。
(d)	ALL2 Dummy	AA2 CPS packet内のDummy packetの占める割合を設定します。 MappingでAAL2選択時に表示されます。

[Select] = Traffic, Distribution=CBR with CDV,  
Mapping=ATM,AAL2以外の場合



	表示	説明
(a)	CBR	CBRを設定します。
(b)	CDVT	CDVTを設定します。

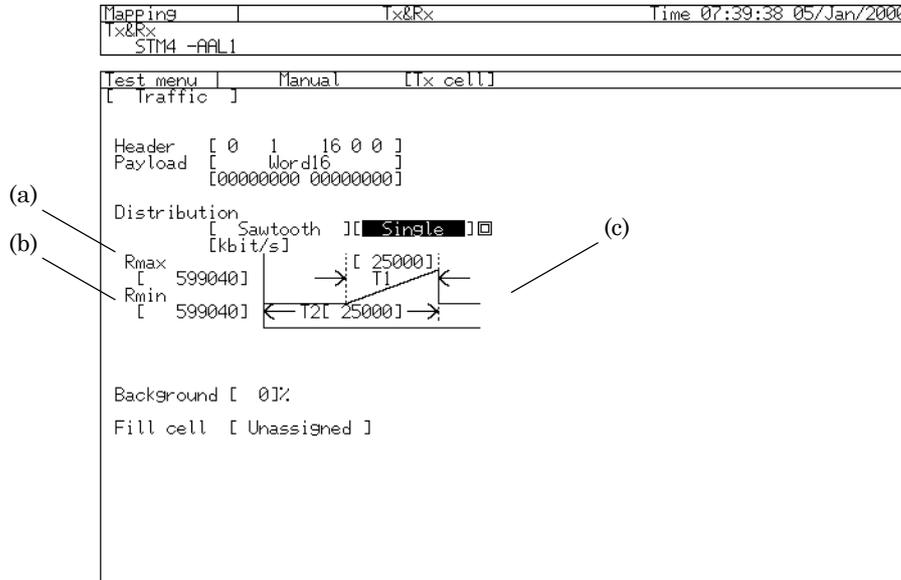
[Select] = Traffic, Distribution=Poisson,  
Mapping=ATM,AAL2以外の場合

Mapping	Tx&Rx	Time 07:37:41 05/Jan/2000
Tx&Rx	STM4 -AAL1	
Test menu	Manual	[Tx cell]
[ Traffic ]		
Header	[ 0 1 16 0 0 ]	
Payload	[ word16 ]	
	[ 00000000 00000000 ]	
Distribution	[ <b>Poisson</b> ] [Continuous]	
	[ 100.01% ]	
Background	[ 0 ]%	
Fill cell	[ Unassigned ]	

(a) →

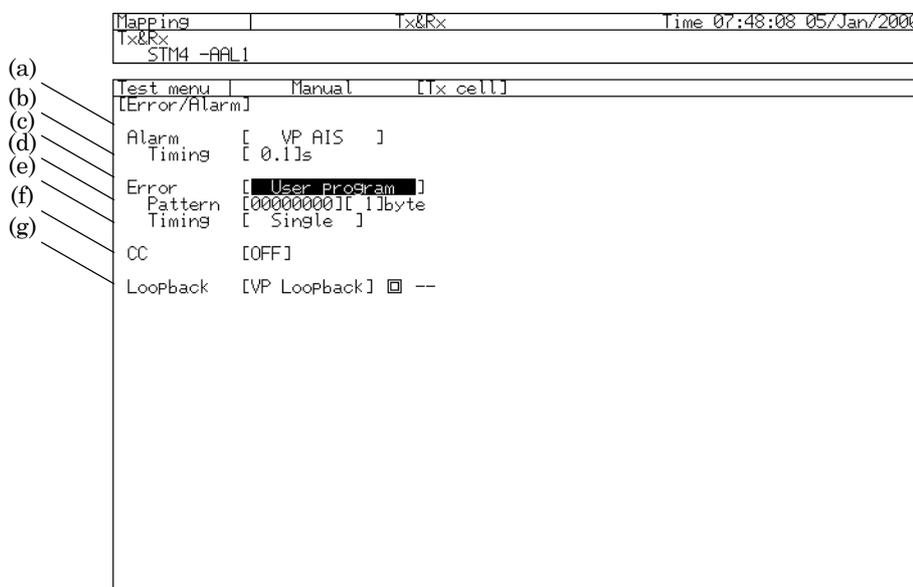
	表示	説明
(a)	(%)	Poissonを設定します。

[Select] = Traffic, Distribution=Sawtooth,  
Mapping=ATM, AAL2以外の場合



	表示	説明
(a)	Rmax	Rmaxを設定します。 RminがRmaxを超える値の場合は、Rminと同じ値に設定されます。
(b)	Rmin	Rminを設定します。 RmaxがRminを下回る値の場合は、Rmaxと同じ値に設定されます。
(c)	T1,T2	パラメータの値を設定します。

## [Select]=Error/Alarmの場合

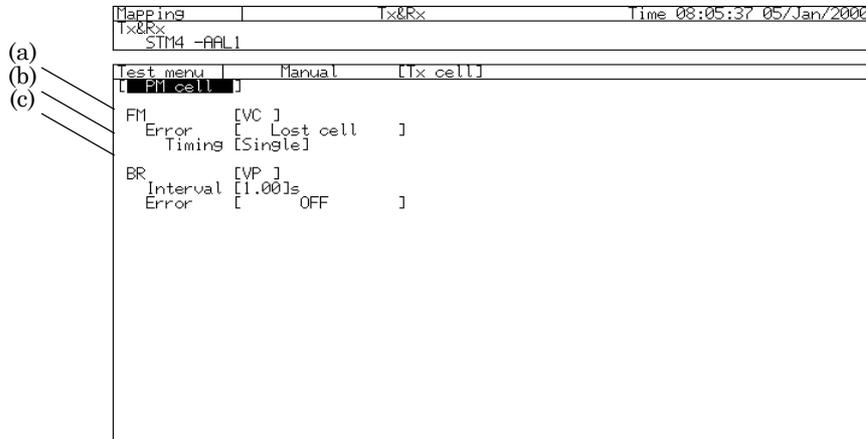


	表示	説明
(a)	Alarm	アラーム付加項目を設定します。
(b)	Timing	アラーム付加の付加タイミングを設定します。
(c)	Error	エラー付加項目を設定します。
(d)	Pattern	エラー付加の付加パターンを設定します。 Error=User program選択時に設定します。
(e)	Timing	エラー付加の付加タイミングを設定します。
(f)	CC	CCセル付加を設定します。
(g)	Loopback	Loopbackセルタイプを設定します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、Loopback試験が開始されます。

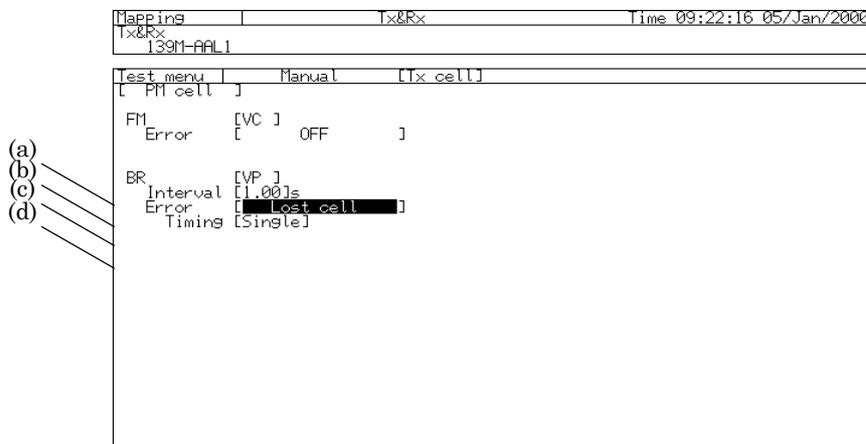
## 注

Loopback試験の結果は□項目の右側にOK/NG/--で表示されます。

[Select] = PM cell



	表示	説明
(a)	FM	PM forwardセル付加を設定します。
(b)	Error	エラー付加項目を設定します。
(c)	Timing	エラー付加項目の付加タイミングを設定します。 <input type="radio"/> Error を押すと、エラーが付加されます。

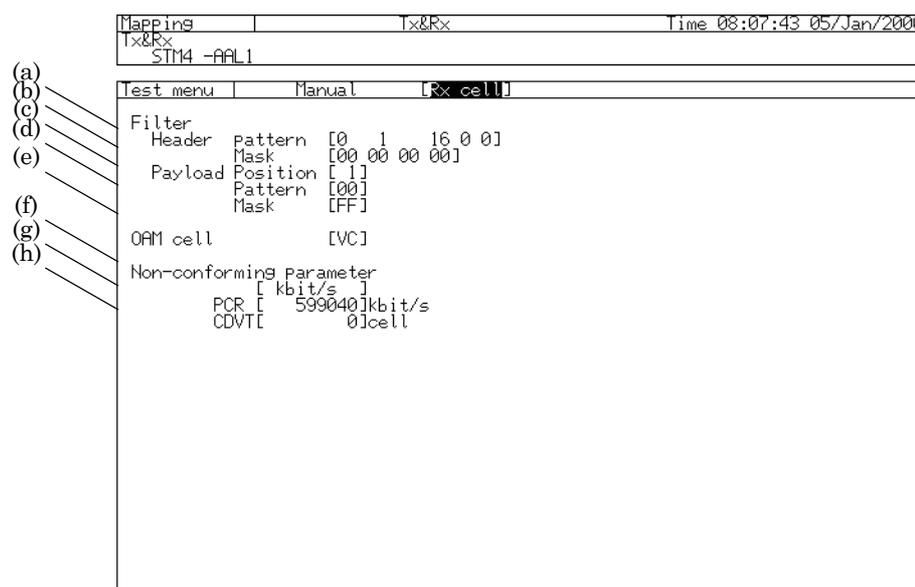


	表示	説明
(a)	BR	PM backwardセル付加を設定します。
(b)	Interval	間隔を設定します。 送出セルの数によって間隔の値は制限されます。
(c)	Error	エラー付加項目を設定します。
(d)	Timing	エラー付加の付加項目のタイミングを設定します。 <input type="radio"/> Error を押すと、エラーが付加されます。

## 2.3.3 Manual副画面 (Rx Cell)

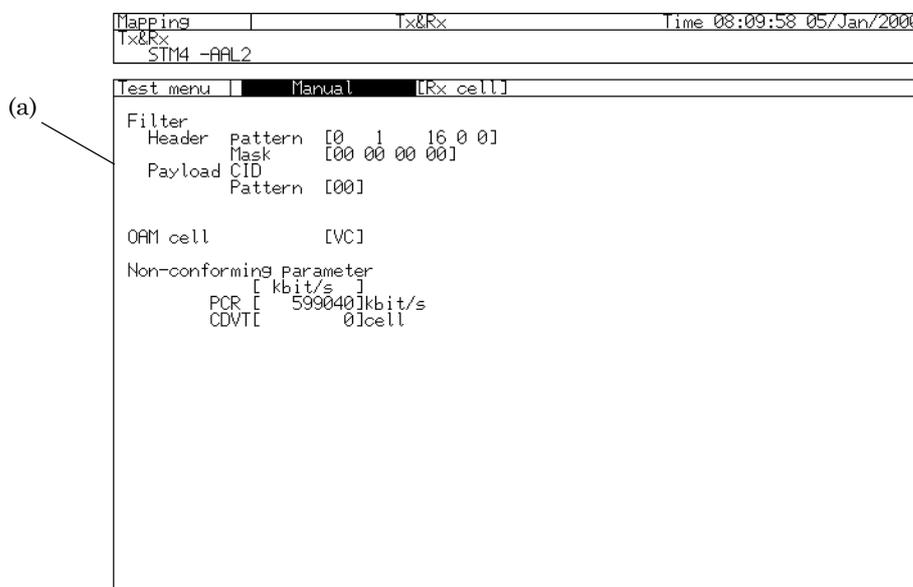
各セル測定の設定を行う画面です。(受信)

Mapping : AAL1, ALL5, ATMの場合



	表示	説明
(a)	Header Pattern	フィルタするヘッダパターンを編集します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集動作ウインドウが表示されます。
(b)	Header Mask	ヘッダのマスクパターンを編集します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、編集動作ウインドウが表示されます。
(c)	Payload Position	ペイロードフィルタの位置を設定します。(AAL1,ATM)
(d)	Payload Pattern	ペイロードフィルタのパターンを設定します。(AAL1,ATM)
(e)	Payload Mask	ペイロードフィルタのマスクを設定します。(AAL1,ATM)
(f)	Non-conforming Parameter	ノンコンフォーミングのパラメータを指定します。
(g)	PCR	PCRを設定します。
(h)	CDVT	CDVTを設定します。

Mapping : AAL2

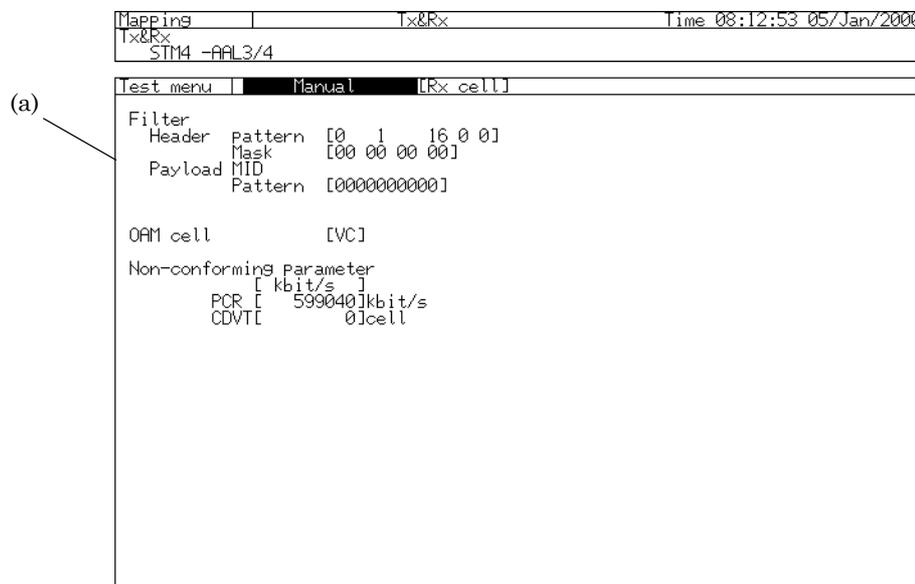


	表示	説明
(a)	Payload CID	CIDを設定します。

注

送信セルのManual画面でPayloadの設定がTime stamp時は、CIDの設定はできません。

## Mapping : AAL3/4



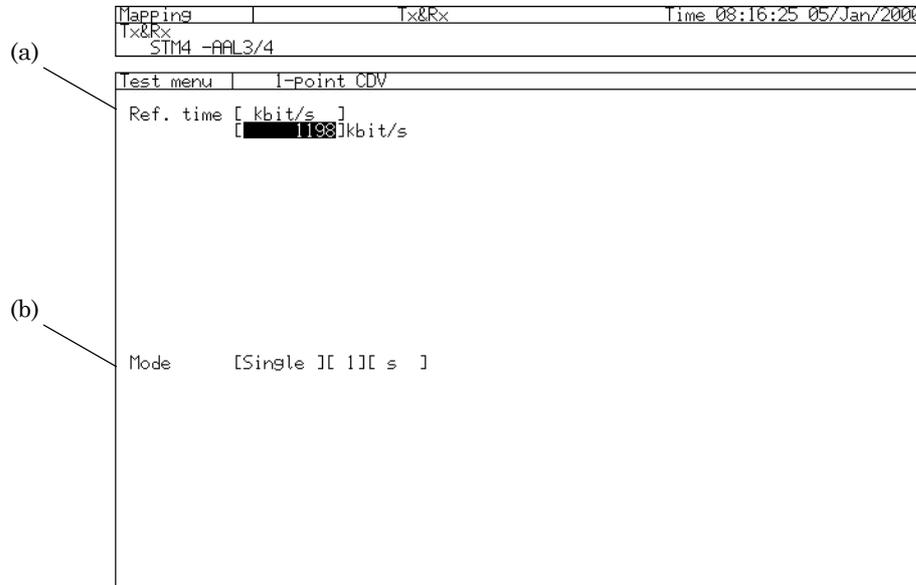
No	表示	説明
(a)	Payload MID	MIDを設定します。

## 注

送信セルのManual画面でPayloadの設定がTime stamp時は、MIDの設定はできません。

### 2.3.4 1-point CDV副画面

受信セル間のゆらぎ測定の設定を行う画面です。



	表示	説明
(a)	Ref.time **	受信セル間のゆらぎ測定の基準となるセル間隔を設定します。
(b)	Mode **	測定モードを設定します。 Single設定の時は、測定ゲーティングピリオドの時間と単位を設定します。

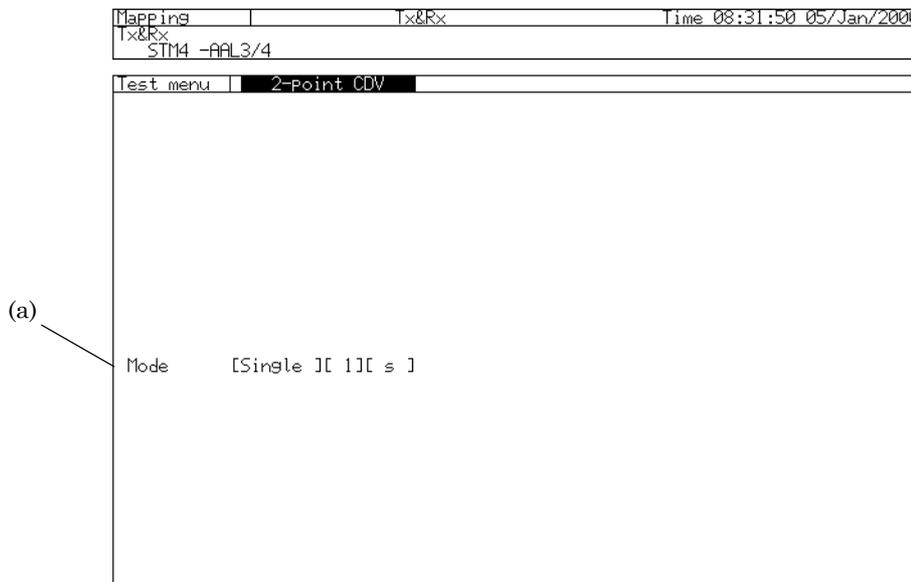
\*\* ..... 測定中に項目を変更した場合は、受信セル間のゆらぎ測定が再スタートします。

#### 注

Test menuのManual画面においてエラー挿入項目を設定して測定（受信セル間ゆらぎ測定）を行った場合には、挿入されていたエラーは無効になります。

## 2.3.5 2-point CDV副画面

送信したセルが受信されるまでのセルの遅延ゆらぎ測定の設定を行う画面です。



No	表示	説明
(a)	Mode **	測定モードを設定します。 モードを <b>Single</b> または <b>Repest</b> に設定した場合は、ゲーティングピリオドの時間と単位を設定します。

\*\* ..... 測定中に項目を変更した場合は、受信セル間のゆらぎ測定が再スタートします。

**注**

- 送信セルのManual画面で、PayloadにTime stampが挿入されたときに測定できます。
- Test menuのManual画面で、Error挿入項目を設定して測定（セル遅延ゆらぎ測定）を行った場合には、挿入されていたエラーは無効になります。

## 2.4 Result主画面

### 2.4.1 Error/Alarm副画面

エラーとアラームの測定結果を表示する画面です。

#### 1 画面表示時

(a)

Mapping	Tx&Rx	Time 08:42:20 05/Jan/2000
Tx&Rx	STM4 -AAL3/4	
Result	Error/Alarm	Start 08:38:58 05/Jan/2000
Alarm [Second] Error [Count] Display data [Current]		
Section	HP(AU)	Information
P-fail	0 AIS	0
LOS	0 LOP	0
LOF	0 RDI	0
OOF	0 SLM	0
AIS	0	
RDI	0	
B1	0 B3	0
B2	0	
REI	3.2E06 REI	0
Alarm		Error
VP-AIS	0 VC-AIS	0 Correct
VP-RDI	0 VC-RDI	0 CRC10
VP-LOC	0 VC-LOC	0 Discard
		0 Nonconf
		0 FM Lost
		0 FMisin
		0 FM BIPV
		0 FM SECB
		0 BR Lost
		0 BRisin
LCD	1.0E06 Sync.	0 BR BIPV
		0 BR SECB
		0 JDIvPDU
		0 CPI
		0 B/Etag
		0 DiscPDU
		0 Bsize
		0 AL
		0 Length
		0 Abort
		0 Bit

#### 2 画面分割表示時

(a)

Mapping	Tx&Rx	Time 08:39:00 05/Jan/2000
Tx&Rx	STM4 -AAL3/4	
Test menu	Manual	[TClayer]
Alarm	[ LOS ]	[ All ]
Error	[ MS-REI ]	[ Single ]
K1 Bit1-4	[ 0000, No request ]	
Bit5-8	[ 0001, Working #1 ]	
K2 Bit1-4	[ 0001, Working #1 ]	
Bit5-8	[ 1, 1:N ]	[ 000, Idle ]
PTR	AU [ 0110 10 ]	[ 0 ] [ P30 ] [ P30 ]
Mode	[ Repeat ]	[ 1 ] [ s ]
PRG start	[ OFF ]	
Result	Error/Alarm	Start 08:38:58 05/Jan/2000
Alarm [Second] Error [Count] Display data [Current] [TClayer]		
Section	HP(AU)	Information
P-fail	0 AIS	0
LOS	0 LOP	0
LOF	0 RDI	0
OOF	0 SLM	0
AIS	0	
RDI	0	
B1	0 B3	0
B2	0	
REI	3.2E06 REI	0

	表示	説明
(a)	Alarm	表示アラーム形式を設定します。
(b)	TClayer/Cell	TClayer/Cell の切り換え項目です。 STM 項目表示時は TClayer, ATM 項目表示時は Cell が点灯します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、表示が切り換わります。

## 注

- Alarm,STM/ATM切り換え項目(TCLayer/Cellワンショットボタン)は、分割画面時のみの表示となります。
  - Alarmの表示形式をCountに設定した場合、TCLayerのアラームはカウント表示できないため、ラベル表示されません。
  - Manual副画面(Rx Cell)において、Header MaskのVCI全体にマスクをかけるとFMセル、BRセル、CCセル、Loop Backセル、AISセル、およびRDIセルはVPでの測定になります。
  - Header MaskのVCI全体にマスクをかけないと、FMセルとBRセルはVCでの測定、またCCセル、Loop Backセル、AISセル、およびRDIセルはVPとVCでの測定になります。
- AALに関するエラーの挿入および検出について説明します。

## (1) AAL1の場合

## エラー付加

選択項目	説明
LOST Cell	SN フィールドの値をスキップします。
SNP	SNP フィールドの 1 ビットを反転します。

## エラー検出

表示	説明
SAR-PDU	SAR-PDU について計数します。
LOST	SN フィールドから算出された損失 SAR-PDU について計数します。
SNP	SNP フィールドに誤りを含む SAR-PDU について計数します。
UCorSNP	無効な SNP フィールドを持つ SAR-PDU について計数します。 無効な SNP フィールドを持つ SAR-PDU とは、AAL1 状態遷移における訂正モードでの SNP フィールドの複数ビットエラー、および検出モードでの SNP フィールドの 1 ビットエラーと複数ビットエラーを含む SAR-PDU を示します。

## (2) AAL2の場合

## エラー付加

選択項目	説明
P	P フィールドの値を反転します。
OSF	OSF フィールドの値を全ビット 1 に設定します。
SN	SN フィールドの値をスキップします。
HEC(Packet)	HEC フィールドの値を全ビット反転します。

## エラー検出

表示	説明
SAR-PDU	SAR-PDU について計数します。
P	P フィールドに誤りを含む SAR-PDU について計数します。
OSF	OSF フィールドが $\geq 48$ である SAR-PDU について計数します。
SN	SN フィールドの値が予期した SN 値と異なる値を持つ SAR-PDU について計数します。
CPS-PKT	Manual 副画面(Rx Cell)で設定した CID を持つ CPS-Packet について計数します。
CPS-HEC	HEC フィールドに誤りを含む CPS-Packet について計数します。レート表示の場合は全 CPS-Packet 数に対しての割合になります。

## (3) AAL3/4の場合

## エラー付加

選択項目	説明
CRC10	CRC10 フィールドの値を全ビット反転します。
Segment Type	ST フィールドの値を EOM から SSM に、または SSM を EOM に変更します。
Length Indicator	LI=48 に設定します。
SN	SN フィールドの値をスキップします。 ST=BOM, SSM の SAR-PDU には挿入されません。
Abort	ST=EOM を持つ SAR-PDU の LI フィールドの値を全ビット 1 に設定します。
CPI	CPI フィールドの値を全ビット 1 に設定します。
B/ETag	Btag フィールドの値を全ビット反転します。
BASize	BASize フィールドの値を全ビット 0 に設定します。
AL	AL フィールドの値を全ビット 1 に設定します。
Length	Length フィールドの値を 1024 加えた値に変更します。

## エラー検出

表示	説明
SAR-PDU	SAR-PDU について計数します。
MID	Manual 副画面(Rx Cell)で設定した MID を持つ SAR-PDU について計数します。CRC10 以外は、ここで計数される SAR-PDU に対しての測定となり、SN, DiscPDU, ST, LI, および Abort のレート表示はここで計数される SAR-PDU に対しての割合になります。
CRC10	CRC10 フィールドに誤りを含む SAR-PDU について計数します。レート表示の場合は SAR-PDU 数に対しての割合になります。
ST	ST フィールドの値が予期した ST 値と異なる値を持つ SAR-PDU について計数します。
LI	LI フィールドに誤りを含む SAR-PDU について計数します。 LI フィールドに誤りを含む SAR-PDU とは、ST=BOM または COM 時は $LI \neq 44$ , ST=EOM 時は $4 \leq LI \leq 44$ 以外, ST=SSM 時は $8 \leq LI \leq 44$ 以外である SAR-PDU を示します。
SN	SN フィールドの値が予期した SN 値と異なる値を持つ SAR-PDU について計数します。CPCS-PDU を構成する SAR-PDU の SN 値の連続性について測定し、異なる CPCS-PDU に属する連続した SAR-PDU 間の SN 値の連続性は測定しません。
Abort	Abort SAR-PDU について計数します。Abort SAR-PDU とは ST=EOM であり、LI=63 である SAR-PDU を示します。

DiscPDU	廃棄されるべき SAR-PDU について計数します。 廃棄されるべき SAR-PDU とは、ST エラーである BOM および EOM, SN エラー, LI エラー, Abort SAR-PDU の何れかである SAR-PDU を示します。
CPCS	CPCS-PDU について計数します。
CPI	CPI≠0 である CPCS-PDU について計数します。
B/ETag	BTag フィールド≠ETag フィールドである CPCS-PDU について計数します。
BASize	CPCS-PDU のペイロードの長さが BASize フィールドの値を超える CPCS-PDU について計数します。
AL	AL フィールドが≠0 である CPCS-PDU について計数します。
Length	CPCS-PDU のペイロードの長さが Length フィールドの値と異なる CPCS-PDU について計数します。
UDevPDU	CPI エラー, B/ETag エラー, BASize エラー, AL エラー, Length エラーの何れかである CPCS-PDU について計数します。

(4) AAL5の場合

エラー付加

選択項目	説明
Length	Length フィールドの値を 1024 加えた値に変更します。
CRC32	CRC32 フィールドの値を全ビット反転します。
Abort	Length フィールドの値を全ビット 0 に設定します。

エラー検出

表示	説明
CPCS	CPCS-PDU について計数します。
DiscPDU	CPI≠0, FRMsize エラー, Length エラー, CRC32 エラー, または Abort CPCS-PDU のいずれかの CPCS-PDU について計数します。
FRMsize	Mapping 副画面で設定する AAL5 frame size と Length フィールドの値が異なる CPCS-PDU について計数します。
Length	CPCS-PDU のペイロードの長さが Length フィールドの値と異なる CPCS-PDU について計数します。
CRC32	CRC32 フィールドに誤りを含む CPCS-PDU について計数します。
Abort	Abort CPCS-PDU について計数します。Abort CPCS-PDU とは Length=0 である CPCS-PDU を示します。

## 2.4.2 1-point CDV副画面

受信セル間のゆらぎ測定の測定結果を表示します。

表示	説明
(a) Start	測定開始時間を表示します。
(b) Average	平均値を表示します。
(c) Maximum	最大値を表示します。
(d) Minimum	最小値を表示します。

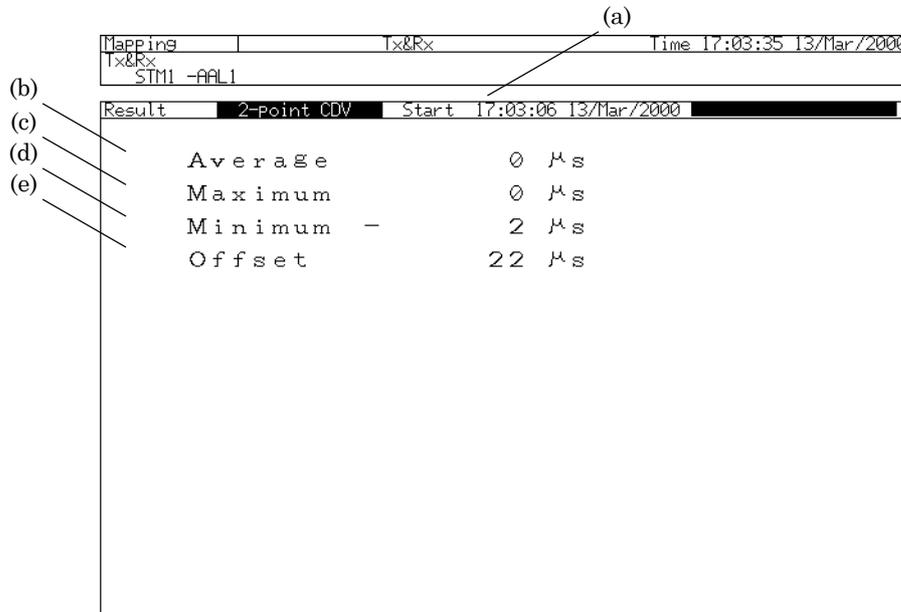
	表示	説明
(a)	Start	測定開始時間を表示します。
(b)	Average	平均値を表示します。
(c)	Maximum	最大値を表示します。
(d)	Minimum	最小値を表示します。

## 注

- データ消去条件（測定再スタートなど）が発生するまで表示状態は保持されます。
- データ消去条件が発生した場合は、「-----」と表示されます。

2.4.3 2-point CDV副画面

送信したセルが受信されるまでのセルの遅延ゆらぎ測定，測定結果を表示する画面です。



	表示	説明
(a)	Start	測定開始時間を表示します。
(b)	Average	平均値を表示します。
(c)	Maximum	最大値を表示します。
(d)	Minimum	最小値を表示します。
(e)	Offset	オフセット値を表示します。

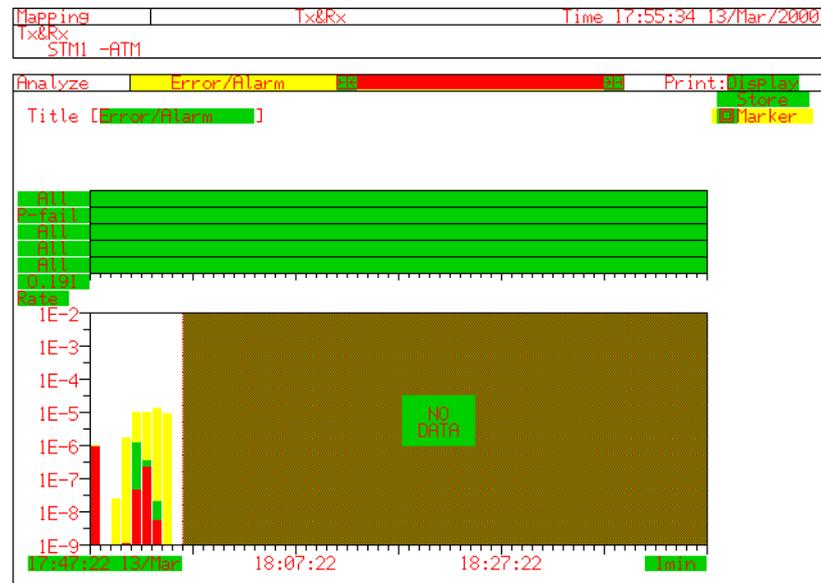
注

- データ消去条件（測定再スタートなど）が発生するまで表示状態は保持されます。
- データ消去条件が発生した場合は、「-----」と表示されます。

## 2.5 Analyze主画面

### 2.5.1 Error/Alarm副画面

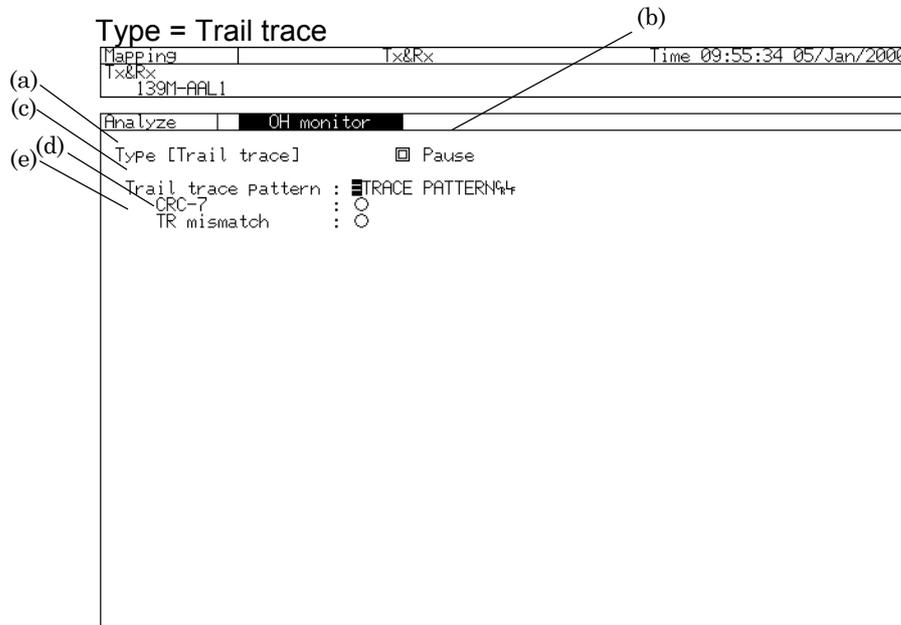
エラーとアラーム測定の結果を分析する画面です。



- ATMのエラー項目で0.191を選択するとグラフ表示は、赤色が廃棄セル、緑色が誤り挿入セル、黄色がエラー（誤り）セルの順に積み重ねて表示されます。
- 色分けの区切りは、測定値ではなく、割合に従って区切ってあります。
- リモート操作で、合計の値が読み出せます。

2.5.2 OH monitor副画面

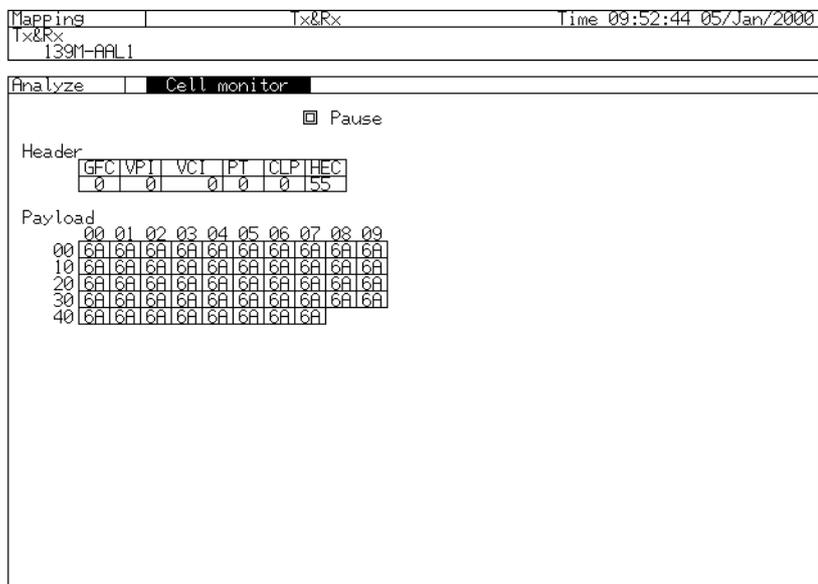
オーバーヘッドに関するモニタ値を表示する画面です。



	表示	説明
(a)	Type	モニタするチャンネルを設定します。
(b)	Pause	表示更新のOn/Offです。 <input checked="" type="checkbox"/> : 表示更新停止状態を示します。 <input type="button" value="Set"/> を押すと、表示更新可能状態になります。 <input type="checkbox"/> : 表示更新可能状態を示します。 <input type="button" value="Set"/> を押すと、表示更新停止状態になります。
(c)	Trail trace pattern	モニタしたTrail traceを表示しています。
(d)	CRC-7	CRC-7付きのものとして、CRC-7を計算しエラーの有無を表示します。 <input checked="" type="radio"/> : CRC-7エラーあり <input type="radio"/> : CRC-7エラーなし
(e)	TR mismatch	TRエラーを表示します。 <input checked="" type="radio"/> : TR mismatchエラーあり <input type="radio"/> : TR mismatchエラーなし

## 2.5.3 Cell monitor副画面

受信, および送信されるセルをモニタする画面です。

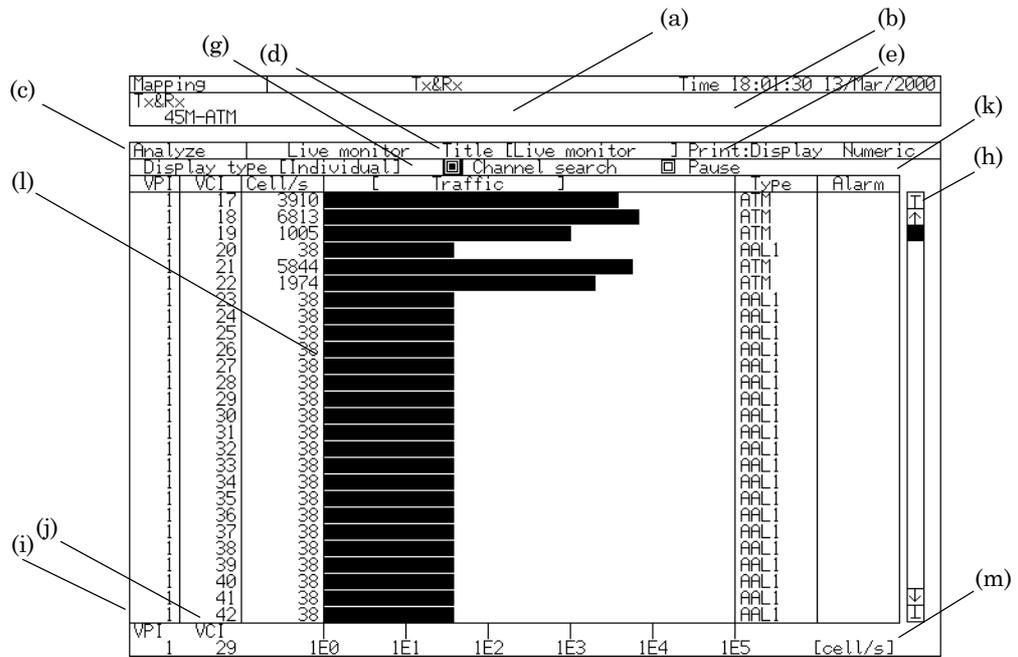
**注**

Pauseの実行によりモニタしている値を停止することができます。

2.5.4 Live monitor副画面

Traffic, FM Cell測定の分析を行う画面です。

モニタ項目 : Trafficの場合



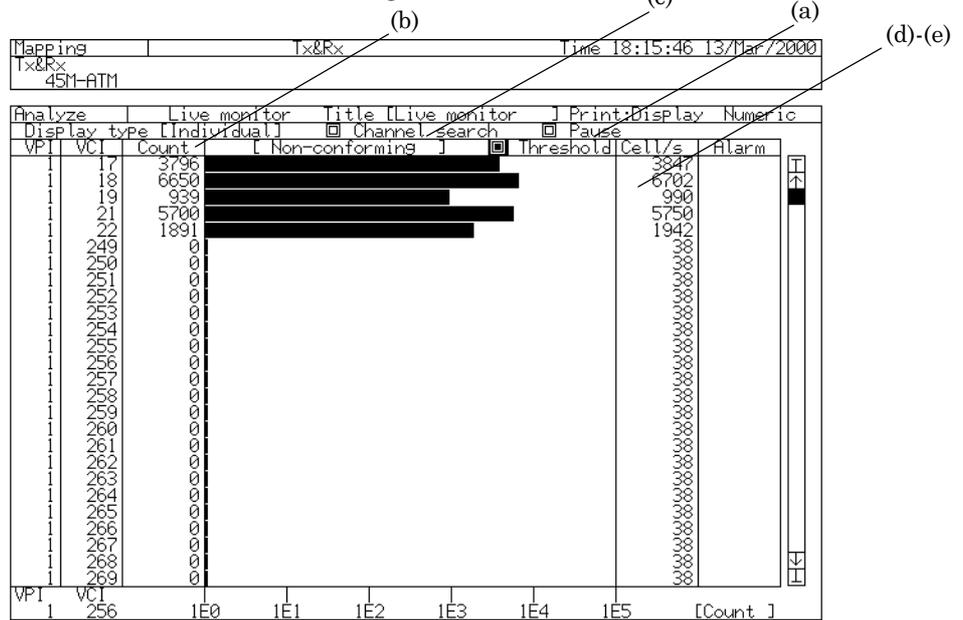
	表示	説明
(a)	Title	グラフのタイトルを入力することができます。 - 1画面表示のときに入力することができます。
(b)	Print	印字する範囲、印字データを設定します。 Display ..... 現在表示されているデータの印字 All ..... 先頭から最終までのデータの印字 After ..... 現在表示されているデータ以降の印字 Before ..... 現在表示されているデータ以前の印字
(c)	Display type	表示タイプを設定します。 Individual ..... 最新データの表示 Accumulate ... 測定スタート時から蓄積されたデータの表示

	表 示	説 明
(d)	Channel Search	チャンネルサーチの開始を行います。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、サーチが開始します。
(e)	Pause	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、Pauseが実行されます。 - 3分割画面では、できません。
(f)	Store	グラフデータをメモリに保存します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、文字列入力ウインドウが開きます。名前を入力してメモリに保存します。 - 1画面表示のときに表示されます。 - (c)のDisplay typeでAccumulate選択時のみ有効となります。
(g)		モニタ項目の選択を行います。
(h)	(スクロール)	表示しているグラフを移動します。 ┘ ..... グラフ最上行へ移動します。 └ ..... グラフ最終行へ移動します。 ↑ ..... 上半画面にスクロールします。 ↓ ..... 下半画面にスクロールします。
(i)	VPI	VPIを設定します。 - 1画面表示のときに設定できます。
(j)	VCI	VCIを設定します。 - 1画面表示のときに設定できます。
(k)	Alarm	受信アラームの最上位のアラーム1項目を表示します。
(l)		(m)で選択したパラメータのデータを表示します。
(m)		パラメータを選択します。 モニタ項目：Trafficの時のみ選択できます。
(n)	TYPE	セルのALLタイプを表示します。(実際のタイプと異なる場合があります。)

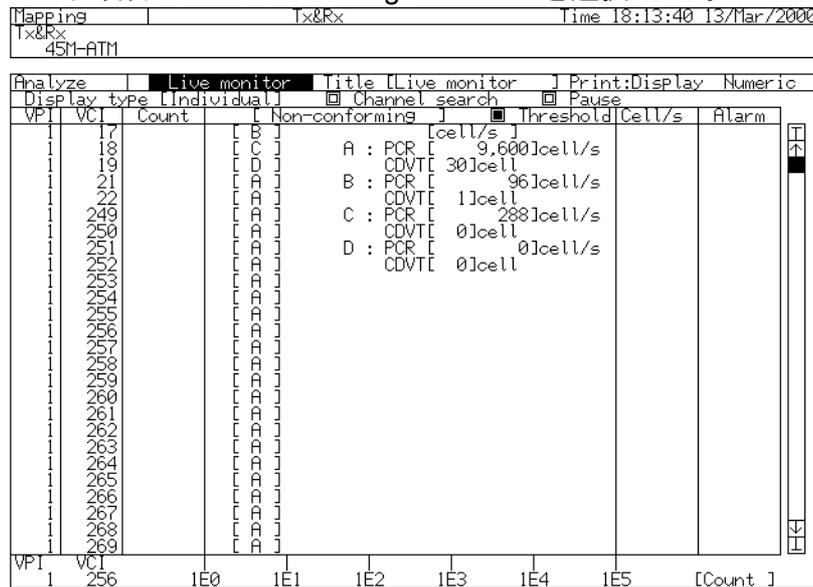
### 注

- 測定中のDisplay typeがAccumulateに設定されているとき、以下のモニタ項目間で継続モニタができます。
- →FM Misinserted cell ↔ FM Lost cell ↔ FM Mis/Lost cell  
← 以上のモニタ変更を除き、モニタ項目を変更すると測定が再スタートされます。また、測定中にDisplay typeをIndividualからAccumulateに変更した場合でも測定は再スタートします。この場合、それまでのデータは失われます。

モニタ項目 : Non-Conforming, FM SECBの場合

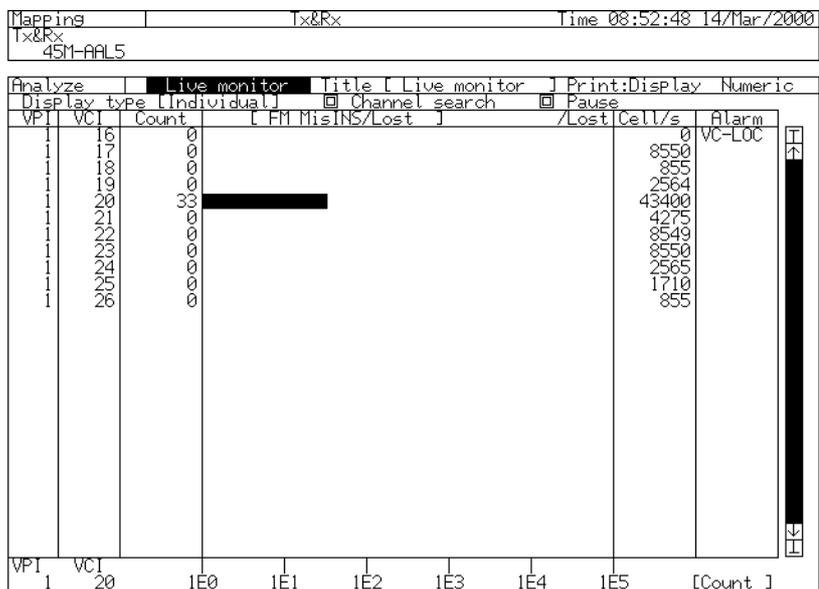


モニタ項目 : Non-Conforming Thresholdを選択した時



	表示	説明
(a)	Threshold	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、境界値の条件設定画面へ移行します。 - ノンコンフォーミング時に設定できます。
(b)	count	合計の値が表示されます。
(c)		パラメータを設定します。
(d)		境界値を設定します。 - Setup Mapping画面のSECB Size Mに相当します。 - 4種類の境界値が設定できます。
(e)		(d)で設定した4種類の境界値が指定できます。

## モニタ項目：FM Mis/lost cellの場合

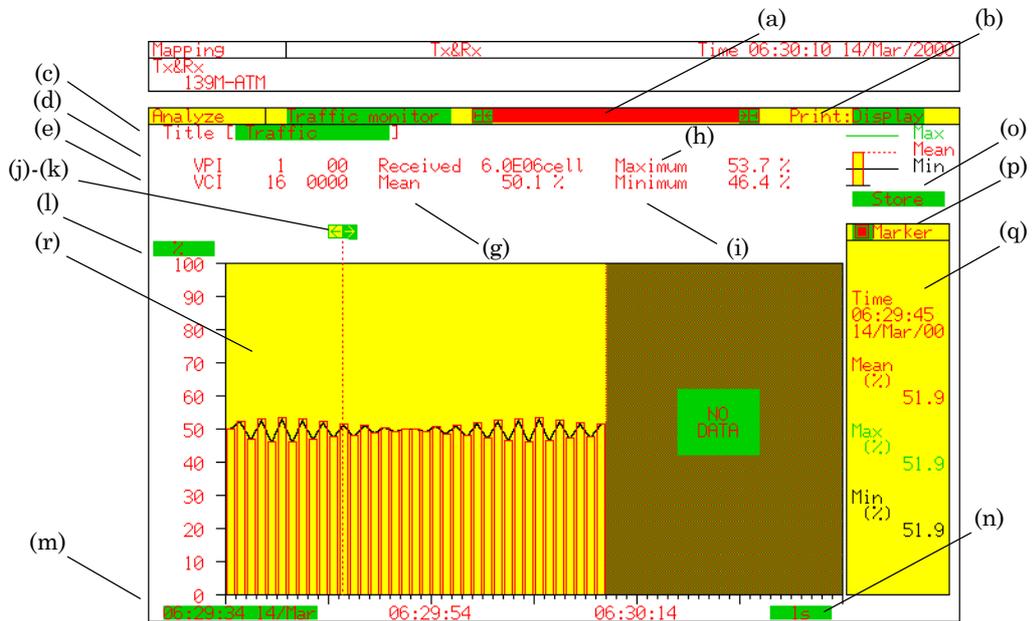


## 注

- グラフは左から、赤色のグラフが誤り挿入セル、緑色のグラフが廃棄セルの順に並んで、描画されています。
- 色分けの区切りは測定値に関わらず、割合に従って区切られています。

2.5.5 Traffic monitor副画面

グラフ表示された測定結果をを分析する画面です。



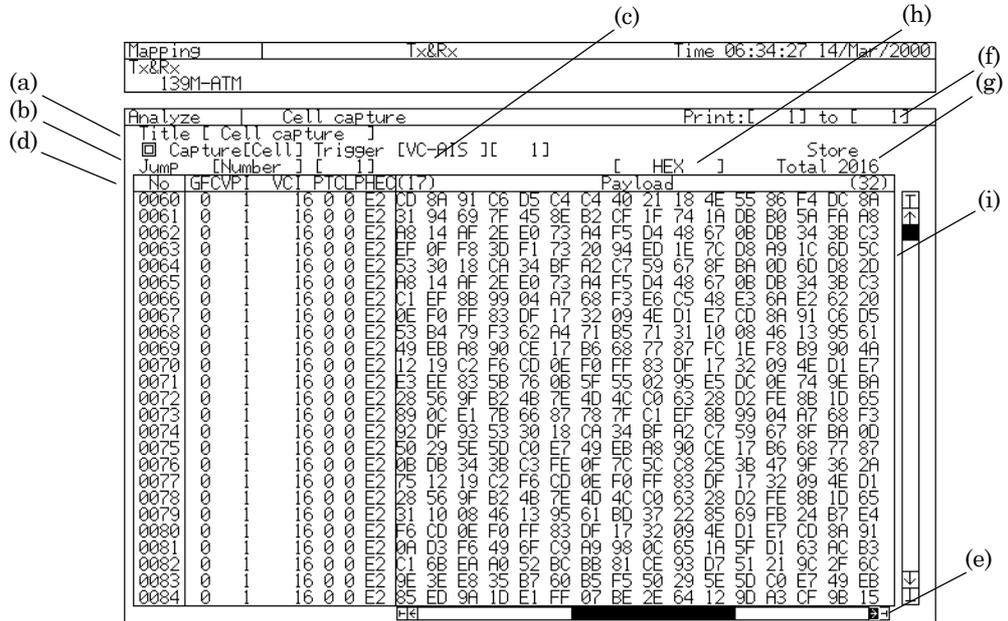
	表示	説明
(a)	(スクロール)	グラフをスクロールします。 ⊣ ..... 測定開始位置に移動します。 ← ..... グラフの左へスクロールします。 → ..... グラフの右へスクロールします。 ⊣ ..... 測定終了位置に移動します。
(b)	Print	印字する範囲と印字データを設定します。 Display ..... 現在表示されているデータの印字 All ..... 先頭から最終までのデータの印字 After ..... 現在表示されているデータ以降の内容の印字 Before ..... 現在表示されているデータ以前の内容の印字
(c)	Title	ここにカーソルを移動し <input type="button" value="Set"/> を押すとウインドウが開きます。グラフのタイトルを入力します。 - 1画面表示のときに表示されます。

	表 示	説 明
(d)	VPI	VPIのフィルタ値とマスク値を表示します。
(e)	VCI	VCIのフィルタ値とマスク値を表示します。
(f)	Received	受信総セル数を表示します。
(g)	mean	平均セル受信率を表示します
(h)	Maximum	最大セル受信数を表示します。
(i)	Minimum	最小セル受信数を表示します。
(j)	←	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、マーカが左に移動します。 - 1画面表示のときにできます。
(k)	→	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、マーカが右に移動します。 - 1画面表示のときにできます。
(l)		縦スケールの単位を設定します。
(m)	(Graph Start)	表示開始時刻を設定します。
(n)	(interval)	分析グラフの時間軸間隔を設定します。
(o)	Store	グラフデータを格納します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、ウインドウが開きます。名前を入力して、メモリに保存します。 - 1画面表示のときに表示されます。
(p)	Marker	マーカのOn/Offを切り替えます。 <input type="checkbox"/> ... マーカがOffであることを示します。ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、マーカがOnになります。 <input checked="" type="checkbox"/> ... マーカがOnであることを示します。ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、マーカがOffになります。 - 1画面表示のときに表示されます。
(q)		マーカされているグラフの詳細データが表示されています。
(r)	(graph)	1本分の平均値を棒グラフに表示します。 1本中の最大値と最小値が、折れ線グラフに表示されます。

2.5.6 Cell capture副画面

キャプチャしたセルのセル情報を分析します。

Capture: Cellの場合



	表示	説明
(a)	Title	グラフのタイトルを入力します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、ウィンドウが開きます。 1画面表示のときに表示されます。
(b)	Capture	キャプチャタイミングを設定します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、キャプチャが実施されます。
(c)	Trigger	トリガ項目を設定します。 - 右側にトリガ位置を設定します。 - キャプチャするとトリガ選択データが反転表示されます。
(d)	Jump	表示開始位置の選択を行います。 Number選択時は、選択番号が1の場合先頭に、最終番号は最終に、またそれ以外は中心に表示されます。

	表 示	説 明
(e)	(スクロール)	<p>横軸のデータを移動します。</p> <p>┆ ..... データの横軸を先頭位置に移動します。</p> <p>← ..... データの横軸を、8バイト左にスクロールします。</p> <p>→ ..... データの横軸を、8バイト右にスクロールします。</p> <p>┆ ..... データの横軸を、最終位置に移動します。</p>
(f)	Print	<p>印字を開始する位置と終了する位置を設定します。(1~2016)</p> <p>Display ..... 現在表示されているデータの印字</p> <p>All ..... 先頭から最終までのデータの印字</p> <p>After ..... 現在表示されているデータ以降の内容を印字</p> <p>Before ..... 現在表示されているデータ以前の内容を印字</p>
(g)	Store	<p>グラフデータをメモリに保存します。</p> <p>ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、文字列入力ウィンドウが開きます。名前を入力してメモリに保存します。</p> <p>- 1画面表示のときに表示されます。</p>
(h)	(Select)	<p>ペイロードデータの表示形式を設定します。</p>
(i)	(スクロール)	<p>縦軸のデータを移動します。</p> <p>┆ ..... データの縦軸を先頭位置に移動します。</p> <p>↑ ..... データの縦軸を半分上にスクロールします。</p> <p>↓ ..... データの縦軸を半分下にスクロールします。</p> <p>┆ ..... データの縦軸を最終位置に移動します。</p>

Capture: IPv4またはIPv6の場合

(a) (b) (c) (d) (e) (f) (g)

Mapping		Tx&Rx		Time 20:30:13 28/May/2000	
Tx&Rx		139M-AAL5			
Analyze		Cell capture		Print:[ ] to [ ]	
Title [ Cell capture ]		<input checked="" type="checkbox"/> Capture[IPv4] Trigger [Manual] [ 21]		Store Total 1009	
Jump [Number] [ 1 ]					
No.	Type	IPv4 Address			
[ 2 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 3 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 4 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 5 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 6 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 7 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 8 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 9 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 10 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 11 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		
[ 12 ]	08 00 (IP)	(S)	128.128.128.128		
		(D)	128.128.128.129		

Analyze Cell capture Print[Display]

Header															
Version	IHL	Type of service	Total length												
4	5	0000110	40												
Identification		Flag	Fragment offset												
0		000	0												
Time to live	Protocol	Header checksum													
127	6	39C8													
Source address															
128.128.128.128															
Destination address															
128.128.128.129															
Information															
00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
0000	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
0010	00	00	00	00											

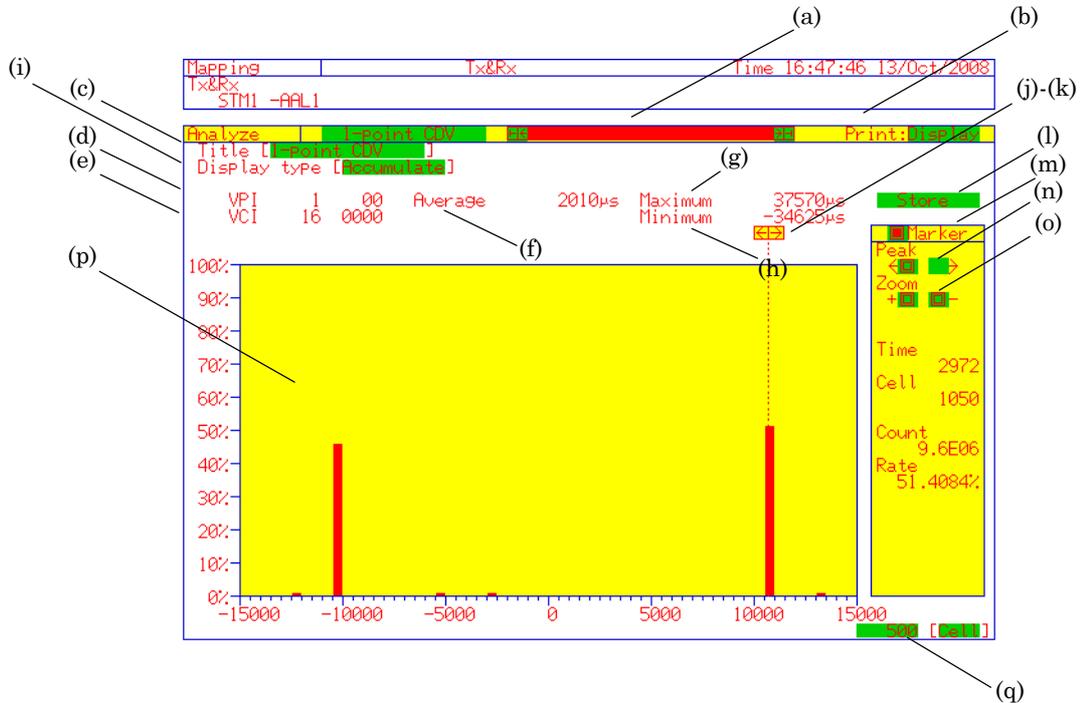
Page [ 1 ]

END

	表 示	説 明
(a)	Title	グラフのタイトルを入力します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、ウインドウが開きます。 1画面表示のときに表示されます。
(b)	Capture	キャプチャタイミングを設定します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、キャプチャが実施されます。
(c)	Trigger	トリガ項目を設定します。 - 右側にトリガ位置を設定します。 - キャプチャするとトリガ選択データが反転表示されます。
(d)	Jump	表示開始位置の選択を行います。 Number選択時は、選択番号が1の場合先頭に、最終番号は最終に、またそれ以外は中心に表示されます。
(e)	Print	印字を開始する位置と終了する位置を設定します。(1~2016) Display ..... 現在表示されているデータの印字 All ..... 先頭から最終までのデータの印字 After ..... 現在表示されているデータ以降の内容を印字 Before ..... 現在表示されているデータ以前の内容を印字
(f)	Store	グラフデータをメモリに保存します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、文字列入力ウインドウが開きます。 名前を入力してメモリに保存します。 - 1画面表示のときに表示されます。
(g)	(スクロール)	縦軸のデータを移動します。 ⌵ ..... データの縦軸を先頭位置に移動します。 ↑ ..... データの縦軸を半分上にスクロールします。 ↓ ..... データの縦軸を半分下にスクロールします。 ⌴ ..... データの縦軸を最終位置に移動します。
(h)	No.	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと、キャプチャしたセルの情報を表示できます。

2.5.7 1-point CDV副画面

受信セル間のゆらぎ測定の結果を分析する画面です。

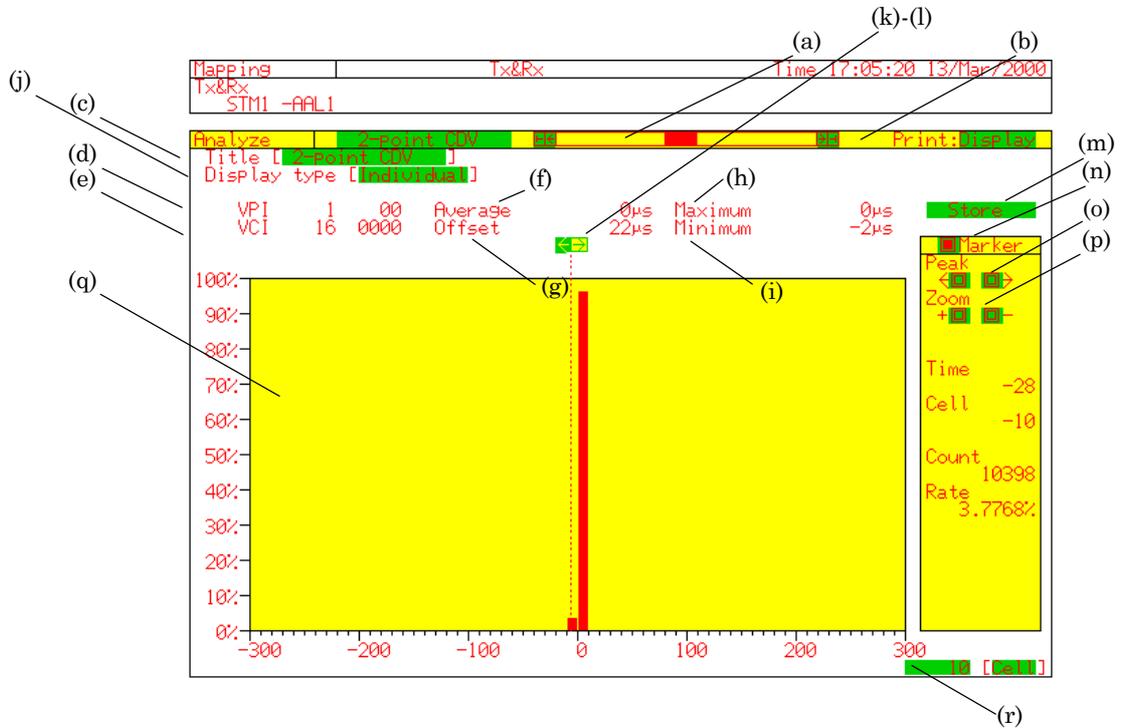


	表示	説明
(a)	(スクロール)	グラフをスクロールします。 ↑ ..... 測定開始位置に移動します。 ← ..... グラフの左へスクロールします。 → ..... グラフの右へスクロールします。 ↓ ..... 測定終了位置に移動します。
(b)	Print	印字する範囲と印字データを設定します。 Display ..... 現在表示されているデータの印字 All ..... 先頭から最終までのデータの印字 After ..... 現在表示されているデータ以降の内容を印字 Before ..... 現在表示されているデータ以前の内容を印字
(c)	Title	ここにカーソルを移動し [Set] を押すとウィンドウが開きます。グラフのタイトルを入力します。 - 1画面表示のときに表示されます。

	表示	説明
(d)	VPI	VPIのフィルタ値とマスク値を表示します。 - 1画面表示のときに表示されます。
(e)	VCI	VCIのフィルタ値, およびマスク値を表示します。 - 1画面表示のときに表示されます。
(f)	Average	平均セル受信率を表示します。
(g)	Maximum	最大セル受信数を表示します。
(h)	Minimum	最小セル受信数を表示します。
(i)	Display type	表示データタイプを設定します。 Individual .....最新データの表示 Accumulate ....測定スタート時から蓄積されたデータの表示
(j)	←	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカが左に移動します。 - 1画面表示のときにできます。
(k)	→	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカが右に移動します。 - 1画面表示のときにできます。
(l)	Store	グラフデータを格納します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, ウィンドウが開きます。名前を入力して, メモリに保存します。 1画面表示のときに表示されます。
(m)	Marker	マーカのOn/Offを切り替えます。 <input type="checkbox"/> .... マーカがOffであることを示します。ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカがOnになります。 <input checked="" type="checkbox"/> .... マーカがOnであることを示します。ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカがOffになります。 - 1画面表示のときに表示されます。
(n)	Peak	ピークポイントをサーチします。 < <input type="checkbox"/> ..... 前方向にあるピークポイントへマーカを移動します。 <input type="checkbox"/> > ..... 後ろ方向にあるピークポイントへマーカを移動します。
(o)	Zoom	マーカポイントのデータをセンタリングし, グラフを再描画します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, 表示インターバルが変更されます。 in ..... マーカポイントのズームイン機能 out ..... マーカポイントのズームアウト機能
(p)		マーカされているグラフの詳細データが表示されます。
(q)	(interval)	分析グラフの横軸を設定します。

2.5.8 2-point CDV副画面

送信したセルが受信されるまでのセルの遅延ゆらぎ測定の結果を分析する画面です。

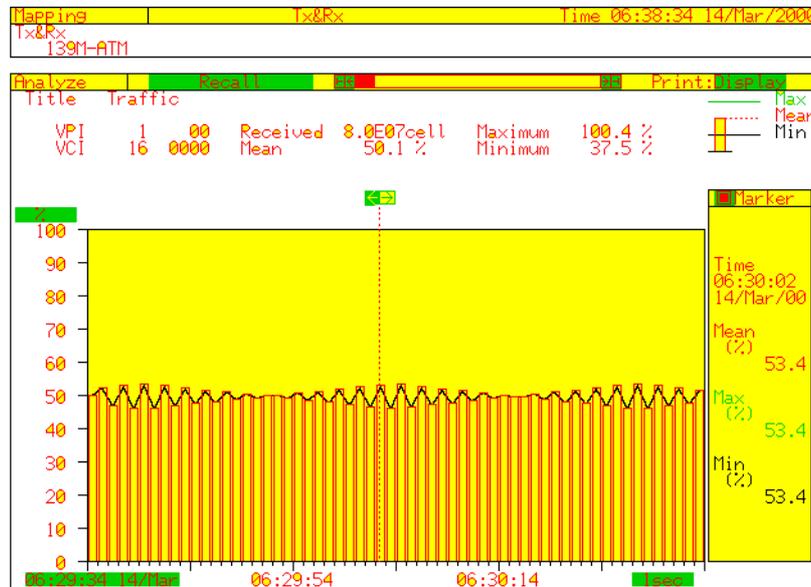


	表示	説明
(a)	(スクロール)	グラフをスクロールします。 ┆ ..... 測定開始位置に移動します。 ← ..... グラフの左へスクロールします。 → ..... グラフの右へスクロールします。 ┆ ..... 測定終了位置に移動します。
(b)	Print	印字する範囲と印字データを設定します。 Display ..... 現在表示されているデータの印字 All ..... 先頭から最終までのデータの印字 After ..... 現在表示されているデータ以降の内容の印字 Before ..... 現在表示されているデータ以前の内容の印字
(c)	Title	ここにカーソルを移動し <input type="button" value="Set"/> を押すとウインドウが開きます。グラフのタイトルを入力します。 - 1画面表示のときに表示されます。

	表 示	説 明
(d)	VPI	VPIのフィルタ値, およびマスク値を表示します。 - 1画面表示のときに表示されます。
(e)	VCI	VCIのフィルタ値, およびマスク値を表示します。 - 1画面表示のときに表示されます。
(f)	Average	平均セル数を表示します。
(g)	Offset	オフセット値を表示します
(h)	Maximum	最大セル受信数を表示します。
(i)	Minimum	最小セル受信数を表示します。
(j)	Display type	表示タイプを設定します。 Individual ..... 最新データの表示 Accumulate ... 測定スタート時から蓄積されたデータの表示
(k)	←	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカが左に移動します。 - 1画面表示のときにできます。
(l)	→	ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカが右に移動します。 - 1画面表示のときにできます。
(m)	Store	グラフデータを格納します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, ウィンドウが開きます。名前を入力して, メモリに保存します。 - 1画面表示のときに表示されます。
(n)	Marker	マーカのOn/Offを切り替えます。 <input type="checkbox"/> .... マーカがOffであることを示します。ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカがOnになります。 <input checked="" type="checkbox"/> .... マーカがOnであることを示します。ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, マーカがOffになります。 - 1画面表示のときに表示されます。
(o)	Peak	ピークポイントをサーチします。 < <input type="checkbox"/> ..... 前方向にあるピークポイントへマーカを移動します。 <input type="checkbox"/> > ..... 後ろ方向にあるピークポイントへマーカを移動します。
(p)	Zoom	マーカポイントのデータをセンタリングし, グラフを再描画します。 ここにカーソルを移動して <b>Set</b> を押すと, 表示インターバルが変更されます。 in ..... マーカポイントのズームイン機能 out ..... マーカポイントのズームアウト機能
(q)		マーカされているグラフの詳細データが表示されます。
(r)	(interval)	分析グラフの横軸を設定します。

## 2.5.9 Recall副画面

Setup : Memory画面, またはSetup : Floppy disk画面で読みだした分析グラフデータを表示する画面です。



- 操作方法は, Live mOnitor, Traffic mOnitor, Cell capture, 1-point CDV, 2-point CDV副画面と同じです。ただし, タイトルの入力とStoreはできません。

この章では、ATMに関する測定例を説明します。

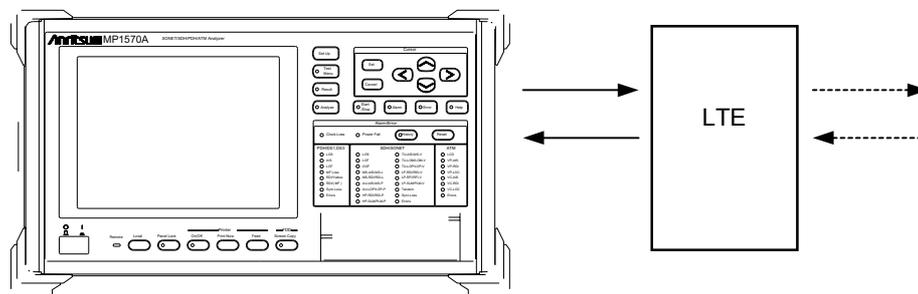
画面は1画面表示のものが記載されています。2画面分割表示と3画面分割表示のときはレイアウトが異なります。この場合、基本的には同じ内容が表示されますが、一部表示される内容が異なる場合があります。

3.1 エラーとアラームの試験 .....	3-3
3.1.1 測定系の接続 .....	3-3
3.1.2 基本設定 .....	3-4
3.1.3 マニュアル測定 .....	3-5
設定と測定の開始 .....	3-5
測定結果（エラーとアラーム）の表示 .....	3-6
解析(1) .....	3-7
解析(2) .....	3-8
解析(3) .....	3-9
3.2 1-point CDV測定 .....	3-10
3.2.1 測定系の接続 .....	3-10
3.2.2 初期設定 .....	3-11
3.2.3 測定 .....	3-12
設定と測定の開始 .....	3-12
測定結果の表示 .....	3-12
解析 .....	3-13



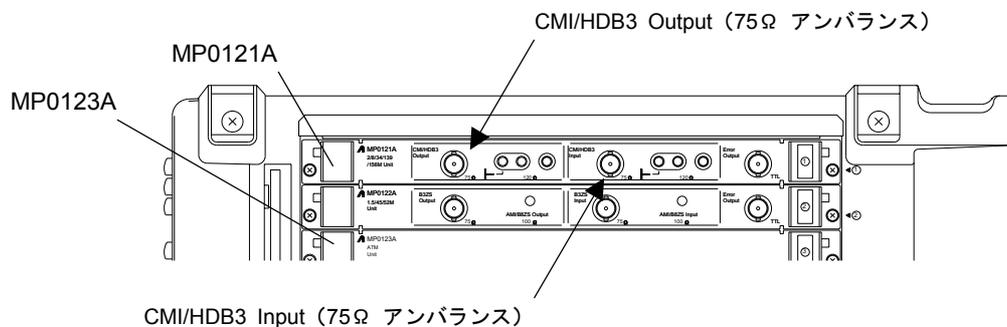
### 3.1 エラーとアラームの試験

下記のような測定系で、139MのLTE(Line Terminal Equipment)の出力をモニタする例を用いて説明します。



#### 3.1.1 測定系の接続

- (1) MP1570Aの電源スイッチをOffにして、MP0121A 2/8/34/139/156M UnitとMP0123A ATM Unitを装着します。
- (2) 受信側の接続 .....LTEの出力コネクタとMP0121AのCMI/HDB3 Inputコネクタを、BNC (75Ω) 同軸ケーブルで接続します。
- (3) 送信側の接続 .....MP0121AのCMI/HDB3 OutputコネクタとLTEの入力コネクタを、BNC (75Ω) 同軸ケーブルで接続します。



- (4) (2)と(3)の接続を行った後、MP1570Aの電源スイッチをOnにします。

### 3.1.2 基本設定

Setup:Mapping画面を下記のように設定します。

モニタポイントでの信号を受信する場合は、Monitor modeを「ON」にします。

Setup	Mapping	[Tx&Rx]	Time 10:26:25 05/Jan/2000
Config.[ ATM ]			
Bit rate	[ 139M ]		
Through	[ OFF ]		
Mapping	[ AAL5 ]		
Header structure	[ UNI ]		
OAM type	[ End-to-end ]		
Clock	[ Internal ]		
Monitor mode	[ OFF ]		

Setup:Measurement condition画面を下記のように設定します。

Setup	Measurement condition	Time 10:23:44 05/Jan/2000
Frame size error		
AAL5	Threshold [ 85535 ]	
Performance monitoring cell		
SECB	Block size (N) [ 8192 ]	
	Threshold (M) [ 256 ]	
Performance		
Recommendation	[ OFF ]	
Trigger output	[ OFF ]	

## 3.1.3 マニュアル測定

マニュアル測定は、1つのチャンネルについてエラーとアラームの試験などを行うことができます。

## 設定と測定の開始

(1) Test menu : Manual画面で設定します。

Mapping	Tx&Rx	Time 10:29:47 05/Jan/2000
Tx&Rx [39M-AAL5]		
Test menu	Manual	[Tx cell]
[Error/Alarm]		
Alarm	[ VP AIS ]	
Timing	[ 0.11s ]	
Error	[ Length ]	
Timing	[ Single ]	
CC	[VP ]	
Loopback	[VP Loopback]	<input checked="" type="checkbox"/> NG

- (a) Tx cellメニューで送信するセルのヘッダやセル量を設定します。Manual測定の種別をError/Alarmにして、付加するError, AlarmとTiming, およびCCセルの設定をします。
- (b) Rx cellメニューで、受信するセルのフィルタ条件を設定します。
- (2) 設定後、 を押して測定を開始します。

## 測定結果(エラーとアラーム)の表示

Result : Error/Alarm画面を表示させると、下記のような画面が表示されます。

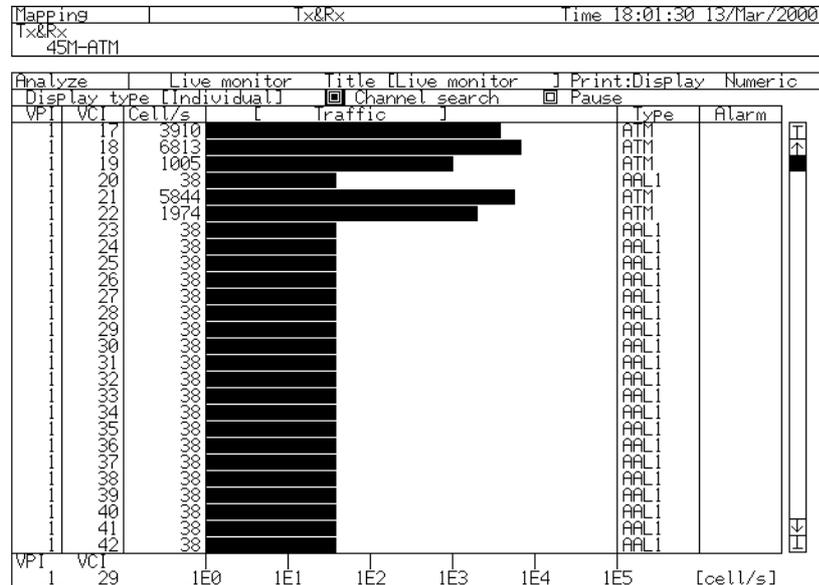
Mapping		Tx&Rx		Time 10:31:23 05/Jan/2000	
Tx&Rx 139M-AAL5					
Result		Error/Alarm		Start 10:31:15 05/Jan/2000	
Alarm [Second]		Error [Count]		Display data [Current]	
Input			PDH		
P-fail	0 a	AIS139M	0 a		
LOS	0 a	LOF139M	0 a		
		RDI139M	0 a		
Code					
	0 a	FAS139M	0 a		
		REI139M	0 a		
Alarm			Error		
VP-AIS	0 a	VC-AIS	0 a	Cell	0
VP-RDI	0 a	VC-RDI	0 a	Correct	0 a
VP-LOC	5.0E06	VC-LOC	5.0E06	Discard	0 a
				Nonconf	0 a
				FM Lost	0 a
				FM Misin	0 a
				FM BIPV	0 a
				FM SECB	0 a
				BR Lost	0 a
				BR Misin	0 a
LCD	0 a	Sync.	0 a	BR BIPV	0 a
				BR SECB	0 a
				DiscPDU	0 a
				FRMsize	0 a
				CRC32	0 a
				Length	0 a
				Abort	0 a
				Bit	0 a

- エラーは個数表示またはレートが選択できます。
- AALに関するエラーの挿入及び検出については「2.4.1 Error/Alarm副画面」をご覧ください。
- Display dataを「current」にすると、測定中の結果が表示されます。
- Analyze:Cell monitorを選択すると、測定中のセルをモニタすることができます。



解析(2)

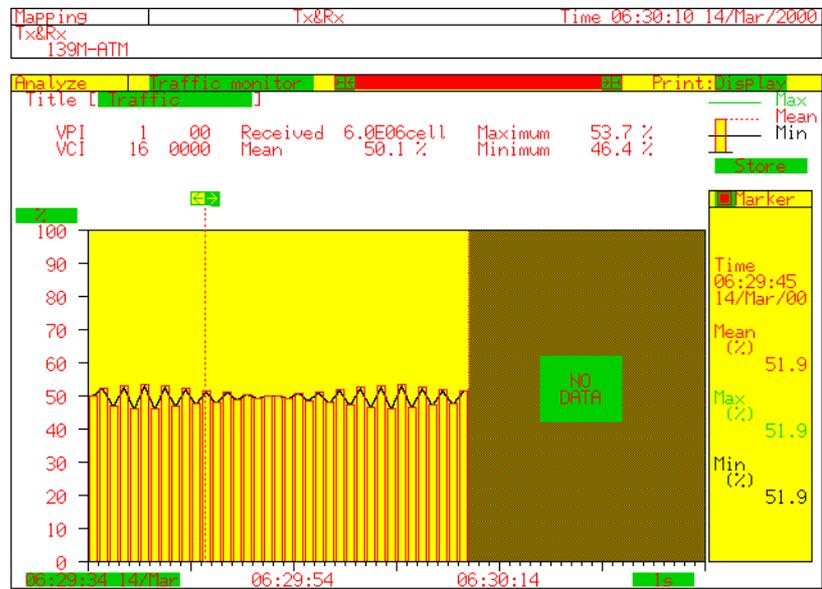
Analyze : Live monitor画面では、VPI, VCI, Cell/s, グラフのモニタができます。



- モニタ項目にFM MisINS/Lostを選択すると、左からMisINS(赤), Lost(緑)の順に並んでグラフ表示されます。色分けの区切りは測定値に関らず割合に従っています。
- エラー項目を0.191に設定するとLost(赤), MisINS(緑), Errorrd(黄)の3種類が積み重なってモニタできます。それぞれは測定値に関らず割合に従っています。
- モニタ項目Traffic以外では「Count」に合計の値が表示されます。
- カーソルを「Channel Search」に移動してSetキーを押すと、サーチを行いません。
- 受信アラームは、最上位の1項目のみが表示されます。

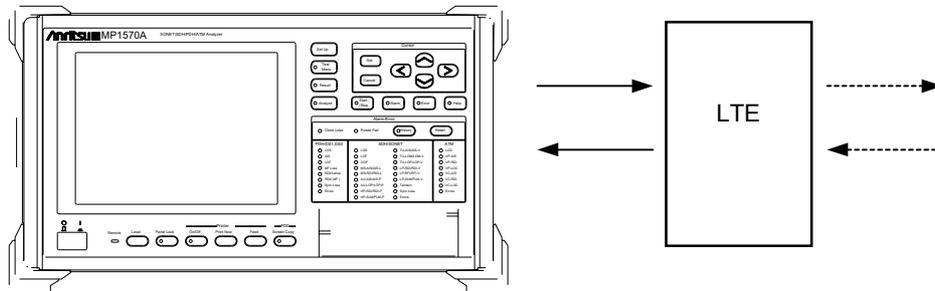
## 解析(3)

Analyze : Traffic monitor画面では、受信フィルタを通過したセル数がグラフ表示されます。



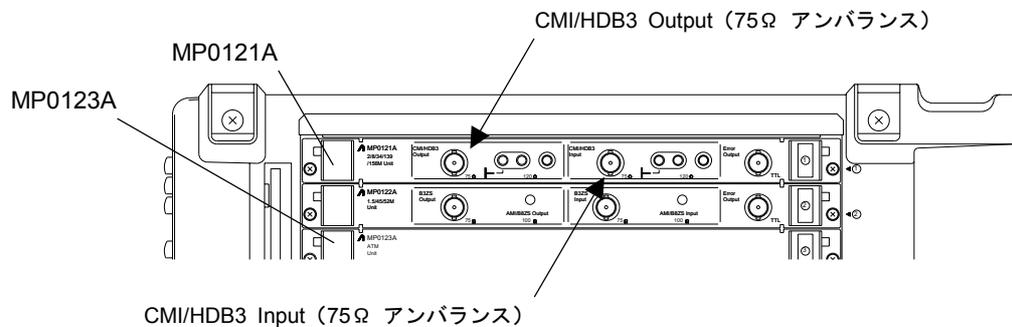
## 3.2 1-point CDV測定

1-point CDV測定は、受信セル間のゆらぎを測定します。ここでは、下記のような測定系で、139MのLTE(Line Terminal Equipment)の出力をモニタする例を用いて説明します。



### 3.2.1 測定系の接続

- (1) MP1570Aの電源スイッチをOffにして、MP0121A 2/8/34/139/156M UnitとMP0123A ATM Unitを装着します。
- (2) 受信側の接続 ..... LTEの出力コネクタとMP0121AのCMI/HDB3 Inputコネクタを、BNC (75Ω) 同軸ケーブルで接続します。
- (3) 送信側の接続 ..... MP0121AのCMI/HDB3 OutputコネクタとLTEの入力コネクタを、BNC (75Ω) 同軸ケーブルで接続します。



- (4) (2)と(3)の接続を行った後、MP1570Aの電源スイッチをOnにします。

## 3.2.2 初期設定

Setup:Mapping画面を下記のように設定します。

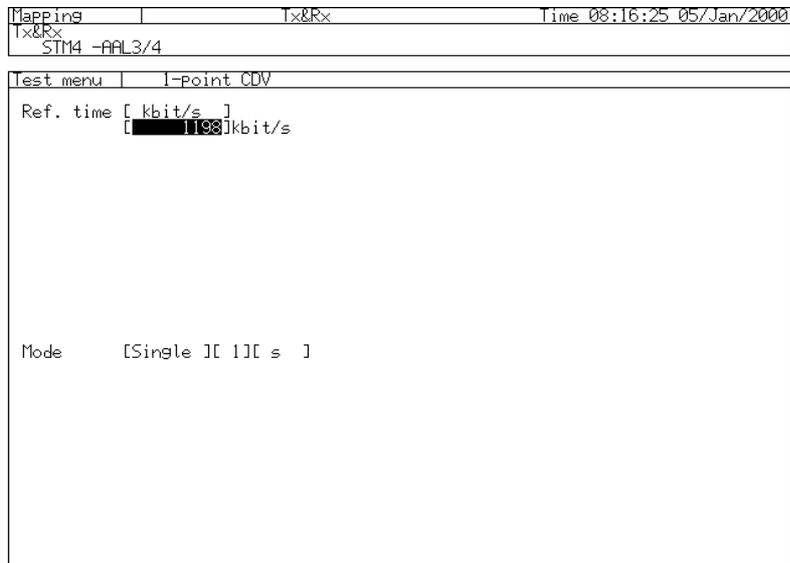
モニタポイントでの信号を受信する場合は、Monitor modeを「ON」にします。

Setup	Mapping	[Tx&Rx]	Time 10:26:25 05/Jan/2000
Config.[ ATM ]			
Bit rate	[	139M	]
Through	[	OFF	]
Mapping	[	AAL5	]
Header structure	[	UNI	]
OAM type	[	End-to-end	]
Clock	[	Internal	]
Monitor mode	[	OFF	]

### 3.2.3 測定

#### 設定と測定の開始

(1) Test menu : 1-point CDV画面を表示させます。



- (a) PCRを設定します。
  - (b) 測定モードを設定します。
- (2) Start/Stop キーを押して測定を開始します。

#### 測定結果の表示

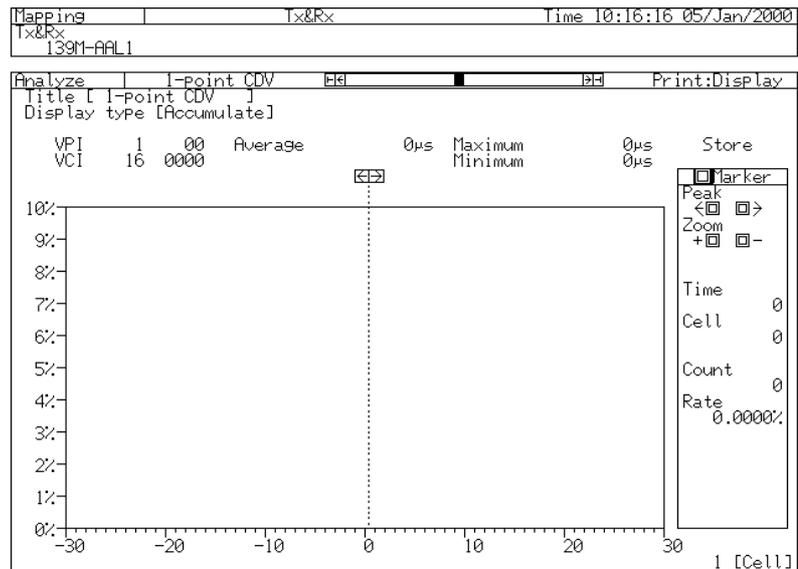
Result : 1-point CDV画面を表示させます。(Test menu主画面で1-point CDVを選択している場合、Result主画面でも1-point CDV副画面が表示されます。)



- この画面では平均セル受信率，最大セル受信数，および最小セル受信数が表示されます。

### 解析

- (1) Analyze: 1-point CDV画面を表示させます。
- (2) 下記のようなグラフが表示され，測定結果を解析することができます。



- 画面のマーカーにより測定ポイントにおける数値データが表示されます。



## 4章 リモートコントロール

---

この章では、ATMの測定に関連するリモートコントロールについて、説明します。

4.1 共通コマンド .....	4-3
4.2 MP1570A固有ステータスレジスタ .....	4-4
4.3 デバイスメッセージの詳細 .....	4-12
4.4 装置固有コマンド .....	4-13
4.4.1 INSTRument subsystem (送受信モードの設定) .....	4-13
4.4.2 SOURce subsystem (送信側の設定) .....	4-15
4.4.3 SENSE subsystem (受信側と測定条件の設定) .....	4-119
4.4.4 DISPlay subsystem (Result画面とAnalyze画面の設定) ...	4-147
4.4.5 CALCulate subsystem .....	4-237
4.4.6 SYSTem subsystem .....	4-263
4.4.7 STATus subsystem .....	4-267



## 4.1 共通コマンド

ここでは、本器のサポートするIEEE488.2共通コマンドの説明をします。共通コマンドは、GPIBインタフェースとRS-232Cインタフェースのどちらにも共通して使用できます。本器のサポートする共通コマンドは、すべてシーケンシャルコマンドです。

下表に、本器がサポートするIEEE488.2共通コマンドを示します。

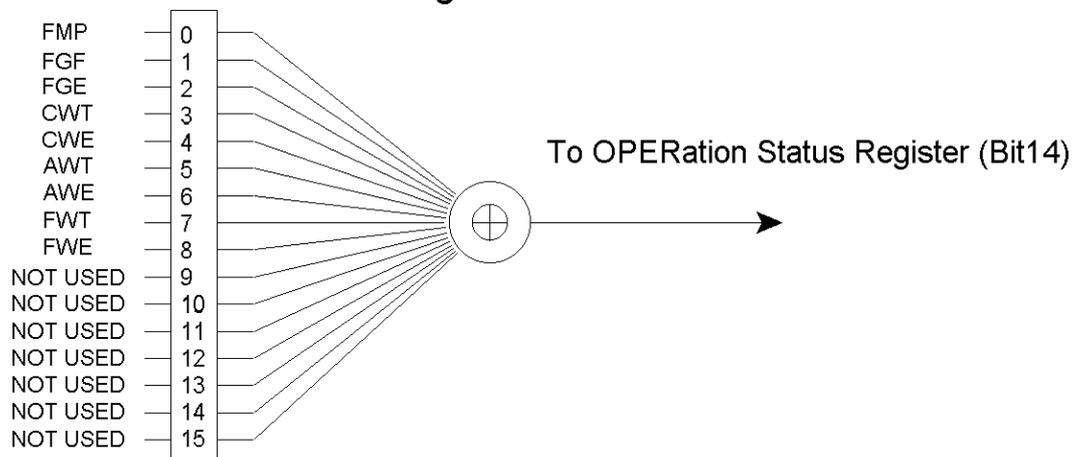
IEEE488.2共通コマンドリスト	
ニーモニック	コマンド フルスペル名
*IDN?	Identification Query
*RST	Reset Command
*TST?	Self Test Query
*OPC	Operation Complete Command
*OPC?	Operation Complete Query
*WAI	Wait Continue Command
*CLC	Clear Stauts Command
*ESE	Standard Event Stauts Enable Command
*ESE?	Standard Event Stauts Enable Query
*ESR?	Standard Event Stauts Register Query
*SRE	Service Request Enable Command
*SRE?	Service Request Enable Query
*STB?	Read Stauts Byte Query
*TRG	Trigger Command
*PSC	Power On Stauts Clear Command
*PSC?	Power On Stauts Clear Query
*SAV	Save Command
*RCL	Recall Command
*OPT?	Option Identification Query

### 注

その他のコマンドについては、「MP1570A SONET/SDH/PDH/ATMアナライザ取扱説明書 Vol.2 リモートコントロール」をご覧ください。

## 4.2 MP1570A固有ステータスレジスタ

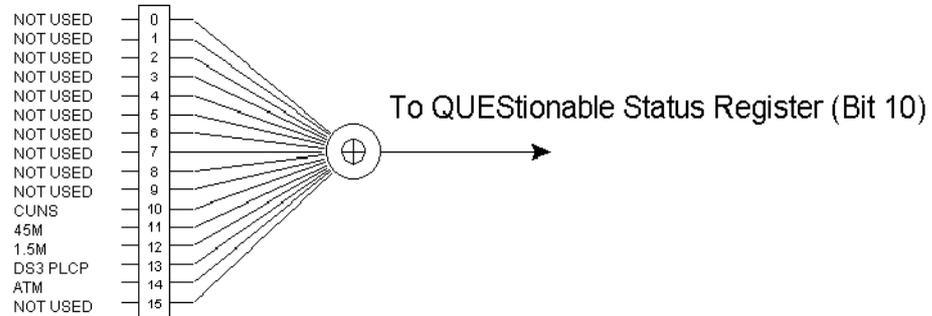
### INSTrument2 Status Register



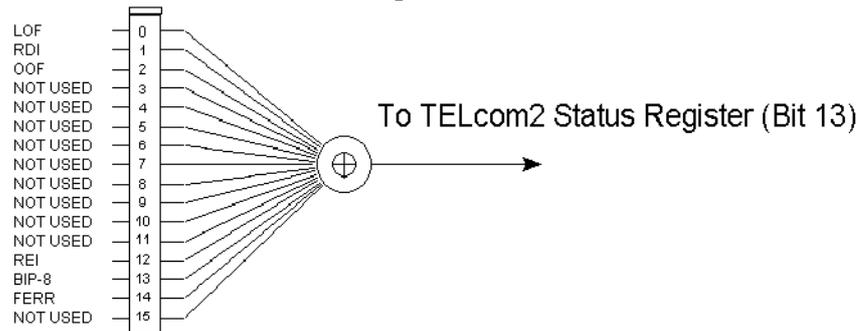
INSTrument2ステータスレジスタのビット定義

DB0	FMP (Freq. Monitor Period)	周波数モニタの更新タイミングを示す。
DB1	FGF (Freq. Graph Full)	Freq.グラフデータで、メモリの空き容量がなくなったことを示す。
DB2	FGE (Freq. Graph Empty)	Freq.グラフデータが空であることを示す。
DB3	CWT (Cell Waiting for capture End)	CELLキャプチャトリガ待ちであることを示す。
DB4	CWE (Cell Waiting for capture End)	CELLキャプチャ終了待ち状態であることを示す。
DB5	AWT (APS Waiting for Trigger)	APSキャプチャトリガ待ちであることを示す。
DB6	AWE (APS Waiting for capture End)	APS終了待ち状態であることを示す。
DB7	FWT (FRAME Waiting for Trigger)	FRAMEキャプチャトリガ待ちであることを示す。
DB8	FWE (FRAME Waiting for capture End)	FRAME終了待ち状態であることを示す。

## TELcom2 Status Register



## DS3 PLCP Status Register



## TELcom2ステータスレジスタのビット定義

DB10	CONS(Cell ch monitor search UNsucceeded)	Live monitorでサーチできなかったことを示す。
DB11	45M (45M status register summary)	45Mステータスレジスタサマリ
DB12	1.5M (1.5M status register summary)	1.5Mステータスレジスタサマリ
DB13	DS3 PLCP(DB3 PLCP status register summary)	DS3 PLCPステータスレジスタサマリ
DB14	ATM(ATM status register summary)	ATMステータスレジスタサマリ

## DS3 PLCPステータスレジスタのビット定義

DB0	LOF (Loss Of Frame)	LOFが発生したことを示す。
DB1	RDI (Remote Alarm Indication)	RDIが発生したことを示す。
DB2	OOF (Out of Frame)	OOFが発生したことを示す。
DB12	REI (Remote Error Indication)	REIが発生したことを示す。
DB13	BIP-8 (BIP-8 error)	BIP-8があったことを示す。
DB14	FERR( Frame Error)	フレームエラーがあったことを示す。

## ATMステータスレジスタのビット定義

DB0	LCD(Lost of cell sync)	Lost of cell syncが発生したことを示す。
DB1	Correct(Corrected cell count)	Corrected cell errorが発生したことを示す。
DB2	Discard(Discarded cell count)	Discarded cell errorが発生したことを示す。
DB3	Nonconf(Non conforming cell error)	Non-Conforming cell errorが発生したことを示す。
DB6	VP(VP status register summary)	VPステータスサマリ
DB7	VC(VC status register summary)	VCステータスサマリ
DB8	0.191(0.191 status register summary)	0.191ステータスサマリ
DB9	AAL1(AAL1 status register summary)	AAL1ステータスサマリ
DB10	AAL2(AAL2 status register summary)	AAL2ステータスサマリ
DB11	AAL34(AAL34 status register summary)	AAL34ステータスサマリ
DB12	AAL5(AAL5 status register Summary)	AAL5ステータスサマリ
DB13	PM(PM status register summary)	PMステータスサマリ

## VPステータスレジスタのビット定義

DB0	VP-AIS(VP-SegmentAIS)	VP-AISが発生したことを示す。
DB1	VP-RDI(VP-segmentRDI)	VP-RDIが発生したことを示す。
DB2	VP-LOC(VP-segmentLOC)	VP-LOCが発生したことを示す。

## VCステータスレジスタのビット定義

DB0	VC-AIS(VC-segmentAIS)	VC-AISが発生したことを示す。
DB1	VC-RDI(VC-SegmentRDI)	VC-RDIが発生したことを示す。
DB2	VC-LOC(VC-segmentLOC)	VC-LOCが発生したことを示す。

## 0.191ステータスレジスタのビット定義

DB0	Lost(Lost cell)	損失セルが発生したことを示す。
DB1	MISINS(Misinserted cell)	誤配セルが発生したことを示す。
DB2	Errored(Errored cell)	誤りセルが発生したことを示す。
DB3	SECB(SECB)	SECBエラーが発生したことを示す。

## ALL1ステータスレジスタのビット定義

DB0	LOST (Lost cell)	損失セルが発生したことを示す。
DB1	SNP (SNP error)	SNPエラーが発生したことを示す。
DB2	UCorSNP (Uncorrectable SNP error)	Uncorrectable SNPエラーが発生したことを示す。

## ALL2ステータスレジスタのビット定義

DB0	P(P error)	Pエラーが発生したことを示す。
DB1	OSF(OSF error)	OSFエラーが発生したことを示す。
DB2	SN(SN error)	SNエラーが発生したことを示す。
DB8	CPS HEC(HEC error)	HEC(CPS)エラーが発生したことを示す。
DB9	LI(LI error)	LIエラーが発生したことを示す。

## AAL3/4ステータスレジスタのビット定義

DB0	CRC10(CRC10 error)	CRC10エラーが発生したことを示す。
DB1	SN(SN error)	SNエラーが発生したことを示す。
DB2	DiscPDU(Discarded PDU count)	廃棄PDUが発生したことを示す。
DB3	ST(Segment type error)	Segment type errorが発生したことを示す。
DB4	LI(Length indicator error)	Length indicator errorが発生したことを示す。
DB5	Abort(Abort cell count)	Abort cellが発生したことを示す。
DB8	UDlvPDU(Undelivered PDU count)	無配PDUが発生したことを示す。
DB9	CPI(CPI)	CPI errorが発生したことを示す。
DB10	B/ETag(ETag/ETag)	BTag/ETag mismatch errorが発生したことを示す。
DB11	BAsize(BA size error)	BA size errorが発生したことを示す。
DB12	AL(AL error)	AL errorが発生したことを示す。
DB13	Length(Length error)	Length errorが発生したことを示す。

## AAL5ステータスレジスタのビット定義

DB8	DiscPDU(Discarded PDU count)	廃棄PDUが発生したことを示す。
DB9	FRMsize(Frame size error)	Frame sizeエラーが発生したことを示す。
DB10	Length(Length error)	Length errorが発生したことを示す。
DB11	CRC32(CRC32 error)	CRC32エラーが発生したことを示す。
DB12	Abort(Abort cell count)	Abort cellが発生したことを示す。

## PMステータスレジスタのビット定義

DB0	FM Lost(FM Lost cell)	損失FMセルが発生したことを示す。
DB1	FMMisIN(FM Misinserted cell)	誤配FMセルが発生したことを示す。
DB2	FM BIPV(FM BIPV error)	FM BIPVエラーが発生したことを示す。
DB3	FM SECB(FM SECB error)	FM SECBエラーが発生したことを示す。
DB8	BR Lost(BR Lost cell)	損失BRセルが発生したことを示す。
DB9	BRMisIN(BR Misinserted cell)	誤配BRセルが発生したことを示す。
DB10	BR BIPV(BR BIPV error)	BR BIPVエラーが発生したことを示す。
DB11	BR SECB(BR SECB error)	BR SECBエラーが発生したことを示す。

## 4章 リモートコントロール

### VP スタージスタ

VP-AIS	0
VP-RDI	1
VP-LOC	2
NOT USED	3
NOT USED	4
NOT USED	5
NOT USED	6
NOT USED	7
NOT USED	8
NOT USED	9
NOT USED	10
NOT USED	11
NOT USED	12
NOT USED	13
NOT USED	14
NOT USED	15

### VC スタージスタ

VC-AIS	0
VC-RDI	1
VC-LOC	2
NOT USED	3
NOT USED	4
NOT USED	5
NOT USED	6
NOT USED	7
NOT USED	8
NOT USED	9
NOT USED	10
NOT USED	11
NOT USED	12
NOT USED	13
NOT USED	14
NOT USED	15

### 0.191 スタージスタ

Lost	0
MisINS	1
Errorred	2
SECB	3
NOT USED	4
NOT USED	5
NOT USED	6
NOT USED	7
NOT USED	8
NOT USED	9
NOT USED	10
NOT USED	11
NOT USED	12
NOT USED	13
NOT USED	14
NOT USED	15

### AAL1 スタージスタ

Lost	0
SNP	1
UCorSNP	2
NOT USED	3
NOT USED	4
NOT USED	5
NOT USED	6
NOT USED	7
NOT USED	8
NOT USED	9
NOT USED	10
NOT USED	11
NOT USED	12
NOT USED	13
NOT USED	14
NOT USED	15

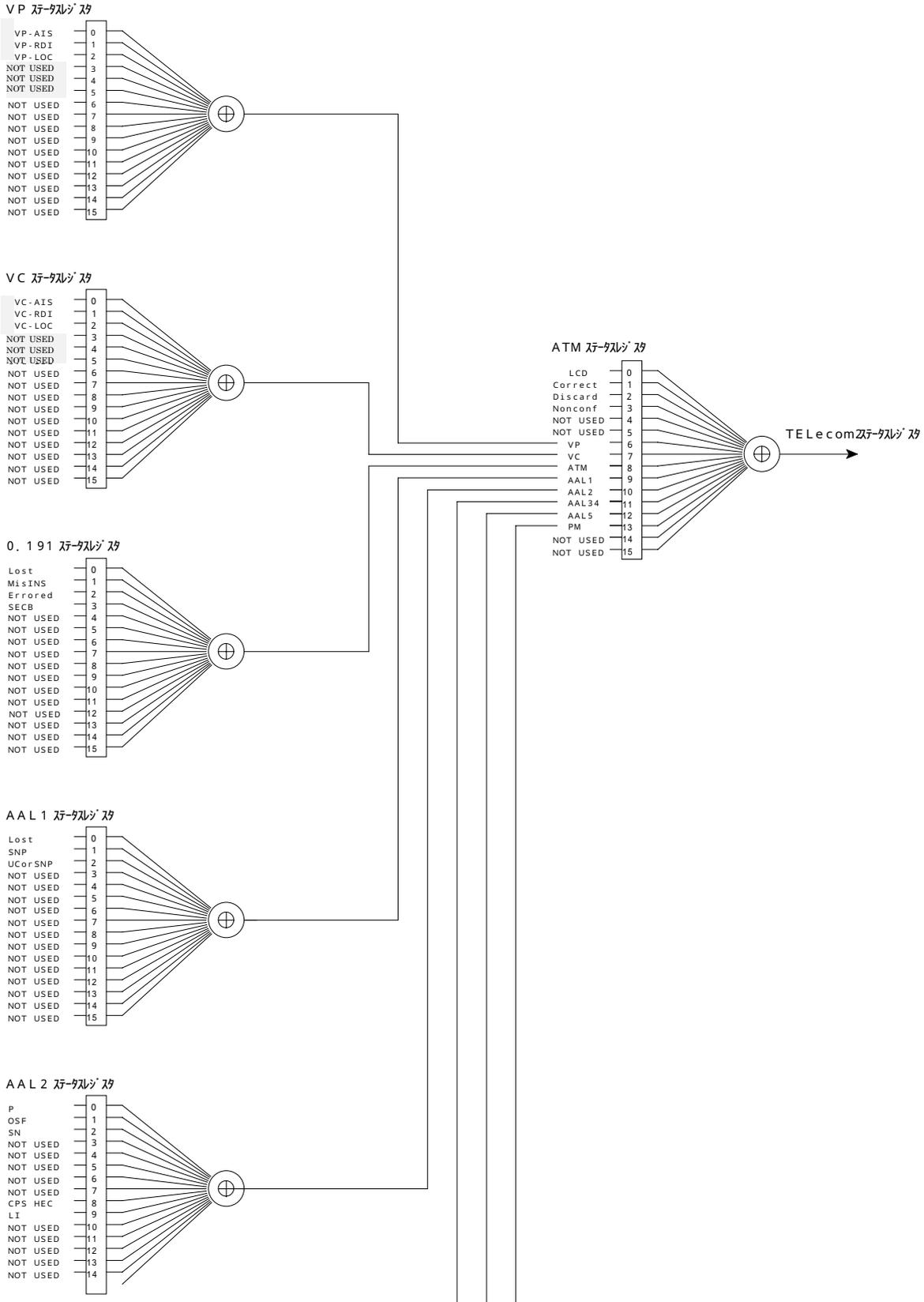
### AAL2 スタージスタ

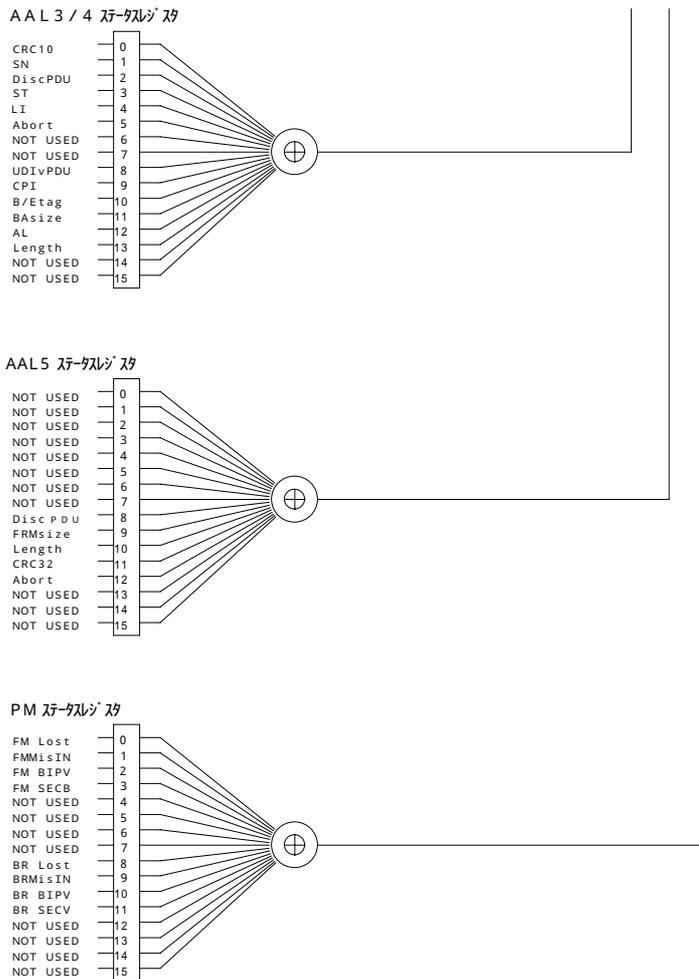
P	0
OSF	1
SN	2
NOT USED	3
NOT USED	4
NOT USED	5
NOT USED	6
NOT USED	7
CPS HEC	8
LI	9
NOT USED	10
NOT USED	11
NOT USED	12
NOT USED	13
NOT USED	14

### ATM スタージスタ

LCD	0
Correct	1
Discard	2
Nonconf	3
NOT USED	4
NOT USED	5
VP	6
VC	7
ATM	8
AAL1	9
AAL2	10
AAL34	11
AAL5	12
PM	13
NOT USED	14
NOT USED	15

### TELe comススタージスタ





**注**

その他のレジスタについては、MP1570A SONET/SDH/PDH/ATMアナライザ取扱説明書 Vol.2をご覧ください。

### 4.3 デバイスメッセージの詳細

デバイスメッセージの詳細については、「MP1570A SONET/SDH/PDH/A  
TMアナライザ取扱説明書 Vol.2 リモートコントロール」をご覧ください。

## 4.4 装置固有コマンド

ここでは、ATM 測定に関連する装置固有コマンドの詳細について説明します。

- ATM 以外の測定に関するコマンドについては、「MP1570A SONET/SDH/PDH/ATM アナライザ取扱説明書 Vol.2 リモートコントロール」をご覧ください。

### 4.4.1 INSTRUMENT subsystem (送受信モードの設定)

INSTRUMENTサブシステムでは、送信と受信を同時に設定するか、または別々に設定するかを選択します。

機能	コマンド	パラメータ
<i>Page 4-14</i>		
試験項目を設定	:INSTRUMENT:CONFIG	type
試験項目の問い合わせ	:INSTRUMENT:CONFIG?	



## 4.4.2 SOURCE subsystem (送信側の設定)

SOURCEサブシステムでは、送信側の設定を行います。

機能	コマンド	パラメータ
<i>Page 4-27</i>		
45Mの信号のPLCPを設定	:SOURCE:TELECOM:M45:PLCP	boolean
45M信号のPLCPを問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:M45:PLCP?	
<i>Page 4-27</i>		
FAS PLCPエラーを挿入	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TYPE	etype
送信信号に対して、挿入するエラーの種類を問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TYPE?	
エラー挿入の割合を設定	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:TYPE	erate
エラー挿入の割合を問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:TYPE?	
Burst設定時に、エラー挿入ビット数を設定	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:BURST:BIT	bit
Burst時のエラー挿入ビット数を問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:BURST:BIT?	
Programable rateエラー付加での付加値を設定	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:PROGRATE	error
Prog.rateエラー付加での付加値を問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:PROGRATE?	
Alternate時のエラー付加フレーム数を設定	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:ERROR	error
Alternate時のエラー付加フレーム数設定を問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:ERROR?	
Alternate時のノーマル付加フレーム数を設定	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:NORMAL	normal
Alternate時のノーマル付加フレーム数設定を問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:NORMAL?	
<i>Page 4-31</i>		
送信信号のPOHプリセットデータのC2データを設定 (ニーモニック形式)	:SOURCE:TELECOM:OHPRESET:SLABEL	pohtype
	:SOURCE:TELECOM:OHPRESET:PLABEL	string
送信信号のPOHプリセットデータについて、C2のニーモニックデータを問い合わせ	:SOURCE:TELECOM:OHPRESET:SLABEL?	pohtype
	:SOURCE:TELECOM:OHPRESET:PLABEL?	
<i>Page 4-32</i>		
K1(1-4bit)を設定 (ニーモニック形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPMESSAGES:REQUEST	request
K1(5-8bit)を設定 (ニーモニック形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPMESSAGES:CHANNEL	mspch
K2(1-4bit)を設定 (ニーモニック形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPMESSAGES:BRIDGE	bridge
K2(5bit)を設定 (ニーモニック形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPMESSAGES:ARCHITECT	arch
K2(6-8bit)を設定(ニーモニック形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPMESSAGES:RESERVED	res
<i>Page 4-36</i>		
K1(1-4bit)を設定 (ビット形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPBITS:REQUEST	string
K1(5-8bit)を設定 (ビット形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPBITS:CHANNEL	string
K2(1-4bit)を設定 (ビット形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPBITS:BRIDGE	string
K2(5bit)を設定 (ビット形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPBITS:ARCHITECT	string
K2(6-8bit)を設定 (ビット形式)	:SOURCE:TELECOM:MSPBITS:RESERVED	string

## 4章 リモートコントロール

### Page 4-38

ポインタ値(NDF)を設定	:SOURCE:TELECOM:PSETting:NDFSet	ptype, string
ポインタ値(SS)を設定	:SOURCE:TELECOM:PSETting:SSSet	ptype, string
ポインタ値(ID)を設定します	:SOURCE:TELECOM:PSETting:IDSet	ptype numeric
送信信号に対して、+PJCを1回挿入	:SOURCE:TELECOM:PSETting:PPJC	ptype
送信信号に対して、-PJCを1回挿入	:SOURCE:TELECOM:PSETting:NPJC	ptype

### Page 4-40

送信信号のATMマッピングを設定	:SOURCE:ATM:MAPPING	mtype
送信信号のATMマッピングの問い合わせ	:SOURCE:ATM:MAPPING?	

### Page 4-40

送信信号のHeader structureを設定	:SOURCE:ATM:HSTRUCTure	htype
送信信号のHeader structureの問い合わせ	:SOURCE:ATM:HSTRUCTure?	

### Page 4-41

送信信号のOAMタイプを設定	:SOURCE:ATM:OAM	type
送信信号のOAMタイプを問い合わせ	:SOURCE:ATM:OAM?	

### Page 4-41

送信信号のE3プリセットデータを設定	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E3:PATTERN	ohpoint string
送信信号のE3プリセットデータの設定を問い合わせ	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E3:PATTERN?	ohpoint
送信信号のE3プリセットデータ(Payload type)のニーマニック設定	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E3:PTYPE	string
送信信号のE3プリセットデータ(Payload type)の設定の問い合わせを行う。	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E3:PTYPE?	
送信信号のE3プリセットデータのTrail trace pattern設定	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E3:TRACE	string
送信信号のE3プリセットデータのTrail trace patternを問い合わせ	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E3:TRACE?	
送信信号のE3プリセットデータの初期化	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E3:DEFAULT	

### Page 4-43

送信信号のE4プリセットデータを設定	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E4:PATTERN	ohpoint string
送信信号のE4プリセットデータの設定を問い合わせ	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E4:PATTERN?	ohpoint
送信信号のE4プリセットデータ(Payload type)のニーマニック設定	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E4:PTYPE	string
E3のPayload typeのプリセットデータを問い合わせ	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E4:PTYPE?	
送信信号のE4プリセットデータのTrail trace pattern設定	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E4:TRACE	string
送信信号のE4プリセットデータのTrail trace patternを問い合わせ	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E4:TRACE?	
送信信号のE4プリセットデータの初期化	:SOURCE:ATM:OHPRreset:E4:DEFAULT	

## Page 4-45

送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのPLCP設定	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:PLCP	numeric string
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのPLCPを問い合わせ	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:PLCP?	numeric
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのframe設定	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:FRAMe	numeric string
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのframeを問い合わせ	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:FRAMe?	numeric
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのPOI設定	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POI	type string
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのPOIを問い合わせ	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POI?	type
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのPOH設定	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POH	type string
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータのPOHを問い合わせ	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POH?	type
送信信号のDS3 PLCPプリセットデータの初期化	:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:DEFault	

## Page 4-48

ATMセルタイプを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE	type
ATMセルタイプの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE?	

## Page 4-48

Memorized cellの繰り返し個数を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:MEMorized:NUMBe r	numeric
Memorized cellの繰り返し個数の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:MEMorized:NUMBe r?	

## Page 4-49

ヘッダパターンを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:HEADer	gfc, vpi, vci, pt, clp
ヘッダパターンの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:HEADer?	

## Page 4-50

ペイロードタイプを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:TYPE	type
ペイロードタイプの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:TYPE?	
ワードパターンを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:WORD	string
ワードパターンの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:WORD?	

## Page 4-52

セルトラフィックタイプを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution	type
セルトラフィックタイプの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution?	

## Page 4-52

CBRタイプを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:TYPE	type
CBRタイプの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:TYPE?	
CBR時のセルトラフィック(kbit/s)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:BPS	numeric
CBR時のセルトラフィック(kbit/s)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:BPS?	
CBR時のセルトラフィック(Cells/s)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:CPS	numeric
CBR時のセルトラフィック(Cells/s)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:CPS?	

#### 4章 リモートコントロール

CBR時のセルトラフィック(%)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:PERCent	numeric
CBR時のセルトラフィック(%)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:PERCent?	

Page 4-54

CBRタイプを設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:TYPE	type
BURStタイプの問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:TYPE?	
BURSt:RMAX時のセルトラフィック(kbit/s)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:BPS	numeric
BURSt:RMAX時のセルトラフィック(kbit/s)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:BPS?	
BURSt:RMIN時のセルトラフィック(kbit/s)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPS	numeric
BURSt:RMIN時のセルトラフィック(kbit/s)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPS?	
BURSt:RMAX時のセルトラフィック(Cells/s)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:CPS	numeric
BURSt:RMAX時のセルトラフィック(Cells/s)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:CPS?	
BURSt:RMIN時のセルトラフィック(Cells/s)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:CPS	numeric
BURSt:RMIN時のセルトラフィック(Cells/s)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:CPS?	
BURSt:RMAX時のセルトラフィック(%)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:PERCent	numeric
BURSt:RMAX時のセルトラフィック(%)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:PERCent?	
BURSt:RMIN時のセルトラフィック(%)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:PERCent	numeric
BURSt:RMIN時のセルトラフィック(%)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:PERCent?	
BURSt時のセルトラフィック(cell)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T1	numeric
BURSt時のセルトラフィック(cell)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T1?	
BURSt時のセルトラフィック(cell)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T2	numeric
BURSt時のセルトラフィック(cell)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T2?	

Page 4-59

CBR with CDVタイプを設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE	type
CBR with CDVタイプの問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE?	
CBR with CDV時のCDVT(Cell)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CDVT	numeric
CBR with CDV時のCDVT(Cell)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CDVT?	
CBR with CDV時のセルトラフィック(kbit/s)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:BPS	numeric
CBR with CDV時のセルトラフィック(kbit/s)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:BPS?	
CBR with CDV時のセルトラフィック(Cells/s)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CPS	numeric

CBR with CDV時のセルトラフィック(Cells/s)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CPS?	
CBR with CDV時のセルトラフィック(%)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:PERCent	numeric
CBR with CDV時のセルトラフィック(%)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:PERCent?	

## Page 4-62

POISson時のセルトラフィック(%)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:POISson[:PERCent]	numeric
POISson時のセルトラフィック(%)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:POISson[:PERCent]?	

## Page 4-62

SAWToothタイプを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:TYPE	type
SAWToothタイプの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:TYPE?	
SWATooth:RMAX時のセルトラフィック(kbit/s)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:BP	numeric
SAWTooth:RMAX時のセルトラフィック(kbit/s)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:BP?	
SAWTooth時のセルトラフィック(kbit/s)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:BP	numeric
SAWTooth:RMIN時のセルトラフィック(bit/s)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:BP?	
SAWTooth時のセルトラフィック:RMAX(Cells/s)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:CP	numeric
SAWTooth:RMAX時のセルトラフィック(Cells/s)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:CP?	
SAWTooth時のセルトラフィックRMIN(Cells/s)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:CP	numeric
SAWTooth:RMIN時のセルトラフィック(Cells/s)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:CP?	
SAWTooth:RMAX時のセルトラフィック(%)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:PERCent	numeric
SAWTooth:RMAX時のセルトラフィック(%)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:PERCent?	
SAWTooth:RMIN時のセルトラフィック(%)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:PERCent	numeric
SAWTooth:RMIN時のセルトラフィック(%)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:PERCent?	
SAWTooth時のセルトラフィック(cell)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T1	numeric
SAWTooth時のセルトラフィック(cell)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T1?	
SAWTooth時のセルトラフィック(cell)を設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T2	numeric
SWATooth時のセルトラフィック(cell)の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T2?	

## Page 4-67

送出タイプを設定	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODE	mode
送出タイプの問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODE?	
Singleセル送出の開始を指示	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:START	
Singleセル送出の停止を指示	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STOP	
Singleセル送出状態の問い合わせ	:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STATe?	

## 4章 リモートコントロール

### Page 4-69

Background cellのTraffic(%)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:PERCe nt	traffic
Background cell Traffic(%) (1~10,Total) の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:PERCe nt?	
Background cellのTraffic(Cell/s)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:CPS	traffic
Background cell Traffic(cell/s) (1~10,Total) の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:CPS?	
Background cellのTraffic(type)を設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:TYPE	type
Background cell Traffic(type) (1~10) の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:TYPE?	

### Page 4-71

AAL2のダミーパケットトラフィック (%) の設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:DAAL2[:PERCent]	numeric
AAL2のダミーパケットトラフィック (%) の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:DAAL2[:PERCent]?	

### Page 4-71

Fill cellタイプを設定	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:FCELL	type
Fill cellタイプの問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:FCELL?	

### Page 4-72

送信信号に対して、挿入するアラームの種類を設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TYPE	type
送信信号に対して、挿入するアラームの種類問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TYPE?	
アラーム付加タイミングを設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TIMing	numeric
アラーム付加タイミングの問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TIMing?	
送信信号に対して、挿入するエラーの種類を設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPE	type
送信信号に対して、挿入するエラーの種類問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPE?	
エラー付加バイトを設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:BYTE	numeric
エラー付加バイトの問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:BYTE?	
エラー付加パターンを設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:PATtern	string
エラー付加パターンの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:PATtern?	
エラー挿入の割合を設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:MOD E	mode
エラー挿入の割合の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:MOD E?	
連続エラー付加個数を設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:COU Nt	numeric
連続エラー付加個数の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:COU Nt?	
CCセル付加を設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:CC:SEND	type
CCセル付加状態の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:CC:SEND?	
Loopbackセルタイプを設定	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:TYPE	type
Loopbackセルタイプの問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:TYPE?	
Loopbackセルを送出	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:START	

Loopbackセル送出状態の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:STATe?	
----------------------	---	--

## Page 4-79

PM Forwardセル付加を設定	:SOURCE:ATM:MANual:PM:FM:SEND	type
PM Forwardセル付加状態の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:PM:FM:SEND?	
送信信号に対して、挿入するエラーの種類を設定	:SOURCE:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPE	character
送信信号に対して、挿入するエラーの種類問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPE?	
エラー挿入の割合を設定	:SOURCE:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:MODE	character
エラー挿入の割合の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:MODE?	
PM Backwardセル付加を設定	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:SEND	type
PM Backwardセル付加状態の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:SEND?	
送信信号に対して、挿入するエラーの種類を設定	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPE	character
受信信号に対して、挿入するエラーの種類問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPE?	
エラー挿入の割合を設定	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TIMing:MODE	character
エラー挿入の割合の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TIMing:MODE?	
BRセルの挿入間隔を設定	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:INTerval	numeric
BRセルの挿入間隔の問い合わせ	:SOURCE:ATM:MANual:PM:BR:INTerval?	

## Page 4-84

ATM:O.191時のペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:O191:PAYLoad	string
ATM:O.191時のペイロードパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:O191:PAYLoad?	
ATM:O.191時のペイロードパターンに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:O191:DEFault	
ATM:O.191時のTCPT設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:O191:TCPT	string
ATM:O.191時のTCPTの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:O191:TCPT?	
ATM:User時のペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:USER:PAYLoad	string
ATM:User時のペイロードパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:USER:PAYLoad?	
ATM:User時のペイロードパターンに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:ATM:USER:DEFault	

## Page 4-85

AAL1時のPointerを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:AAL1:POINter	string
AAL1時のPointerの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATtern:AAL1:POINter?	
AL1時のペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:AAL1:PAYLoad	string
AAL1時のペイロードパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATtern:AAL1:PAYLoad?	
AAL1時のペイロードパターンに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:AAL1:DEFault	
AAL1時のP-formatを設定	:SOURCE:ATM:PATtern:AAL1:PFORmat	boolean

#### 4章 リモートコントロール

AAL1時のP-formatの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PFORmat?	
AAL1時のRTS設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:RTS	string
AAL1時のRTSの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:RTS?	

##### Page 4-87

AAL2時のCID(Primary)設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PCID	string
AAL2時のCID(Primary)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PCID?	
AAL2時のLI設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:LI	numeric
AAL2時のLIの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:LI?	
AAL2時のPPT(Primary)設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PPPT	string
AAL2時のPPT(Primary)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PPPT?	
AAL2時のUUI(Primary)設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PUUI	STRING
AAL2時のUUI(Primary)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PUUI?	
AAL2時のPayload設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PAYLoad	string
AAL2時のPayloadの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PAYLoad?	
AAL2時のCID(Dummy)設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DCID	string
AAL2時のCID(Dummy)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DCID?	
AAL2時のPPT(Dummy)設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DPPT	string
AAL2時のPPT(Dummy)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DPPT?	
AAL2時のPPT(Dummy)設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DUUI	string
AAL2時のUUI(Dummy)の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DUUI?	
AAL2時のPAYLoadの初期化	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DEFault	

##### Page 4-91

AAL3/4時のMID設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:MID	string
AAL3/4時のMIDの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:MID?	
AAL3/4時のCPIを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:CPI	string
AAL3/4時のCPIの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:CPI?	
AAL3/4時のBTag,ETagを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:BTAG	string
AAL3/4時のBTag,ETagの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:BTAG?	
AAL3/4時のBASizeを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:BASize	numeric
AAL3/4時のBASizeの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:BASize?	
AAL3/4時のLengthを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:LENGth	numeric
AAL3/4時のLengthの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:LENGth?	

##### Page 4-93

AAL5時のLengthを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL5:LENGth	numeric
AAL5時のLengthの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL5:LENGth?	
AAL5時のCPCS-UUを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL5:UU	string
AAL5時のCPCS-UUの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL5:UU?	
AAL5時のCPIを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL5:CPI	string
AAL5時のCPIの問い合わせを	:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL5:CPI?	

##### Page 4-94

65535byteペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:PAYLoad:PATTERN	numeric string
65535byteペイロードパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:PAYLoad:PATTERN?	numeric1 numeric2
65535byteペイロードパターンに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:PAYLoad:DEFault	string

## Page 4-95

AIS cell Function specific fieldを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AIS:FSField	string
AIS cell Function specific fieldの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:AIS:FSField?	
AIS cell Function specific fieldに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:AIS:DEFAULT	
AIS cellのReserve設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:AIS:RESERVE	string
AIS cellのReserveの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:AIS:RESERVE?	

## Page 4-96

RDI cell Function specific fieldを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:RDI:FSField	string
RDI cell Function specific fieldの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:RDI:FSField?	
RDI cell Function specific fieldに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:RDI:DEFAULT	
RDI cellのReserve設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:RDI:RESERVE	string
RDI cellのReserveの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:RDI:RESERVE?	

## Page 4-97

User program cellのOAM type設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:OAM	string
User program cellのOAM typeの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:OAM?	
User program cellのFunction type設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FUNCTION	string
User program cellのFunction typeの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FUNCTION?	
User program cell Function specific fieldを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FSField	string
User program cell Function specific fieldの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FSField?	
User program cell Function specific fieldに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:DEFAULT	
User program cellのReserve設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:RESERVE	string
User program cellのReserveの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:RESERVE?	

## Page 4-98

CC cell Function specific fieldを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:CC:FSField	string
CC cell Function specific fieldの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:CC:FSField?	
CC cell Function specific fieldに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:CC:DEFAULT	
CC cellのReserve設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:CC:RESERVE	string
CC cellのReserveの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:CC:RESERVE?	

#### 4章 リモートコントロール

##### Page 4-99

Loopback cellのIndicationを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:INDication	string
Loopback cellのIndicationの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:INDication?	
Loopback cellのCorrelation Tagを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:CTAG	string
Loopback cellのCorrelation Tagの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:CTAG?	
Loopback cellのLocation IDを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:LOCATION	string
Loopback cellのLocation IDの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:LOCATION?	
Loopback cellのSource IDを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:SOURCE	string
Loopback cellのSource IDの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:SOURCE?	
Loopback cellのUnusedを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:UNUSED	string
Loopback cellのUnusedの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:UNUSED?	
Loopback cellのIndication, Correlation tag, Location ID, Source ID, Unusedに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:DEFAULT	
Loopback cellのReserve設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:RESERVE	string
Loopback cellのReserveの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:RESERVE?	

##### Page 4-102

Forward monitoringのTSTPを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:TSTP	string
Forward monitoringのTSTPの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:TSTP?	
Forward monitoringのUnusedを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:UNUSED	string
Forward monitoringのUnusedの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:UNUSED?	
Forward monitoringのTSTP, Unusedに初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:DEFAULT	
Forward monitoringのReserve設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:RESERVE	string
Forward monitoringのReserveの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:RESERVE?	

##### Page 4-104

Backward reportのUnused1を設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:UNUSED1	string
Backward reportのUnused1の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:UNUSED1?	
Backward reportのTUCO+1を設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TUCO1	character
Backward reportのTUCO1の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TUCO1?	
Backward reportのTUCOを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TUCO	character
Backward reportのTUCOの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TUCO?	
Backward reportのTSTPを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TSTP	string

Backward reportのTSTPの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TSTP?	
Backward reportのUnused2を設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:UNUSed2	string
Backward reportのUnused2の問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:UNUSed2?	
Backward reportのUnused1,TSTP,Unused2に初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:DEFault	
Backward reportのReserve設定(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:REServe	string
Backward reportのReserveの問い合わせ(ビット形式)	:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:REServe?	

## Page 4-106

Background cell のヘッダパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:HEADer	numeric pattern
Background cell のヘッダパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:HEADer?	numeric
Background cell のペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:PAYLoad	numeric string
Background cell のペイロードパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:PAYLoad?	numeric
Background cell のCRC10計算を指示	:SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:CRC10	numeric
Background cell に初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:DEFault	type

## Page 4-108

Memorized cell のヘッダパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:HEADer	numeric pattern
Memorized cell のヘッダパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:HEADer?	numeric
Memorized cell のペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:PAYLoad	numeric string
Memorized cell のペイロードパターンの問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:PAYLoad?	numeric
Memorized cell のCRC10計算を指示	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:CRC10	numeric
Memorized cell に初期パターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:DEFault	type numeric
Memorized cell の編集(ペースト)	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:PASTe	numeric
Memorized cell の編集(カット)	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:CUT	numeric
Memorized cell の編集(コピー)	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:COpy	numeric
Memorized cell の編集(インサート)	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:INSert	numeric
キャプチャ結果をMemorized cellにコピー	:SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:CAPTurE	

## Page 4-112

送信するAAL5 フレームのペイロードにおいてIPを選択した場合にIPの種類を選択	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:PAYLoad	type
送信するAAL5 フレームのペイロードにおいてIPを選択した場合にIPの種類を問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:PAYLoad?	

#### 4章 リモートコントロール

送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合のヘッダパターンを設定します。	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V4:HEADER	
送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に、ヘッダの設定状態を問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V4:HEADER?	
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に、Source address または Destination addressを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V4:ADDRESS	type, adr1 adr2, adr3 adr4
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に、Source address または Destination addressの設定状態を問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V4:ADDRESS?	type
送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合のヘッダパターンを設定します。	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V6:HEADER	
送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に、ヘッダの設定を問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V6:HEADER?	
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に、Source address または Destination addressを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V6:ADDRESS	type, adr adr2, adr3 adr4, adr5 adr6, adr7 adr8
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に、Source address または Destination addressの設定状態を問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:V6:ADDRESS?	type
送信するAAL5 フレームのペイロードがIPの場合に、ヘッダパターンを初期化	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:DEFAULT	
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に、65535 bytesのペイロードパターンに値を設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V4:INITIAL	init
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に、65535 bytesのペイロードパターンに値を設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V6:INITIAL	init
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に、65535 bytes ペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V4:PATTERN	start string
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に、65535 bytes ペイロードパターンを問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V4:PATTERN?	start stop
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に、65535 bytes ペイロードパターンを設定	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V6:PATTERN	start string
AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に、65535 bytes ペイロードパターンを問い合わせ	:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V6:PATTERN?	start stop

**:SOURce:TELEcom:M45:PLCP <boolean>**

パラメータ	<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA> OFF or 0 ON or 1
機能	45M の信号の PLCP を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.5/45/52M ユニットが装着されていない場合。</li> <li>・ ATM ユニットが装着されていない場合。</li> <li>・ INSTRument:CONFig が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:TELEcom:BRATe が、&lt;M45&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	45M PLCP を OFF に設定する場合。 >:SOURce:TELEcom:M45:PLCP OFF

**:SOURce:TELEcom:M45:PLCP?**

レスポンス	<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0 1
機能	45M 信号の PLCP を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:TELEcom:M45:PLCP? < 0

**:SOURce:TELEcom:ERRor:TYPE <etype>**

パラメータ	<etype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
OFF	エラーを挿入しない。
B1	B1 エラーを挿入する。
B2	B2 エラーを挿入する。
HB3	HP-B3 エラーを挿入する。
LB3	LP-B3 エラーを挿入する。
BIP2	BIP-2 エラーを挿入する。
MREI	MS-REI エラーを挿入する (SDH 用)。
HREI	HP-REI エラーを挿入する (SDH 用)。
LREI	LP-REI エラーを挿入する (SDH 用)。
REIL	REI-L エラーを挿入する。
REIP	REI-P エラーを挿入する。
REIV	REI-V エラーを挿入する。
FAS	(SDH)FAS を挿入する。

BALL	Bit all
BIT139	139Mbit/s 信号にビットエラーを挿入する。
BIT45	45Mbit/s 信号にビットエラーを挿入する。
BIT34	34Mbit/s 信号にビットエラーを挿入する。
BIT8	8Mbit/s 信号にビットエラーを挿入する。
BIT2	2Mbit/s 信号にビットエラーを挿入する。
BIT1_5	1.5Mbit/s 信号にビットエラーを挿入する。
BINF	Bit Info.
CODE	コードエラーを挿入する。
EBIT	E-bit エラーを挿入する。
FAS139	FAS 139M にエラーを挿入する。
FAS45	FAS 45M にエラーを挿入する。
FAS34	FAS 34M にエラーを挿入する。
FAS8	FAS 8M にエラーを挿入する。
FAS2	FAS 2M にエラーを挿入する。
FAS1_5	FAS 1.5M にエラーを挿入する。
REI139	139Mbit/s 信号に REI エラーを挿入する。
REI45	45Mbit/s 信号に REI エラーを挿入する。
REI34	34Mbit/s 信号に REI エラーを挿入する。
PLCPREI	REI PLCP エラーを挿入する。
PARITY	Parity エラーを挿入する。
CRC6	CRC-6 エラーを挿入する。
CBIT	CBIT エラーを挿入する。
BIP8	BIP8 エラーを挿入する。
PLCPFAS	FAS PLCP エラーを挿入する。
POI	POI エラーを挿入する。

機能 送信信号に対して、挿入するエラーの種類を設定します。

使用例 FAS PLCP エラーを挿入する場合。

```
> :SOURce:TELEcom:ERRor:TYPE PLCPFAS
```

### **:SOURce:TELEcom:ERRor:TYPE?**

レスポンス <etype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 送信信号に対して、挿入するエラーの種類を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:TELEcom:ERRor:TYPE?

```
< PLCPFAS
```

**:SOURce:TELEcom:ERRor:TIMing:TYPE <erate>**

パラメータ <erate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE Single error

R1E\_3 1E-3

R1E\_4 1E-4

R1E\_5 1E-5

R1E\_6 1E-6

R1E\_7 1E-7

R1E\_8 1E-8

R1E\_9 1E-9

R1IN16 1 in 16

R2IN16 2 in 16

R3IN16 3 in 16

R4IN16 4 in 26

ALL ALL

R5E\_3 5E-3

R5E\_4 5E-4

R5E\_5 5E-5

R5E\_6 5E-6

R5E\_7 5E-7

R5E\_8 5E-8

R5E\_9 5E-9

BURST Burst

ALTERNATE Alternate

PROGRATE Programmable rate

機能 エラー挿入の割合を設定します。

\* 挿入するエラーによって、設定できるレートが異なります。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :SOURce:TELEcom:BRATe <brate>が M139, M45, M34, M8, M2, または M1.5 で、BURST, ALTERNATE, または PROGRATE を選択したとき。

使用例 Burst の頻度でエラーを挿入する場合。

> :SOURce:TELEcom:ERRor:ERATe BURST

**:SOURce:TELEcom:ERRor:TIMing:TYPE?**

レスポンス <erate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 エラー挿入の割合を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:TELEcom:ERRor:ERATe?

< BURST

**:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:BURSt:BIT <bit>**

パラメータ <bit> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 64000 ステップ値 1

機能 Burst設定時に、エラー挿入ビット数を設定します。  
制約 次の場合無効となります。

:SOURCE:TELECOM:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5  
選択時。

使用例 エラー挿入ビット数を1000に設定する場合。

> :SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:BURSt:BIT 1000

**:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:BURSt:BIT?**

レスポンス <bit> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 Burst時のエラー挿入ビット数を問い合わせます。  
使用例 エラー挿入ビット数を問い合わせる場合。

> :SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:BURSt:BIT?

< 1000

**:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:PROGrate <error>**

パラメータ <error> = <STRING PROGRAM DATA>

“1.0E-2” ~ “9.9E-10” 仮数部 1.0 ~ 9.9 ステップ値 0.1  
指数部 1 ~ 10 ステップ値 1

“1.0E-2”は”1 E-2”でも可

機能 Programable rateエラー付加での付加値を設定します。  
制約 次の場合無効となります。

:SOURCE:TELECOM:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5  
選択時。

使用例 Prog.rateエラー付加での付加値を 1.0E-5 に設定する場合。

> :SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:PROGrate “1.0E-5”

**:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:PROGrate?**

レスポンス <error> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Prog.rateエラー付加での付加値を問い合わせます。  
使用例 Prog.rateエラー付加での付加値を問い合わせる場合。

> :SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:PROGrate?

< “1.0E-5”

**:SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:ERRor <error>**

パラメータ <error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ~ 8000 ステップ値 1

機能 Alternate時のエラー付加フレーム数を設定します。  
制約 次の場合無効となります。

:SOURCE:TELECOM:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5  
選択時。

使用例 エラー付加フレーム数を3000に設定する場合。

> :SOURCE:TELECOM:ERROR:TIMING:ERRor 3000

**:SOURCE:TELEcom:ERRor:TIMing:ERRor?**

レスポンス <error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 Alternate時のエラー付加フレーム数設定を問い合わせます。  
 使用例 Alternate時のエラー付加フレーム数設定を問い合わせる場合。  
 > :SOURCE:TELEcom:ERRor:TIMing:ERRor?  
 < 3000

**:SOURCE:TELEcom:ERRor:TIMing:NORMal <normal>**

パラメータ <normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 8000 ステップ値 1  
 機能 Alternate時のノーマル付加フレーム数を設定します。  
 制約 次の場合無効となります。  
 :SOURCE:TELEcom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5  
 選択時。  
 使用例 ノーマル付加フレーム数を1700に設定する場合。  
 > :SOURCE:TELEcom:ERRor:TIMing:NORMal 1700

**:SOURCE:TELEcom:ERRor:TIMing:NORMal?**

レスポンス <normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 Alternate時のノーマル付加フレーム数設定を問い合わせます。  
 使用例 Alternate時のノーマル付加フレーム数設定を問い合わせる場合。  
 > :SOURCE:TELEcom:ERRor:TIMing:NORMal?  
 < 1700

**:SOURCE:TELEcom:OHPReset:SLABel <pohtype>,<string>****:SOURCE:TELEcom:OHPReset:PLABel <pohtype>,<string>**

パラメータ <pohtype> = <CHARCTER PROGRAM DATA>  
 (SDH) VC4 POH VC4パターン  
 VC3 POH VC3パターン  
 (SONET) STS3 POH STS3パターン  
 STS1 POH STS1パターン  
 <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 C2(b1-8)は、ニーモニック認定可  
 (SDH時)  
 "Unequipped" "UNEQ" (0000 0000)  
 "Equipped-non-specific" "non-specific" (0000 0001)  
 "TUG structure" "TUG" (0000 0010)  
 "Locked TU" "Locked TU" (0000 0011)  
 "Async. 34M or 45M(C-3)" "34M" または "45M" (0000 0100)  
 "Async. 139M(C-4)" "139M" (0001 0010)  
 "ATM mapping" "ATM" (0001 0011)  
 "MAN(DQDB)mapping" "MAN" または "DQDB" (0001 0100)  
 "FDDI mapping" "FDDI" (0001 0101)  
 "O.181 mapping" "O.181" (1111 1110)  
 "VC-AIS" "VC-AIS" (1111 1111)  
 (SONET時)  
 "Unequipped" "UNEQ" (0000 0000)

"Equipped-non-specific"	"non-specific"	(0000 0001)
"VT structure"	"VT"	(0000 0010)
"Locked VT"	"Locked VT"	(0000 0011)
"Async. Mapping DS3"	"DS3"	(0000 0100)
"Async. Mapping DS4NA"	"DS4NA"	(0001 0010)
"Mapping for ATM"	"ATM"	(0001 0011)
"Mapping for DQDB"	"MAN" または "DQDB"	(0001 0100)
"Async. Mapping FDDI"	"FDDI"	(0001 0101)
"Unused"	"UNUSED"	(1111 1110)
"AIS-P"	"AIS-P"	(1111 1111)

※右は省略形式。

機能 送信信号のPOHプリセットデータのC2データを設定します。  
(ニーモニック形式)

使用例 POH VC3 C2のプリセットデータを以下のように設定する場合。  
> :SOURce:TELEcom:OHPReset:SLABel VC3,"Unequipped"

**:SOURce:TELEcom:OHPReset:SLABel? <pohtype>**

**:SOURce:TELEcom:OHPReset:PLABel? <pohtype>**

パラメータ <pohtype> = <CHARCTER PROGRAM DATA>  
レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 送信信号のPOHプリセットデータのC2のニーモニックデータを問い合わせます。

使用例 POH VC3のC2のニーモニックプリセットデータの問い合わせをする場合。  
> :SOURce:TELEcom:OHPReset:SLABel? VC3  
< "Unequipped"

**:SOURce:TELEcom:MSPMessages:REQuest <request>**

パラメータ <request> = <CHARCTER PROGRAM DATA>  
(G.783)

NREQ	No request(0000)
DNR	Do not revent(0001)
RREQ	Reverse request(0010)
UUS3	Unused(0011)
EXER	Exercise(0100)
UUS5	Unused(0101)
WTR	Wait to restore(0110)
UUS7	Unused(0111)
MSW	Manual switch(1000)
UUS9	Unused(1001)
SDLP	Signal degrade low priority(1010)
SDHP	Signal degrade high priority(1011)
SFLP	Signal fall low priority(1100)

	SFHP	Signal fall high priority(1101)
	FSW	Forced switch(1110)
	LOPR	Lockout of protection(1111)
	(G.841)	
	NR	NR(0000)
	RRR	RR-R(0001)
	RRS	RR-S(0010)
	EXERR	EXER-R(0011)
	EXERS	EXER-S(0100)
	WTR	WTR(0101)
	MSR	MS-R(0110)
	MSS	MS-S(0111)
	SDR	SD-R(1000)
	SDS	SD-S(1001)
	SDP	SD-P(1010)
	SFR	SF-R(1011)
	SFS	SF-S(1100)
	FSR	FS-R(1101)
	FSS	FS-S(1110)
	LPS	LP-S(1111)
	SFP	SF-P(1111)
機能		K1(1-4bit)を設定します。(ニーモニック形式)
制約		以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">以外の 場合。
使用例		K1 の 1-4bit を"1011"に設定する場合。 > :SOURce:TELEcom:MSPMessages:REQuest SDHP

### **:SOURce:TELEcom:MSPMessages:CHANnel <mspch>**

パラメータ	<mspch> = <CHARCTER PROGRAM DATA>
	(G.783)
	NCH Null channel(0000)
	WC1 Working channel1(0001)
	WC2 Working channel2(0010)
	WC3 Working channel3(0011)
	WC4 Working channel4(0100)
	WC5 Working channel5(0101)

	WC6	Working channel6(0110)
	WC7	Working channel7(0111)
	WC8	Working channel8(1000)
	WC9	Working channel9(1001)
	WC10	Working channel10(1010)
	WC11	Working channel11(1011)
	WC12	Working channel12(1100)
	WC13	Working channel13(1101)
	WC14	Working channel14(1110)
	ETCH	Extra traffic channel(1111)
	(G.841)	0 ~ 15
機能		K1(5-8bit)を設定します。(ニーモニック形式)
制約		以下の場合、無効とします。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELl">,<"MANual:RCELl">以外の 場合。
使用例		K1 の 5-8bit を"1110"に設定する場合。 > :SOURce:TELEcom:MSPMessages:CHANnel WC14

**:SOURce:TELEcom:MSPMessages:BRIDge <bridge>**

パラメータ		<bridge> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
		(G.783)
	NCH	Null channel(0000)
	WC1	Working channel1(0001)
	WC2	Working channel2(0010)
	WC3	Working channel3(0011)
	WC4	Working channel4(0100)
	WC5	Working channel5(0101)
	WC6	Working channel6(0110)
	WC7	Working channel7(0111)
	WC8	Working channel8(1000)
	WC9	Working channel9(1001)
	WC10	Working channel10(1010)
	WC11	Working channel11(1011)
	WC12	Working channel12(1100)
	WC13	Working channel13(1101)
	WC14	Working channel14(1110)

	ETCH	Extra traffic channel(1111)
	(G.841)	0 ~ 15
機能	K2(1-4bit)を設定します。(ニーモニック形式)	
制約	以下の場合、無効とします。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">以外の 場合。	
使用例	K2 の 1-4bit を"1110"に設定する場合。 > :SOURce:TELEcom:MSPMessages:BRIDge WC14	

### **:SOURce:TELEcom:MSPMessages:ARCHitect <arch>**

パラメータ	<arch> = <CHARACTER PROGRAM DATA> (G.783)	
	OPOA	1+1 architecture(0)
	OCNA	1:n architecture(1)
	(G.841)	
	SHORT	0
	LONG	1
機能	K2(5bit)を設定します。(ニーモニック形式)	
制約	以下の場合、無効とします。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">以外の 場合。	
使用例	K2 の 5bit を"1"に設定する場合。 > :SOURce:TELEcom:MSPMessages:ARCHitect OCNA	

**:SOURce:TELEcom:MSPMessages:RESERVED <res>**

パラメータ <res> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

Idle	000
Bridged	001
Br&Sw	010
Reserved011	011
Reserved100	100
Reserved101	101
MS-RDI	110
MS-AIS	111

機能 K2(6-8bit)を設定します。(ニーモニック形式)  
 制約 次の場合無効となります。

- ・ :INSTrument:CONFIg <type> が、NON または CID の場合。
- ・ :SOURce:TELEcom:BRATe が、<M139>, <M45>, <M34>, <M8>, <M2>, または<M1\_5>の場合。
- ・ :ROUte:THROugh が、<ON>の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例 No.8 K2(6-8bit)をMS-AISに設定する場合。

> :SOURce:TELEcom:MSPMessages:RESERVED MS-AIS

**:SOURce:TELEcom:MSPBits:REQuest <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>

"0000"~"1111"

機能 K1(1-4bit)を設定します。(ビット形式)  
 制約 次の場合無効となります。

- ・ :SOURce:TELEcom:BRATe が、<M139>, <M45>, <M34>, <M8>, <M2>, または<M1\_5>の場合。
- ・ :ROUte:THROugh が、<ON>の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および <"MANual:RCELL">以外の場合。

使用例 K1 の 1-4bit を"1011"に設定する場合。

> :SOURce:TELEcom:MSPBits:REQuest "1011"

**:SOURce:TELEcom:MSPBits:CHANnel <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>

"0000"~"1111"

機能 K1(5-8bit)を設定します。(ビット形式)  
 制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および<"MANual:RCELL">以外の場合。

使用例 K1 の 5-8bit を"1110"に設定する場合。  
 > :SOURce:TELEcom:MSPBits:CHANnel "1110"

### **:SOURce:TELEcom:MSPBits:BRIDge <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "0000"~"1111"

機能 K2(1-4bit)を設定します。(ビット形式)

制約 以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELl">, および<"MANual:RCELl"> 以外の場合。

使用例 K2 の 1-4bit を"1110"に設定する場合。  
 > :SOURce:TELEcom:MSPBits:BRIDge "1110"

### **:SOURce:TELEcom:MSPBits:ARCHitect <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "0"~"1"

機能 K2(5bit)を設定します。(ビット形式)

制約 以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELl">, および<"MANual:RCELl"> 以外の場合。

使用例 K2 の 5bit を"1"に設定する場合。  
 > :SOURce:TELEcom:MSPBits:ARCHitect "1"

### **:SOURce:TELEcom:MSPBits:REServed <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "000"~"101"

機能 K2(6-8bit)を設定します。(ビット形式)

制約 以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELl">, <"MANual:RCELl"> 以外の場合。

使用例 K2 の 6-8bit を"101"に設定する場合。  
 > :SOURce:TELEcom:MSPBits:REServed "101"

**:SOURce:TELEcom:PSETting:NDFSet <ptype>,<string>**

パラメータ <ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 AU AU-PTR, STS-PTR  
 TU TU-PTR, VT-PTR  
 <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "0000"~"1111"

機能 ポインタ値（NDF）を設定します。

制約 以下の場合，無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が, <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および<"MANual:RCELL"> 以外の場合。
- ・ :INSTrument:ATM が<ON>のとき， <TU>設定の場合。

使用例 AU PTR NDF を"1011"に設定する場合。

> :SOURce:TELEcom:PSETting:NDFSet AU,"1011"

**:SOURce:TELEcom:PSETting:SSSet <ptype>,<string>**

パラメータ <ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 AU AU-PTR, STS-PTR  
 TU TU-PTR, VT-PTR  
 <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00"~"11"

機能 ポインタ値（SS）を設定します。

制約 以下の場合，無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が, <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および<"MANual:RCELL"> 以外の場合。
- ・ :INSTrument:ATM が<ON>のとき， <TU>設定の場合。

使用例 AU PTR SS を"10"に設定する場合。

> :SOURce:TELEcom:PSETting:SSSet AU,"10"

**:SOURce:TELEcom:PSETting:IDSet <ptype>,<numeric>**

パラメータ <ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 AU AU-PTR, STS-PTR  
 TU TU-PTR, VT-PTR  
 <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 1023

機能 ポインタ値（ID）を設定します。

制 約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual[:JOFF]"&gt;,&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;、および&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:INSTrument:ATM が&lt;ON&gt;のとき、&lt;TU&gt;設定の場合。</li> </ul>
使用例	<p>AU PTR ID を 10 (十進数) に設定する場合。</p> <pre>&gt; :SOURce:TELEcom:PSETting:IDSet AU,10</pre>

### **:SOURce:TELEcom:PSETting:PPJC <ptype>**

パラメータ	<p>&lt;ptype&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</p> <p>AU            AU-PTR, STS-PTR</p> <p>TU            TU-PTR, VT-PTR</p>
機 能	送信信号に対して、+PJC を 1 回挿入します。
制 約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual[:JOFF]"&gt;,&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:INSTrument:ATM が&lt;ON&gt;のとき、&lt;TU&gt;設定の場合。</li> </ul>
使用例	<p>AU ポインタに+PJC を 1 回挿入する場合。</p> <pre>&gt; :SOURce:TELEcom:PSETting:PPJC AU</pre>

### **:SOURce:TELEcom:PSETting:NPJC <ptype>**

パラメータ	<p>&lt;ptype&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</p> <p>AU            AU-PTR, STS-PTR</p> <p>TU            TU-PTR, VT-PTR</p>
機 能	送信信号に対して、-PJC を 1 回挿入します。
制 約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual[:JOFF]"&gt;,&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:INSTrument:CONFig が&lt;ATM&gt;のとき、&lt;TU&gt;設定の場合。</li> </ul>
使用例	<p>AU ポインタに-PJC を 1 回挿入する場合。</p> <pre>&gt; :SOURce:TELEcom:PSETting:NPJC AU</pre>

### **:SOURce:ATM:MAPPing <mtype>**

パラメータ	<mtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA> AAL1 AAL2 AAL34 AAL5 ATM
機能	送信信号の ATM マッピングを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTrument:CONFIg が、 <ATM>以外の場合。
使用例	送信信号の ATM マッピングを AAL1 に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MAPPing AAL1

### **:SOURce:ATM:MAPPing?**

レスポンス	<mtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	送信信号の ATM マッピングを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MAPPing? < AAL1

### **:SOURce:ATM:HSTRucture <htype>**

パラメータ	<htype> = <CHARACTER PROGRAM DATA> UNI NNI
機能	送信信号の Header structure を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。
使用例	送信信号の ATM マッピングを AAL1 に設定する場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E3:PTYPe "Unequipped", または > :SOURce:ATM:HSTRucture UNI

### **:SOURce:ATM:HSTRucture?**

レスポンス	<htype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	送信信号の Header structure を問い合わせます。
使用例	>:SOURce:ATM:HSTRucture? < UNI

**:SOURce:ATM:OAM <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SEGment Segment

END End-to-end

機能 送信信号の OAM タイプを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ ATM ユニット未装着の場合。
- ・ :INSTRument:CONFIg の設定が、 <ATM> 以外の場合。

使用例 送信信号の OAM タイプを End-to-end に設定する場合。

> :SOURce:ATM:OAM END

**:SOURce:ATM:OAM?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

SEGM Segment

END End-to-end

機能 送信信号の OAM タイプを問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:OAM?

< END

**:SOURce:ATM:OHPReset:E3:PATtern <ohpoint>,<string>**

パラメータ <ohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

FA1, FA2, RDI, REI, PTYPE, PDEP, TMARK, NR, GC

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

"00"~"FF" (HEX 形式) <ohpoint>が, FA1, FA2, NR, GC の場合

"0"~"1" (BIN 形式) <ohpoint>が, RDI, REI, TMARK の場合

"00"~"11" (BIN 形式) <ohpoint>が, PDEP の場合

"000"~"011" (BIN 形式) <ohpoint>が, PTYPE の場合

機能 送信信号の E3 プリセットデータを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。
- ・ :INSTRument:CONFIg の設定が、 <ATM> 以外の場合。

使用例 E3 の FA1 のプリセットデータを"FF"に設定する場合。

> :SOURce:ATM:OHPReset:E3:PATtern FA1,"FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E3:PATtern? <ohpoint>**

パラメータ <ohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 送信信号の E3 プリセットデータの設定を問い合わせます。

使用例 E3 の FA1 のプリセットデータを問い合わせる場合。  
 > :SOURce:ATM:OHPReset:E3:PATtern? FA1  
 < "AB"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E3:PTYPe <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>

"Unequipped"	"UNEQ"	(000)
"Equipped-non-specific"	"non-specific"	(001)
"ATM"	"ATM"	(010)
"SDH TU-12s"	"TU12"	(011)

※右は省略形式。

機能 送信信号の E3 プリセットデータ (Payload type) のモニター設定を行います。

制約 以下の場合、無効とします。。

- ・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。
- ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。

使用例 E3 の Payload type のプリセットデータを"Unequipped"に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:OHPReset:E3:PTYPe "Unequipped"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E3:PTYPe ?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 送信信号の E3 プリセットデータ (Payload type) の設定の問い合わせを行います。

使用例 E3 の Payload type のプリセットデータを問い合わせる場合。

>:SOURce:ATM:OHPReset:E3:PTYPe ?  
 <"Unequipped"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E3:TRACe <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>

文字列長は、0~16 文字とし、""は可とする。

機能 送信信号の E3 プリセットデータの Trail trace pattern を設定します。

データは、ASCII 文字列で表います。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。
- ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。

使用例 E3 の Trail trace を"\*MP1550C PDH/SDH"に設定する場合。

> :SOURce:ATM:OHPReset:E3:TRACe " MP1550C PDH/SDH"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E3:TRACe?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	送信信号の E3 プリセットデータの Trail trace pattern の問い合わせを行います。
使用例	E3 の FA1 のプリセットデータの Trail trace pattern の問い合わせをする場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E3:TRACe? < "*MP1550C PDH/SDH"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E3:DEFault**

パラメータ	なし
機能	送信信号の E3 プリセットデータを初期化します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。</li> <li>・ :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	> :SOURce:ATM:OHPReset:E3:DEFault

**:SOURce:ATM:OHPReset:E4:PATtern <ohpoint>,<string>**

パラメータ	<ohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA> FA1, FA2, P1, P2, RDI, REI, PTYPE, PDEP, TMARK, NR, GC <string> = <STRING PROGRAM DATA> "00"~"FF" (HEX 形式) <ohpoint>が, FA1, FA2, P1, P2, NR, GC の場合 "0"~"1" (BIN 形式) <ohpoint>が, RDI, REI, TMARK の場合 "00"~"11" (BIN 形式) <ohpoint>が, PDEP の場合 "000"~"100" (BIN 形式) <ohpoint>が, PTYPE の場合
機能	送信信号の E4 プリセットデータを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。</li> <li>・ :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	E4 の FA1 プリセットデータを"FF"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E4:PATtern FA1,"FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E4:PATtern? <ohpoint>**

パラメータ	<ohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	送信信号の E4 プリセットデータの設定を問い合わせます。
使用例	E4 の FA1 のプリセットデータを問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E4:PATtern? FA1 < "AB"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E4:PTYPe <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA>
	"Unequipped" "UNEQ" (000)
	"Equipped-non-specific" "non-specific" (001)
	"ATM" "ATM" (010)
	"TUG-2" "TUG-2" (011)
	"TUG-3 & TUG-2" "TUG-3 & TUG-2" (100)
	※右は省略形式。
機能	送信信号の E4 プリセットデータ(Payload type)のニーモニック設定を行います。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。</li> <li>・ :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	E4 の Payload type のプリセットデータを"Unequipped"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E4:PTYPe "Unequipped"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E4:PTYPe?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	送信信号の E4 プリセットデータ(Payload type)の設定の問い合わせを行います。
使用例	E3 の Payload type のプリセットデータを問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E4:PTYPe? < "Unequipped"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E4:TRACe <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "ABCDEFGH01234abcd" 文字列長は、0~16 文字で指定します。
機能	送信信号の E4 プリセットデータの Trail trace pattern を設定します。 データは、ASCII 文字列で表します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。</li> <li>・ :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	E4 の Trail trace を"*MP1550C PDH/SDH"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E4:TRACe " MP1550C PDH/SDH"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E4:TRACe?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	送信信号の E4 プリセットデータの Trail trace pattern の問い合わせを行います。
使用例	E4 の Trail trace pattern を問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:E4:TRACe? < "*MP1550C PDH/SDH"

**:SOURce:ATM:OHPReset:E4:DEFault**

パラメータ	なし
機能	送信信号の E4 プリセットデータを初期化します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。</li> <li>・ :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	> :SOURce:ATM:OHPReset:E4:DEFault

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:PLCP <numeric>,<string>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1~12 ステップ値:1 <string> = <STRING PROGRAM DATA> "00"~"FF"
機能	送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの PLCP を設定します。 <string>は、十六進数で表します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.5/45/52M ユニット未装着の場合。</li> <li>・ :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	DS3 PLCP の PLCP A1 の 4 番目を"FF"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:PLCP 4,"FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:PLCP? <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの PLCP の問い合わせを行います。 <string>は、十六進数で表されます。
使用例	DS3 PLCP の PLCP A1 の 4 番目を問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:PLCP? 4 < "FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:FRAME <numeric>,<string>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1~12 ステップ値:1

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

"00"~"FF"

機能 送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの frame を設定します。  
<string>は、十六進数で指定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ 1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
- ・ :INSTrument:CONFig の設定が、<ATM>以外の場合。

用例 DS3 PLCP の frame A2 の 4 番目を"FF"に設定する場合。

> :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:FRAME 4,"FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:FRAME? <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの frame の問い合わせを行います。

<string>は、十六進数で表されます。

使用例 DS3 PLCP の frame A2 の 4 番目を問い合わせる場合。

> :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:FRAME? 4

< "FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POI <type>,<string>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

P11, P10, P09, P08, P07, P06, P05, P04, P03, P02, P01, P00

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

"00"~"FF"

機能 送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの POI を設定します。  
<string>は、十六進数で指定します。

制約 以下の場合、無効とします

- ・ 1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
- ・ :INSTrument:CONFig の設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 DS3 PLCP の POI P11 を"FF"に設定する場合。

> :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POI P11,"FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POI? <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの POI を問い合わせます。 <string>は、十六進数で表されます。
使用例	DS3 PLCP の POI P11 を問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POI? 4 < "FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POH <type>,<string>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> Z6, Z5, Z4, Z3, Z2, Z1, X7, G1, X10, X11 <string> = <STRING PROGRAM DATA> "00"~"FF"
機能	送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの POH を設定します。 <string>は、十六進数で指定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ 1.5/45/52M ユニット未装着の場合。 ・ :INSTrument:CONFig の設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	DS3 PLCP の POH Z6 を"FF"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POH Z6,"FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POH? <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	送信信号の DS3 PLCP プリセットデータの POH を問い合わせます。 <string>は、十六進数で表されます。
使用例	DS3 PLCP の POH Z6 を問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POH? Z6 < "FF"

**:SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:DEFault**

パラメータ	なし
機能	送信信号の DS3 PLCP プリセットデータを初期化します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ 1.5/45/52M ユニット未装着の場合。 ・ :INSTrument:CONFig の設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	> :SOURce:ATM:OHPReset:DS3Plcp:DEFault

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	O191                      O.191
	USER                      User program
	MEMorized                Memorized cell
機能	ATM セルタイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, および &lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>• :SOURce:ATM:MAPPing が、&lt;AAL1&gt;, &lt;AAL2&gt;, &lt;AAL34&gt;, および &lt;AAL5&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	ATM セルタイプを O.191 に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE O191

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	O191                      O.191
	USER                      User program
	MEM                        Memorized cell
機能	ATM セルタイプを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE? < O191

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:MEMorized:NUMBer <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
	1 ~ 2016      ステップ値:1
機能	Memorized cell の繰り返し個数を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, および &lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>• :SOURce:ATM:MAPPing が、&lt;AAL1&gt;, &lt;AAL2&gt;, &lt;AAL34&gt;, または &lt;AAL5&gt;の場合。</li> <li>• :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE が、&lt;O191&gt;または&lt;USER&gt;の場合。</li> </ul>

使用例 Memorized cell の繰り返し個数を 2016 に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:MEMorized:NUMBer 2016

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:MEMorized:NUMBer?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 Memorized cell の繰り返し個数を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:MEMorized:NUMBer?  
 < 2016

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:HEADer "<gfc>,<vpi>,<vci>,<pt>,<clp>"**

パラメータ <gfc> = <STRING PROGRAM DATA>  
 0 ~ F (HEX 形式)  
 <vpi> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 255 UNI 時  
 0 ~ 4095 NNI 時  
 <vci> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 65535  
 <pt> = <STRING PROGRAM DATA>  
 000 ~ 111 (BIN 形式)  
 <clp> = <STRING PROGRAM DATA>  
 0 ~ 1 (BIN 形式)

機能 ヘッダパターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。

- ・パラメータをすべて省略した場合。
- ・:INSTRument:CONFIg の設定が、<ATM>以外の場合。
- ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、  
 <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,  
 <"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">以外の場合。

使用例 ヘッダパターンを、GFC:F, VPI:255 に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:HEADer "F,255,,,"

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:HEADer?**

レスポンス <gfc> = <STRING RESPONSE DATA>  
 <vpi> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <vci> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <pt> = <STRING RESPONSE DATA>  
 <clp> = <STRING RESPONSE DATA>  
 ※<gfc>は、NNI 時 "" と出力されます。

機能                   ヘッダパターンを問い合わせます。  
 使用例                > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:HEADer?  
                       < "F,255,4095,001,1"

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:TYPE <type>**

パラメータ           <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                       WORD8                    Word8  
                       WORD16                  Word16  
                       SCPRbs7                Single cell PRBS7  
                       SCPRbs9                Single cell PRBS9  
                       CCPRbs9                Cross cell PRBS9  
                       CCPRbs15               Cross cell PRBS15  
                       CCPRbs23               Cross cell PRBS23  
                       EDIT                    Edit pattern  
                       TSTamp                 Time stamp

機能                   ペイロードタイプを設定します。

制約                   以下の場合、無効とします。

- :INSTrument:CONFIg の設定が、<ATM>以外の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCELL">、および<"MANual:RCELL">以外の場合。
- :SOURce:ATM:MAPPing が<ATM>、かつ、:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE が<O191>または<MEMorized>の場合。
- :SOURce:ATM:MAPPing が<ATM>、<AAL1>、<AAL34>、または<AAL5>のときに、<WORD8>または<SCPRbs7>が設定される場合。
- :SOURce:ATM:MAPPing が<AAL2>のときに、<WORD16>、<SCPRbs9>、<CCPRbs9>、<CCPRbs15>、または<CCPRbs23>が設定される場合。
- :SOURce:ATM:MAPPing が<AAL5>のときに、<TSTamp>の場合。

用 例                   ペイロードタイプを Word16 に設定する場合。

> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:TYPE WORD16

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:TYPE?**

スポンズ	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	WORD8            Word8
	WORD16          Word16
	SCPR7            Single cell PRBS7
	SCPR9            Single cell PRBS9
	CCPR9            Cross cell PRBS9
	CCPR15          Cross cell PRBS15
	CCPR23          Cross cell PRBS23
	EDIT             Edit pattern
	TST              Time stamp
機能	ペイロードタイプを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:TYPE? < WORD16

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:WORD <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "0000000000000000" ~ "1111111111111111"
機能	ワードパターンを設定します。 <string>は、二進数で表されます。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:CONFig の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、および &lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	ワードパターンを"01000111 00001111"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:WORD "0100011100001111"

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:WORD?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	ワードパターンを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:WORD? < "0100011100001111"

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	CBR                    CBR
	BURSt                Burst
	CWCDv                CBR with CDV
	POISson              Poisson
	SAWTooth             Sawtooth
機能	セルトラフィックタイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, および &lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	セルトラフィックタイプを CBR に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution CBR

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	CBR                    CBR
	BURST                Burst
	CWCDV                CBR with CDV
	POISSON              Poisson
	SAWTOOTH            Sawtooth
機能	セルトラフィックタイプを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution? < CBR

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	BPS                    kbit/s
	CPS                    cells/s
	PERCent               %
機能	CBR タイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, および &lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>

使用例 CBR タイプを kbit/s に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:TYPE BPS

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 BPS kbit/s  
 CPS cells/s  
 PERC %

機能 CBR タイプを問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:TYPE?  
 < BPS

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:BPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 99999 ステップ値:1

機能 CBR 時のセルトラフィック (kbit/s) を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM> 以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME] が、 <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および <"MANual:RCELL"> 以外の場合。

使用例 CBR 時のセルトラフィック (kbit/s) を 100kbit/s に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:BPS 100,BPS

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:BPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 CBR 時のセルトラフィック (kbit/s) を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:BPS?  
 < 100,BPS

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:CPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 1412830 ステップ値:1

機能 CBR 時のセルトラフィック (Cells/s) を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM> 以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME] が、 <"MANual:JON">,



使用例 <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および  
<"MANual:RCELL">以外の場合。  
BURSt タイプを kbit/s に設定する場合。  
> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:TYPE BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
機能 BURSt タイプを問い合わせます。  
使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:TYPE?  
< BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:BPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0 ~ 99999                   ステップ値:1  
機能 BURSt:RMAX 時のセルトラフィック(kbit/s)を設定します。  
制約 以下の場合、無効とします。  
・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。  
・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
<"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および  
<"MANual:RCELL">以外の場合。  
使用例 BURSt:RMAX 時のセルトラフィック(kbit/s)を 100kbit/s に設定する場合  
> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:BPS 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:BPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
機能 BURSt:RMAX 時のセルトラフィック(kbit/s)を問い合わせます。  
使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:BPS?  
< 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0 ~ 99999                   ステップ値:1  
機能 BURSt:RMIN 時のセルトラフィック(kbit/s)を設定します。  
制約 以下の場合、無効とします。  
・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。  
・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
<"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および

使用例 <"MANual:RCELL">以外の場合。  
 BURSt:RMIN 時のセルトラフィック(kbit/s)を 100kbit/s に設定する場合  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPS 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能 BURSt:RMIN 時のセルトラフィック(kbit/s)を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPS?  
 < 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:CPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 1412830 ステップ値:1  
 機能 BURSt:RMAX時のセルトラフィック(Cells/s)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFig の設定が <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および  
 <"MANual:RCELL">以外の場合。  
 使用例 BURSt時のセルトラフィック(Cells/s)を100に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:CPS 100

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:CPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 BURSt:RMAX時のセルトラフィック(Cells/s)を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:CPS?  
 < 100

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:CPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 1412830 ステップ値:1  
 機能 BURSt:RMIN時のセルトラフィック(Cells/s)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFig の設定が <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および  
 <"MANual:RCELL">以外の場合。  
 使用例 BURSt時のセルトラフィック(Cells/s)を100に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:CPS 100

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:CPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 BURSt:RMIN時のセルトラフィック(Cells/s)を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:CPS?  
 < 100

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:PERCent <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0.0 ~ 100.0                   ステップ値:1  
 機能 BURSt:RMAX時のセルトラフィック(%)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および  
 <"MANual:RCELL">以外の場合。  
 使用例 BURSt:RMAX時のセルトラフィック(%)を 50 に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:PERCent 50

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:PERCent?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 BURSt:RMAX時のセルトラフィック(%)を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:PERCent?  
 < 50

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:PERCent <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0.0 ~ 100.0                   ステップ値:1  
 機能 BURSt:RMIN時のセルトラフィック(%)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, および  
 <"MANual:RCELL">以外の場合。  
 使用例 BURSt:RMIN時のセルトラフィック(%)を 50 に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:PERCent 50

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:PERCent?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 BURSt:RMIN 時のセルトラフィック(%)を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:PERCent?  
 < 50

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T1 <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1000 ~ 128000 ステップ値:1000  
 機能 BURSt 時のセルトラフィック(cell)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">、 <"MANual:TCELI">、 および  
 <"MANual:RCELI">以外の場合。  
 ・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibution が、 <BURSt>以外の場合。  
 使用例 BURSt 時のセルトラフィック(cell)を 1000 に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T1 1000

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T1?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 BURSt 時のセルトラフィック(cell)を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T1?  
 < 1000

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T2 <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1000 ~ 128000 d ステップ値:1000  
 機能 BURSt 時のセルトラフィック(cell)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、 <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、  
 <"MANual:JON">、 <"MANual:TCLayer">、  
 <"MANual:TCELI">、 <"MANual:RCELI">以外の場合。  
 ・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibution が、 <BURSt>以外の場合。  
 ・  $T1 \geq T2$  の場合。  
 使用例 BURSt 時のセルトラフィック(cell)を 1000 に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T2 10000

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T2?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 BURSt 時のセルトラフィック (cell) を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T2?  
 < 10000

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 BPS kbit/s  
 CPS cells/s  
 PERCent %  
 機能 CBR with CDV タイプを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が、<ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">、  
 <"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCEL1">、および  
 <"MANual:RCEL1">以外の場合。  
 ・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution が、<CWCDv>以外の  
 場合。  
 使用例 CBR with CDV タイプを bit/s に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能 CBR with CDV タイプを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE?  
 < BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CDVT <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 10 ~ 999 ステップ値  
 機能 CBR with CDV 時の CDVT(Cell) を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ INSTrument:ATM が、<OFF>の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME:]が、<"MANual:TCLayer">、  
 <"MANual:TCEL1">、および<"MANual:RCEL1">以外の場合。  
 ・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution が、<CWCDv>以外の  
 場合。

使用例

- ・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE が、 <BPS>または <PERCent>の場合。

CBR with CDV 時の CDVT(Cell)を 100 に設定する場合。

```
> :SOURce:ATM:MENual:TRAFfic:CWCDv 100
```

#### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CDVT?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 CBR with CDV 時の CDVT(Cell)を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:MENual:TRAFfic:CWCDv:CDVT?  
< 100

#### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:BPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0 ~ 99999                      ステップ値:1

機能 CBR with CDV 時のセルトラフィック(kbit/s)を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:CONFig の設定が、 <ATM>以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">、 <"MANual:TCLayer">、 <"MANual:TCELL">、 および <"MANual:RCELL">以外の場合。
- ・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibution が、 <CWCDv>以外の場合。

使用例 CBR with CDV 時のセルトラフィック(kbit/s)を 100kbit/s に設定する場合。

```
> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:BPS 100,BPS
```

#### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:BPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 CBR with CDV 時のセルトラフィック(kbit/s)を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:BPS?  
< 100,BPS

#### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0 ~ 1412830                      ステップ値:1

機能 CBR with CDV 時のセルトラフィック(Cells/s)を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:CONFig の設定が、 <ATM>以外の場合。





**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:BPS <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0 ~ 99999                      ステップ値:1
機能	SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック(kbit/s)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、および&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution が、&lt;SAWTooth&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック(kbit/s)を 100kbit/s に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:BPS 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:BPS?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック(kbit/s)を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:BPS? < 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:BPS <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0 ~ 99999                      ステップ値:1
機能	SAWTooth 時のセルトラフィック(kbit/s)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、および&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution が、&lt;SAWTooth&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	SAWTooth:RMIN 時のセルトラフィック(kbit/s)を 100kbit/s に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:BPS 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:BPS?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	SAWTooth:RMIN 時のセルトラフィック (bit/s)を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:BPS? < 100,BPS

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:CPS <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0 ~ 1412830                   ステップ値:1
機能	SAWTooth 時のセルトラフィック:RMAX(Cells/s)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、および &lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibution が、&lt;SAWTooth&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック (Cells/s)を 100 に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:CPS 100

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:CPS?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック (Cells/s)を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:CPS? < 100

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:CPS <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0 ~ 1412830                   ステップ値:1
機能	SAWTooth 時のセルトラフィック Rmin(Cells/s)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:CONFIg の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、および &lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibution が、&lt;SAWTooth&gt;以外の場合。</li> </ul>

使用例                   SAWTooth:RMIN 時のセルトラフィック(Cells/s)を 100 に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:CPS 100

#### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:CPS?**

レスポンス               <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能                    SAWTooth:RMIN 時のセルトラフィック(Cells/s)の問い合わせを行います。  
 使用例                   > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:CPS?  
                           < 100

#### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:PERCent <numeric>**

パラメータ               <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                           0.0 ~ 100.0                               ステップ値:1  
 機能                    SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック(%)を設定します。  
 制約                    以下の場合、無効とします。  
                           ・ :INSTrument:CONFig の設定が、<ATM>以外の場合。  
                           ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
                             <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, <"MANual:RCELL">以外  
                             の場合。  
                           ・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibution が、<SAWTooth>以外  
                             の場合。  
 使用例                   SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック(%)を 50 に設定する場合。  
                           > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:PERCent 50

#### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:PERCent?**

レスポンス               <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能                    SAWTooth:RMAX 時のセルトラフィック(%)を問い合わせます。  
 使用例                   > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:PERCent?  
                           < 50



**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T2 <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1000 ~ 128000                      ステップ値:1000
機能	SAWTooth時のセルトラフィック (cell)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、 &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt; 以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibutionが、 SAWTooth以外の場合。</li> <li>・ <math>T1 \geq T2</math>の場合。</li> </ul>
使用例	SAWTooth時のセルトラフィック (cell)を1000に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T2 10000

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T2?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	SWATooth時のセルトラフィック (cell)を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T2? < 10000

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODE <mode>**

パラメータ	<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA> SINGle CONTInuous
機能	送出タイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、 &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt; 以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DISTRibutionが&lt;CBR&gt;, &lt;POISSon&gt;時、 &lt;SINGle&gt;設定の場合。</li> </ul>
使用例	送出タイプをSINGleに設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODE SINGle

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODE?**

レスポンス	<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA> SING CONT
機能	送出タイプを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODE? < SING

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STARt**

パラメータ	なし
機能	Singleセル送出の開始を指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCEL1"&gt;、&lt;"MANual:RCEL1"&gt;以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODEが、&lt;CONTInuous&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STARt

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STOP**

パラメータ	なし
機能	Singleセル送出の停止を指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCEL1"&gt;、&lt;"MANual:RCEL1"&gt;以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODEが、&lt;CONTInuous&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STOP

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STATe?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0          セル停止 1          セル送出中
機能	Singleセル送出状態を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STATe? < 0

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:PERCent <traffic>**

パラメータ	<p>&lt;traffic&gt; = &lt;STRING PROGRAM DATA&gt;</p> <p>"[&lt;numeric1&gt;],[&lt;numeric2&gt;],[&lt;numeric3&gt;],[&lt;numeric4&gt;],[&lt;numeric5&gt;],[&lt;numeric6&gt;],[&lt;numeric7&gt;],[&lt;numeric8&gt;],[&lt;numeric9&gt;],[&lt;numeric10&gt;]"</p> <p>&lt;numeric1~10&gt;は、0 ~ 99 ステップ値:1 ある値の後ろがすべて省略の場合は、コンマも省略できます。</p>
機能	Background cellのTraffic(%)を設定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラメータをすべて省略した場合。</li> <li>・:INSTRument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	<p>Background cell Traffic(%)のNo.1に30%、No.3に20%を設定する場合。</p> <p>&gt; :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:PERCent "30,,20"</p>

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:PERCent?**

レスポンス	<p>"&lt;numeric1&gt;,&lt;numeric2&gt;,&lt;numeric3&gt;,&lt;numeric4&gt;,&lt;numeric5&gt;,&lt;numeric6&gt;,&lt;numeric7&gt;,&lt;numeric8&gt;,&lt;numeric9&gt;,&lt;numeric10&gt;,&lt;total&gt;"</p> <p>= &lt;STRING RESPONSE DATA&gt;</p>
機能	Background cell Traffic(%) (1~10,Total) を問い合わせます。
使用例	<p>&gt; :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:PERCent?</p> <p>&lt; "30,0,20,0,0,0,0,0,0,0,50"</p>

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:CPS <traffic>**

パラメータ	<p>&lt;traffic&gt; = &lt;STRING PROGRAM DATA&gt;</p> <p>"[&lt;numeric1&gt;],[&lt;numeric2&gt;],[&lt;numeric3&gt;],[&lt;numeric4&gt;],[&lt;numeric5&gt;],[&lt;numeric6&gt;],[&lt;numeric7&gt;],[&lt;numeric8&gt;],[&lt;numeric9&gt;],[&lt;numeric10&gt;]"</p> <p>&lt;numeric1~10&gt;は、0 ~ 1398701 ステップ値:1 ある値の後ろがすべて省略の場合は、コンマも省略できます。</p>
機能	Background cellのTraffic(Cell/s)を設定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラメータをすべて省略した場合。</li> <li>・:INSTRument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>

<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
 以外の場合。

- ・ 1～10のTotal cps上限は、Bit rateによって決まるMax cpsから、Testセルのcpsを引いたものよりも大きい場合。

使用例 Background cell TrafficのNo.1に100, No.3に2000を設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:CPS "100,,2000"

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:CPS?**

レスポンス "<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,  
 <numeric6>,<numeric7>,<numeric8>,<numeric9>,<numeric10>,  
 <total>"  
 = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Background cell Traffic(cell/s) (1～10,Total) を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:CPS?  
 < "100,0,2000,0,0,0,0,0,0,0,2100"

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:TYPE <type>**

パラメータ <type> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "[<type1>],[<type2>],[<type3>],[<type4>],[<type5>],  
 [<type6>],[<type7>],[<type8>],[<type9>],[<type10>]"  
 <type1>,<type2>,<type3>,<type4>,<type5>,<type6>,<type7>,<type8>,  
 <type9>,<type10> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 CONStant

ある値の後ろがすべて省略の場合は、コンマも省略できます。

機能 Background cellのTraffic(type)を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ パラメータをすべて省略した場合。
- ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
 以外の場合。

> :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:TYPE ",CONStant"

### **:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:TYPE?**

レスポンス "<type1>,<type2>,<type3>,<type4>,<type5>,<type6>,<type7>,<type8>,  
 <type9>,<type10>" = <STRING RESPONSE DATA>  
 CONS

機能 Background cell Traffic(type) (1～10) を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKground:TYPE?  
 < "CONS,CONS,CONS,CONS,CONS,CONS,CONS,CONS,CONS,  
 CONS"

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DAAL2[:PERCent] <numeric>**

パラメータ            <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                          0 ~ 100                    ステップ値:1

機能                    AAL2時のダミーパケットトラフィック(%)を設定します。

制約                    以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:CONFIg の設定が <ATM>以外の場合。
- ・ :SOURce:ATM:MAPPing の設定が<AAL2>以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:TCELL">以外の場合。
- ・ :ROUte:THROugh の設定が<ON>の場合。

使用例                    AAL2時のダミーパケットトラフィック(%)を20%に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DAAL2 20

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DAAL2[:PERCent]?**

レスポンス            <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能                    AAL2時のダミーパケットトラフィックを問い合わせます。

使用例                    > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:DAAL2?  
 < 20

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:FCELL <type>**

パラメータ            <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                          UNASsigned  
                          IDLE

機能                    Fill cellタイプを設定します。

制約                    以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:ConFIgの設定が、 <ATM>以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。

使用例                    Fill cellタイプをIDLEに設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:FCELL IDLE

**:SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:FCELL?**

レスポンス            <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
                          UNAS  
                          IDLE

機能                    Fill cellタイプを問い合わせます。

使用例                    > :SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:FCELL?  
 < IDLE

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	OFF                   アラームを挿入しません。
	LCD                   LCDアラームを挿入します。
	VPAIS                 VP-AISを挿入します。
	VPRDI                 VP-RDIを挿入します。
	VCAIS                 VC-AISを挿入します。
	VCRDI                 VC-RDIを挿入します。
	VPUSER               VP User programを挿入します。
	VCUSER               VC User programを挿入します。
機能	送信信号に対して、挿入するアラームの種類を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	VP-AISを挿入する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TYPE VPAIS

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	送信信号に対して、挿入するアラームの種類を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TYPE? < VPAIS

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TIMing <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <NON-DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
	0.1 ~ 10.0                   ステップ値:0.1
機能	アラーム付加タイミングを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TYPEが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	アラーム付加タイミングを1.0に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TIMing 1.0

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TIMing?**

レスポンス <numeric> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 アラーム付加タイミングを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ALARm:TIMing?  
 < 1.0

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPE <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	エラーを挿入しません。
HEC1	HEC error(1bit)
HEC2	HEC error(2bit)
USER	user program (1~53バイト位置指定)
LOST	Lost cell
MISINS	Misinserted cell
ERRORED	Errored cell
SBIT/SB	
WORD	Word
SNP1	SNP(1bit)
SNP2	SNP(2bit)
P	P
SN	SN
OSF	OSF
HCPS	HEC(CPS-packet)
LI	Length indicater
CRC10	CRC10
ST	Segment type
ABORT	Abort
CPI	CPI
BETAG	B/ETag
BASIZE	BAsize
AL	AL
LENGTH	Length
FSIZE	Frame size
CRC32	CRC32

機能 送信信号に対して、挿入するエラーの種類を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。

- ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・:ROUte:THROughが、<ON>の場合。

- ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
以外の場合。

付加可能なエラー項目を以下に示します。

常に付加可能	HEC error(1bit)	HEC error(2bit)	User program
ATM:0.191	Lost cell SB	Misinseted cell	Errored cell
ATM:Word16	Word		
ATM:PRBS**	PRBS		
AAL1	Lost cell	WORD(Word16)	OSF SNP(1bit) SNP(2bit)
AAL2	P HEC(CPS-packet)	SN	
	WORD(Word8時)	PRBS(Single cell PRBS7時)	
AAL3/4	SN (Length36時) Length indicator Abort BAsize	CRC10  CPI AL	Segment type  B/Etag WORD(Word16時)
	Length(AAL3/4:Time stamp時選択不可)		
	PRBS(~PRBS**)		
AAL5		Length	CRC32
	Abort	WORD(Word16時)PRBS(~PRBS**)	

使用例 HEC error(1bit)を挿入する場合。

> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPE HEC1

### **:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 送信信号に対して、挿入するエラーの種類を問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPE?

< HEC1

### **:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:BYTE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 53

機能 エラー付加バイトを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:INSTrument:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。
- ・:ROUte:THRoughが、 <ON>の場合。
- ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
以外の場合。
- ・:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPEが、 <HUSER>,  
<PUSER>以外の場合。

使用例

- ・ :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPEが<HUSER>時,  
<6~48>設定の場合。

エラー付加バイトを5に設定する場合。

```
> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:BYTE 5
```

### **:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:BYTE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 エラー付加バイトを問い合わせます。

使用例

```
> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:BYTE?
< 5
```

### **:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:PATTern <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"00000000"~"11111111"

機能 エラー付加パターンを設定します。(ビット形式)

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・ :ROUte:THROughが、<ON>の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
以外の場合。
- ・ :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPEが、<USER>,<WORD>  
以外の場合。

使用例

エラー付加パターンを"00001011"に設定する場合。

```
> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:PATTern "00001011"
```

### **:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:PATTern?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 エラー付加パターンを問い合わせます。(ビット形式)

使用例

```
> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:PATTern?
< "00001011"
```

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:MODE <mode>**

パラメータ

<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8
R1E_9	1E-9
SEQuence	Sequence
R5E_3	5E-3
R5E_4	5E-4
R5E_5	5E-5
R5E_6	5E-6
R5E_7	5E-7
R5E_8	5E-8
R5E_9	5E-9

機能

エラー挿入の割合を設定します。

制約

以下の場合、無効とします。

- :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- :ROUTe:THRoughが、<ON>の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCELL">、<"MANual:RCELL">以外の場合。
- :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPEが、<OFF>の場合。
- :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPEが、<LOST>、<MISINS>時、<SEQuence>設定の場合。

使用例

1E-3の頻度でエラーを挿入する場合。

> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:MODE R1E\_3

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:MODE?**

レスポンス	<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	ONCE            Single error
	R1E_3           1E-3
	R1E_4           1E-4
	R1E_5           1E-5
	R1E_6           1E-6
	R1E_7           1E-7
	R1E_8           1E-8
	R1E_9           1E-9
	SEQ             Sequence
	R5E_3           5E-3
	R5E_4           5E-4
	R5E_5           5E-5
	R5E_6           5E-6
	R5E_7           5E-7
	R5E_8           5E-8
	R5E_9           5E-9
機能	エラー挿入の割合を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:MODE? < R1E_3

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:COUNT <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 64
機能	連続エラー付加個数を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :ROUte:THROughが、&lt;ON&gt;の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt; 以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPEが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:MODEが、 &lt;SEQUence&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	連続エラー付加個数を5に設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:COUNT 5

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:COUNT?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	連続エラー付加個数を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TIMing:COUNT? < 5

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:CC:SEND <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> OFF 付加しません。 VP VP CC VC VC CC
機能	CCセル付加を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	VP CCセルを付加する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:CC:SEND VP

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:CC:SEND?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	CCセル付加状態を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:EALarm:CC:SEND? < VP

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> VP VP Loopback VC VC Loopback
機能	Loopbackセルタイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	LoopbackセルをVPに設定する場合。 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:TYPE VP

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能 Loopbackセルタイプを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:TYPE?  
 < VP

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:START**

パラメータ なし  
 機能 Loopbackセルを送出します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:START

**:SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:STATe?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 Loopback送出停止中  
 1 Loopback送出中  
 機能 Loopbackセル送出状態を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:STATe?  
 < 0

**:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:SEND <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 OFF 付加しない  
 VP VP Forward  
 VC VC Forward  
 機能 PM Forwardセル付加を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。  
 使用例 PM Forwardセルを付加する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:PM:FM:SEND VP

**:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:SEND?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能 PM Forwardセル付加状態を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:PM:FM:SEND?  
 < VP

**:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPE <character>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 OFF エラーを挿入しません。  
 LOST Lost  
 MISINS Misinserted  
 BIPV BIPV  
 SBIT/SB

機能 送信信号に対して、挿入するエラーの種類を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCELL">、<"MANual:RCELL">以外の場合。
- ・ :SOURce:ATM:MANual:PM:FM:SENDが、<OFF>の場合。

使用例 LOSTを挿入する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPE LOST

**:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能 送信信号に対して、挿入するエラーの種類を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPE?  
 < LOST

**:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:MODE <character>**

パラメータ <mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8

	R1E_9	1E-9
	R5E_3	5E-3
	R5E_4	5E-4
	R5E_5	5E-5
	R5E_6	5E-6
	R5E_7	5E-7
	R5E_8	5E-8
	R5E_9	5E-9
機能	エラー挿入の割合を設定します。	
制約	以下の場合、無効とします。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTRument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:SENDが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPEが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> </ul>	
使用例	Single errorにする場合。	
	> :SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:MODE ONCE	

### **:SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:MODE?**

レスポンス	<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	エラー挿入の割合を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:MODE? < ONCE

### **:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SEND <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	OFF 付加しません
	VP VP Backward
	VC VC Backward
機能	PM Backwardセル付加を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTRument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELL"&gt;、&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	PM Backwardセルを付加する場合。
	> :SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SEND VP

**:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SEND?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	PM Backwardセル付加状態を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SEND? < VP

**:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPE <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	OFF                   エラーを挿入しません。
	LOST                   Lost
	MISINS               Misinserted
	BIPV                   BIPV
	SBIT/SB
機能	送信信号に対して、挿入するエラーの種類を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> <li>・:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SENDが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	SBを付加する場合。 >:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPE SB

**:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	受信信号に対して、挿入するエラーの種類を問い合わせます。
使用例	>:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPE? <SB

**:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TIMing:MODE <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	ONCE                   Single error
	R1E_3                   1E-3
	R1E_4                   1E-4
	R1E_5                   1E-5
	R1E_6                   1E-6
	R1E_7                   1E-7
	R1E_8                   1E-8

	R1E_9	1E-9
	R5E_3	5E-3
	R5E_4	5E-4
	R5E_5	5E-5
	R5E_6	5E-6
	R5E_7	5E-7
	R5E_8	5E-8
	R5E_9	5E-9
機能	エラー挿入の割合を設定します。	
制約	以下の場合、無効とします。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTRument:Configの設定が、 &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCEL1"&gt;,&lt;"MANual:RCEL1"&gt; 以外の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SENDが、 &lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ :SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPEが、 &lt;OFF&gt;の場合。</li> </ul>	
使用例	Single errorを挿入する場合。	
	>:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TIMing:MODE ONCE	

#### **:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TIMing:MODE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	エラー挿入の割合を問い合わせます。
使用例	>:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TIMing:MODE? <ONCE

#### **:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:INTerval <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <NON-CHARACTER PROGRAM DATA> 0.00 ~ 1.00 0.01(s)ステップ
機能	BRセルの挿入間隔を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ATMユニット未装着の場合。</li> <li>・ INSTRument:ATMが、 &lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCEL1"&gt;,&lt;"MANual:RCEL1"&gt; 以外の場合。</li> <li>・ SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SENDが、 &lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ セルフテスト実行中。</li> </ul>
使用例	BRセルの挿入間隔を0.1に設定します。
	> :SOURce:ATM:MANual:PM:BR:INTerval 0.1

**:SOURce:ATM:MANual:PM:BR:INTerval?**

レスポンス	<numeric> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	BRセルの挿入間隔を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:PM:BR:INTerval? < 0.10

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:PAYLoad <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,01,02,03, … ,2F" ペイロード37バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。
機能	ATM:O.191時のペイロードパターンを設定する。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	ATM:O.191のペイロードパターンを設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:O191:PAYLoad "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:PAYLoad?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	ATM:O.191時のペイロードパターンを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:PAYLoad? < "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:DEFault**

パラメータ	なし
機能	ATM:O.191時のペイロードパターンに初期パターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	ATM:O.191時のペイロードパターンを初期設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:DEFault

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:TCPT <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00000000"~"11111111"
機能	ATM:O.191時のTCPTを設定します。(ビット形式)
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	ATM:O.191時のTCPTを"00001011"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:TCPT "00001011"

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:TCPT?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 ATM:O.191時のTCPTを問い合わせます。(ビット形式)  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:ATM:O191:TCPT?  
 < "00001011"

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:USER:PAYLoad <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,03, … ,2F" ペイロード48バイトを十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。  
 機能 ATM:User時のペイロードパターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 ATM:Otherのペイロードパターンを設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:ATM:USER:PAYLoad "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:USER:PAYLoad?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 ATM:User時のペイロードパターンを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:ATM:USER:PAYLoad?  
 < "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:ATM:USER:DEFault**

パラメータ なし  
 機能 ATM:User時のペイロードパターンに初期パターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 ATM:User時のペイロードパターンを初期設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:ATM:USER:DEFault

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL1:POINter <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00" ~ "FF" 1バイトを十六進で指定します。  
 機能 AAL1時のPointerを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 AAL1時のPointerを"FF"に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL1:POINter "FF"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:POINTER?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 AAL1時のPointerを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:POINTER?  
 < "FF"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PAYLOAD <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,03, … ,2F" ペイロード47バイトを十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。  
 機能 AAL1時のペイロードパターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 AAL1のペイロードパターンを設定する場合。  
 > :SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PAYLOAD "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PAYLOAD?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 AAL1時のペイロードパターンを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PAYLOAD?  
 < "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:DEFAULT**

パラメータ なし  
 機能 AAL1時のペイロードパターンに初期パターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 AAL1時のペイロードパターンを初期設定する場合。  
 > :SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:DEFAULT

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PFORMAT <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>  
 OFF or 0  
 ON or 1  
 機能 AAL1時のP-formatを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 AAL1時のP-formatをONに設定する場合。  
 > :SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PFORMAT ON

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL1:PFORmat?**

レスポンス <boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0  
 1

機能 AAL1時のP-formatを問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL1:PFORmat?  
 < 1

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL1:RTS <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "0000"~"1111"

機能 AAL1時のRTSを設定します。(ビット形式)

制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL1時のRTSを"0011"に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL1:RTS "0011"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL1:RTS?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 AAL1時のRTSを問い合わせます。(ビット形式)

使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL1:RTS?  
 < "0011"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PCID <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00"~"FF"

機能 AAL2時のCID(Primary)を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL2時のPCIDを"11"に設定する場合。  
 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PCID "11"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PCID?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 AAL2時のCID(Dummy)を問い合わせます。

使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PCID?  
 <"11"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:LI <numeric>**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0~63

機能 AAL2時のLIを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL2時のLIを"11"に設定する場合。

```
>:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:LI "11"
```

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:LI?**

レスポンス <numeric> = <numeric RESPONSE DATA>

機能 AAL2時のLIを問い合わせます。

使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:LI?

```
<"11"
```

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PPPT <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"00","01","10","11"

機能 AAL2時のPPT(Primary)を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL2時のPPTDを"11"に設定する場合。

```
>:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PPPT "11"
```

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PPPT?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 AAL2時のPPT(Primary)を問い合わせます。

使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PPPT?

```
<"11"
```

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PUUI <STRING>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"000"~"111"

機能 AAL2時のUUI(Primary)を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL2時のPUUIを"101"に設定する場合。

```
>:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PUUI "101"
```

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PUUI?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 AAL2時のUUI(Primary)を問い合わせます。  
 使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PUUI?  
 <"101"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PAYLoad <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,..." (64BYTE)  
 機能 AAL2時のPayloadを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 AAL2のPayloadを"11, 11,11"に設定する場合。  
 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PAYLoad "11,11,11"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PAYLoad?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 AAL2時のPayloadを問い合わせます。  
 使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:PAYLoad?  
 <"11,11,11"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:DCID <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00"~"FF"  
 機能 AAL2時のCID(Dummy)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 AAL2時のDCIDを"11"に設定する場合。  
 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:DCID

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:DCID?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 AAL2時のCID(Dummy)を問い合わせます。  
 使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL2:DCID?  
 <"11"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DPPT <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00","01","10","11"
機能	AAL2時のPPT(Primary)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	AAL2時のPPTDを"11"に設定する場合。 >:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DCID

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DPPT?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	AAL2時のPPT(Dummy)を問い合わせます。
使用例	>:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DPPT <"11"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DUUI <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00","01","10","11"
機能	AAL2時のPPT(Primary)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	AAL2時のDPTDを"11"に設定する場合。 >:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DUUI "11"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DUUI?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	AAL2時のUUI(Dummy)を問い合わせます。
使用例	>:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DUUI? <"11"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DEFAULT**

パラメータ	なし。
機能	AAL2時のPAYLoadを初期化します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	AAL2時のPayloadを初期化する場合。 >:SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DEFAULT

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:MID <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "0000000000"~"1111111111"

機能 AAL3/4時のMIDを設定します。(ビット形式)

制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL3/4時のMIDを"0000000011"に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:MID "0000000011"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:MID?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 AAL3/4時のMIDを問い合わせます。(ビット形式)

使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:MID?  
 < "0000000011"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:CPI <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00" ~ "FF" 1バイトを十六進数で指定します。

機能 AAL3/4時のCPIを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL3/4時のCPIを"FF"に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:CPI "FF"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:CPI?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 AAL3/4時のCPIを問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:CPI?  
 < "FF"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BTAG <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00" ~ "FF" 1バイトを十六進数で指定します。

機能 AAL3/4時のBTag,ETagを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL3/4時のBTag,ETagを"FF"に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BTAG "FF"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BTAG?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
機能 AAL3/4時のBTag,ETagを問い合わせます。  
使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BTAG?  
< "FF"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BASize <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ 65535  
機能 AAL3/4時のBASizeを設定します。  
制約 以下の場合、無効とします。  
・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
使用例 AAL3/4時のBASizeを5に設定する場合。  
> :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BASize 5

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BASize?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
機能 AAL3/4時のBASizeを問い合わせます。  
使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BASize?  
< 5

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:LENGth <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ 65535  
機能 AAL3/4時のLENGthを設定します。  
制約 以下の場合、無効とします。  
・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
使用例 AAL3/4時のLENGthを5に設定する場合。  
> :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:LENGth 5

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL34:LENGth?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
機能 AAL3/4時のLENGthを問い合わせます。  
使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL34:LENGth?  
< 5

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:LENGth <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ 65535

機能 AAL5時のLengthを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL5時のLengthを5に設定する場合。

> :SOURce:ATM:PATtern:AAL5:LENGth 5

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:LENGth?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 AAL5時のLengthを問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:AAL5:LENGth?

< 5

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:UU <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"00"~"FF"

機能 AAL5時のCPCS-UUを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL5時のCPCS-UUを"11"に設定する場合。

>:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:UU "11"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:UU?**

レスポンス <string> = <NR1 STRING RESPONSE DATA>

機能 AAL5時のCPCS-UUを問い合わせます。

使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:UU?>

<"11"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:CPI <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"00"~"FF"

機能 AAL5時のCPIを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 AAL5時のCPIを"11"に設定する場合。

>:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:CPI "11"

**:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:CPI?**

レスポンス <string> = <NR1 STRING RESPONSE DATA>  
 機能 AAL5時のCPIを問い合わせます。  
 使用例 >:SOURce:ATM:PATtern:AAL5:CPI?  
 <"11"

**:SOURce:ATM:PATtern:PAYLoad:PATtern <numeric>,<string>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 65535 設定開始位置(バイト)を指定します。  
 <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,00,00, … ,00" 設定するバイト数分を十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<… ,, …>と指定します。  
 機能 65535byteペイロードパターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 ペイロードの3番目から4バイト分"00,01,01,00"を設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:PAYLoad:PATtern 3,"00,01,01,00"

**:SOURce:ATM:PATtern:PAYLoad:PATtern? <numeric1>,<numeric2>**

パラメータ <numeric1>,<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 65535 出力開始位置(バイト), 出力終了位置(バイト)  
 レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 "00,00,00,00, … ,00" <numeric>で設定された範囲を出力します。  
 機能 65535byteペイロードパターンを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:PAYLoad:PATtern? 3,10  
 < "00,01,02,03,04,05,06,07"

**:SOURce:ATM:PATtern:PAYLoad:DEFault <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00000000" ~ "11111111"  
 機能 65535byteペイロードパターンに初期パターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 65535byteペイロードパターンに"00000000"を初期設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:PAYLoad:DEFault "00000000"

**:SOURce:ATM:PATtern:AIS:FSField <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,01,02,03, … ,2F" 45バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。
機能	AIS cell Function specific fieldを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	AIS cell Function specific fieldを設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:AIS:FSField "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:AIS:FSField?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	AIS cell Function specific fieldを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:AIS:FSField? < "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:AIS:DEFault**

パラメータ	なし
機能	AIS cell Function specific fieldに初期パターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	AIS cell Function specific fieldを初期設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:AIS:DEFault

**:SOURce:ATM:PATtern:AIS:REServe <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "000000"~"111111"
機能	AIS cellのReserveを設定します。(ビット形式)
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	AIS cellのReserveを"001011"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:AIS:REServe "001011"

**:SOURce:ATM:PATtern:AIS:REServe?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	AIS cellのReserveを問い合わせます。(ビット形式)
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:AIS:REServe? < "001011"

**:SOURce:ATM:PATtern:RDI:FSField <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,01,02,03, … ,2F" 45バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。
機能	RDI cell Function specific fieldを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	RDI cell Function specific fieldを設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:RDI:FSField "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:RDI:FSField?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	RDI cell Function specific fieldを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:RDI:FSField? < "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:RDI:DEFault**

パラメータ	なし
機能	RDI cell Function specific fieldに初期パターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	RDI cell Function specific fieldを初期設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:RDI:DEFault

**:SOURce:ATM:PATtern:RDI:REServe <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "000000"~"111111"
機能	RDI cellのReserveを設定します。(ビット形式)
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	RDI cellのReserveを"001011"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:RDI:REServe "001011"

**:SOURce:ATM:PATtern:RDI:REServe?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	RDI cellのReserveを問い合わせます。(ビット形式)
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:RDI:REServe? < "001011"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:OAM <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "0000"~"1111"
機能	User program cellのOAM typeを設定します。(ビット形式)
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	User program cellのOAM typeを"0001"に設定する場合。 > :SOURCE:ATM:PATTERN:USER:OAM "0001"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:OAM?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	User program cellのOAM typeを問い合わせます。(ビット形式)
使用例	> :SOURCE:ATM:PATTERN:USER:OAM? < "0001"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FUNCTION <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "0000"~"1111"
機能	User program cellのFunction typeを設定します。(ビット形式)
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	User program cellのFunction typeを"0010"に設定する場合。 > :SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FUNCTION "0010"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FUNCTION?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	User program cellのFunction typeを問い合わせます。 (ビット形式)
使用例	> :SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FUNCTION? < "0010"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:USER:FSField <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,01,02,03, … ,2F" 45バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。
機能	User program cell Function specific fieldを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 User program cell Function specific fieldを設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:USER:FSField "00,01,01,00, … ,01"

### **:SOURce:ATM:PATtern:USER:FSField?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 User program cell Function specific fieldを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:USER:FSField?  
 < "00,01,01,00, … ,01"

### **:SOURce:ATM:PATtern:USER:DEFault**

パラメータ なし  
 機能 User program cell Function specific fieldに初期パターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 User program cell Function specific fieldを初期設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:USER:DEFault

### **:SOURce:ATM:PATtern:USER:REServe <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "000000"~"111111"  
 機能 User program cellのReserveを設定します。(ビット形式)  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 User program cellのReserveを"001011"に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:USER:REServe "001011"

### **:SOURce:ATM:PATtern:USER:REServe?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 User program cellのReserveを問い合わせます。(ビット形式)  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:USER:REServe?  
 < "001011"

### **:SOURce:ATM:PATtern:CC:FSField <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,03, … ,2F" 45バイトを十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。  
 機能 CC cell Function specific fieldを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。

使用例

- ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

CC cell Function specific fieldを設定する場合。

```
> :SOURce:ATM:PATtern:CC:FSField "00,01,01,00, ... ,01"
```

#### **:SOURce:ATM:PATtern:CC:FSField?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 CC cell Function specific fieldを問い合わせます。

使用例

```
> :SOURce:ATM:PATtern:CC:FSField?
< "00,01,01,00, ... ,01"
```

#### **:SOURce:ATM:PATtern:CC:DEFault**

パラメータ なし

機能 CC cell Function specific fieldに初期パターンを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例

CC cell Function specific fieldを初期設定する場合。

```
> :SOURce:ATM:PATtern:CC:DEFault
```

#### **:SOURce:ATM:PATtern:CC:REServe <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"000000"~"111111"

機能 CC cellのReserveを設定します。(ビット形式)

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例

CC cellのReserveを"001011"に設定する場合。

```
> :SOURce:ATM:PATtern:CC:REServe "001011"
```

#### **:SOURce:ATM:PATtern:CC:REServe?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 CC cellのReserveを問い合わせます。(ビット形式)

使用例

```
> :SOURce:ATM:PATtern:CC:REServe?
< "001011"
```

#### **:SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:INDication <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"00000000" ~ "11111111"

機能 Loopback cellのIndicationを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

使用例

- ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。
- Loopback cellのIndicationを"00000001"設定する場合。
- > :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:INDICATION "00000001"

#### **:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:INDICATION?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Loopback cellのIndicationを問い合わせます。

使用例

```
> :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:INDICATION?
< "00000001"
```

#### **:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:CTAG <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>

"00,01,02,03" 4バイトを十六進数で指定します。

※現状の値を変化させないときは、 <… , …>と指定します。

機能 Loopback cellのCorrelation Tagを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。

使用例

```
> :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:CTAG "FF,FF,FF,FF"
```

#### **:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:CTAG?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Loopback cellのCorrelation Tagを問い合わせます。

使用例

```
> :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:CTAG?
< "FF,FF,FF,FF"
```

#### **:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:LOCATION <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>

"00,01,02,03, … ,2F" 16バイトを十六進数で指定します。

※現状の値を変化させないときは、 <… , …>と指定します。

機能 Loopback cellのLocation IDを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTRUMENT:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。

使用例

```
> :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPBACK:FSFIELD:LOCATION "00,01,01,00,
… ,01"
```

**:SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:LOCation?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 Loopback cellのLocation IDを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:LOCation?  
 < "00,01,01,00, ... ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:SOURce <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,03, ... ,2F" 16バイトを十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<... ,, ...>と指定します。  
 機能 Loopback cellのSource IDを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 Loopback cellのSource IDを設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:SOURce "00,01,01,00,  
 ... ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:SOURce?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 Loopback cellのSource IDを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:SOURce?  
 < "00,01,01,00, ... ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:UNUSed <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,03, ... ,2F" 8バイトを十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<... ,, ...>と指定します。  
 機能 Loopback cellのUnusedを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 Loopback cellのUnusedを設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:UNUSed "00,01,01,00,  
 ... ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:UNUSed?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 Loopback cellのUnusedを問い合わせます。  
 使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:UNUSed?  
 < "00,01,01,00, ... ,01"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:DEFault**

パラメータ	なし
機能	Loopback cellのIndication,Correlation tag,Location ID,Source ID, Unusedに初期パターンを設定します。
制約	以下の場合，無効とします。 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が， <ATM>以外の場合。
使用例	Loopback cellを初期設定する場合。 > :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:FSField:DEFault

**:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:REServe <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "000000"~"111111"
機能	Loopback cellのReserveを設定します。(ビット形式)
制約	以下の場合，無効とします。 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が， <ATM>以外の場合。
使用例	Loopback cellのReserveを"001011"に設定する場合。 > :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:REServe "001011"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:REServe?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Loopback cellのReserveを問い合わせます。(ビット形式)
使用例	> :SOURCE:ATM:PATTERN:LOOPback:REServe? < "001011"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:TSTP <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,01,02,03" 4バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは， <… , …>と指定します。
機能	Forward monitoringのTSTPを設定します。
制約	以下の場合，無効とします。 ・ :INSTRUMENT:Configの設定が， <ATM>以外の場合。
使用例	Forward monitoringのTSTPを"FF,FF,FF,FF"設定する場合。 > :SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:TSTP "FF,FF,FF,FF"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:TSTP?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Forward monitoringのTSTPを問い合わせます。
使用例	> :SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:TSTP? < "FF,FF,FF,FF"

**:SOURce:ATM:PATtern:FM:FSField:UNUSed <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,01,02,03, … ,2F"                    34バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。
機能	Forward monitoringのUnusedを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Forward monitoringのUnusedを設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:FM:FSField:UNUSed "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:FM:FSField:UNUSed?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Forward monitoringのUnusedを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:FM:FSField:UNUSed? < "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:FM:FSField:DEFault**

パラメータ	なし
機能	Forward monitoringのTSTP,Unusedに初期パターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Forward monitoringを初期設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:FM:FSField:DEFault

**:SOURce:ATM:PATtern:FM:REServe <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "000000"~"111111"
機能	Forward monitoringのReserveを設定します。(ビット形式)
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Forward monitoringのReserveを"001011"に設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:FM:REServe "001011"

**:SOURce:ATM:PATtern:FM:REServe?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Forward monitoringのReserveを問い合わせます。(ビット形式)
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:FM:REServe? < "001011"

**:SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:UNUSed1 <string>**

パラメータ	<string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,00"            2バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。
機能	Backward reportのUnused1を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Backward reportのUnused1を設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:UNUSed1 "6A,6A"

**:SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:UNUSed1?**

レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Backward reportのUnused1を問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:UNUSed1? < "6A,6A"

**:SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:TUCO1 <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA> 128,256,512,1024
機能	Backward reportのTUCO+1を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。 ・ TOCOが0の場合、TUCO+1は、変更されない。
使用例	Backward reportのTUCO+1を設定する場合 >:SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:TUCO1 "128"

**:SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:TUCO1?**

レスポンス	<character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	Backward reportのTUCO1を問い合わせます。
使用例	>:SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:TUCO1? <"128"

**:SOURce:ATM:PATtern:BR:FSField:TUCO <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA> 0,128,256,512,1024
機能	Backward reportのTUCOを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

・TUCOが0以外の場合、TUCO+1と同じ値に設定されます。

使用例 Backward reportのTUCOを設定する場合  
 >:SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:TUCO "128"

#### **:SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:TUCO?**

レスポンス <character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 Backward reportのTUCOを問い合わせます。

使用例 >:SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:TUCO?  
 <"128"

#### **:SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:TSTP <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,03" 4バイトを十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。

機能 Backward reportのTSTPを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 Backward reportのTSTPを"FF,FF,FF,FF"設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:TSTP "FF,FF,FF,FF"

#### **:SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:TSTP?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Backward reportのTSTPを問い合わせます。

使用例 > :SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:TSTP?  
 < "FF,FF,FF,FF"

#### **:SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:UNUSed2 <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,01,02,03, … ,2F" 29バイトを十六進数で指定します。  
 ※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。

機能 Backward reportのUnused2を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 Backward reportのUnused2を設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:PAATtern:BR:FSField:UNUSed2 "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSFIELD:UNUSED2?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 Backward reportのUnused2を問い合わせます。  
 使用例 > :SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSFIELD:UNUSED2?  
 < "00,01,01,00, … ,01"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSFIELD:DEFAULT**

パラメータ なし  
 機能 Backward reportのUnused1,TSTP,Unused2に初期パターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 Backward reportを初期設定する場合。  
 > :SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSFIELD:DEFAULT

**:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:RESERVE <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "000000"~"111111"  
 機能 Backward reportのReserveを設定します。(ビット形式)  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
 使用例 Backward reportのReserveを"001011"に設定する場合。  
 > :SOURCE:ATM:PATTERN:BR:RESERVE "001011"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:BR:RESERVE?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 Backward reportのReserveを問い合わせます。(ビット形式)  
 使用例 > :SOURCE:ATM:PATTERN:BR:RESERVE?  
 < "001011"

**:SOURCE:ATM:PATTERN:BGROUND:HEADER <numeric>,<pattern>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 10 No.  
 <pattern> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "[<gfc>],[<vpi>],[<vci>],[<pt>],[<clp>] "  
 <gfc> = 0 ~ F (HEX形式)  
 <vpi> = 0 ~ 255 UNI時  
 0 ~ 4095 NNI時

	<vci> = 0 ~ 65535
	<pt> = 000 ~ 111 (BIN形式)
	<clp> = 0 ~ 1 (BIN形式)
	ある値より後ろを省略した場合は、コンマも省略できます。
機能	Background cell のヘッダパターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのパラメータを省略した場合。</li> <li>:INSTRument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	Background cell 3番目のヘッダパターンをGFC:F,VCI:256に設定する場合。 <pre>&gt; :SOURce:ATM:PATtern:BGRound:HEADer 3,"F,,256"</pre>

#### **:SOURce:ATM:PATtern:BGRound:HEADer? <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス	<pattern> = <STRING PROGRAM DATA> <pre>"[&lt;gfc&gt;],[&lt;vpi&gt;],[&lt;vci&gt;],[&lt;pt&gt;],[&lt;clp&gt;] "</pre> ※<gfc>は、NNI時スペーストします。
機能	Background cell のヘッダパターンを問い合わせます。
使用例	<pre>&gt; :SOURce:ATM:PATtern:BGRound:HEADer? 3 &lt; "F,32,256,001,0"</pre>

#### **:SOURce:ATM:PATtern:BGRound:PAYLoad <numeric>,<string>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 10
	<string> = <STRING PROGRAM DATA> <pre>"00,01,02,03, ... ,2F"</pre> ペイロード48バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<... ,, ...>と指定します。
機能	Background cell のペイロードパターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>:INSTRument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	Background cell 3番目のペイロードパターンを設定する場合。 <pre>&gt; :SOURce:ATM:PATtern:BGRound:PAYLoad 3,"00,01,01,00,...,01"</pre>

#### **:SOURce:ATM:PATtern:BGRound:PAYLoad? <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Background cell のペイロードパターンを問い合わせます。
使用例	<pre>&gt; :SOURce:ATM:PATtern:BGRound:PAYLoad? 3 &lt; "00,01,01,00, ... ,01"</pre>

**:SOURce:ATM:PATtern:BGRound:CRc10 [<numeric>]**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 10 ※<numeric>省略時は、1~10のすべてのBackground cellのCRC計算を します。
機能	Background cell のCRC10計算を指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Background cellの10セルのCRC10計算を指示する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:BGRound:CRc10 10

**:SOURce:ATM:PATtern:BGRound:DEFault <type>[,<numeric>]**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> HEADer           ヘッダ部分 PAYLoad         ペイロード部分 ALL               ヘッダ・ペイロード部分 <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 10 ※<numeric>を設定しないとき … 10個のセルすべてヘッダ・ペイロードを 初期パターンに設定します。 <numeric>を設定したとき … 1個のセルのヘッダ・ペイロードを 初期パターンに設定します。
機能	Background cell に初期パターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Background cell 3番目のペイロードパターンを初期設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:BGRound:DEFault PAYLoad,3

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:HEADer <numeric>,<patern>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016           No. <patern> = <STRING PROGRAM DATA> " [<gfc>],[<vpi>],[<vci>],[<pt>],[<clp>] " <gfc> = 0 ~ F           (HEX形式) <vpi> = 0 ~ 255       UNI時 0 ~ 4095       NNI時 <vci> = 0 ~ 65535
-------	---

	<pt> = 000 ~ 111 (BIN形式)
	<clp> = 0 ~ 1 (BIN形式)
機能	ある値より後ろを省略した場合は、コンマも省略できます。
制約	Memorized cell のヘッダパターンを設定します。 以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてのパラメータを省略した場合。</li> <li>・:INSTRUMENT:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	Memorized cell 2016番目のヘッダパターンをGFC:F,PT:001に設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:HEADer 2016,"F",,"001",

#### **:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:HEADer? <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス	<pattern> = <STRING PROGRAM DATA> " [<gfc>],[<vpi>],[<vci>],[<pt>],[<clp>] " ※<gfc>は、NNI時スペースとする。
機能	Memorized cell のヘッダパターンを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:HEADer? 2016 < "F",255,4095,"001","0"

#### **:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:PAYLoad <numeric>,<string>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016 <string> = <STRING PROGRAM DATA> "00,01,02,03, ... ,2F" ペイロード48バイトを十六進数で指定します。 ※現状の値を変化させないときは、<... ,, ...>と指定します。
機能	Memorized cell のペイロードパターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTRUMENT:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	Memorized cell 2016番目のペイロードパターンを設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:PAYLoad 2016,"00,01,01,00, ... ,01"

#### **:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:PAYLoad? <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Memorized cell のペイロードパターンを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:PAYLoad? 2016 < "00,01,01,00, ... ,01"

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:CRC10 [<numeric>]**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016 ※<numeric>省略時は、1~2016のすべてのMemorized cellのCRC計算を します。
機能	Memorized cell のCRC10計算を指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Memorized cellの2016セルのCRC10計算を指示する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:CRC10 2016

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:DEFault <type>[,<numeric>]**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> HEADer           ヘッダ部分 PAYLoad         ペイロード部分 ALL               1~2016のヘッダ・ペイロード初期化 <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016 ※<numeric>を設定しないとき … 2016個のセルすべての ヘッダ・ペイロードを初期パターンに設定します。 <numeric>を設定したとき … 1 個のセルの ヘッダ・ペイロードを初期パターンに設定します。
機能	Memorized cell に初期パターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Memorized cell 3番目のペイロードパターンを初期設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:DEFault PAYLoad,3

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:PASTe <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016
機能	Memorized cell の編集をします。(ペースト)
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	Memorized cellの20セル目にペーストする場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:PASTe 20

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:CUT <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ 2016

機能 Memorized cell の編集をします。(カット)

制約 以下の場合、無効とします。  
・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 Memorized cellの20セル目をカットする場合。  
> :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:CUT 20

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:COpy <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ 2016

機能 Memorized cell の編集をします。(コピー)

制約 以下の場合、無効とします。  
・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 Memorized cellの20セル目をコピーする場合。  
> :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:COpy 20

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:INSert <numeric>**

パラメータ<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ 2016

機能 Memorized cell の編集をします。(インサート)

制約 以下の場合、無効とします。  
・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 Memorized cellの20セル目にインサートする場合。  
> :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:EDIT:INSert 20

**:SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:CAPTure**

パラメータ なし

機能 キャプチャ結果をMemorized cellにコピーします。

制約 以下の場合、無効とします。  
・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
・Captureデータが存在しない場合。

使用例 > :SOURce:ATM:PATtern:MEMorized:CAPTure

**:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:PAYLoad <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> IPV4 IPV6
機能	送信するAAL5 フレームのペイロードにおいてIPを選択した場合にIPの種類を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:CONFig の設定が <ATM>以外の場合。 ・ オプション15が装着されていない場合。
使用例	IPの種類をIPv6に設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:PAYLoad IPV6

**:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:PAYLoad?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:PAYLoad と同じ。
機能	送信するAAL5 フレームのペイロードにおいてIPを選択した場合にIPの種類を問い合わせます。
使用例	IPの種類の設定状態を問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:PAYLoad? < IPV6

**:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer “[<VER>],[<IHL>],[<TOS>],[<TL>],[<ID>],[<FLAG>],[<OFFSET>],[<TTL>],[<PROTOCOL>]”**

パラメータ	<VER> = <STRING PROGRAM DATA> 0~15 ステップ値 1 <IHL> = <STRING PROGRAM DATA> 0~15 <TOS> = <BINARY NUMERIC PROGRAM DATA > 00000000 ~ 11111111 (BIN形式) <TL> = <STRING PROGRAM DATA> 20 ~ 65535 <ID> = <STRING PROGRAM DATA> 0 ~ 65535 <FLAG> = <BINARY NUMERIC PROGRAM DATA > 000 ~ 111 (BIN形式) <OFFSET> = <STRING PROGRAM DATA> 0 ~ 8192 <TTL> = <STRING PROGRAM DATA> 0 ~ 255 <PROTOCOL> = <STRING PROGRAM DATA> 0~255 * ある値の後ろが全て省略の場合は、コンマも省略できる。
機能	送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合のヘッダパターンを設定します。

制 約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:CONFig の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・オプション15が装着されていない場合。</li> </ul>
使用例	AAL5フレームのペイロードがIP(IPV4)の場合のヘッダパターンをVersion 1, TOS 00000111, Fragment offset 100と設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer “1,,00000111,,,100,,”

### **:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer?**

レスポンス	<VER> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <IHL> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <TOS> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <TL> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <ID> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <FLAG> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <OFFSET> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <TTL> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。 <PROTOCOL> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer と同じ。
機 能	送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合のヘッダの設定状態を問い合わせます。
使用例	ヘッダパターンの問い合わせをする場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:HEADer? < “1,5,00000111,30,0,000,100,127,6”

### **:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess<type>, “<adr1>, <adr2>, <adr3>, <adr4>”**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> SOURCE DESTIN <adr1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0 ~ 255 <adr2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
-------	--

	0 ~ 255
	<adr3> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
	0 ~ 255
	<adr4> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
	0 ~ 255
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に, Source address または Destination addressを設定します。
制約	以下の場合, 無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTRUMENT:CONFIg の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ オプション15が装着されていない場合。</li> </ul>
使用例	AAL5 フレーム(IPv4)の Source Address を 123.0.123.0に設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResS SOURCE, "123,0,123,0"

**:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResS? <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResSと同じ。
レスポンス	<adr1> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResSと同じ。 <adr2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResSと同じ。 <adr3> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResSと同じ。 <adr4> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResSと同じ。
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合に, Source address または Destination addressの設定状態を問い合わせます。
使用例	AAL5 フレーム(IPv4)の Source Addressの設定値を問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V4:ADDResS? SOURCE <"123,0,123,0"

**:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V6:HEADer "[<VER>],[<PRI>],[<FL>],[<PL>],[<NH>],[<HL>]"**

パラメータ	<VER> = <STRING PROGRAM DATA> 0~15 <PRI> = <BINARY NUMERIC PROGRAM DATA > 0000 ~ 1111 (BIN 形式) <FL> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA > 00000000000000000000000000000000 ~ 11111111111111111111111111111111 (BIN 形式) <PL> = <STRING PROGRAM DATA>
-------	---

	0 ~ 65535
	<NH> = <STRING PROGRAM DATA>
	0 ~ 255
	<HL> = <STRING PROGRAM DATA>
	0 ~ 255
機能	* ある値の後ろが全て省略の場合は、コンマも省略できる。 送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合のヘッダパターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が <ATM>以外の場合。 ・ オプション15が装着されていない場合。
使用例	送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合のヘッダパターンをPriority 0100, Hop Limit 120 と設定する場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V6:HEADer "0,0100,,,120"

#### **:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V6:HEADer?**

レスポンス	<pattern> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V6:HEADer と同じ。 送信するAAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に、ヘッダの設定を問い合わせます。
使用例	ヘッダパターンの問い合わせをする場合。 > :SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V6:HEADer? < "0,0100,,,120"

#### **:SOURce:ATM:PATtern:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess <type>, "<adr1> , <adr2>, <adr3>, <adr4>,<adr5>, <adr6>, <adr7>, <adr8>"**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	SOURCE
	DESTIN
	<adr1> = <STRING PROGRAM DATA>
	0000 ~ FFFF (HEX 形式)
	<adr2> = <STRING PROGRAM DATA>
	0000 ~ FFFF (HEX 形式)
	<adr3> = <STRING PROGRAM DATA>
	0000 ~ FFFF (HEX 形式)
	<adr4> = <STRING PROGRAM DATA>
	0000 ~ FFFF (HEX 形式)
	<adr5> = <STRING PROGRAM DATA>
	0000 ~ FFFF (HEX 形式)
	<adr6> = <STRING PROGRAM DATA>

	0000 ~ FFFF (HEX 形式)
	<adr7> = <STRING PROGRAM DATA>
	0000 ~ FFFF (HEX 形式)
	<adr8> = <STRING PROGRAM DATA>
機能	0000 ~ FFFF (HEX 形式) AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に, Source addressまたは Destination addressを設定します。
制約	以下の場合, 無効とします。 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が <ATM>以外の場合。 ・ オプション15が装着されていない場合。
使用例	AAL5 フレーム(IPv6)の Source Address を 0.0.0.0.0.0.1 に設定する場合。  >:SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResS SOURCE, “0000,0000,0000,0000,0000,0000,0000,0001”

**:SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResS? <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。
レスポンス	<adr1> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。 <adr2> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。 <adr3> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。 <adr4> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。 <adr5> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。 <adr6> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。 <adr7> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。 <adr8> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResSと同じ。
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv6)の場合に, Source address または Destination addressの設定状態を問い合わせます。
使用例	AAL5 フレーム(IPV6)の Source addressの設定値を問い合わせる場合。 > :SOURce:ATM:PATTern:IPPacket:HEADer:V6:ADDResS? SOURCE < “0000,0000,0000,0000,0000,0000,0000,0001”

**:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:DEFAULT**

パラメータ	なし
機能	送信するAAL5 フレームのペイロードがIPの場合に、ヘッダパターンを初期化します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTRUMENT:CONFIG の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・オプション15が装着されていない場合。</li> </ul>
使用例	> :SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:HEADER:DEFAULT

**:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V4:INITIAL <init>**

パラメータ	<init> = <STRING PROGRAM DATA> “00000000” ~ “11111111”
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPv4)の場合、65535 bytesのペイロードパターンに値を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTRUMENT:CONFIG の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・オプション15が装着されていない場合。</li> </ul>
使用例	65535 bytesのペイロードパターンに“0F”を設定する場合。 > :SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:INITIAL “00001111”

**:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V6:INITIAL <init>**

パラメータ	<init> = <STRING PROGRAM DATA> “00000000” ~ “11111111”
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPV6)の場合、65535 bytesのペイロードパターンに値を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTRUMENT:CONFIG の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・オプション15が装着されていない場合。</li> </ul>
使用例	65535 bytesのペイロードパターンに“0F”を設定する場合。 > :SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:INITIAL “00001111”

**:SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V4:PATTERN <start>, <string>**

パラメータ	<start> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1~65507 (設定開始位置(バイト)) <string> = <STRING PROGRAM DATA> “00” ~ “FF” の範囲で “00, 00, …, 00”(設定するバイト数分を 64 バイトまで 16 進数で指定する)
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPV4)の場合、65535 bytes ペイロードパターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTRUMENT:CONFIG の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・オプション15が装着されていない場合。</li> </ul>
使用例	ペイロードの3番目から4バイト分 “10, 01, 01, 10”を設定する場合 > :SOURCE:ATM:PATTERN:IPPacket:INFORMATION:V4:PATTERN 3, “10, 01, 01, 10”

**:SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V4:PAATtern? <start>, <stop>**

パラメータ	<start>, <stop>= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1~65507 (出力開始位置(バイト), 出力終了位置(バイト))
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V4:PAATtern と同じ。
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPV4)の場合, 65535 bytes ペイロードパターンを問い合わせます。
使用例	ペイロードの3バイト目から10バイト目までのパターン設定値を問い合わせる場合 > :SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V4:PAATtern? 3, 10 < "10,01,01,10,00,00,00,00" 設定を行っていない byte には, 初期値 0x00 が入ります。

**:SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V6:PAATtern <start>, <string>**

パラメータ	<start> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1~65487 (設定開始位置(バイト)) <string> = <STRING PROGRAM DATA> "00" ~ "FF" の範囲で "00, 00, ..., 00"(設定するバイト数分を 64 バイトまで 16 進数で指定する)
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPV6)の場合に, 65535 bytes ペイロードパターンを設定します。
制約	以下の場合, 無効とします。 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が <ATM>以外の場合。 ・ オプション15が装着されていない場合。
使用例	ペイロードの3番目から4バイト分 "10, 01, 01, 10"を設定する場合 > :SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V6:PAATtern 3, "10, 01, 01, 10"

**:SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V6:PAATtern? <start>, <stop>**

パラメータ	<start>, <stop>= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1~65487 (出力開始位置(バイト), 出力終了位置(バイト))
レスポンス	<string> = <STRING RESPONSE DATA> :SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V6:PAATtern と同じ。
機能	AAL5 フレームのペイロードがIP(IPV6)の場合に, 65535 bytes ペイロードパターンを問い合わせます。
使用例	ペイロードの3バイト目から10バイト目までのパターン設定値を問い合わせる場合 > :SOURce:ATM:PAATtern:IPPacket:INFormation:V6:PAATtern? 3, 10 < "10,01,01,10,00,00,00,00" 設定を行っていない byte には, 初期値 0x00 が入ります。

## 4.4.3 SENSE subsystem (受信側と測定条件の設定)

SENSEサブシステムでは、受信側と測定条件を設定します。

機能	コマンド	パラメータ
<i>Page 4-122</i>		
45M信号のPLCPを設定	:SENSE:TELEcom:M45:PLCP	boolean
45M信号のPLCPを問い合わせ	:SENSE:TELEcom:M45:PLCP?	
<i>Page 4-122</i>		
測定モードを設定	:SENSE:MEASure:TYPE	mmode
<i>Page 4-123</i>		
測定時間を設定	:SENSE:MEASure:PERiod	numeric suffix
<i>Page 4-123</i>		
測定開始時刻設定機能のON/OFFを設定	:SENSE:MEASure:BTIME:SET	boolean
測定開始時刻設定機能の測定開始時刻を設定	:SENSE:MEASure:BTIME:START	year month day hour minute second
<i>Page 4-124</i>		
測定状態の問い合わせ	:SENSE:MEASure:STATE?	
<i>Page 4-124</i>		
Captureする項目を設定	:SENSE:OHCapture:TYPE	type
<i>Page 4-124</i>		
Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時のCaptureするバイト位置の設定	:SENSE:OHCapture:POSition:SOH	posi
	:SENSE:OHCapture:POSition:TOH	posi
<i>Page 4-125</i>		
Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時のCaptureするチャンネル位置を設定	:SENSE:OHCapture:CHANel	ch
<i>Page 4-126</i>		
Trigger項目を設定	:SENSE:OHCapture:TRIGger:TYPE	trig
OH captureのトリガパターンを設定	:SENSE:OHCapture:TRIGger:PATtern	pattern
OH captureのマスクパターンを設定	:SENSE:OHCapture:TRIGger:MASK	mask
Trigger位置を設定	:SENSE:OHCapture:TRIGger:POSition	numeric
<i>Page 4-128</i>		
OHCaptureを開始	:SENSE:OHCapture:START	
<i>Page 4-128</i>		
OHCaptureを停止	:SENSE:OHCapture:STOP	
<i>Page 4-128</i>		
OHCapture状態を問い合わせ	:SENSE:OHCapture:STATE?	
<i>Page 4-129</i>		
受信信号のATMマッピングを設定	:SENSE:ATM:MAPPING	mtype
受信信号のATMマッピングの問い合わせ	:SENSE:ATM:MAPPING?	

## 4章 リモートコントロール

### Page 4-129

受信信号のHeader structureを設定	:SENSe:ATM:HSTRucture	htype
受信信号のHeader structureの問い合わせ	:SENSe:ATM:HSTRucture?	

### Page 4-130

受信信号のOAMタイプを設定	:SENSe:ATM:OAM	type
受信信号のOAMタイプの問い合わせ	:SENSe:ATM:OAM?	

### Page 4-130

ヘッダフィルタパターンを設定	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:HEADer:PATtern	pattern
ヘッダフィルタパターンの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:HEADer:PATtern?	
ヘッダフィルタマスクパターンを設定	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:HEADer:MASK	string
ヘッダフィルタマスクパターンの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:HEADer:MASK?	

### Page 4-131

ペイロードフィルタパターンを設定	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:PATtern	string
ペイロードフィルタパターンの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:PATtern?	
ペイロードフィルタマスクパターンを設定	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:MASK	string
ペイロードフィルタマスクパターンの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:MASK?	
ペイロードフィルタポジションを設定	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:POSition	numeric
ペイロードフィルタポジションの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:POSition?	

### Page 4-133

AAL2時のCIDの指定	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:CID:PATtern	string
CIDの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:CID:PATtern?	

### Page 4-133

AAL2時のMIDの指定	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:MID:PATtern	string
MIDの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:FILTer:MID:PATtern?	

### Page 4-134

測定条件のVP/VCを設定	:SENSe:ATM:MANual:OAMCell	type
測定条件のVP/VCの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:OAMCell?	

### Page 4-134

Non-conformingのCBRタイプを設定	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPE	type
CBRタイプを問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPE?	
Non-conforming CBR(kbit/s)設定	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:BPS	numeric
Non-conforming CBR(kbit/s)の問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:BPS?	
Non-conforming CBR(Cell/s)設定	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:CPS	numeric
Non-conforming CBR(Cell/s)の問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:CPS?	
Non-conforming CBR(%)設定	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:PERCent	numeric
Non-conforming CBR(%)の問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:PERCent?	
Non-conforming CDVT設定	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CDVT	numeric
Non-conforming CDVTの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CDVT?	

## Page 4-137

キャプチャトリガ項目を設定	:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:TRIGger	error
キャプチャトリガ項目の問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:TRIGger?	
トリガ位置を設定	:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:POSition	numeric
トリガ位置の問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:POSition?	
キャプチャを開始	:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STARt	
現在実行中のキャプチャを停止	:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STOP	
キャプチャ状態の問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STATe?	
Live monitorのモードを設定	:SENSe:ATM:MANual:LMOonitor:TYPE	type
Live monitorのモードの問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:LMOonitor:TYPE?	
Live monitorのCH search	:SENSe:ATM:MANual:LMOonitor:CHSearch	
Live monitorのサーチ状態の問い合わせ	:SENSe:ATM:MANual:LMOonitor:STATe?	

## Page 4-141

1-point CDVのPCR設定	:SENSe:ATM:CDV1:PCR	numeric suffix
1-point CDVのPCR設定の問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV1:PCR?	

## Page 4-141

1-point CDV測定の測定モードを設定	:SENSe:ATM:CDV1:TYPE	type
1-point CDV測定の測定モードの問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV1:TYPE?	

## Page 4-142

1-point CDV測定の測定時間を設定	:SENSe:ATM:CDV1:PERiod	numeric suffix
1-point CDV測定の測定時間の問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV1:PERiod?	

## Page 4-142

1-point CDV測定の基準となるセル間隔を設定	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:TYPE	character
1-point CDV測定の基準となるセル間隔の問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:TYPE?	
1-point CDV測定のセル間隔設定	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS	numeric
1-point CDV測定のセル間隔の問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS?	
1-point CDV測定のセル間隔設定(cell/s)	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:CPS	numeric
1-point CDV測定のセル間隔の問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:CPS?	
1-point CDV測定のセル間隔(%)設定	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PERCent	numeric
1-point CDV測定のセル間隔の問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PERCent?	

## Page 4-144

2-point CDV測定の測定モードを設定	:SENSe:ATM:CDV2:TYPE	type
2-point CDV測定の測定モードの問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV2:TYPE?	
2-point CDV測定の測定時間を設定	:SENSe:ATM:CDV2:PERiod	numeric suffix
2-point CDV測定の測定時間の問い合わせ	:SENSe:ATM:CDV2:PERiod?	

**:SENSe:TELEcom:M45:PLCP <boolean>**

パラメータ            <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>  
                          OFF or 0  
                          ON or 1

機能                    45Mの信号のPLCPを設定します。

制約                    以下の場合、無効とします。

- ・ 1.5/45/52Mユニットが未実装の場合。
- ・ ATMユニットが未実装の場合。
- ・ :INSTrument:ATMが、 <OFF>の場合。
- ・ :SENSe:TELEcom:BRATeが、 <M45>以外の場合。

使用例                 45M PLCPをOFFに設定する場合。  
                          >:SENSe:TELEcom:M45:PLCP OFF

**:SENSe:TELEcom:M45:PLCP?**

レスポンス            <boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
                          0  
                          1

機能                    45M信号のPLCPを問い合わせます。

使用例                 > :SENSe:TELEcom:M45:PLCP?  
                          < 0

**:SENSe:MEASure:TYPE <mmode>**

パラメータ            <mmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                          MANual                 マニュアル測定  
                          SINGle                 シングル測定  
                          REPEAT                 リピート測定

機能                    測定モードを設定します。

制約                    以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">,  
    <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,  
    <"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">  
    以外の場合。

使用例                 測定モードをリピート測定に設定する場合。  
                          > :SENSe:MEASure:TYPE REPEAT

**:SENSE:MEASure:PERiod <numeric>,<suffix>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 99 <suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA> D day H hour M minute S second
機能	測定時間を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELl">, <"MANual:RCELl">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON"> 以外の場合。
使用例	測定時間を1時間に設定する場合。 > :SENSE:MEASure:PERiod 1,H

**:SENSE:MEASure:BTIME:SET <boolean>**

パラメータ	<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA> OFF or 0 測定開始時刻設定機能 OFF ON or 1 測定開始時刻設定機能 ON
機能	測定開始時刻設定機能のON/OFFを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELl">, <"MANual:RCELl">以外の場合。
使用例	測定開始時刻設定機能をONに設定する場合。 > :SENSE:MEASure:BTIME:SET ON

**:SENSE:MEASure:BTIME:START <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>**

パラメータ	<year> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1994~2093 <month> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1~12 <day> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1~31 <hour> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~23
-------	---

<minute>= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0~59

<second>= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0~59

機能 測定開始時刻設定機能の測定開始時刻を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。  
:DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">,  
<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
以外の場合。

使用例 測定開始時刻を1995年4月1日10時12分13秒に設定する場合。  
:SENSe:MEASure:BTIMe:STARt 1995,4,1,10,12,13

**:SENSe:MEASure:STATe?**

レスポンス <mestype>,<numeric>

<mestype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
CDV11-point CDV測定  
CDV22-point CDV測定

<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0 測定終了  
1 測定中

機能 測定状態を問い合わせます。

使用例 >:SENSe:MEASure:STATe?  
< CDV1,1

**:SENSe:OHCapture:TYPE <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
(SDH)  
H1H2 H1/H2  
K1K2 K1/K2  
SOH SOH 1byte  
POH POH 1byte  
(SONET)  
H1H2 H1/H2  
K1K2 K1/K2  
TOH TOH 1byte  
POH POH 1byte

機能 Capture する項目を設定します。

使用例 Capture する項目を SOH に設定する場合。  
> :SENSe:OHCapture:TYPE SOH

**:SENSe:OHCapture:POSition:SOH <posi>****:SENSe:OHCapture:POSition:TOH <posi>**

パラメータ

&lt;posi&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0	X18	X19
						Z01	Z02	Z03
--	X22	X23	E1	X25	X26	F1	X28	X29
X21			X24			X27		
X29	X32	X33	D2	X35	X36	D3	X38	X39
			X34			X37		
--	--	--	--	X55	X56	--	X58	X59
			X54			X57		
D4	X62	X63	D5	X65	X66	D6	X68	X69
X61			X64			X67		
D7	X72	X73	D8	X75	X76	D9	X78	X79
X71			X74			X77		
D10	X82	X83	D11	X85	X86	D12	X88	X89
X81			X84			X87		
S1	Z12	Z13	Z21	Z22	M1	E2	X98	X99
Z11			M1		Z23	X97		

機能

Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture するバイト位置を設定します。

制約

次の場合無効となります。

- :SENSe:OHCapture:TYPE の設定が<SOH>,<TOH>以外の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が, <"MANual[:JOFF]">,  
<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,  
<"MANual:RCELL">,<"PSEquence[:JOFF]">,<"PSEquence:JON">  
以外の場合。

使用例

Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture する位置を Z12 に設定。

&gt; :SENSe:OHCapture:POSition:SOH Z12

**:SENSe:OHCapture:CHANel <ch>**

パラメータ

&lt;ch&gt; = &lt;DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA&gt;

1 ~ 64      ステップ値 : 1

機能

Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture するチャンネル位置を設定しま

す。

制約

次の場合無効となります。

- :SENSe:OHCapture:TYPE の設定が<SOH>,<TOH>以外の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が, <"MANual[:JOFF]">,  
<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,  
<"MANual:RCELL">,<"PSEquence[:JOFF]">,<"PSEquence:JON">  
以外の場合。

使用例

チャンネル位置を 1 に設定する場合。

&gt; :SENSe:OHCapture:CHANel 1

**:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE <trig>**

パラメータ

&lt;trig&gt; = &lt;STRING PROGRAM DATA&gt;

(SDH)

(SONET)

"B1"	B1	"B1"	B1
"B2"	B2	"B2"	B2
"HB3"	HP-B3	"HB3"	HP-B3
"BIP2"	BIP-2	"LB3"	LP-B3
"MREI"	MS-REI	"BIP2"	BIP-2
"HREI"	HP-REI	"REIL"	REI-L
"HIEC"	HP-IEC	"REIP"	REI-P
"HTREI"	HP-TC-REI	"HIEC"	HP-IEC
"HOEI"	HP-OEI	"HTREI"	HP-TC-REI
"LREI"	LP-REI	"HOEI"	HP-OEI
"LIEC"	LP-IEC	"REIV"	REI-V
"LTREI"	LP-TC-REI	"LIEC"	LP-IEC
"LOEI"	LP-OEI	"LTREI"	LP-TC-REI
"N2BIP2"	N2 BIP-2	"LOEI"	LP-OEI
"OHBIT"	OH Bit	"N2BIP2"	N2 BIP-2
"BIT"	Bit	"OHBIT"	OH Bit
"LOS"	LOS	"LOS"	LOS
"LOF"	LOF	"LOF"	LOF
"OOF"	OOF	"OOF"	OOF
"MAIS"	MS-AIS	"AISL"	AIS-L
"MRDI"	MS-RDI	"RDIL"	RDI-L
"AAIS"	AU-AIS	"AISP"	AIS-P
"ALOP"	AU-LOP	"LOPP"	LOP-P
"HRDI"	AU	"RDIP"	RDI-P
"HSLM"	HP-RDI	"SLMP"	SLM-P
"HTIM"	HP-TIM	"TIMP"	TIM-P
"HUNEQ"	HP-UNEQ	"UNEQP"	UNEQ-P
"HVAIS"	HP-VC-AIS	"HVAIS"	HP-VC-AIS
"HISF"	HP-ISF	"HISF"	HP-ISF
"HFAS"	HP-FAS	"HFAS"	HP-FAS
"HIAIS"	HP-Inc-AIS	"HIAIS"	HP-Inc-AIS
"HTRDI"	HP-TC-RDI	"HTRDI"	HP-TC-RDI
"HODI"	HP-ODI	"HODI"	HP-ODI
"TAIS"	TU-AIS	"AISV"	AIS-V
"TLOP"	TU-LOP	"LOPV"	LOP-V
"TLOM"	TU-LOM	"LOMV"	LOM-V
"LRDI"	LP-RDI	"RDIV"	RDI-V
"LSLM"	LP-SLM	"SLMV"	SLM-V
"LRFI"	LP-RFI	"RFIV"	RFI-V
"LTIM"	LP-TIM	"TIMV"	TIM-V
"LUNEQ"	LP-UNEQ	"UNEQV"	UNEQ-V
"LVAIS"	LP-VC-AIS	"LVAIS"	LP-VC-AIS
"LFAS"	LP-FAS	"LFAS"	LP-FAS
"LIAIS"	LP-Inc-AIS	"LIAIS"	LP-Inc-AIS
"LTRDI"	LP-TC-RDI	"LTRDI"	LP-TC-RDI
"LODI"	LP-ODI	"LODI"	LP-ODI
"SYNC"	Sync	"SYNC"	Sync
"OSYNC"	OH Sync	"OSYNC"	OH Sync
"HAIS"	HG AIS	"HAIS"	HG AIS
"HREC"	HG REC	"HREC"	HG REC
"BAIS15M"	BAIS 1.5M	"BAIS15M"	BAIS 1.5M
"SIGAIS"	SigAIS	"SIGAIS"	
"SIGOOF"	SigOOF	"SIGOOF"	SigOOF
"K12MAtch"	K1/K2 match	"K12MAtch"	K1/K2 match
"K12MIsmatch"	K1/K2 mismatch	"K12MIsmatch"	K1/K2 mismatch
"ANDF"	AU-NDF	"ANDF"	AU-NDF
"APPJC"	AU+PJC	"APPJC"	AU+PJC
"AMPJC"	AU-PJC	"AMPJC"	AU-PJC
"A3CONS"	AU 3 cons	"A3CONS"	AU 3 cons

	"TNDF"	TU-NDF	"TNDF"	TU-NDF
	"TPPJC"	TU+PJC	"TPPJC"	TU+PJC
	"TMPJC"	TU-PJC	"TMPJC"	TU-PJC
	"T3CONS"	TU 3 cons	"T3CONS"	TU 3 cons
	"EXternal"	External	"EXternal"	EXternal
	"MANual"	MANual	"MANual"	MANual
機能	Trigger 項目を設定します。			
使用例	Trigger を B2 に設定する場合。 > :SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE "B2"			

### **:SENSe:OHCapture:TRIGger:PATtern <pattern>**

パラメータ	<pattern> = <STRING PROGRAM DATA> "0000000000000000"~"1111111111111111"
機能	OH capture のトリガパターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELl"&gt;, &lt;"MANual:RCELl"&gt;,&lt;"PSEquence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEquence:JON"&gt; 以外の場合。</li> <li>・:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE の設定が&lt;"K12MAtch"&gt;, &lt;"K12MIsmatch"&gt;以外の設定の場合。</li> </ul>
使用例	トリガのパターンを"0000110100001101"に設定する場合。 > :SENSe:OHCapture:TRIGger:PATtern "0000110100001101"

### **:SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK <mask>**

パラメータ	<mask> = <STRING PROGRAM DATA> "0000000000000000"~"1111111111111111"
機能	OH capture のマスクパターンを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELl"&gt;, &lt;"MANual:RCELl"&gt;,&lt;"PSEquence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEquence:JON"&gt; 以外の場合。</li> <li>・:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE の設定が&lt;"K12MAtch"&gt;, &lt;"K12MIsmatch"&gt;以外の設定の場合。</li> </ul>
使用例	パターンマスクを"0000110100001101"に設定する場合。 > :SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK "0000110100001101"

**:SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 1023      ステップ値 : 1
機能	Trigger 位置を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;,  &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,  &lt;"MANual:RCELL"&gt;,&lt;"PSEquence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEquence:JON"&gt;  以外の場合。</li> </ul>
使用例	Trigger 位置を 7 に設定する場合。 > :SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition 7

**:SENSe:OHCapture:START**

パラメータ	なし
機能	OHCapture を開始します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;,  &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,  &lt;"MANual:RCELL"&gt;,&lt;"PSEquence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEquence:JON"&gt;  以外の場合。</li> </ul>
使用例	Capture の開始を設定する場合。 > :SENSe:OHCapture: START

**:SENSe:OHCapture:STOP**

パラメータ	なし
機能	OHCapture を停止します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;,  &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,  &lt;"MANual:RCELL"&gt;,&lt;"PSEquence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEquence:JON"&gt;  以外の場合。</li> </ul>
使用例	OHCapture の停止を行う場合。 > :SENSe:OHCapture:STOP

**:SENSe:OHCapture:STATe?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0      OHCapture   On 1      OHCapture   Off
機能	OHCapture 状態を問い合わせます。
使用例	> :SENSe:OHCapture:STATe? < 0

**:SENSe:ATM:MAPPING <mtype>**

パラメータ	<mtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	AAL1            AAL1
	AAL2            AAL2
	AAL34           AAL3/4
	AAL5            AAL5
	ATM             ATM
機能	受信信号のATMマッピングを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTRument:ATMが、<OFF>の場合。
使用例	受信信号のATMマッピングをAAL1に設定する場合。 > :SENSe:ATM:MAPPING AAL1

**:SENSe:ATM:MAPPING?**

レスポンス	<mtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	受信信号のATMマッピングを問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:MAPPING? < AAL1

**:SENSe:ATM:HSTRUCTure <htype>**

パラメータ	<htype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	UNI
	NNI
機能	受信信号のHeader structureを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTRument:ATMが、<OFF>の場合。
使用例	受信信号のATMマッピングをAAL1に設定する場合。 > :SENSe:ATM:HSTRUCTure UNI

**:SENSe:ATM:HSTRUCTure?**

レスポンス	<htype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	受信信号のHeader structureを問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:HSTRUCTure? < UNI

### **:SENSe:ATM:OAM <type>**

パラメータ            <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                              SEGment            Segment  
                              END                    End-to-end

機能                    受信信号のOAMタイプを設定します。

制 約                    以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:ATMが、 <OFF>の場合。

使用例                    OAMタイプをEnd-to-endに設定する場合。

```
> :SENSe:ATM:OAM END
```

### **:SENSe:ATM:OAM?**

レスポンス            <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能                    受信信号のOAMタイプを問い合わせます。

使用例                    > :SENSe:ATM:OAM?  
                              < END

### **:SENSe:ATM:MANual:FILTer:HEADer:PATtern <pattern>**

パラメータ            <pattern> = <STRING PROGRAM DATA>  
                              "[<gfc>],[<vpi>],[<vci>],[<pt>],[<clp>]"  
                              <gfc> = 0 ~ F            (HEX形式)  
                              <vpi> = 0 ~ 255        UNI時  
                              0 ~ 4095                NNI時  
                              <vci> = 0 ~ 65535  
                              <pt> = 000 ~ 111        (BIN形式)  
                              <clp> = 0 ~ 1            (BIN形式)

ある値から後ろが省略できるとき、コンマも省略可です。

機能                    ヘッダフィルタパターンを設定します。

制 約                    以下の場合、無効とします。

- ・ パラメータを全て省略した場合。
- ・ :INSTrument:ATMが、 <OFF>の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
                              <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
                              以外の場合。

使用例                    ヘッダフィルタパターンを、 GFC:F, VPI:255に設定する場合。

```
> :SENSe:ATM:MANual:FILTer:HEADer:PATtern "F,255"
```

**:SENSE:ATM:MANual:FILTer:HEADer:PATtern?**

レスポンス <pattern> = <STRING RESPONSE DATA>  
 ※<gfc>は、NNI時詰めて出力されます。

機能 ヘッダフィルタパターンを問い合わせます。

使用例 > :SENSE:ATM:MANual:FILTer:HEADer:PATtern?  
 < "F,001,255,4095,1"

**:SENSE:ATM:MANual:FILTer:HEADer:MASK <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00,00,00,00" ヘッダマスクパターン4バイトを十六進数で  
 指定します。

※現状の値を変化させないときは、<… , …>と指定します。

機能 ヘッダフィルタマスクパターンを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。

使用例 ヘッダフィルタマスクパターンを"00,01,10,00"に設定する場合。  
 > :SENSE:ATM:MANual:FILTer:HEADer:MASK "00,01,10,00"

**:SENSE:ATM:MANual:FILTer:HEADer:MASK?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 ヘッダフィルタマスクパターンを問い合わせます。

使用例 > :SENSE:ATM:MANual:FILTer:HEADer:MASK?  
 < "00,01,01,00"

**:SENSE:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:PATtern <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00" ペイロードパターン1バイトを十六進数で指定します。

機能 ペイロードフィルタパターンを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。

使用例 ペイロードフィルタパターンを"00"に設定する場合。  
 > :SENSE:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:PATtern "00"

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:PATtern?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 ペイロードフィルタパターンを問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:PATtern?  
 < "00"

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:MASK <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
 "00" ペイロード1バイトを十六進数で指定します。  
 機能 ペイロードフィルタマスクパターンを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:ATMが、 <OFF>の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
 以外の場合。  
 使用例 ペイロードフィルタマスクパターンを"00"に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:MASK "00"

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:MASK?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 ペイロードフィルタマスクパターンを問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:MASK?  
 < "00"

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:POSition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 48 ステップ値:1  
 機能 ペイロードフィルタポジションを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:ATMが、 <OFF>の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
 以外の場合。  
 使用例 ペイロードフィルタポジションを10に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:POSition 10

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:POSition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 ペイロードフィルタポジションを問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:POSition?  
 < 10

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:CID:PATtern <string>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 "00"~"FF"  
 機能 AAL2 時の CID の指定を行います。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:ATM が、<OFF>の場合。  
 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,  
 <"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">以外の場合。  
 ・:SENSe:ATM:MANual:TRAFfic:PAYload:TYPE:Time stamp の場合。  
 使用例 CID パターンを"00"に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:FILTer:CID:PATtern "00"

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:CID:PATtern ?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 CIDを問い合わせます。  
 使用例 >:SENSe:ATM:MANual:FILTer:CID:PATtern ?  
 <"00"

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:MID:PATtern <string>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 "0000000000"~"1111111111"  
 機能 AAL2時のMIDの指定を行います。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。  
 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
 以外の場合。  
 ・:SENSe:ATM:MANual:TRAFfic:PAYload:TYPE:Time stampの場合。  
 使用例 MIDパターンを"00"に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:FILTer:MID:PATtern "0101010101"

**:SENSe:ATM:MANual:FILTer:MID:PATtern ?**

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
 機能 MIDを問い合わせます。  
 使用例 >:SENSe:ATM:MANual:FILTer:MID:PATtern ?  
 <"0101010101"

**:SENSe:ATM:MANual:OAMCell <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 VP  
 VC  
 機能 測定条件のVP/VCを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ INStRument:ATMが、 <OFF>の場合。  
 使用例 測定条件VP/VCをVPに設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:OAMCell VP

**:SENSe:ATM:MANual:OAMCell?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESUPONSE DATA>  
 機能 測定条件のVP/VCを問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:OAMCell?  
 < VP

**:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPE <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 BPS bit/s  
 CPS Cells/s  
 PERCent %  
 機能 Non-conforming の CBR タイプを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ ATM ユニット未実装の場合。  
 ・ :INStRument:ATM が、 <OFF>の場合。  
 :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。  
 使用例 CBR タイプを bit/s に設定する場合。  
 > :SOURce:ATM:MANual:NCONForming:CBR:TYPE BPS

**:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	BPS                    bit/s
	CPS                    cells/s
	PERC                   %
機能	Non-conforming の CBR タイプを問い合わせます。
使用例	> :SOURce:ATM:MANual:NCONForming:CBR:TYPE? < BPS

**:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:BPS <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0 ~ 999999            ステップ値:1kbit/s
機能	Non-conforming CBR(kbit/s)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:ATMが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt; 以外の場合。</li> <li>• :SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPEが&lt;BPS&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	Non-conforming CBRを256に設定する場合。 >:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:BPS 256

**:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:BPS?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Non-conforming CBR(kbit/s)を問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:BPS? < 256

**:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:CPS <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~1412830            ステップ値 : 1 Cell/s
機能	Non-conforming CBR(Cell/s)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:ATMが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt; 以外の場合。</li> <li>• :SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPEが&lt;CPS&gt;以外の場合。</li> </ul>

使用例 Non-conforming CBRを256に設定する場合。  
 >:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:CPS 256

#### **:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:CPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 Non-confirming CBR(Cell/s)を問い合わせます。  
 使用例 >:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:CPS?  
 < 256

#### **:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:PERCent <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0.0 ~ 100.0      ステップ値:0.1 (%)  
 機能 Non-conforming CBR(%)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTRument:ATMが、 <OFF>の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。  
 ・ :SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPEが<PERCent>  
 以外の場合。  
 使用例 Non-conforming CBRを10.0に設定する場合。  
 >:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:PERCent 10.0

#### **:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:PERCent?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 Non-confirming CBR(%)を問い合わせます。  
 使用例 >:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CBR:PERCent?  
 < 10.0

#### **:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CDVT <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 999      ステップ値:1 (cell)  
 機能 Non-conforming CDVTを設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTRument:ATMが、 <OFF>の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。  
 使用例 Non-conforming CDVTを256に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CDVT 256

**:SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CDVT?**

レスポンス            <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能                    Non-conforming CDVTを問い合わせます。  
 使用例                 > :SENSe:ATM:MANual:NCONforming:CDVT?  
                          < 256

**:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:TRIGger <error>**

パラメータ            <error> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

"MANual"	Manual
"AIS:VP"	VP-AIS
"RDI:VP"	VP-RDI
"LOC:VP"	VP-LOC
"AIS:VC"	VC-AIS
"RDI:VC"	VC-RDI
"LOC:VC"	VC-LOC
"LCD"	Lost of cell sync
"CORR"	Corrected
"DISC"	Discarded
"NONCONF"	Nonconf
"ERRORED"	Errored cell
"LOST"	Lost cell
"MISINS"	Misinserted
"SB"	SB
"SARPDU"	SAR-PDU
"SNP"	SNP
"UCSNP"	Uncorect SNP
"P"	P
"OSF"	OSF
"SN"	SN
"CPSHEC"	HEC error
"LI"	Length indicater
"LENGTH"	Length
"CRC10"	CRC10
"DISCPDU"	Discarded PDU
"ST"	Segment type
"ABORT"	Abort
"UDLVPDU"	Undelivered PDU
"CPI"	CPI
"BETAG"	B/ETag

"BASIZE" BASize  
 "AL" AL  
 "FSIZE" Frame size  
 "CRC32" CRC32  
 "FM:LOST" FM Lost  
 "FM:MISINS" FM Misinserted  
 "FM:BIPV" FM BIPV  
 "FM:SB" FM SB  
 "BR:LOST" BR Lost  
 "BR:MISINS" BR Misinserted  
 "BR:BIPV" BR BIPV  
 "BR:SB" BR SB

機能  
 制約  
 キャプチャトリガ項目を設定します。  
 以下の場合、無効とします。

- :INSTRUMENT:ATMが、 <OFF>の場合。
- :DISPLAY:TMENU[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
 以外の場合。

使用例  
 キャプチャトリガ項目をMANualに設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:CAPTure:TRIGger MANual

**:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:TRIGger?**

レスポンス <error> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能 キャプチャトリガ項目を問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:CAPTure:TRIGger?  
 < MAN

**:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:POSition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 2016  
 機能 トリガ位置を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。

- :INSTRUMENT:ATMが、 <OFF>の場合。
- :DISPLAY:TMENU[:NAME]が、 <"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI">  
 以外の場合。

使用例  
 トリガ位置53に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:MANual:CAPTure:POSition 53

**:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:POSition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 トリガ位置を問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:CAPTure:POSition?  
 < 53

**:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STARt**

パラメータ なし  
 機能 キャプチャを開始します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。  
 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。  
 ※キャプチャ中に実行した場合、再スタートとなります。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STARt

**:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STOP**

パラメータ なし  
 機能 現在実行中のキャプチャを停止します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・:INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。  
 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
 以外の場合。  
 使用例 :SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STOP

**:SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STATe?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 キャプチャ終了  
 1 トリガ待ち  
 2 エンド待ち  
 機能 キャプチャ状態を問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:MANual:CAPTure:STATe?  
 < 1

**:SENSe:ATM:MANual:LMONitor:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> INDividual 直前の中間データからの値 ACCumulate 測定開始からの累積値
機能	Live monitorのモードを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI"> 以外の場合。
使用例	Live monitorのモードをACCumulateに設定する場合。 > :SENSe:ATM:MANual:LMONitor:TYPE ACCumulate

**:SENSe:ATM:MANual:LMONitor:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> IND 直前の中間データからの値 ACC 測定開始からの累積値
機能	Live monitorのモードを問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:MANual:LMONitor:TYPE? < MAN

**:SENSe:ATM:MANual:LMONitor:CHSearch**

パラメータ	なし。
機能	Live monitorのCH searchを行います。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI"> 以外の場合。
使用例	CH searchをします。 > :SENSe:ATM:MANual:LMONitor:CHSearch

**:SENSe:ATM:MANual:LMONitor:STATe?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0 サーチ終了 1 サーチ中
機能	Live monitorのサーチ状態を問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:MANual:LMONitor:STATe? < 1

**:SENSe:ATM:CDV1:PCR <numeric>,<suffix>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 999ステップ値:1 <suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA> MBPS Mbit/s KBPS kbit/s
機能	1-point CDVのPCRを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1-point CDVのPCRを256kbit/sに設定する場合。 > :SENSe:ATM:CDV1:PCR 256,KBPS

**:SENSe:ATM:CDV1:PCR?**

レスポンス	<numeric>,<suffix> <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	1-point CDVのPCR設定を問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:CDV1:PCR? < 256,KBPS

**:SENSe:ATM:CDV1:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> MANual マニュアル測定 SINGle シングル測定
機能	1-point CDV測定の測定モードを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:INSTrument:ATMが、<OFF>の場合。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1-point CDV測定の測定モードをマニュアル測定に設定する場合。 > :SENSe:ATM:CDV1:TYPE MANual

**:SENSe:ATM:CDV1:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> MAN マニュアル測定 SING シングル測定
機能	1-point CDV測定の測定モードを問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:CDV1:TYPE? < MAN

**:SENSe:ATM:CDV1:PERiod <numeric>,<suffix>**

パラメータ	<p>&lt;numeric&gt; = &lt;DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA&gt; 1 ~ 99</p> <p>&lt;suffix&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</p> <table> <tr><td>D</td><td>day</td></tr> <tr><td>H</td><td>hour</td></tr> <tr><td>M</td><td>minute</td></tr> <tr><td>S</td><td>second</td></tr> </table>	D	day	H	hour	M	minute	S	second
D	day								
H	hour								
M	minute								
S	second								
機能	1-point CDV測定の測定時間を設定します。								
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:ATMが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"CDV1"&gt;以外の場合。</li> <li>・ :SENSe:ATM:CDV1:TYPEが、&lt;MANual&gt;の場合。</li> </ul>								
使用例	<p>1-point CDV測定の測定時間を1時間に設定する場合。</p> <p>&gt; :SENSe:ATM:CDV1:PERiod 1,H</p>								

**:SENSe:ATM:CDV1:PERiod?**

レスポンス	<p>&lt;numeric&gt;,&lt;suffix&gt;</p> <p>&lt;numeric&gt; = &lt;NR1 NUMERIC RESPONSE DATA&gt;</p> <p>&lt;suffix&gt; = &lt;CHARACTER RESPONSE DATA&gt;</p>
機能	1-point CDV測定の測定時間を問い合わせます。
使用例	<p>&gt; :SENSe:ATM:CDV1:PERiod?</p> <p>&lt; 1,H</p>

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:TYPE <character>**

パラメータ	<p>&lt;charater&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</p> <table> <tr><td>BPS</td><td>kbit/s</td></tr> <tr><td>CPS</td><td>cell/s</td></tr> <tr><td>PERCent</td><td>%</td></tr> </table>	BPS	kbit/s	CPS	cell/s	PERCent	%
BPS	kbit/s						
CPS	cell/s						
PERCent	%						
機能	1-point CDV測定の基準となるセル間隔を設定します。						
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:ATMが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"CDV1"&gt;以外の場合。</li> </ul>						
使用例	<p>1-point CDV測定のセル間隔をcell/sに設定する場合。</p> <p>&gt; :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PTYPE CPS</p>						

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能 1-point CDV測定の基本となるセル間隔を問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PTYPE?  
 < CPS

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 999999  
 機能 1-point CDV測定 of セル間隔 (kbit/s) を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:ATMが、 <OFF>の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"CDV1">以外の場合。  
 ・ :SENSe:ATM:CDV1:RTIMEが、 <BPS>以外の場合。  
 使用例 1-point CDV測定 of セル間隔を256に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS 256

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 1-point CDV測定 of セル間隔を問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS?  
 < 256

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:CPS <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 1412830  
 機能 1-point CDV測定 of セル間隔設定(cell/s)を設定します。  
 制約 以下の場合、無効とします。  
 ・ :INSTrument:ATMが、 <OFF>の場合。  
 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"CDV1">以外の場合。  
 ・ :SENSe:ATM:CDV1:RTIMEが、 <CPS>以外の場合。  
 使用例 1-point CDV測定 of セル間隔を256に設定する場合。  
 > :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:CPS 256

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:CPS?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 機能 1-point CDV測定 of セル間隔を問い合わせます。  
 使用例 > :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:CPS?  
 < 256

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PERCent <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0.0 ~ 100.0
機能	1-point CDV測定 of セル間隔(%)を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:ATMが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"CDV1"&gt;以外の場合。</li> <li>・ :SENSe:ATM:CDV1:RTIMEが、&lt;PERCent&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	1-point CDV測定 of セル間隔を10.0に設定する場合。 :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS 10.0

**:SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PERCent?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	1-point CDV測定 of セル間隔を問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PERCent? < 10.0

**:SENSe:ATM:CDV2:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> MANual                    マニュアル測定 SINGle                    シングル測定
機能	2-point CDV測定 of 測定モードを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:ATMが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"CDV2"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	2-point CDV測定 of 測定モードをマニュアル測定に設定する場合。 > :SENSe:ATM:CDV2:TYPE MANual

**:SENSe:ATM:CDV2:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> MAN                        マニュアル測定 SING                       シングル測定
機能	2-point CDV測定 of 測定モードを問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:CDV2:TYPE? < MAN

**:SENSe:ATM:CDV2:PERiod <numeric>,<suffix>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 99 <suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA> D      day H      hour M      minute S      second
機能	2-point CDV測定 of 測定時間を設定します。
制約	以下の場合、無効とします <ul style="list-style-type: none"> <li>・:INSTrument:ATMが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"CDV2"&gt;以外の場合。</li> <li>・:SENSe:ATM:CDV2:TYPEが、&lt;MANual&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	2-point CDV測定 of 測定時間を 1 時間に設定する場合。 > :SENSe:ATM:CDV2:PERiod 1,H

**:SENSe:ATM:CDV2:PERiod?**

レスポンス	<numeric>,<suffix> <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	2-point CDV測定 of 測定時間を問い合わせます。
使用例	> :SENSe:ATM:CDV2:PERiod? < 1,H



## 4.4.4 DISPlay subsystem (Result画面とAnalyze画面の設定)

DISPlayサブシステムでは、Result画面やAnalyze画面の設定を行います。

機能	コマンド	パラメータ
<i>Page 4-157</i>		
Test menu画面における表示項目を選択	:DISPlay:TMENU[:NAME]	tdisplay
Test menu画面における表示項目の問い合わせ	:DISPlay:TMENU[:NAME]?	
<i>Page 4-158</i>		
Test menu:ManualのTx cell画面の切り換えを選択	:DISPlay:TMENU:MANual:SElect	type
Test menu:ManualのTx cell画面状態の問い合わせ	:DISPlay:TMENU:MANual:SElect?	
<i>Page 4-159</i>		
Result画面における表示項目を選択	:DISPlay:RESult[:NAME]	rdisplay
Result画面における表示項目の問い合わせ	:DISPlay:RESult[:NAME]?	
<i>Page 4-160</i>		
測定結果の表示モードを選択	:DISPlay:RESult:EALarm:MODE	rdmode
測定結果のカウンタ値/レート値表示を選択	:DISPlay:RESult:EALarm:UNIT	unit
測定結果 (Alarm) のカウンタ値/秒値表示を選択	:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit	unit
測定結果 (Alarm) のカウンタ値/秒値表示の状態について問い合わせ	:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit?	
Result画面 (Error/Alarm) におけるT Clayer/Cellの切り換えを設定	:DISPlay:RESult:EALarm:TCLayer	boolean
Result画面 (Error/Alarm) におけるT Clayer/Cell状態の問い合わせ	:DISPlay:RESult:EALarm:TCLayer?	
<i>Page 4-162</i>		
測定結果の表示モードを選択	:DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE	rdmode
測定結果のカウンタ値/レート値表示を選択	:DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT	unit
<i>Page 4-163</i>		
測定結果の表示モードを選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:MODE	rdmode
測定結果のカウンタ値/レート値表示を選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT	unit
測定結果 (Alarm) のカウンタ値/秒値表示を選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit	unit
測定結果 (Alarm) のカウンタ値/秒値表示の状態	:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit?	
測定結果 (ZOOM) のアラーム表示を選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm	alarm
測定結果 (ZOOM) のアラーム表示について問い合わせ	:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm?	
測定結果 (ZOOM) のエラー表示を選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor	error
測定結果 (ZOOM) のエラー表示について問い合わせ	:DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor?	

## Page 4-168

測定結果の表示モードを選択	:DISPlay:RESult:PERFormance:MODE	rdmode
測定結果（パフォーマンス G.826）の エラー内容を選択	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor[:G826]	error
測定結果（パフォーマンス G.826）の エラー内容の問い合わせ	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor[:G826]?	

## Page 4-169

Result画面の測定時間表示を選択	:DISPlay:RESult:TIME	time
--------------------	----------------------	------

## Page 4-169

Analyze画面における表示項目を選択	:DISPlay:ANALysis[:NAME]	adisplay
Analyze画面における表示項目の問 い合わせ	:DISPlay:ANALysis[:NAME]?	

## Page 4-171

Analyze:Error/Alarm画面において、 マーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?	
Analyze:Error/Alarm画面における時 間軸の1目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval	numeric suffix
Analyze:Error/Alarm画面における時 間軸の1目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval?	
Error/Alarmグラフの表示開始位置を 設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
Error/Alarmグラフの表示開始位置の 問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM?	
Error/Alarmグラフで表示されるエラ ー項目を設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor	error1 error2
Error/Alarmグラフで表示するエラー 項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor?	
アラーム1に表示するアラーム項目を 設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1	alarm
アラーム1に表示するアラーム項目の 問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1?	
アラーム2に表示するアラーム項目を 設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2	alarm
アラーム2に表示するアラーム項目の 問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2?	
アラーム3に表示するアラーム項目を 設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3	alarm
アラーム3に表示するアラーム項目の 問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3?	
アラーム4に表示するアラーム項目を 設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4	alarm
アラーム4に表示するアラーム項目の 問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4?	
アラーム5に表示するアラーム項目を 設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5	alarm
アラーム5に表示するアラーム項目の 問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5?	
Analyze:Error/Alarm画面の印字範囲 を指定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt	type
トレースグラフタイトルを設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe	title

## Page 4-179

OHモニタの表示項目を選択	:DISPlay:ANALYsis:OHMONitor:TYPE	ohmonitor
OHモニタの表示項目を問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:OHMONitor:TYPE?	
OHモニタにおけるSOHのチャンネルを選択	:DISPlay:ANALYsis:OHMONitor:SOHCh	numeric
OHモニタにおけるC2(1-8bit)のモニタデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:OHMONitor:SLABel?	
OHモニタにおけるPauseを設定	:DISPlay:ANALYsis:OHMONitor:PAUSe	boolean

## Page 4-182

Cellモニタデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:CMONitor:CELL?	
CellモニタにおけるPauseを設定	:DISPlay:ANALYsis:CMONitor:PAUSe	boolean
CellモニタにおけるPause状態の問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:CMONitor:PAUSe?	

## Page 4-183

Analyze:Live monitor画面におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:SCRoll	scroll
Analyze:Live monitor画面の種類を選択	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:GRAFH	character
Analyze:Live monitor画面の種類を問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:GRAFH?	
条件設定画面の表示,非表示の選択	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:THReshold	boolean
条件設定画面の表示,非表示の問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:THReshold?	
Analyze:Live monitor画面のNon-conforming設定の表示ユニットの設定	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:NCONforming	character
Non-conforming設定の表示ユニットの設定を問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:NCONforming?	
Analyze:Live monitor画面におけるPauseを設定	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:PAUSe	boolean
Analyze画面(Live monitor)におけるPause状態の問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:PAUSe?	
Analyze:Live monitor画面における横軸の幅を設定	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:INTerval	numeric suffix
Analyze:Live monitor画面における横軸幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:INTerval?	
Analyze:Live monitor画面におけるVPI,VCIで指定されたデータをセンタ位置に移動	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:VPI	numeric1 numeric2
Analyze:Live monitor画面におけるセンタ値のVPI,VCIを問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:VPI?	
Analyze:Live monitor画面における指定されたNo.をセンタ位置に移動	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:NUMBer	numeric
Analyze:Live monitor画面における画面表示センタ位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:NUMBer?	
Analyze:Live monitor画面の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:PRINt	type
Analyze:Live monitor画面の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:PRINt?	
Analyze:Live monitor画面の印字データを指定	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:PTYPe	type
Analyze:Live monitor画面の印字データを問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:PTYPe?	
Analyze:Live monitor画面におけるタイトルを設定	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:TITLe	title
Analyze:Live monitor画面におけるタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALYsis:LMOonitor:TITLe?	

## Page 4-189

Analyze:Traffic monitor画面におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCRoll	scroll
Analyze:Traffic monitor画面におけるマーカ移動を指示	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MARKer	marker
Analyze:Traffic monitor画面において、マーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:DATA?	
Analyze:Traffic monitor画面における時間軸の1目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:INTerval	numeric suffix
Analyze:Traffic monitor画面における時間軸の1目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:INTerval?	
Analyze:Traffic monitor画面におけるマーカ表示を設定	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplay	boolean
Analyze:Traffic monitor画面におけるマーカ表示の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplay?	
Traffic monitorグラフの表示開始位置を設定	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
Traffic monitorグラフの表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:FROM?	
Analyze:Traffic monitor画面におけるグラフ縦軸スケールを設定	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCALe	character
Analyze:Traffic monitor画面におけるグラフ縦軸スケールの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCALe?	
Analyze:Traffic monitor画面の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:PRINt	type
Analyze:Traffic monitor画面の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:PRINt?	
Analyze:Traffic monitor画面におけるタイトルを設定	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe	title
Analyze:Traffic monitor画面におけるタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe?	

## Page 4-194

Analyze:Cell capture画面における表示位置を指示	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:TYPE	type
Analyze:Cell capture画面の表示位置を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:TYPE?	
Analyze:Cell capture画面における表示位置(Number)を設定	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:LINE	numeric
Analyze:Cell capture画面における表示位置(Number)の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:LINE?	
Analyze:Cell capture画面におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:SCRoll	scroll
Analyze:Cell capture画面のPayload表示タイプを設定	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPE	type
Analyze:Cell capture画面のPayload表示タイプを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPE?	
Analyze:Cell capture画面の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:PRINt	numeric1 numeric2
Analyze:Cell capture画面の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:PRINt?	
Analyze:Cell capture画面に対してタイトルを設定	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:TITLe	title

Analyze:Cell capture画面に対してタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:TITLe?	
Analyze:Cell capture画面のCell captureデータの表示形式を切り換え	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:DTYPE	type
Analyze:Cell capture画面のCell captureデータの表示形式を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CAPTure:DTYPE?	

## Page 4-198

Analyze:1-point CDV画面におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:CDV1:SCRoll	scroll
Analyze:1-point CDV画面の表示データタイプを設定	:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPE	type
Analyze:1-point CDV画面の表示データタイプを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPE?	
Analyze:1-point CDV画面におけるマーカー移動を指示	:DISPlay:ANALysis:CDV1:MARKer	marker
Analyze:1-point CDV画面におけるピークサーチを指示	DISPlay:ANALysis:CDV1:PEAK	peak
Analyze:1-point CDV画面におけるズーム機能を実行	:DISPlay:ANALysis:CDV1:ZOOM	type
Analyze:1-point CDV画面において、マーカーが示すデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV1:DATA?	
Analyze:1-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval	character
Analyze:1-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval?	
Analyze:1-point CDV画面の横軸表示間隔を設定	:DISPlay:ANALysis:CDV1:IUNit	unit
Analyze:1-point CDV画面の横軸表示間隔を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV1:IUNit?	
Analyze:1-point CDV画面におけるマーカーの表示有無を設定	:DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay	boolean
Analyze:1-point CDV画面におけるマーカーの表示状態を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay?	
Analyze:1-point CDV画面の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:CDV1:PRINt	type
Analyze:1-point CDV画面の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV1:PRINt?	
Analyze:1-point CDV画面に対してタイトルを設定	:DISPlay:ANALysis:CDV1:TITLe	title
Analyze:1-point CDV画面に対してタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV1:TITLe?	

## Page 4-203

Analyze:2-point CDV画面におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:CDV2:SCRoll	scroll
Analyze:2-point CDV画面の表示データタイプを設定	:DISPlay:ANALysis:CDV2:TYPE	type
Analyze:2-point CDV画面の表示データタイプを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV2:TYPE?	
Analyze:2-point CDV画面におけるマーカー移動を指示	:DISPlay:ANALysis:CDV2:MARKer	marker
Analyze:2-point CDV画面におけるピークサーチを指示	:DISPlay:ANALysis:CDV2:PEAK	peak
Analyze:2-point CDV画面におけるズーム機能を実行	:DISPlay:ANALysis:CDV2:ZOOM	type
Analyze:2-point CDV画面において、マーカーが示すデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:CDV2:DATA?	

#### 4章 リモートコントロール

Analyze:2-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALySis:CDV2:INTerval	character
Analyze:2-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:CDV2:INTerval?	
Analyze:2-point CDV画面の横軸表示間隔を設定	:DISPlay:ANALySis:CDV2:IUNit	unit
Analyze:2-point CDV画面の横軸表示間隔を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:CDV2:IUNit?	
Analyze:2-point CDV画面におけるマーカーの表示有無を設定	:DISPlay:ANALySis:CDV2:MDISplay	boolean
Analyze:2-point CDV画面におけるマーカーの表示状態を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:CDV2:MDISplay?	
Analyze:2-point CDV画面の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALySis:CDV2:PRINt	type
Analyze:2-point CDV画面の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:CDV2:PRINt?	
Analyze:2-point CDV画面に対してタイトルを設定	:DISPlay:ANALySis:CDV2:TITLe	title
Analyze:2-point CDV画面に対してタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:CDV2:TITLe?	

Page 4-208

Analyze:OH capture画面におけるタイトルを設定	:DISPlay:ANALySis:OHCapture:TITLe	title
---------------------------------	-----------------------------------	-------

Page 4-208

Analyze:Recall画面におけるError/Alarmグラフ表示するエラー項目を設定	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ERRor	error1 error2
Analyze:Recall画面におけるError/Alarmグラフ表示するエラー項目を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ERRor?	
Analyze:Recall画面におけるアラーム1に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm1	alarm
Analyze:Recall画面におけるアラーム1に表示するアラーム項目を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm1?	
Analyze:Recall画面におけるアラーム2に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm2	alarm
Analyze:Recall画面におけるアラーム2に表示するアラーム項目を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm2?	
Analyze:Recall画面におけるアラーム3に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm3	alarm
Analyze:Recall画面におけるアラーム3に表示するアラーム項目を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm3?	
Analyze:Recall画面におけるアラーム4に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm4	alarm
Analyze:Recall画面におけるアラーム4に表示するアラーム項目を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm4?	
Analyze:Recall画面におけるアラーム5に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm5	alarm
Analyze:Recall画面におけるアラーム5に表示するアラーム項目を問い合わせ	:DISPlay:ANALySis:RECall:TGRaph:ALARm5?	
Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALySis:RECall:LMONitOr:SCRoll	scroll

Analyze:Recall画面(Live monitor)における横軸の幅を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:INTerval	numeric suffix
Analyze:Recall画面(Live monitor)における横軸幅を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:INTerval?	
Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるVPI,VCIで指定されたデータを位置に移動	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:VPI	numeric1 numeric2
Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるセンタ値のVPI,VCIを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:VPI?	
Analyze:Recall画面(Live monitor)における指定されたNo.をセンタ位置に移動	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:NUMBer	numeric
Analyze:Recall画面(Live monitor)における画面表示センタ位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:NUMBer?	
Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PRINt	type
Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PRINt?	
Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字データを指定	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PTYPe	type
Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字データを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PTYPe?	
Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:TITLe?	
Analyze:Recall(Live monitor)画面におけるThreshold表示／非表示の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold[:SWITch]	boolean
Analyze:RECall(Live monitor)画面におけるThreshold表示／非表示の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold[:SWITch]?	
Analyze:RECall(Live monitor)画面におけるThreshold(Non-conforming)の単位の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold:NCONforming	character
Analyze:RECall(Live monitor)画面におけるThreshold(Non-conforming)の単位の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold:NCONforming?	
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCRoll	scroll
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるマーカー移動を指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MARKer	marker
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)において、マーカーが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:DATA?	
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)における時間軸の1目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:INTerval	numeric suffix
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)における時間軸の1目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:INTerval?	
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるマーカー表示を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay	boolean
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるマーカー表示を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay?	

#### 4章 リモートコントロール

Analyze:Recall画面におけるTraffic monitorグラフの表示開始位置を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
Analyze:Recall画面における Traffic monitorグラフの表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:FROM?	
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるグラフ縦軸スケールを設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCALe	numeric1 numeric2
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるグラフ縦軸スケールを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCALe?	
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:PRINt	type
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:PRINt?	
Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:TITLe?	
Analyze:Recall画面(Cell capture)における表示位置を指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE	type
Analyze:Recall画面(Cell capture)の表示位置を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE?	
Analyze:Recall画面(Cell capture)における表示位置(Number)を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:LINE	numeric
Analyze:Recall画面(Cell capture)における表示位置(Number)を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:LINE?	
Analyze:Recall画面(Cell capture)におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:SCRoll	scroll
Analyze:Recall画面(Cell capture)のPayload表示タイプを設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE	type
Analyze:Recall画面(Cell capture)のPayload表示タイプを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE?	
Analyze:Recall画面(Cell capture)の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PRINt	numeric1 numeric2
Analyze:Recall画面(Cell capture)の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PRINt?	
Analyze:Recall画面(Cell capture)に対してタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:TITLe?	
Analyze:Cell capture画面のキャプチャデータの表示形式を切り換え	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:DTYPE	type
Analyze:Cell capture画面のキャプチャデータの表示形式を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:DTYPE?	
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:SCRoll	scroll
Analyze:Recall画面(1-point CDV)の表示データタイプを設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TYPE	type
Analyze:Recall画面(1-point CDV)の表示データタイプを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TYPE?	
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるマーカー移動を指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MARKer	marker
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるピークサーチを指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PEAK	peak
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるズーム機能を実行	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:ZOOM	type

Analyze:Recall画面(1-point CDV)において、マーカーが示すデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:DATA?	
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTerval	numeric
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTerval?	
Analyze:Recall画面(1-point CDV)の横軸表示間隔を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:IUNit	unit
Analyze:Recall画面(1-point CDV)の横軸表示間隔を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:IUNit?	
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるマーカーの表示有無を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay	boolean
Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるマーカーの表示状態を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay?	
Analyze:Recall画面(1-point CDV)の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PRINt	type
Analyze:Recall画面(1-point CDV)の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PRINt?	
Analyze:Recall画面(1-point CDV)に対してタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TITLe?	
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:SCRoll	scroll
Analyze:Recall画面(2-point CDV)の表示データタイプを設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TYPE	type
Analyze:Recall画面(2-point CDV)の表示データタイプを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TYPE?	
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるマーカー移動を指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MARKer	marker
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるピークサーチを指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PEAK	peak
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるズーム機能を実行	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:ZOOM	type
Analyze:Recall画面(2-point CDV)において、マーカーが示すデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:DATA?	
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval	numeric
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval?	
Analyze:Recall画面(2-point CDV)の横軸表示間隔を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:IUNit	unit
Analyze:Recall画面(2-point CDV)の横軸表示間隔を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:IUNit?	
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるマーカーの表示有無を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay	boolean
Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるマーカーの表示状態を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay?	
Analyze:Recall画面(2-point CDV)の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PRINt	type
Analyze:Recall画面(2-point CDV)の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PRINt?	

#### 4章 リモートコントロール

Analyze:Recall画面(2-point CDV)に対してタイトルを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TITLe?	
---	--------------------------------------	--

##### Page 4-231

Setup画面における表示項目を選択	:DISPlay:SETup[:NAME]	
Setup画面における表示項目を問い合わせ	:DISPlay:SETup[:NAME]?	

##### Page 4-232

Setup画面のOHプリセットデータの表示切り換えを設定	:DISPlay:SETup:OHPReset[:NAME]	type
Setup画面のOHプリセットデータの表示切り換えを問い合わせ	:DISPlay:SETup:OHPReset[:NAME]?	

##### Page 4-233

Setup画面のCell editの表示切り換えを設定	:DISPlay:SETup:CELL[:NAME]	type
Setup画面のCell editの表示切り換えを問い合わせ	:DISPlay:SETup:CELL[:NAME]?	
Setup画面のMemorizedにおけるスクロールを指示	:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:SCRoll	scroll
Setup画面のMemorized cellにおけるDisplay startを設定	:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:DStArt	numeric
Setup画面のMemorizedにおけるDisplay startを問い合わせ	:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:DStArt?	
Setup画面のMemorizedにおける印字範囲を指定	:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:PRINt	numeric1 numeric2
Setup画面のMemorized cellにおける印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:PRINt?	

**:DISPlay:TMENu[:NAME] <tdisplay>**

パラメータ	<tdisplay> = <STRING PROGRAM DATA>
	"TSEarch"                    Trouble search画面
	"MANual"                    Manual(SDH/SONET)画面
	"MANual:JOFF"              Manual(SDH/SONET)画面
	"MANual:JON"                Manual:jitter画面
	"MANual:TCLayer"            Manual(ATM)TClayer画面
	"MANual:TCEL1"              Manual(ATM)Tx cell画面
	"MANual:RCEL1"              Manual(ATM)Rx cell画面
	"PSEquence"                Pointer sequence画面
	"PSEquence:JOFF"            Pointer sequence画面
	"PSEquence:JON"            Pointer sequence:jitter画面
	"DELay"                    Delay画面
	"CDV1"                     1-point CDV画面
	"CDV2"                     2-point CDV画面

機能                    Test menu画面における表示項目を選択します。

制約                    以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:ATMが<ON>時、<"TSEarch">,<"MANual[:JOFF]">,<"PSEquence[:JOFF]">,<"PSEquence:JON">,<"DELay">設定の場合。
- ・ :INSTrument:Configの設定が<ATM>以外で、<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCEL1">,<"MANual:RCEL1">,<"CDV1">,<"CDV2">設定の場合。

使用例                    Test menu画面における表示項目を、MANual:jitter画面に選択する場合。

```
> :DISPlay:TMENu:NAME "MANual:JON"
```

, または,

```
> :DISPlay:TMENu "MANual:JON"
```

**:DISPlay:TMENu[:NAME]?**

レスポンス	<tdisplay> = <STRING RESPONSE DATA>
	"TSE"                        Trouble search画面
	"MAN"                        Manual画面
	"MAN:JOFF"                  Manual画面
	"MAN:JON"                    Manual:jitter画面
	"MANual:TCL"                Manual(ATM)TClayer画面
	"MANual:TCEL"                Manual(ATM)Tx cell画面
	"MANual:RCEL"                Manual(ATM)Rx cell画面
	"PSEQ"                      Pointer sequence画面
	"PSEQ:JOFF"                 Pointer sequence画面

	"PSEQ:JON"	Pointer sequence;jitter画面
	"DEL"	Delay画面
	"CDV1"	1-point CDV画面
	"CDV2"	2-point CDV画面
機能	Test menu画面における表示項目を問い合わせます。	
使用例	<pre>&gt; :DISPlay:TMENu:NAME? , または &gt; :DISPlay:TMENu? &lt; "MAN:JOFF"</pre>	

### **:DISPlay:TMENu:MANual:SElect <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>	
	TRAFfic	Traffic
	EALarm	Error/Alarm
	PM	PM cell

機能 Test menu:ManualのTx cell画面の切り換えを選択します。

制約 以下の場合、無効とします。

- :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL"> 以外の場合。

使用例 Manual:Tx cell画面をTrafficに切り換える場合。  

```
> :DISPlay:TMENu:MANual:SElect TRAFfic
```

### **:DISPlay:TMENu:MANual:SElect?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>	
	TRAF	Traffic
	EAL	Error/Alarm
	PM	PM cell

機能 Test menu:ManualのTx cell画面状態を問い合わせます。

使用例  

```
> :DISPlay:TMENu:MANual:SElect?
< TRAF
```

**:DISPlay:RESult[:NAME] <rdisplay>**

パラメータ	<rdisplay> = <STRING PROGRAM DATA>
	"TSEarch"            Trouble search画面
	"EALarm"            Error/Alarm画面
	"JUSTificat"        Justification画面
	"ZOOM"              Zoom画面
	"PERFormance"       Performance画面
	"DELay"             Delay画面
	"CDV1"              1-point CDV画面
	"CDV2"              2-point CDV画面
	"B2"                 B2 error画面

機能                    Result画面における表示項目を選択します。

制約                    以下の場合、無効とします。

- ATMユニット未装着時、<"CDV1">,<"CDV2">設定の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が<"CDV1">以外時、<"CDV1">設定の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が<"CDV2">以外時、<"CDV2">設定の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">,<"PSEquence[:JOFF]">,<"PSEquence:JON">、かつ、:SENSe:TELe com:BRATeが<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1\_5>時、<"JUSTificat">の設定の場合。

使用例                 Result画面における表示項目を"TSEarch"に選択する場合。

```
> :DISPlay:RESult:NAME "TSEarch"
```

，または

```
> :DISPlay:RESult "TSEarch"
```

**:DISPlay:RESult[:NAME]?**

レスポンス	<rdisplay> = <STRING RESPONSE DATA>
	"TSE"                Trouble search画面
	"EAL"                Error/Alarm画面
	"JUST"               Justification画面
	"ZOOM"               Zoom画面
	"PERF"               Performance画面
	"DEL"                Delay画面
	"CDV1"               1-point CDV画面
	"CDV2"               2-point CDV画面

	"B2"	B2 error画面
機能	Result画面における表示項目を問い合わせます。	
使用例	<pre>&gt; :DISPlay:RESult:NAME? , または &gt; :DISPlay:RESult? &lt; "TSE"</pre>	

### **:DISPlay:RESult:EALarm:MODE <rdmode>**

パラメータ	<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>				
	<table> <tr> <td>CURRent</td> <td>現在の測定結果</td> </tr> <tr> <td>LAST</td> <td>直前の測定結果</td> </tr> </table>	CURRent	現在の測定結果	LAST	直前の測定結果
CURRent	現在の測定結果				
LAST	直前の測定結果				
機能	測定結果の表示モードを選択します。				
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;, &lt;"PSEQuence[:JOFF]"&gt;, &lt;"PSEQuence:JON"&gt; 以外の場合。</li> </ul>				
使用例	<p>測定結果の表示モードを、現在の測定結果に選択する場合。</p> <pre>&gt; :DISPlay:RESult:EALarm:MODE CURRent</pre>				

### **:DISPlay:RESult:EALarm:UNIT <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>				
	<table> <tr> <td>COUNT</td> <td>カウント値表示</td> </tr> <tr> <td>RATE</td> <td>レート値表示</td> </tr> </table>	COUNT	カウント値表示	RATE	レート値表示
COUNT	カウント値表示				
RATE	レート値表示				
機能	測定結果のカウント値／レート値表示を選択します。				
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;, &lt;"PSEQuence[:JOFF]"&gt;, &lt;"PSEQuence:JON"&gt; 以外の場合。</li> </ul>				
使用例	<p>測定結果をカウント値表示に選択する場合。</p> <pre>&gt; :DISPlay:RESult:EALarm:UNIT COUNT</pre>				

**:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	FRAMe           フレーム数表示
	Second         セコンド値表示
機能	測定結果 (Alarm) のフレーム数/セコンド値表示を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELI"&gt;, &lt;"MANual:RCELI"&gt; 以外の場合。</li> </ul>
使用例	測定結果をセコンド数表示に選択する場合。 > :DISPlay:RESult:EALarm:AUNit SECond

**:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit?**

レスポンス	<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	FRAMe           フレーム数値表示
	SECond         セコンド値表示
機能	測定結果 (Alarm) のフレーム数/セコンド値表示の状態について問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:RESult:EALarm:AUNit? < COUN

**:DISPlay:RESult:EALarm:TCLayer <boolean>**

パラメータ	<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
	OFF or 0       Cell
	ON or 1        TCLayer
機能	Result画面 (Error/Alarm) におけるTCLayer/Cellの切り換えを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELI"&gt;, &lt;"MANual:RCELI"&gt; 以外の場合。</li> </ul>
使用例	TCLayer画面に切り換える場合。 > :DISPlay:RESult:EALarm:TCLayer ON

**:DISPlay:RESult:EALarm:TCLayer?**

レスポンス	<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
	0 Cell
	1 TCLayer
機能	Result画面 (Error/Alarm) におけるTCLayer/Cell状態の問い合わせを行います。
使用例	> :DISPlay:RESult:EALarm:TCLayer? < 1

**:DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE <rdmode>**

パラメータ	<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	CURRent 現在の測定結果
	LAST 直前の測定結果
機能	測定結果の表示モードを選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELI"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;, &lt;"PSEQUence[:JOFF]"&gt;, &lt;"PSEQUence:JON"&gt; 以外の場合。</li> <li>• :SENSe:TELEcom:BRATeが、 &lt;M139&gt;, &lt;M45&gt;, &lt;M34&gt;, &lt;M8&gt;, &lt;M2&gt;, &lt;M1_5&gt; の場合。</li> </ul>
使用例	測定結果の表示モードを、現在の測定結果に選択する場合。 > :DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE CURRent

**:DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	COUNT カウント値表示
	RATE レート値表示
	PPM ppm値表示
機能	測定結果のカウント値/レート値表示を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELI"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;, &lt;"PSquence[:JOFF]"&gt;, &lt;"PSEQUence:JON"&gt; 以外の場合。</li> <li>• :SENSe:TELEcom:BRATeが、 &lt;M139&gt;, &lt;M45&gt;, &lt;M34&gt;, &lt;M8&gt;, &lt;M2&gt;, &lt;M1_5&gt; の場合。</li> </ul>
使用例	測定結果をカウント値表示に選択する場合。 > :DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT COUNT

**:DISPlay:RESult:ZOOM:MODE <rdmode>**

パラメータ	<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA> CURRent          現在の測定結果 LAST              直前の測定結果
機能	測定結果の表示モードを選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">, <"MANual:RCELI">,<"PSEQuence[:JOFF]">,<"PSEQuence:JON"> 以外の場合。
使用例	測定結果の表示モードを、現在の測定結果に選択する場合。 > :DISPlay:RESult:ZOOM:MODE CURRent

**:DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA> COUNT          カウント値表示 RATE            レート値表示
機能	測定結果のカウント値／レート値表示を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">, <"MANual:RCELI">,<"PSEQuence[:JOFF]">,<"PSEQuence:JON"> 以外の場合。
使用例	測定結果をカウント値表示に選択する場合。 > :DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT COUNT

**:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA> FRAME          フレーム数値表示 SECond          セコンド値表示
機能	測定結果 (Alarm) のフレーム数／セコンド値表示を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTrument:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,<"MANual:RCELI"> 以外の場合。
使用例	測定結果をカウント値表示に選択する場合。 > :DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit COUNT

### **:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit?**

レスポンス	<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	FRAMe           フレーム数値表示
	SEConD        セコンド値表示
機能	測定結果 (Alarm) のフレーム数/セコンド値表示の状態について 問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit? < COUN

### **:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
	"POWe           Power fail
	"LOS"           LOS
	"LOF"           LOF
	"AIS:MS"        MS-AIS
	"RDI:MS"        MS-RDI
	"AIS:AU"        AU-AIS
	"LOP:AU"        AU-LOP
	"RDI:HP"        HP-RDI
	"SLM:HP"        HP-SLM
	"AIS:TU"        TU-AIS
	"LOP:TU"        TU-LOP
	"RDI:LP"        LP-RDI
	"SLM:LP"        LP-SLM
	"RFI:LP"        LP-RFI
	"LOM:TU"        TU-LOM
	"AIS:M139"      139M AIS
	"AIS:M45"       45M AIS
	"AIS:M34"       34M AIS
	"AIS:M2"        2M AIS
	"AIS:M1_5"      1.5M AIS
	"LOF:M139"      139M LOF
	"LOF:M45"       45M LOF
	"LOF:M34"       34M LOF
	"LOF:M2"        2M LOF
	"LOF:M1_5"      1.5M LOF
	"LOF:PLCP"      PLCP LOF
	"RDI:M139"      139M RDI

"RDI:M45"	45M RDI
"RDI:M34"	34M RDI
"RDI:M2"	2M RDI
"RDI:M1_5"	1.5M RDI
"RDI:PLCP"	PLCP RDI
"AIS:VP"	VP-AIS
"RDI:VP"	VP-RDI
"LOC:VP"	VP-LOC
"AIS:VC"	VC-AIS
"RDI:VC"	VC-RDI
"LOC:VC"	VC-LOC
"LCD"	Lost of cell sync
"PATTErn"	Sync. loss
"OOF:PLCP"	OOF PLCP

機能  
制約

測定結果 (ZOOM) のアラーム表示を選択します。  
以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">,  
<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,  
<"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">  
以外の場合。

使用例

測定結果 (ZOOM) をMS-RDI表示にする場合。  
> :DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm "RDI:MS"

### **:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm?**

レスポンス

<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

機能

測定結果 (ZOOM) のアラーム表示について問い合わせます。

使用例

> :DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm?  
< "RDI:MS"

**:DISPlay:REsult:ZOOM:ERRor <error>**

パラメータ	<error> = <STRING PROGRAM DATA>
"B1"	B1エラー
"B2"	B2エラー
"B3:HP"	HP-B3エラー
"B3:LP"	LP-B3エラー
"BIP2"	BIP-2エラー
"REI:MS"	MS-REIエラー
"REI:HP"	HP-REIエラー
"REI:LP"	LP-REIエラー
"CODE"	コードエラー
"FRAMe:M139"	139M FAS
"FRAMe:M45"	45M FAS
"FRAMe:M34"	34M FAS
"FRAMe:M8"	8M FAS
"FRAMe:M2"	2M FAS
"FRAMe:M1_5"	1.5M FAS
"REI:M139"	139M REIエラー
"REI:M45"	45M REIエラー
"REI:M34"	34M REIエラー
"PLCP:REI"	PLCP REIエラー
"CRC4"	CRC-4エラー
"EBIT"	E-Bit
"BIP8"	BIP-8エラー
"PARITY"	Parity
"CBIT"	C-Bit
"CRC6"	CRC-6エラー
"CELL"	Cell
"CORR"	Corrected
"DISC"	Discarded
"NONCONF"	Nonconf
"ERRORED"	Errored cell
"LOST"	Lost cell
"MISINS"	Misinserted
"SB"	SB
"SARPDU"	SAR-PDU
"SNP"	SNP
"UCSNP"	Uncorect SNP

"P"	P
"OSF"	OSF
"SN"	SN
"CPSPKT"	CPS-Packet
"CPSHEC"	HEC error
"LI"	Length indicator
"LENGTH"	Length
"CPCS"	CPCS-PDU
"MID"	MID
"CRC10"	CRC10
"DISCPDU"	Discarded PDU
"ST"	Segment type
"ABORT"	Abort
"UDLVPDU"	Undelivered PDU
"CPI"	CPI
"BETAG"	B/ETag
"BASIZE"	BASize
"AL"	AL
"FSIZE"	Frame size
"CRC32"	CRC32
"FM:LOST"	FM Lost
"FM:MISINS"	FM Misinserted
"FM:BIPV"	FM BIPV
"FM:SB"	FM SB
"BR:LOST"	BR Lost
"BR:MISINS"	BR Misinserted
"BR:BIPV"	BR BIPV
"BR:SB"	BR SB
"BIT"	ビットエラー
"CIDPKT"	CID PKT

機能  
制約

測定結果 (ZOOM) のエラー表示を選択します。  
以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">,  
<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">,  
<"MANual:RCELI">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">  
以外の場合。

使用例

測定結果 (ZOOM) をE-Bit表示にする場合。  
> :DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor "EBIT"

**:DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor?**

レスポンス	<error> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	測定結果 (ZOOM) のエラー表示について問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor? < "EBIT"

**:DISPlay:RESult:PERFormance:MODE <rdmode>**

パラメータ	<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA> CURRENT 現在の測定結果 LAST 直前の測定結果
機能	測定結果の表示モードを選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;, &lt;"PSEQUence[:JOFF]"&gt;, &lt;"PSEQUence:JON"&gt; 以外の場合。</li> <li>• :CALCulate:TELEcom:PERFormance:TYPEが、 &lt;OFF&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	測定結果の表示モードを、現在の測定結果に選択する場合。 > :DISPlay:RESult:PERFormance:MODE CURRENT

**:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor[:G826] <error>**

パラメータ	<error> = <STRING PROGRAM DATA> "BIP" BIP "REI" REI
機能	測定結果 (パフォーマンス G.826) のエラー内容を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;, &lt;"MANual:TCELL"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;, &lt;"PSEQUence[:JOFF]"&gt;, &lt;"PSEQUence:JON"&gt; 以外の場合。</li> <li>• :CALCulate:TELEcom:PERFormance:TYPEが、 &lt;OFF&gt;, &lt;G821&gt;, &lt;M2100&gt;, &lt;2110&gt;, および &lt;2120&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	測定結果 (パフォーマンス G.826) のエラーをBIPにする場合。 > :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor "BIP" , または > :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:G826 "BIP" (G826は省略可)

**:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor[:G826]?**

レスポンス	<error> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	測定結果（パフォーマンス G.826）のエラー内容を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor? , または > :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:G826?（G826は省略可） < "BIP"

**:DISPlay:RESult:TIME <time>**

パラメータ	<time> = <CHARACTER PROGRAM DATA> ELAPsed 経過時間 STARt 開始時間
機能	Result画面の測定時間表示を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"TSEarch">,<"DELay">時,<ELAPsed>設定の場合。
使用例	経過時間を表示する場合。 > :DISPlay:RESult:TIME ELAPsed

**:DISPlay:ANALysis[:NAME] <adisplay>**

パラメータ	<adisplay> = <STRING PROGRAM DATA> "TSEarch" Trouble search画面 "EALarm" Error/Alarm画面 "OHMonitor" OH monitor画面 "CMONitor" Cell monitor画面 "LMONitor" Live monitor画面 "TRAFfic" Traffic monitor画面 "CAPTure" Cell capture画面 "CDV1" 1-point CDV画面 "CDV2" 2-point CDV画面 "RECall" Recall画面
機能	Analyze画面における表示項目を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ ATMユニット未装着時、<"CMONitor">,<"LMONitor">,<"TRAFfic">,<"CAPTure">設定の場合。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">以外時,<"EALar

m">, <"OHMonitor">, <"CMONitor">, <"FMONitor">, <"LMOonitor">, <"TRAFFic">,<"CAPTure">設定の場合。

- :DISPlay:TMENu[:NAME]が<"CDV1">時, <"CDV1">,<"RECall">以外の設定の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が<"CDV2">時, <"CDV2">,<"RECall">以外の設定の場合。
- :INSTrument:Configの設定が<ATM>以外で, <"CMONitor">, <"LMOonitor">, <"TRAFFic">, <"CAPTure">設定の場合。
- :INSTrument:ATMが<OFF>かつ, :SENSe:TELEcom:BRATeが<M139>, <M34>, <M8>, <M2>, かつ:SENSe:TELEcom:DEMUX:MRATeが<OFF>, かつ:SENSe:TELEcom:FRAMingが<OFF>時, <"OHMoonitor">設定の場合。
- :INSTrument:ATMが<ON>かつ, :SENSe:TELEcom:BRATeが<M2>時, <"OHMonitor">設定の場合。

使用例

Analyze画面における表示項目を"EALarm"に選択する場合。

```
> :DISPlay:ANALYsis:NAME "EALarm"
```

または

```
> :DISPlay:ANALYsis "EALarm"
```

### **:DISPlay:ANALYsis[:NAME]?**

レスポンス

```
<adisplay> = <STRING RESPONSE DATA>
```

"TSE"	Trouble search画面
"EAL"	Error/Alarm画面
"OHM"	OH monitor画面
"CMON"	Cell monitor画面
"CCM"	Live monitor画面
"TRAF"	Traffic monitor画面
"CAPT"	Cell capture画面
"CDV1"	1-point CDV画面
"CDV2"	2-point CDV画面
"REC"	Recall画面

機能

Analyze画面における表示項目を問い合わせます。

使用例

```
> :DISPlay:ANALYsis:NAME?
```

, または

```
> :DISPlay:ANALYsis?
```

```
< "EAL"
```

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?**

レスポンス

<time>,<alarm1s>,<alarm1c>,<alarm2s>,<alarm2c>,<alarm3s>,<alarm3c>,<alarm4s>,<alarm4c>,<alarm5s>,<alarm5c>,<error1>,<error2>

<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>  
 マーカの示す時間

<year> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0, 1994 ~ 2093 年

<month> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0, 1 ~ 12 月

<day> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0, 1 ~ 31 日

<hour> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 ~ 23 時

<minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 ~ 59 分

<second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 ~ 59 秒

<alarm1s> = <STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータのアラーム1の発生時間(s)  
 Form1

<alarm1c> = <STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータのアラーム1の発生個数  
 Form1

<alarm2s> = <STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータのアラーム2の発生時間(s)  
 Form1

<alarm2c> = <STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータのアラーム2の発生個数  
 Form1

<alarm3s> = <STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータのアラーム3の発生時間(s)  
 Form1

<alarm3c> = <STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータのアラーム3の発生個数  
 Form1

<alarm4s> = <STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータのアラーム4の発生時間(s)

	Form1
	<alarm4c> = <STRING RESPONSE DATA> マーカの示すデータのアラーム4の発生個数
	Form1
	<alarm5s> = <STRING RESPONSE DATA> マーカの示すデータのアラーム5の発生時間(s)
	Form1
	<alarm5c> = <STRING RESPONSE DATA> マーカの示すデータのアラーム5の発生個数
	Form1
	<error1> = <STRING RESPONSE DATA> マーカの示すデータのエラーカウント値
	Form1
	<error2> = <STRING RESPONSE DATA> マーカの示すデータのエラーレート値
	Form2
機能	Analyze:Error/Alarm画面において、マーカが示すデータを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALySis:TGRaph:DATA? < 2000,12,25,12,54,30," 1"," 1"," 0"," 0", " 104"," 10"," 1"," 1"," 1"," 1", " 189"," 3.3E-04"

**:DISPlay:ANALySis:TGRaph:INTerval <numeric>,<suffix>**

パラメータ	<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA> 1, 15, 60 <suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA> M minute S s
機能	Analyze:Error/Alarm画面における時間軸の1目盛りの幅を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELI">, <"MANual:RCELI">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON"> 以外の場合。
使用例	1目盛りの幅を1分に設定する場合。 > :DISPlay:ANALySis:TGRaph:INTerval 1,M

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Error/Alarm画面における時間軸の1目盛りの幅を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval? < 1,M

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM <numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5> [,<numeric6>]**

パラメータ	<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> <numeric1> = 2000 ~ 2093 (year) <numeric2> = 1 ~ 12 (month) <numeric3> = 1 ~ 31 (day) <numeric4> = 0 ~ 23 (hour) <numeric5> = 0 ~ 59 (minute) <numeric6> = 0 ~ 59 (second) * パラメータで指定した時刻が存在しない場合、指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお、測定開始時刻以前の時刻を設定した場合、測定開始時刻が設定されます。また、ログ終了時刻以降の時刻を設定した場合、ログ終了時刻が設定されます。
機能	Error/Alarmグラフの表示開始位置を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENU[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">以外の場合。
使用例	2000年7月28日11時30分40秒から表示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM 2000,7,28,11,30,40

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM?**

レスポンス	<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>=<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> ※Error/Alarmアナライズデータがない場合は、以下の内容が出力されます。 < -,,-,-,-,->
機能	Error/Alarmグラフの表示開始位置を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM? < 2000,7,28,11,30,40

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor <error1>,<error2>**

パラメータ	<error1> = <STRING PROGRAM DATA>	
	"PLCP:REI"	PLCP REIエラー
	"CRC4"	CRC-4エラー
	"CRC6"	CRC-6エラー
	"CELL"	Cell count
	"CORR"	Corrected cell
	"DISC"	Discarded cell
	"NONCONF"	Non-conforming cell
	"ERRORED"	Errored cell
	"LOST"	Lost cell
	"MISINS"	Misinserted cell
	"SECB"	SECB
	"SARPDU"	SAR-PDU count
	"SNP"	SNP error
	"UCSNP"	Uncorrectable SNP error
	"P"	P error
	"OSF"	OSF error
	"SN"	SN error
	"CPSPKT"	CPS-Packet count
	"CPSHEC"	HEC error
	"LI"	Length indicator
	"LENGTH"	Length error
	"CPCS"	CPCS-PDU count
	"MID"	MID count
	"CRC10"	CRC10 error
	"DISCPDU"	Discarded PDU error
	"ST"	Segment type
	"ABORT"	Abort
	"UDLVPDU"	Undelivered PDU
	"CPI"	CPI error
	"BETAG"	B/ETag mismatch
	"BASIZE"	BAsize error
	"AL"	AL error
	"FSIZE"	Frame size error
	"CRC32"	CRC32 error
	"FM:LOST"	PM FM Lost cell
	"FM:MISINS"	PM FM Misinserted cell

"FM:BIPV"	PM FM BIPV
"FM:SECB"	PM FM SECB
"BR:LOST"	PM BR Lost cell
"BR:MISINS"	PM BR Misinserted cell
"BR:BIPV"	PM BR BIPV
"BR:SECB"	PM BR SECB
"BIT"	ビットエラー
"HIT"	Hit
"O191"	O.191
"FM"	FM
"BR"	BR

<error2> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

EC	カウント
ER	レート

\* 他のエラー項目については、「MP1570A 取扱説明書 Vol.2 リモートコントロール」をご覧ください。

機能  
制約

Error/Alarmグラフで表示されるエラー項目を設定します。  
以下の場合、無効とします。

- :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">以外の場合。
- <"HIT">,<"SAR\_PDU">,<"SECB">,<"CPCS">,<"PMCount">,<"TUC01">,<"TUC0">,<"TRCC0">,<"TRCC01">設定時に、<ER>設定の場合。

使用例

ビットエラーのエラーレートを表示する場合。  
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor "BIT",ER

### **:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor?**

レスポンス

<error1>,<error2>  
<error1> = <STRING RESPONSE DATA>  
<error2> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能  
使用例

Error/Alarmグラフで表示するエラー項目を問い合わせます。  
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor?  
< "BIT",ER

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
"ALL"	ALL
"POWer"	Power fail
"LOS"	LOS
"LOF"	LOF
"OOF"	OOF
"AIS:MS"	MS-AIS
"RDI:MS"	MS-RDI
"AIS:AU"	AU-AIS
"LOP:AU"	AU-LOP
"RDI:HP"	HP-RDI
"SLM:HP"	HP-SLM
"AIS:TU"	TU-AIS
"LOP:TU"	TU-LOP
"RDI:LP"	LP-RDI
"SLM:LP"	LP-SLM
"RFI:LP"	LP-RFI
"LOM:TU"	TU-LOM
"AIS:M139"	39M AIS
"AIS:M45"	45M AIS
"AIS:M34"	34M AIS
"AIS:M8"	8M AIS
"AIS:M2"	2M AIS
"AIS:M1_5"	1.5M AIS
"LOF:M139"	139M LOF
"LOF:M45"	45M LOF
"LOF:M34"	34M LOF
"LOF:M8"	8M LOF
"LOF:M2"	2M LOF
"LOF:M1_5"	1.5M LOF
"LOF:MF"	MF LOF
"LOF:PLCP"	PLCP LOF
"RDI:M139"	139M RDI
"RDI:M45"	45M RDI
"RDI:M34"	34M RDI
"RDI:M8"	8M RDI
"RDI:M2"	2M RDI

"RDI:M1_5"	1.5M RDI
"RDI:MF"	MF RDI
"RDI:PLCP"	PLCP RDI
"VPAIS"	VP-AIS
"VPRDI"	VP-RDI
"VPLOC"	VP-LOC
"VCAIS"	VC-AIS
"VCRDI"	VC-RDI
"VCLOC"	VC-LOC
"LCD"	Lost of cell sync
"PATTern"	Sync. loss
"OOF:PLCP"	OOF PLCP

機能	アラーム1に表示するアラーム項目を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">, <"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON"> 以外の場合。
使用例	アラーム1にPower failを表示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 "POWER"

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1?**

レスポンス	<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	アラーム1に表示するアラーム項目を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1? < "POW"

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2 <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
機能	アラーム2に表示するアラーム項目を設定します。
制約	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同様。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2?**

レスポンス	<alarm> = <STRING RESPONSE DATA> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 と同じ。
機能	アラーム2に表示するアラーム項目を問い合わせます。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3 <alarm>**

パラメータ <alarm> = <STRING PROGRAM DATA>  
 機能 アラーム3に表示するアラーム項目を設定します。  
 制約 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同様。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3?**

レスポンス <alarm> = <STRING RESPONSE DATA>  
 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同じ。  
 機能 アラーム3に表示するアラーム項目を問い合わせます。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4 <alarm>**

パラメータ <alarm> = <STRING PROGRAM DATA>  
 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同じ。  
 機能 アラーム4に表示するアラーム項目を設定します。  
 制約 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同様。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4?**

レスポンス <alarm> = <STRING RESPONSE DATA>  
 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同じ。  
 機能 アラーム4に表示するアラーム項目を問い合わせます。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5 <alarm>**

パラメータ <alarm> = <STRING PROGRAM DATA>  
 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同じ。  
 機能 アラーム5に表示するアラーム項目を設定します。  
 制約 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同様。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5?**

レスポンス <alarm> = <STRING RESPONSE DATA>  
 :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1と同じ。  
 機能 アラーム5に表示するアラーム項目を問い合わせます。

**:DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機能	Analyze:Error/Alarm画面の印字範囲を指定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;,&lt;"PSEQUence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEQUence:JON"&gt; 以外の場合。</li> </ul>
使用例	<p>現在表示されている画面範囲を印字する場合。</p> <pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt DISPlay</pre>

### **:DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe <title>**

パラメータ	<p>&lt;title&gt; = &lt;STRING PROGRAM DATA&gt;</p> <p>"タイトル文字列"      タイトル文字列（最大15文字）</p> <p>""も可能です。</p>
機能	トレースグラフタイトルを設定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;,&lt;"PSEQUence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEQUence:JON"&gt; 以外の場合。</li> </ul>
使用例	<p>トレースグラフタイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。</p> <pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe "TITLE-DISP"</pre>

### **:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE <ohmonitor>**

パラメータ	<p>&lt;ohmonitor&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>OHead</td> <td>OH</td> </tr> <tr> <td>PMSP</td> <td>PTR,K1/K2</td> </tr> <tr> <td>PTRace</td> <td>Path trace</td> </tr> <tr> <td>PFRame</td> <td>PDH frame</td> </tr> <tr> <td>TTRace</td> <td>Trail trace</td> </tr> <tr> <td>PAYLood</td> <td>Payload</td> </tr> </table>	OHead	OH	PMSP	PTR,K1/K2	PTRace	Path trace	PFRame	PDH frame	TTRace	Trail trace	PAYLood	Payload
OHead	OH												
PMSP	PTR,K1/K2												
PTRace	Path trace												
PFRame	PDH frame												
TTRace	Trail trace												
PAYLood	Payload												
機能	OHモニタの表示項目を選択します。												
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ATMユニット未装着時、&lt;TTRace&gt;設定の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 &lt;"MANual[:JOFF]"&gt;, &lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;, &lt;"MANual:RCELL"&gt;,&lt;"PSEQUence[:JOFF]"&gt;,&lt;"PSEQUence:JON"&gt; 以外の場合。</li> <li>・ :SENSe:TELEcom:BRATeが&lt;M139&gt;,&lt;M45&gt;,&lt;M34&gt;,&lt;M8&gt;,&lt;M2&gt;,</li> </ul>												

<M1\_5>の時, <OHead>,<PMSP>,<PTRace>設定の場合。

- :SENSe:TELEcom:DEMUX:MRATeが<OFF>かつ,  
:SENSe:TELEcom:FRAMingが<OFF>時, <PFRame>設定の場合。
- :INSTrument:ATMが<ON>時, <PFRame>設定の場合。
- :INSTrument:Configの設定が<ATM>以外で, <TTRace>設定の場合。
- :SENSe:TELEcom:BRATeが, <M139>,<M34>以外時, <TTRace>設定の場合。

使用例

Path traceを選択する場合。

```
> :DISPlay:ANALySis:OHMonitor:TYPE PTRace
```

### **:DISPlay:ANALySis:OHMonitor:TYPE?**

レスポンス

<ohmonitor> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

OH	OH
PMSP	PTR,K1/K2
PTR	Path trace
PFR	PDH frame
TTR	Trail trace
PAYL	Payload

機能

OHモニタの表示項目を問い合わせます。

使用例

```
> :DISPlay:ANALySis:OHMonitor:TYPE?
```

```
< PTR
```

### **:DISPlay:ANALySis:OHMonitor:SOHCh <numeric>**

パラメータ

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 16                      ステップ値:1

機能

OHモニタにおけるSOHのチャンネルを選択します。

制約

以下の場合, 無効とします。

- :DISPlay:TMENU[:NAME]が, <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">, <"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">以外の場合。
- :DISPlay:ANALySis:OHMonitor:TYPEが, <OH>以外の場合。
- :SENSe:TELEcom:BRATeが, <M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>,<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1\_5>の場合。
- :SENSe:TELEcom:MAPPING:ROUTeで<AUG>の設定されている値以外の場合。

使用例

チャンネル4を選択する場合。

```
> :DISPlay:ANALySis:OHMonitor:SOHCh 4
```

**:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SLABel?**

```

レスポンス      <pohvc4>,<bitvc4>,<pohvc3>,<bitvc3>
                  <pohvc4> = <STRING RESPONSE DATA>
                  POH-VC4のモニタデータのC2(ニーモニック表示)
                  <pohvc3> = <STRING RESPONSE DATA>
                  POH-VC3のモニタデータのC2(ニーモニック表示)
                  "Unequipped"                (0000 0000)
                  "Unequipped"                (0000 0000)
                  "Equipped-non-specific"     (0000 0001)
                  "Equipped-non-specific"     (0000 0001)
                  "TUG structure"             (0000 0010)
                  "TUG structure"             (0000 0010)
                  Locked TU"                  (0000 0011)
                  "Locked TU"                 (0000 0011)
                  "Async. 34M or 45M(C-3)"    (0000 0100)
                  "Async. 34M or 45M(C-3)"    (0000 0100)
                  "Async. 139M(C-4)"          (0001 0010)
                  "Async. 139M(C-4)"          (0001 0010)
                  "ATM mapping"               (0001 0011)
                  "ATM mapping"               (0001 0011)
                  "MAN(DQDB)mapping"          (0001 0100)
                  "MAN(DQDB)mapping"          (0001 0100)
                  "FDDI mapping"              (0001 0101)
                  "FDDI mapping"              0001 0101)
                  "O.181 mapping"             (1111 1110)
                  "O.181 mapping"             (1111 1110)
                  "VC-AIS"                    (1111 1111)
                  "VC-AIS"                    (1111 1111)
                  <bitvc4> = <STRING RESPONSE DATA>
                  <bitvc3> = <STRING RESPONSE DATA>
                  POH-VC4のモニタデータのC2(ビット表示)
                  OH-VC3のモニタデータのC2(ビット表示)
                  "00000000" ~ "11111111"
                  "00000000" ~ "11111111"
機能            OHモニタにおけるC2(1-8bit)のモニタデータを問い合わせます。
使用例        > :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SLABel?
                < "Unequipped","00000000","VC-AIS","11111111"

```

**:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSE <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0          Pause OFF

ON or 1          Pause ON

機能 OHモニタにおけるPauseを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual[:JOFF]">, <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">, <"MANual:TCELL">, <"MANual:RCCELL">, <"PSEQuence[:JOFF]">, <"PSEQuence:JON">以外の場合。
- ・ :INSTRument:ATMが<OFF>, かつ, :SENSe:TELEcom:BRATeが<M139>,<M34>,<M8>,<M2>, かつ, :SENSe:TELEcom:DEMUX:MRATeが<OFF>, かつ, :SENSe:TELEcom:FRAMingが<OFF>の場合。
- ・ :INSTRument:ATMが<ON>かつ, :SENSe:TELEcom:BRATeが<M2>の場合。

使用例 OHモニタにおけるPauseをONに設定を行う場合。

> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSE ON

**:DISPlay:ANALysis:CMONitor:CELL?**

レスポンス <header>,<payload>

<header> = <STRING RESPONSE DATA>

"F,256,65535,7,1,FF"          (UNI時)

"4096,65535,7,1,FF"          (NNI時)

<payload> = <STRING RESPONSE DATA>

"FF,FF,FF,FF,FF, …… ,FF,FF,FF" (48バイト固定)

機能 Cellモニタデータを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:CMONitor:CELL?

< "F,256,65535,7,1,FF", "FF,FF,FF,FF,FF, …… ,FF,FF,FF"

**:DISPlay:ANALysis:CMONitor:PAUSE <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0          Pause OFF

ON or 1          Pause ON

機能 CellモニタにおけるPauseを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、 <"MANual:JON">, <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">, <"PSEQuence[:JOFF]">,<"PSEQuenc:JON">以外の場合。
- ・ :INSTRument:Configの設定が、 <ATM>以外の場合。

使用例 CellモニタにおけるPauseをONに設定を行う場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:CMONitor:PAUSE ON

### **:DISPlay:ANALysis:CMONitor:PAUSE?**

レスポンス <boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
                   0                   Pause OFF  
                   1                   Pause ON

機能 CellモニタにおけるPause状態を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:CMONitor:PAUSE?  
 < 1

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:SCRoll <scroll>**

パラメータ <scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                   UP                   上へスクロール  
                   DOWN                下へスクロール  
                   TOP                 先頭へ移動  
                   BOTTom             後尾へ移動

機能 Analyze:Live monitor画面におけるスクロールを指示します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ Live monitorデータが存在しない場合。

使用例 上方向へスクロールする場合。

> :DISPlay:ANALysis:LMONitor:SCRoll UP

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:GRAFH <character>**

パラメータ <character> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                   TRAFic            Traffic  
                   NCONforming       Non-conforming  
                   FMMisins          FM Misinserted cell  
                   FMLost            FM Lost cell  
                   FM                 FM Mis/Lost cell  
                   FMSb              FM SB

機能 Analyze:Live monitor画面の種類を選択します。

使用例 Trafficを選択します。

> :DISPlay:ANALysis:LMONitor:GRFH TRAFic

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:GRAFH?**

パラメータ	<code>&lt;character&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</code>	
	TRAF	Traffic
	NCON	Non-conforming
	FMM	FM Misinserted cell
	FML	FM Lost cell
	FM	FM Mis/Lost cell
	FMS	FM SB
機能	Analyze:Live monitor画面の種類を問い合わせます。	
使用例	<pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:LMONitor:GRFH? &lt;TRAF</pre>	

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:THReshold <boolean>**

パラメータ	<code>&lt;boolean&gt; = &lt;BOOLEAN PROGRAM DATA&gt;</code>	
	OFF or 0	非表示
	OFF or 1	表示
機能	条件設定画面の表示,非表示の選択を行います。	
使用例	<pre>条件設定画面を表示します。 &gt;:DISPlay:ANALysis:LMONitor:THReshold ON</pre>	

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:THReshold?**

レスポンス	<code>&lt;boolean&gt; = &lt;NR1 NUMERIC RESPONSE DATA&gt;</code>	
	0 or 1	
機能	条件設定画面の表示,非表示を問い合わせます。	
使用例	<pre>&gt;:DISPlay:ANALysis:LMONitor:THReshold? &lt;1</pre>	

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:NCONforming <character>**

パラメータ	<code>&lt;character&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</code>	
	BPS	kbit/s
	CPS	Cell/s
	PERCent	%
機能	Analyze:Live monitor画面のNon-conforming設定の表示ユニットを設定します。	
使用例	<pre>Cell/sに設定します。 &gt;:DISPlay:ANALysis:LMONitor:NCONforming CPS</pre>	

**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:NCONforming?**

レスポンス            <character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 機能                    Non-conforming設定の表示ユニットの設定を問い合わせます。  
 使用例                 >:DISPlay:ANALysis:LMONitor:NCONforming?  
                          <:CPS

**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:PAUSE <boolean>**

パラメータ            <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>  
                          OFF or 0            Pause OFF  
                          ON or 1            Pause ON

機能                    Analyze:Live monitor画面におけるPauseを設定します。  
 制約                    以下の場合、無効とします。  
                          ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
                          ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
                          <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCEL1">,<"MANual:RCEL1">  
                          以外の場合。

使用例                 Live monitorにおけるPauseをONに設定を行う場合。  
                          > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:PAUSE ON

**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:PAUSE?**

レスポンス            <boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
                          0                    Pause OFF  
                          1                    Pause ON

機能                    Anaylze画面(Live monitor)におけるPause状態を問い合わせます。  
 使用例                 > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:PAUSE?  
                          < 1

**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:INTerval <numeric>,<suffix>**

パラメータ            <numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                          1000, 5000, 10000, 50000, 100000, 500000, 1000000  
                          <suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                          CPS                Cell/s

機能                    Analyze:Live monitor画面におけるの横軸の幅を設定します。  
 制約                    以下の場合、無効とします。  
                          ・ :INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
                          ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
                          <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCEL1">,<"MANual:RCEL1">  
                          以外の場合。

使用例 横軸の幅を1000に設定する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:INTerval 1000,CPS

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:INTerval?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Live monitor画面における横軸幅を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:INTerval?  
 < 1000,CPS

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:VPI <numeric1>[,<numeric2>]**

パラメータ <numeric1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 4095 VPI値  
 <numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0 ~ 65535 VCI値

機能 Analyze:Live monitor画面におけるVPI,VCIで指定されたデータを  
 センタ位置に移動します。

制約 以下の場合、無効とします。

- Live monitor データ無しの場合。
- :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
 <"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCEL1">,<"MANual:RCEL1">  
 以外の場合。

使用例 横軸センタ値のVPIを1000に設定する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:VPI 1000

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:VPI?**

レスポンス <numeric1> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <numeric2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Live monitor画面におけるセンタ値のVPI,VCIを問い合わせ  
 ます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:VPI?  
 < 100,20



**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:PRINt?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	DISP            Display
	ALL             All
	AFT            After
	BEF            Before
機能	Analyze:Live monitor画面の印字範囲を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:LMONitor:PRINt? < DISP

**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:PTYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	NUMeric        Numeric
	GRAPh         Graph
機能	Analyze:Live monitor画面の印字データを指定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt; 以外の場合。</li> </ul>
使用例	Live monitor画面の印字データを設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:PTYPE GRAPh

**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:PTYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	NUM            Numeric
	GRAP          Graph
機能	Analyze:Live monitor画面の印字データを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:LMONitor:PTYPE? < GRAP

**:DISPlay:ANALysis:LMONitor:TITLe <title>**

パラメータ	<title> = <STRING PROGRAM DATA>
	"タイトル文字列"      タイトル文字列（最大15文字）
	""も可能とします。
機能	Analyze:Live monitor画面におけるタイトルを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>

- ・:DISPlay:TMENU[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCELL">、<"MANual:RCELL">以外の場合。

使用例 Live monitorのタイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。  
> :DISPlay:ANALysis:LMONitor:TITLe "TITLE-DISP"

### **:DISPlay:ANALysis:LMONitor:TITLe?**

レスポンス <title> = <STRING RESPONSE DATA>  
機能 Analyze:Live monitor画面におけるタイトルを問い合わせます。  
使用例 > :DISPlay:ANALysis:LMONitor:TITLe?  
< "TITLE-DISP "

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCRoll <scroll>**

パラメータ <scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
LEFT 左へスクロール  
RIGHT 右へスクロール  
TOP 先頭へ移動  
BOTTom 後尾へ移動  
機能 Analyze:Traffic monitor画面におけるスクロールを指示します。  
制約 以下の場合、無効とします。  
・Traffic monitorデータが存在しない場合。  
使用例 左方向へスクロールする場合。  
> :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCRoll LEFT

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MARKer <marker>**

パラメータ <marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
LEFT 左へ1Div移動  
RIGHT 右へ1Div移動  
機能 Analyze:Traffic monitor画面におけるマーカ移動を指示します。  
制約 以下の場合、無効とします。  
・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。  
・:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplayが、<OFF>の場合。  
※複数画面表示時、マーカがONであれば通常の動きをします。  
使用例 右方向へ移動する場合。  
> :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MARKer RIGHT

**:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:DATA?**

<time>,<mean-bps>, <mean-cps>,<mean-%>,  
 <max-bps>, <max-cps>, <max-%>,  
 <min-bps>, <min-cps>,<min-%>  
 <time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>  
 マーカの示す時間  
 <year> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0, 1994 ~ 2093 年  
 <month> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0, 1 ~ 12 月  
 <day> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0, 1 ~ 31 日  
 <hour> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 ~ 23 時  
 <minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 ~ 59 分  
 <second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 ~ 59 秒  
 <mean-bps>,<max-bps>,<min-bps>=<STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータの平均値, 最大値, 最小値(bit/s)  
 <mean-cps>,<max-cps>,<min-cps>=<SRING RESPONCE DATA>  
 マーカの示すデータの平均値, 最大値, 最小値(cell/s)  
 <mean-%>,<max-%>,<min-%>=<STRING RESPONSE DATA>  
 マーカの示すデータの平均値, 最大値, 最小値(%)

機能 Analyze:Traffic monitor画面において、マーカが示すデータを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:DATA?  
 < 2000,12,25,12,54,30," 10"," 104"," 0"

**:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:INTerval <numeric>,<suffix>**

パラメータ <numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 1, 15, 60  
 <suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 M minute  
 S second

機能 Analyze:Traffic monitor画面における時間軸の1目盛りの幅を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:INSTRument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCELL">、<"MANual:RCELL">以外の場合。
- ・:SENSE:MEASure:GRESolutionにより下記の制限を受ける。
  - 1s: 1s, 1min,15min,60min
  - 1min: 1min,15min,60min
 設定以外の場合。
  - 15min:15min,60min
  - 60min:60min

使用例 1目盛りの幅を1分に設定する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:INTerval 1,M

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:INTerval?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Traffic monitor画面における時間軸の1目盛りの幅の問い合わせ  
 を行います。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:INTerval?  
 < 1,M

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplay <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>  
 OFF or 0 マーカOFF  
 ON or 1 マーカON

機能 Analyze:Traffic monitor画面におけるマーカ表示を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・Traffic monitorデータが存在しない場合。

使用例 Traffic monitorのマーカ表示をONに設定を行う場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplay 1

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplay?**

レスポンス <boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0 マーカOFF  
 1 マーカON

機能 Analyze:Traffic monitor画面におけるマーカ表示を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplay?  
 < 1

**:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:FROM <numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>**

パラメータ	<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> <numeric1> = 1994 ~ 2093 (year) <numeric2> = 1 ~ 12 (month) <numeric3> = 1 ~ 31 (day) <numeric4> = 0 ~ 23 (hour) <numeric5> = 0 ~ 59 (minute) <numeric6> = 0 ~ 59 (second) * パラメータで指定した時刻が存在しない場合、指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお、先頭データ時刻以前の時刻を設定した場合、先頭データ時刻が設定されます。また、最新データ時刻以降の時刻を設定した場合、最新データ時刻が設定されます。
機能	Traffic monitorグラフの表示開始位置を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCEL1"&gt;,&lt;"MANual:RCEL1"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	2000年7月28日11時30分40秒から表示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:FROM 2000,7,28,11,30,40

**:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:FROM?**

レスポンス	<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Traffic monitorグラフの表示開始位置を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:FROM? < 2000,7,28,11,30,40

**:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCALE <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA> <table> <tr> <td>BPS</td> <td>bit/s</td> </tr> <tr> <td>CPS</td> <td>cell/s</td> </tr> <tr> <td>PERCent</td> <td>%</td> </tr> </table>	BPS	bit/s	CPS	cell/s	PERCent	%
BPS	bit/s						
CPS	cell/s						
PERCent	%						
機能	Analyze:Traffic monitor画面におけるグラフ縦軸スケールを設定します。						
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> </ul>						

- ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">以外の場合。

使用例 Traffic monitorのグラフ縦軸スケールをbit/sに設定します。

```
> :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCALE BPS
```

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCALE?**

レスポンス <character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Traffic monitor画面におけるグラフ縦軸スケールを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCALE?

```
< BPS
```

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:PRINt <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
---------	---------

ALL	All
-----	-----

AFTer	After
-------	-------

BEFore	Before
--------	--------

機能 Analyze:Traffic monitor画面の印字範囲を指定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">以外の場合。

使用例 Traffic monitor画面範囲を設定する場合。

```
> :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:PRINt DISPlay
```

### **:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:PRINt?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP	Display
------	---------

ALL	All
-----	-----

AFT	After
-----	-------

BEF	Before
-----	--------

機能 Analyze:Traffic monitor画面の印字範囲を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:PRINt?

```
< DISP
```

**:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe <title>**

パラメータ	<title> = <STRING PROGRAM DATA> "タイトル文字列"      タイトル文字列 (最大15文字) ""も可能です。
機能	Analyze:Traffic monitor画面におけるタイトルを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELl"&gt;,&lt;"MANual:RCELl"&gt; 以外の場合。</li> </ul>
使用例	Traffic monitorのタイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe "TITLE-DISP"

**:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe?**

レスポンス	<title> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Traffic monitor画面におけるタイトルを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe? < "TITLE-DISP      "

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> TRIGger      トリガ 位置表示 NUBer      Number位置表示
機能	Analyze:Cell capture画面における表示位置を指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :INSTrument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>• :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;, &lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELl"&gt;,&lt;"MANual:RCELl"&gt; 以外の場合。</li> <li>• Captureデータが存在しない場合。</li> <li>• Triggerが存在しない場合、&lt;TRIGger&gt;設定の場合。</li> </ul>
使用例	トリガ表示位置へ移動する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:TYPE TRIGger

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:TYPE?**

レスポンス            <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

	TRIG	トリガ 位置表示
	NUMB	Number位置表示

機能                    Analyze:Cell capture画面の表示位置を問い合わせます。

使用例                 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:TYPE?  
< TRIG

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:LINE <numeric>**

パラメータ            <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

                         1 ~ 2016

機能                    Analyze:Cell capture画面における表示位置(Number)を設定します。

制 約                    以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual:JON">,  
<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">  
以外の場合。
- ・ Captureデータが存在しない場合。
- ・ :DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:TYPEが、<TRIGger>の場合。

使用例                 表示位置を10に設定する場合。  
> :DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:LINE 10

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:LINE?**

レスポンス            <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能                    Analyze:Cell capture画面における表示位置(Number)を問い合わせます。

使用例                 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:JUMP:LINE?  
< 10

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:SCRoll <scroll>**

パラメータ            <scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHT	右へスクロール
UP	上へスクロール
DOWN	下へスクロール
HTOP	左端へ移動
HBOTtom	右端へ移動
VTOP	先頭へ移動

	VBOttom            後尾へ移動
機能	Analyze:Cell capture画面におけるスクロールを指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Captureデータが存在しない場合。</li> <li>・ :DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPEが&lt;AScii&gt;,&lt;TRANslate&gt;時, &lt;LEFT&gt;,&lt;RIGHt&gt;,&lt;HTOP&gt;,&lt;HBOttom&gt;の場合。</li> </ul>
使用例	先頭へ移動を指示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:SCRoll VTOP

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	HEX                    HEX
	AScii                   Ascii
	TRANslate            Translate
機能	Analyze:Cell capture画面のPayload表示タイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTRument:Configの設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;,&lt;"MANual:TCLayer"&gt;,&lt;"MANual:TCELL"&gt;,&lt;"MANual:RCELL"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	Cell capture画面のPayload表示タイプを設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPE HEX

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	HEX                    HEX
	ASC                    Ascii
	TRAN                   Translate
機能	Analyze:Cell capture画面のPayload表示タイプを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPE? < HEX

**:DISPlay:ANALysis:CAPTure:PRINt <numeric1>,<numeric2>**

パラメータ	<numeric1>,<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016
機能	Analyze:Cell capture画面の印字範囲を指定します。
制約	以下の場合、無効とします。

- ・:INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・:DISPLAY:TMENU[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCELL">、<"MANual:RCELL">以外の場合。
- ・<numeric1> > <numeric2>の場合。

使用例

Cell capture画面の印字範囲を設定する場合。  
> :DISPLAY:ANALYSIS:CAPTURE:PRINT 1,20

### **:DISPLAY:ANALYSIS:CAPTURE:PRINT?**

レスポンス <numeric1>,<numeric2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Cell capture画面の印字範囲を問い合わせます。

使用例 > :DISPLAY:ANALYSIS:CAPTURE:PRINT?  
< 1,20

### **:DISPLAY:ANALYSIS:CAPTURE:TITLE <title>**

パラメータ <title> = <STRING PROGRAM DATA>

"タイトル文字列"      タイトル文字列（最大15文字）

""も可能です。

機能 Analyze:Cell capture画面に対してタイトルを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:INSTRUMENT:Configの設定が、<ATM>以外の場合。
- ・:DISPLAY:TMENU[:NAME]が、<"MANual:JON">、<"MANual:TCLayer">、<"MANual:TCELL">、<"MANual:RCELL">以外の場合。

使用例

"Cell capture"を設定する場合。  
> :DISPLAY:ANALYSIS:CAPTURE:TITLE "Cell capture"

### **:DISPLAY:ANALYSIS:CAPTURE:TITLE?**

レスポンス <title> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Cell capture画面に対してタイトルを問い合わせます。

使用例 > :DISPLAY:ANALYSIS:CAPTURE:TITLE?  
< "Cell capture    "

### **:DISPlay:ANALysis:CAPTure:DTYPe <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> CELL IPV4 IPV6
機能	Analyze:Cell capture画面のCell captureデータの表示形式を切り換えます。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:CONFig の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ オプション15が装着されていない場合。</li> <li>・ Mappingの設定がAAL5でない場合。</li> </ul>
使用例	Cell capture画面のCell captureデータの表示形式をCELLにする場合。 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:DTYPe CELL

### **:DISPlay:ANALysis:CAPTure:DTYPe?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> CELL IPV4 IPV6
機能	Analyze:Cell capture画面のCell captureデータの表示形式を問い合わせます。
使用例	表示形式を問い合わせる場合。 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:PTYPe? < CELL

### **:DISPlay:ANALysis:CDV1:SCRoll <scroll>**

パラメータ	<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA> LEFT            左へスクロール RIGHT          右へスクロール TOP             先頭へ移動 BOTTOm        後尾へ移動
機能	Analyze:1-point CDV画面におけるスクロールを指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-point CDVデータが存在しない場合。</li> </ul>
使用例	先頭へスクロールを指示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:SCRoll TOP

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> INDividual      個々のデータ ACCumulative   蓄積データ
機能	Analyze:1-point CDV画面の表示データタイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1-point CDV画面の表示データタイプをIndividualに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPE INDividual

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> IND              個々のデータ ACC              蓄積データ
機能	Analyze:1-point CDV画面の表示データタイプを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPE? < IND

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:MARKer <marker>**

パラメータ	<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA> LEFT            左へ 1Div 移動 RIGHT          右へ 1Div 移動
機能	Analyze:1-point CDV画面におけるマーカー移動を指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay が、<OFF>の場合。 ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。
使用例	右へ移動する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:MARKer RIGHT

**DISPlay:ANALysis:CDV1:PEAK <peak>**

パラメータ	<peak> = <CHARACTER PROGRAM DATA> BEFore          Before サーチ NEXT            Next サーチ
機能	Analyze:1-point CDV画面におけるピークサーチを指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay が、<OFF>の場合。 ・ マーカーから左側にピークがない時に<BEFore>指示の場合。 ・ マーカーから右側にピークがない時に<NEXT>指示の場合。

使用例 ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。  
Beforeサーチを指示する場合。  
> :DISPlay:ANALysis:CDV1:PEAK BEFore

### **:DISPlay:ANALysis:CDV1:ZOOM <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
IN Zoom in 機能  
OUT Zoom out 機能

機能 Analyze:1-point CDV画面におけるズーム機能を実行します。

制約 以下の場合、無効とします。

- :DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay が、<OFF>の場合。
- :DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval が<1>時、<IN>設定の場合。
- :DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval が<300>時、<OUT>設定の場合。

※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。

使用例 ズームイン機能を実行します。  
> :DISPlay:ANALysis:CDV1:ZOOM IN

### **:DISPlay:ANALysis:CDV1:DATA?**

レスポンス <time>,<cell>,<count>,<rate>  
<time> = <STRING RESPONSE DATA>  
マーカーの示すセル間隔 ( $\mu$ s)  
Form12  
<cell> = <STRING RESPONSE DATA>  
マーカーの示すセル間隔個数 (cell)  
Form12  
<count> = <STRING RESPONSE DATA>  
マーカーの示すセル個数  
Form1  
<rate> = <STRING RESPONSE DATA>  
マーカーの示すセルのレート (%)  
Form3

機能 Analyze:1-point CDV画面において、マーカーが示すデータを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:DATA?  
< " 7"," 10"," 100," 50.0000"

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA> 1, 10, 100, 500 cell
機能	Analyze:1-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1目盛りの幅を1Stepに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval 1

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval?**

レスポンス	<numeric1> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> <numeric2> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA> 0.7 ~ 276041.7 (μs) ※Intervalのμsは、Rx Bit rateによって範囲が異なります。
機能	Analyze:1-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval? < 1,100

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:IUNit <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA> CELL Cell US μs
機能	Analyze:1-point CDV画面の横軸表示間隔を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1-point CDV画面の横軸表示間隔をCellに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:IUNit CELL

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:IUNit?**

レスポンス	<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA> CELL Cell US μs
機能	Analyze:1-point CDV画面の横軸表示間隔を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV1:IUNit? < CELL

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0            マーカーOFF

ON or 1             マーカーON

機能 Analyze:1-point CDV画面におけるマーカーの表示有無を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ 1-point CDV データが存在しない場合。

使用例 マーカー表示を有りに設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay ON

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay?**

レスポンス <boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0                    マーカーOFF

1                    マーカーON

機能 Analyze:1-point CDV画面におけるマーカーの表示状態を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay?

< 1

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:PRINt <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay             Display

機能 Analyze:1-point CDV画面の印字範囲を指定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV1">以外の場合。

使用例 現在表示されている画面範囲を印字する場合。

> :DISPlay:ANALysis:CDV1:PRINt DISPlay

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:PRINt?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP                Display

機能 Analyze:1-point CDV画面の印字範囲を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:PRINt?

< DISP

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:TITLe <title>**

パラメータ	<title> = <STRING PROGRAM DATA> "タイトル文字列"                      タイトル文字列(最大 15 文字) ""も可能です。
機能	Analyze:1-point CDV画面に対してタイトルを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	"1-point CDV"を設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV1:TITLe "1-point CDV"

**:DISPlay:ANALysis:CDV1:TITLe?**

レスポンス	<title> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Analyze:1-point CDV画面に対してタイトルを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV1:TITLe? < "1-point CDV        "

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:SCRoll <scroll>**

パラメータ	<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA> LEFT                      左へスクロール RIGHT                     右へスクロール TOP                        先頭へ移動 BOTTOm                    後尾へ移動
機能	Analyze:2-point CDV画面におけるスクロールを指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ 2-point CDV データが存在しない場合。
使用例	先頭へスクロールを指示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:SCRoll TOP

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> INDividual                個々のデータ ACCumulative             蓄積データ
機能	Analyze:2-point CDV画面の表示データタイプを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV2">以外の場合。
使用例	2-point CDV画面の表示データタイプをIndividualに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:TYPE INDividual

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	IND                    個々のデータ
	ACC                    蓄積データ
機能	Analyze:2-point CDV画面の表示データタイプを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV2:TYPE? < IND

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:MARKer <marker>**

パラメータ	<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	LEFT                    左へ 1Div 移動
	RIGHT                    右へ 1Div 移動
機能	Analyze:2-point CDV画面におけるマーカー移動を指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay が、&lt;OFF&gt;の場合。            ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。</li> </ul>
使用例	右へ移動する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:MARKer RIGHT

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:PEAK <peak>**

パラメータ	<peak> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	BEFore                    Before サーチ
	NEXT                    Next サーチ
機能	Analyze:2-point CDV画面におけるピークサーチを指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay が、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>・ マーカーから左側にピークがない時に&lt;BEFore&gt;指示の場合。</li> <li>・ マーカーから右側にピークがない時に&lt;NEXT&gt;指示の場合。            ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。</li> </ul>
使用例	Beforeサーチを指示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:PEAK BEFore

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:ZOOM <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	IN                        Zoom in 機能
	OUT                        Zoom out 機能
機能	Analyze:2-point CDV画面におけるズーム機能を実行します。
制約	以下の場合、無効とします。

- ・:DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay が、<OFF>の場合。
- ・:DISPlay:ANALysis:CDV2:INTerval が<1>時、<IN>設定の場合。
- ・:DISPlay:ANALysis:CDV2:INTerval が<300>時、<OUT>設定の場合。

※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。

使用例

ズームイン機能を実行します。

> :DISPlay:ANALysis:CDV2:ZOOM IN

### **:DISPlay:ANALysis:CDV2:DATA?**

レスポンス

<time>,<cell>,<count>,<rate>

<time> = <STRING RESPONSE DATA>

マーカーの示すセル間隔 ( $\mu$  s)

Form12

<cell> = <STRING RESPONSE DATA>

マーカーの示すセル間隔個数 (cell)

Form12

<count> = <STRING RESPONSE DATA>

マーカーの示すセル個数

Form1

<rate> = <STRING RESPONSE DATA>

マーカーの示すセルのレート (%)

Form1

※ アナライズデータがない場合は、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----">

機能

Analyze:2-point CDV画面において、マーカーが示すデータを問い合わせます。

使用例

> :DISPlay:ANALysis:CDV2:DATA?

< " 7"," 10"," 100," 50.0000">

### **:DISPlay:ANALysis:CDV2:INTerval <character>**

パラメータ

<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1, 10, 100, 500

機能

Analyze:2-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定します。

制約

以下の場合、無効とします。

- ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV2">以外の場合。

使用例

1目盛りの幅を1Stepに設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:CDV2:INTerval 1

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:INTerval?**

レスポンス <numeric1> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <numeric2> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0.7 ~ 276041.7 (μs)

※Intervalのμsは、Rx Bit rateによって範囲が異なります。

機能 Analyze:2-point CDV画面におけるInterval軸の1目盛りの幅の問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:INTerval?  
 < 1,100

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:IUNit <unit>**

パラメータ <unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 CELL Cell  
 US μs

機能 Analyze:2-point CDV画面の横軸表示間隔を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV2">以外の場合。

使用例 2-point CDV画面の横軸表示間隔をCellに設定する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:IUNit CELL

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:IUNit?**

レスポンス <unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 CELL Cell  
 US μs

機能 Analyze:2-point CDV画面の横軸表示間隔を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:IUNit?  
 < CELL

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>  
 OFF or 0 マーカーOFF  
 ON or 1 マーカーON

機能 Analyze:2-point CDV画面におけるマーカーの表示有無を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

・ 2-point CDVデータが存在しない場合。

使用例 マーカー表示を有りに設定する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay ON

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay?**

レスポンス	<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
	0                    マーカーOFF
	1                    マーカーON
機能	Analyze:2-point CDV画面におけるマーカーの表示状態を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay? < 1

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:PRINt <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	DISPlay                    Display
機能	Analyze:2-point CDV画面の印字範囲を指定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV2">以外の場合。
使用例	現在表示されている画面範囲を印字する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:PRINt DISPlay

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:PRINt?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	DISP                    Display
機能	Analyze:2-point CDV画面の印字範囲を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV2:PRINt? < DISP

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:TITLe <title>**

パラメータ	<title> = <STRING PROGRAM DATA>
	"タイトル文字列"                    文字列(最大 15 文字)
	""も可能とします
機能	Analyze:2-point CDV画面に対してタイトルを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"CDV2">以外の場合。
使用例	"2-point CDV"を設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:CDV2:TITLe "2-point CDV"

**:DISPlay:ANALysis:CDV2:TITLe?**

レスポンス	<title> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Analyze:2-point CDV画面に対してタイトルを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:CDV2:TITLe? < "2-point CDV " >

**:DISPlay:ANALysis:OH Capture:TITLe <title>**

パラメータ	<title> = <STRING PROGRAM DATA> "タイトル文字列"      タイトル文字列(最大 15 文字) ""も可能です。
機能	Analyze:OH Capture64画面におけるタイトルを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 :SENSe:TELeCom:BRATが、<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:DISPlay:TMENu[:NAME]が、<"MANual[:JOFF]">,<"MANual:JON">,<"MANual:TCLayer">,<"MANual:TCELL">,<"MANual:RCELL">,<"PSEQUence[:JOFF]">,<"PSEQUence:JON">以外の場合。
使用例	OH Captureのタイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:OH Capture:TITLe "TITLE-DISP"

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor <error1>,<error2>**

パラメータ	<error1> = <STRING PROGRAM DATA> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor と同じ。 <error2> = <CHARACTER PROGRAM DATA> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるError/Alarmグラフ表示するエラー項目を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"EAL">以外の場合。 ・存在しない測定結果が指示された場合。 <"HIT">,<"SAR_PDU">,<"SB">,<"CPCS">,<"PMCount">,<"TUC01",<"TUC0">,<"TRCC0">,<"TRCC01">設定時に、<ER>設定の場合。
使用例	ビットエラーのエラーレートを表示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor "BIT",ER

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor?**

レスポンス	<error1>,<error2> <error1> = <STRING RESPONSE DATA> <error2> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能 問	Analyze:Recall画面におけるError/Alarmグラフ表示するエラー項目を い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor? < "BIT",ER

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム1に表示するアラーム項目を 設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"EAL">以外の場合。
使用例	アラーム1にPower failを表示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 "POWER"

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1?**

レスポンス	<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム1に表示するアラーム項目を 問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? < "POW"

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2 <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム2に表示するアラーム項目を 設定します。
制約	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1と同様。

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2?**

レスポンス	<alarm> = <STRING RESPONSE DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム2に表示するアラーム項目を 問い合わせます。

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3 <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム3に表示するアラーム項目を設定します。
制約	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1と同様。

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3?**

レスポンス	<alarm> = <STRING RESPONSE DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム3に表示するアラーム項目を問い合わせます。

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4 <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム4に表示するアラーム項目を設定します。
制約	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1と同様。

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4?**

レスポンス	<alarm> = <STRING RESPONSE DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム4に表示するアラーム項目を問い合わせます。

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5 <alarm>**

パラメータ	<alarm> = <STRING PROGRAM DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム5に表示するアラーム項目を設定します。
制約	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1と同様。

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5?**

レスポンス	<alarm> = <STRING RESPONSE DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? と同じ。
機能	Analyze:Recall画面におけるアラーム5に表示するアラーム項目を問い合わせます。

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:SCRoll <scroll>**

パラメータ <scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

UP	上へスクロール
DOWN	下へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTOM	後尾へ移動

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるスクロールを指示します。

制約 以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CCM">以外の場合。

使用例 上方向へスクロールする場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:SCRoll UP

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:INTerval <numeric>,<suffix>**

パラメータ <numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1000, 5000, 10000, 50000, 100000, 500000, 1000000

<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

CPS	Cell/s
-----	--------

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるの横軸の幅を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CCM">以外の場合。

使用例 横軸の幅を1000に設定する場合。

>:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:INTerval 1000,CPS

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:INTerval?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)における横軸幅を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:INTerval?

< 1000,CPS

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:VPI <numeric1>,<numeric2>**

パラメータ <numeric1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ~ 4095 VPI 値

<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ~ 65535 VCI 値

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるVPI,VCIで指定されたデータを位置に移動します。

制約 以下の場合、無効とします。

使用例                   ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"CCM">以外の場合。  
横軸センタ値のVPIを1000に設定する場合。  
> :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:VPI 1000

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:VPI?**

レスポンス           <numeric1> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
                          <numeric2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能                   Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるセンタ値のVPI,VCIを問い  
合わせます。

使用例                 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:VPI?  
                          < 100,20

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:NUMBER <numeric>**

パラメータ           <numeric1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                          1 ~ 1000           No.

機能                   Analyze:Recall画面(Live monitor)における指定されたNo.をセンタ位  
置に移動します。

制約                   以下の場合、無効とします。  
                          ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"CCM">以外の場合。

使用例                 23番目にjumpする場合。  
> :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:NUMBER 23

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:NUMBER?**

レスポンス           <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能                   Analyze:Recal画面(Live monitor)における画面表示センタ位置を  
問い合わせます。

使用例                 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:NUMBER?  
                          < 23

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PRINT <type>**

パラメータ           <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機能                   Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字範囲を指定します。

制約                   以下の場合、無効とします。  
                          ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"CCM">以外の場合。

使用例 Live monitor画面の印字範囲を設定する場合。  
:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PRINt DISPlay

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PRINt?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP	Display
ALL	All
AFT	After
BEF	Before

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字範囲を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PRINt?  
< DISP

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PTYPE <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

NUMeric	Numeric データ印字
GRAPh	Graph データ印字

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字データを指定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CCM">以外の場合。

使用例 Live monitor画面の印字データを設定する場合。  
> :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PTYPE GRAPH

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PTYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

NUM	Numeric データ印字
GRAP	Graph データ印字

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)の印字データを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PTYPE?  
< GRAP

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:TITLe?**

レスポンス <title> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Recall画面(Live monitor)におけるタイトルを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:TITLe?  
< "TITLE-DISP "

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold[:SWITCh] <boolean>**

パラメータ	<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA> OFF or 0 非表示 (モニタ) ON or 1 表示 (Threshold画面)
機能	Analyze:Recall(Live monitor)画面におけるThreshold表示／非表示を設定します。
使用例	Live monitorのThreshold表示に設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold[:SWITCh] ON

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold[:SWITCh]?**

レスポンス	<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0 非表示 1 表示
機能	Analyze:RECall(Live monitor)画面におけるThreshold表示／非表示を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold[:SWITCh]? < 1

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold:NCONforming <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA> BPS kbit/s CPS Cell/s PERCent %
機能	Analyze:RECall(Live monitor)画面におけるThreshold(Non-conforming)の単位を設定します。
使用例	Live monitorのThreshold(Non-conforming)の単位をCell/sに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold:NCONforming CPS

**:DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold:NCONforming?**

レスポンス	<character> = <CHARACTER RESPONSE DATA> :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold:NCONformingと同じ
機能	Analyze:RECall(Live monitor)画面におけるThreshold(Non-conforming)の単位を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:THReshold:NCONforming? < CPS

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCRoll <scroll>**

パラメータ <scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHT	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTOM	後尾へ移動

機能 Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるスクロールを指示します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"TRAF">以外の場合。

使用例 左方向へスクロールする場合。

```
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCRoll LEFT
```

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MARKer <marker>**

パラメータ <marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHT	右へ 1Div 移動

機能 Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるマーカー移動を指示します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"TRAF">以外の場合。

- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay が、 <OFF>の場合。

※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。

使用例 右方向へ移動する場合。

```
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MARKer RIGHT
```

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:DATA?**

レスポンス <time>,<mean>,<max>,<min>

機能 Analyze:Recall画面(Traffic monitor)において、マーカーが示すデータを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:DATA?

```
< 2000,12,25,12,54,30,"1","0","104"
```

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:INTerval <numeric>,<suffix>**

パラメータ <numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1, 15, 60

<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M	minute
S	second

機能	Analyze:Recall画面(Traffic monitor)における時間軸の1目盛りの幅を設定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 &lt;"TRAF"&gt;以外の場合。</li> <li>・ Save された時の Graph resolution 状態によって下記の制限を受けます。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">1s: 1s, 1min,15min,60min</p> <p style="margin-left: 40px;">1min: 1min,15min,60min</p> <p>設定以外の場合。</p> <p style="margin-left: 40px;">15min:15min,60min</p> <p style="margin-left: 40px;">60min:60min</p>
使用例	<p>1目盛りの幅を1分に設定する場合。</p> <p>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:INTerval 1,M</p>

#### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:INTerval?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能	Analyze:Recall画面(Traffic monitor)における時間軸の1目盛りの幅を問い合わせます。
使用例	<p>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:INTerval?</p> <p>&lt; 1,M</p>

#### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	マーカーOFF
ON or 1	マーカーON

機能	Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるマーカー表示を設定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 &lt;"TRAF"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	<p>Traffic monitorのマーカー表示をONに設定を行う場合。</p> <p>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay 1</p>

#### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay?**

レスポンス <boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	マーカーOFF
1	マーカーON

機能	Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるマーカー表示を問い合わせ
----	---

	せまず。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay? < 1
	<b>:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:FROM&lt;numeric1&gt;,&lt;numeric2&gt;,&lt;numeric3&gt;,&lt;numeric4&gt;,&lt;numeric5&gt;,&lt;numeric6&gt;</b>
パラメータ	<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> <numeric1> = 1994 ~ 2093 (year) <numeric2> = 1 ~ 12 (month) <numeric3> = 1 ~ 31 (day) <numeric4> = 0 ~ 23 (hour) <numeric5> = 0 ~ 59 (minute) <numeric6> = 0 ~ 59 (second) * パラメータで指定した時刻が存在しない場合、指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお、先頭データ時刻以前の時刻を設定した場合、先頭データ時刻が設定されます。また、最新データ時刻以降の時刻を設定した場合、最新データ時刻が設定されます。
機能	Analyze:Recall画面におけるTraffic monitorグラフの表示開始位置を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"TRAF">以外の場合。
使用例	2000年7月28日11時30分40秒から表示する場合。 :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:FROM 2000,7,28,11,30,40

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:FROM?**

レスポンス	<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面における Traffic monitorグラフの表示開始位置の問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:FROM? < 2000,7,28,11,30,40

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCALE <character>**

パラメータ	<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA> BPS bit/s CPS cell/s PERCent %
機能	Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるグラフ縦軸スケールを

	設定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ INSTRUMENT:CONFIG の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合.</li> <li>・ :DISPLAY:TMENU[:NAME]が、&lt;"MANual:JON"&gt;、&lt;"MANual:TCLayer"&gt;、&lt;"MANual:TCELI"&gt;、および&lt;"MANua;:RCELI"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	<p>Traffic monitorのグラフ縦軸スケールをbit/sに設定する場合。</p> <pre>:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCALe BPS</pre>

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCALe?**

レスポンス	<character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	Analyze: Recall画面(Traffic monitor)におけるグラフ縦軸スケールを問い合わせます。
使用例	<pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCALe? &lt; BPS</pre>

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:PRINt <type>**

パラメータ	<pre>&lt;type&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt; Display      Display ALL          All AFTer       After BEFore      Before</pre>
機能	Analyze:Recall画面(Traffic monitor)の印字範囲を指定します
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、&lt;"TRAF"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	<p>Traffic monitor画面範囲を設定する場合。</p> <pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:PRINt DISPlay</pre>

### **:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:PRINt?**

レスポンス	<pre>&lt;type&gt; = &lt;CHARACTER RESPONSE DATA&gt; DISP      Display ALL       All AFT       After BEF       Before</pre>
機能	Analyze:Recall画面(Traffic monitor)の印字範囲を問い合わせます。
使用例	<pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:PRINt? &lt; DISP</pre>

**:DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:TITLe?**

レスポンス <title> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Recall画面(Traffic monitor)におけるタイトルを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:TITLe?  
< "TITLE-DISP "

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TRIGger トリガ 位置表示

NUMBer Number 位置表示

機能 Analyze:Recall画面(Cell capture)における表示位置を指示します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CAPT">以外の場合。
- ・Triggerが存在しない場合は、<TRIGger>設定の場合。

使用例 トリガ表示位置へ移動する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE TRIGger

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

TRIG トリガ 位置表示

NUMBER Number 位置表示

機能 Analyze:Recall画面(Cell capture)の表示位置を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE?  
< TRIG

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:LINE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 2016

機能 Analyze:Recall画面(Cell capture)における表示位置(Number)を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CAPT">以外の場合。
- ・:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE が、<TRIGger>の場合。

Capture データの総数を越える設定の場合。

使用例 表示位置を10に設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:LINE 10

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:LINE?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面(Cell capture)における表示位置(Number)を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:LINE? < 10

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:SCRoll <scroll>**

パラメータ	<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>																
	<table> <tr> <td>LEFT</td> <td>左へスクロール</td> </tr> <tr> <td>RIGHT</td> <td>右へスクロール</td> </tr> <tr> <td>UP</td> <td>上へスクロール</td> </tr> <tr> <td>DOWN</td> <td>下へスクロール</td> </tr> <tr> <td>HTOP</td> <td>左端へ移動</td> </tr> <tr> <td>HBOTtom</td> <td>右端へ移動</td> </tr> <tr> <td>VTOP</td> <td>先頭へ移動</td> </tr> <tr> <td>VBOTtom</td> <td>後尾へ移動</td> </tr> </table>	LEFT	左へスクロール	RIGHT	右へスクロール	UP	上へスクロール	DOWN	下へスクロール	HTOP	左端へ移動	HBOTtom	右端へ移動	VTOP	先頭へ移動	VBOTtom	後尾へ移動
LEFT	左へスクロール																
RIGHT	右へスクロール																
UP	上へスクロール																
DOWN	下へスクロール																
HTOP	左端へ移動																
HBOTtom	右端へ移動																
VTOP	先頭へ移動																
VBOTtom	後尾へ移動																
機能	Analyze:Recall画面(Cell capture)におけるスクロールを指示します。																
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、&lt;"CAPT"&gt;以外の場合。</li> <li>・ :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE が&lt;ASCii&gt;, &lt;TRANslate&gt;時, &lt;LEFT&gt;,&lt;RIGHT&gt;,&lt;HTOP&gt;,&lt;HBOTtom&gt;の場合。</li> </ul>																
使用例	<p>先頭へ移動を指示する場合。</p> <p>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:SCRoll VTOP</p>																

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>						
	<table> <tr> <td>HEX</td> <td>HEX</td> </tr> <tr> <td>ASCii</td> <td>Ascii</td> </tr> <tr> <td>TRANslate</td> <td>Translate</td> </tr> </table>	HEX	HEX	ASCii	Ascii	TRANslate	Translate
HEX	HEX						
ASCii	Ascii						
TRANslate	Translate						
機能	Analyze:Recall画面(Cell capture)のPayload表示タイプを設定します。						
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、&lt;"CAPT"&gt;以外の場合。</li> </ul>						
使用例	<p>Cell capture画面のPayload表示タイプを設定する場合。</p> <p>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE HEX</p>						

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> HEX                  HEX ASC                  Ascii TRAN                 Translate
機能	Analyze:Recall画面(Cell capture)のPayload表示タイプを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE? < HEX

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PRINt <numeric1>,<numeric2>**

パラメータ	<numeric1>,<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016
機能	Analyze:Recall画面(Cell capture)の印字範囲を指定します。
制約	以下の場合、無効とします。 :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CAPT">以外の場合。 ・ <numeric1> > <numeric2>の場合。
使用例	Cell capture画面範囲を設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PRINt 1,20

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PRINt?**

レスポンス	<numeric1>,<numeric2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面(Cell capture)の印字範囲を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PRINt? < 1,20

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:TITLe?**

レスポンス	<title> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面(Cell capture)に対してタイトルを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:TITLe? < "Cell capture      "

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:DTYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> CELL IPV4 IPV6
機能	Analyze:Cell capture画面のキャプチャデータの表示形式を切り換えます。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :INSTrument:CONFig の設定が &lt;ATM&gt;以外の場合。</li> <li>・ オプション15が装着されていない場合。</li> <li>・ Mappingの設定がAAL5でない場合。</li> </ul>
使用例	Cell capture画面のCell captureデータの表示形式をCELLにする場合。 > :DISPlay:ANALysis:CAPTure:DTYPE CELL

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:DTYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Cell capture画面のキャプチャデータの表示形式を問い合わせます。
使用例	表示形式を問い合わせる場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:DTYPE? < CELL

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:SCRoll <scroll>**

パラメータ	<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA> LEFT            左へスクロール RIGHT           右へスクロール TOP              先頭へ移動 BOTTom          後尾へ移動
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるスクロールを指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 &lt;"CDV1"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	先頭へスクロールを指示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:SCRoll TOP

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TYPE <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> INDividual ACCumulate
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)の表示データタイプを設定します。

制 約	以下の場合、無効とします。 ・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1-point CDV画面の表示データタイプをIndividualに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TYPE INDividual

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TYPE?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> IND ACC
機 能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)の表示データタイプを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TYPE? < IND

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MARKer <marker>**

パラメータ	<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA> LEFT                    左へ 1Div 移動 RIGHT                   右へ 1Div 移動
機 能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるマーカー移動を指示します。
制 約	以下の場合、無効とします。 ・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV1">以外の場合。 ・:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay が、<OFF>の場合。 ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。
使用例	右へ移動する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MARKer RIGHT

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PEAK <peak>**

パラメータ	<peak> = <CHARACTER PROGRAM DATA> BEFore                   Before サーチ NEXT                    Next サーチ
機 能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるピークサーチを指示します。
制 約	以下の場合、無効とします。 ・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV1">以外の場合。 ・:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay が、<OFF>の場合。 ・マーカーから左側にピークがない時に<BEFore>指示の場合。 ・マーカーから右側にピークがない時に<NEXT>指示の場合。 ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。
使用例	Beforeサーチを指示する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PEAK BEFore

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:ZOOM <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> IN Zoom in 機能 OUT Zoom out 機能
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるズーム機能を実行します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、&lt;"CDV1"&gt;以外の場合。</li> <li>• :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplayが、&lt;OFF&gt;の場合。</li> <li>• :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTervalが&lt;1&gt;時、&lt;IN&gt;設定の場合。</li> <li>• :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTervalが&lt;300&gt;時、&lt;OUT&gt;設定の場合。</li> </ul>
使用例	※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。 ズームイン機能を実行します。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:ZOOM IN

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:DATA?**

レスポンス	<time>,<cell>,<count>,<rate> <time> = <STRING RESPONSE DATA> マーカーの示すセル間隔 ( $\mu$ s) Form12 <cell> = <STRING RESPONSE DATA> マーカーの示すセル間隔個数 (cell) Form12 <count> = <STRING RESPONSE DATA> マーカーの示すセル個数 Form1 <rate> = <STRING RESPONSE DATA> マーカーの示すセルのレート (%) Form3
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)において、マーカーが示すデータを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:DATA? < " 10"," 101"," 0"," 100"

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTerval <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA> 1, 10, 100, 500
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1目盛りの幅を1Stepに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTerval 1

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTerval?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTerval? < 1

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:IUNit <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA> CELL            Cell US $\mu$ s
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)の横軸表示間隔を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV1">以外の場合。
使用例	1-point CDV画面の横軸表示間隔をCellに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:IUNit CELL

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:IUNit?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> CELL            Cell US $\mu$ s
機能	Analyze:Recall画面(1-point CDV)の横軸表示間隔を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:IUNit? < CELL

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay <boolean>**

パラメータ <boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0 マーカーOFF

ON or 1 マーカーON

機能 Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるマーカーの表示有無を設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV1">以外の場合。

使用例 マーカー表示を有りに設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay ON

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 マーカーOFF

1 マーカーON

機能 Analyze:Recall画面(1-point CDV)におけるマーカーの表示状態を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay?

< 1

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PRINt <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

機能 Analyze:Recall画面(1-point CDV)の印字範囲を指定します。

制約 以下の場合、無効とします。

使用例 現在表示されている画面範囲を印字する場合。

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PRINt?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Recall画面(1-point CDV)の印字範囲を問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PRINt?

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TITLe?**

レスポンス <title> = <STRING RESPONSE DATA>

機能 Analyze:Recall画面(1-point CDV)に対してタイトルを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TITLe?

< "1-point CDV "

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:SCRoll <scroll>**

パラメータ            <scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHT	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTOM	後尾へ移動

機能            Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるスクロールを指示します。

制約            以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV2">以外の場合。

使用例            先頭へスクロールを指示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:SCRoll TOP

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TYPE <type>**

パラメータ            <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

INDividual
ACCumulate

機能            Analyze:Recall画面(2-point CDV)の表示データタイプを設定します。

制約            以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV2">以外の場合。

使用例            2-point CDV画面の表示データタイプをIndividualに設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TYPE INDividual

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TYPE?**

レスポンス            <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

IND
ACC

機能            Analyze:Recall画面(2-point CDV)の表示データタイプを問い合わせます。

使用例            > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TYPE?

< IND

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MARKer <marker>**

パラメータ            <marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHT	右へ 1Div 移動

機能            Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるマーカー移動を指示します。

制約            以下の場合、無効とします。

・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV2">以外の場合。

・ :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay が、<OFF>の場合。

使用例 ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。  
 右へ移動する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MARKer RIGHT

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PEAK <peak>**

パラメータ <peak> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                   BEFore           Before サーチ  
                   NEXT            Next サーチ

機能 Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるピークサーチを指示します。  
 制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"CDV2">以外の場合。
- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay が、 <OFF>の場合。
- ・ マーカーから左側にピークがない時に<BEFore>指示の場合。
- ・ マーカーから右側にピークがない時に<NEXT>指示の場合。

使用例 ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。  
 Beforeサーチを指示する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PEAK BEFore

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:ZOOM <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
                   IN               Zoom in 機能  
                   OUT            Zoom out 機能

機能 Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるズーム機能を実行します。  
 制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"CDV2">以外の場合。
- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay が、 <OFF>の場合。
- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval が<1>時、 <IN>設定の場合。
- ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval が<300>時、 <OUT>設定の場合。

使用例 ※複数画面表示時、マーカーが ON であれば通常の動きをします。  
 ズームイン機能を実行する場合。  
 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:ZOOM IN

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:DATA?**

レスポンス	<p>&lt;time&gt;,&lt;cell&gt;,&lt;count&gt;,&lt;rate&gt;</p> <p>&lt;time&gt; = &lt;STRING RESPONSE DATA&gt;          マーカーの示すセル間隔 (<math>\mu</math> s)          Form12</p> <p>&lt;cell&gt; = &lt;STRING RESPONSE DATA&gt;          マーカーの示すセル間隔個数 (cell)          Form12</p> <p>&lt;count&gt; = &lt;STRING RESPONSE DATA&gt;          マーカーの示すセル個数          Form1</p> <p>&lt;rate&gt; = &lt;STRING RESPONSE DATA&gt;          マーカーの示すセルのレート (%)          Form3</p>
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)において、マーカーが示すデータを問い合わせます。
使用例	<pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:DATA? &lt; "10","101","0","100"</pre>

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval <numeric>**

パラメータ	<p>&lt;numeric&gt; = &lt;CHARACTER PROGRAM DATA&gt;</p> <p>1, 10, 100, 500</p>
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を設定します。
制約	<p>以下の場合、無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、&lt;"CDV2"&gt;以外の場合。</li> </ul>
使用例	<p>1目盛りの幅を1Stepに設定する場合。</p> <pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval 1</pre>

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるInterval軸の1目盛りの幅を問い合わせます。
使用例	<pre>&gt; :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval? &lt; 1</pre>

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:IUNit <unit>**

パラメータ	<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	CELL                    Cell
	US $\mu$ s
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)の横軸表示間隔を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"CDV2">以外の場合。
使用例	2-point CDV画面の横軸表示間隔をCellに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:IUNit CELL

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:IUNit?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	CELL                    Cell
	US $\mu$ s
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)の横軸表示間隔を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:IUNit? < CELL

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay <boolean>**

パラメータ	<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
	OFF or 0                マーカーOFF
	ON or 1                 マーカーON
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるマーカーの表示有無を設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、 <"CDV2">以外の場合。
使用例	マーカー表示を有りに設定する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay ON

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
	0                        マーカーOFF
	1                        マーカーON
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)におけるマーカーの表示状態を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay? < 1

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PRINt <type>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> DISPlay                    Display
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)の印字範囲を指定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が、<"CDV2">以外の場合。
使用例	現在表示されている画面範囲を印字する場合。 > :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PRINt DISPlay

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PRINt?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA> DISP                    Display
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)の印字範囲を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PRINt? < DISP

**:DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TITLe?**

レスポンス	<title> = <STRING RESPONSE DATA>
機能	Analyze:Recall画面(2-point CDV)に対してタイトルを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TITLe? < "2-point CDV     "

**:DISPlay:SETup[:NAME]**

パラメータ	<sdisplay> = <STRING PROGRAM DATA> "MAPPing"            Mapping 画面 "MEMory"             Memory 画面 "PRINt"                Print 画面 "SPPData"             OH preset data 画面 "CELL"                 ATM Cell edit 画面 "MEAScond"            Measurement condition 画面 "SYSTem"              System 画面 "FDISk"                Floppy disk 画面 "STESt"                Self test 画面 "CUSTomer"            Custom function 画面
機能	Setup画面における表示項目を選択します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ ATM ユニット未装着時、<"CELL">設定の場合。 ・ :INSTrument:Config の設定が<ATM>以外で、<"CELL">設定の場合。



使用例 STM画面に切り換える場合。  
 > :DISPlay:SETup:OHPReset:NAME STM  
 または,  
 > :DISPlay:SETup:OHPReset STM

### **:DISPlay:SETup:OHPReset[:NAME]?**

レスポンス <type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

SDH	SDH
SONET	SONET
E3	E3
E4	E4
DS3P	DS3 PLCP

機能 Setup画面のOHプリセットデータの表示切り換えを問い合わせます。

使用例 > :DISPlay:SETup:OHPReset:NAME?  
 または,  
 > :DISPlay:SETup:OHPReset?  
 < STM

### **:DISPlay:SETup:CELL[:NAME] <type>**

パラメータ <type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

FOReground	Foreground
OAM	OAM
BACKground	Background
MEMorized	Memorized

機能 Setup画面のCell editの表示切り換えを設定します。

制約 以下の場合、無効とします。

- ・ :INSTrument:Config の設定が、<ATM>以外の場合。

使用例 Cell editの表示をForegroundにする場合。

> :DISPlay:SETup:CELL:NAME FORGroud  
 または,  
 > :DISPlay:SETup:CELL FORGroud

**:DISPlay:SETup:CELL[:NAME]?**

レスポンス	<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
	FOR                    Foreground
	OAM                    OAM
	BACK                  Background
	MEM                    Memorized
機能	Setup画面のCell editの表示切り換えを問い合わせます。。
使用例	> :DISPlay:SETup:CELL:NAME? または, > :DISPlay:SETup:CELL? < FORG

**:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:SCRoll <scroll>**

パラメータ	<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
	UP                    上へスクロール
	DOWN                下へスクロール
	TOP                  先頭へ移動
	BOTTom              後尾へ移動
機能	Setup画面のMemorizedにおけるスクロールを指示します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Config の設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	上方向へスクロールする場合。 > :DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:SCRoll UP

**:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:DStart <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
	1 ~ 1987            ステップ値:1
機能	Setup画面のMemorized cellにおけるDisplay startを設定します。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ :INSTRument:Config の設定が、<ATM>以外の場合。
使用例	MEMorized cellの表示開始位置を1000に設定する場合。 > :DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:DStart 1000

**:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:DStart?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Setup画面のMemorizedにおけるDisplay startを問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:DStart? < 1000

**:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:PRINt <numeric1>,<numeric2>**

パラメータ	<numeric1>,<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 2016
機能	Setup画面のMemorizedにおける印字範囲を指定します。
制約	以下の場合、無効とします。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ :INSTrument:Config の設定が、&lt;ATM&gt;以外の場合。</li><li>・ &lt;numeric1&gt; &gt; &lt;numeric2&gt;の場合。</li></ul>
使用例	Memorized cellの印字範囲を1~20に設定する場合。 > :DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:PRINt 1,20

**:DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:PRINt?**

レスポンス	<numeric1>,<numeric2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機能	Setup画面のMemorized cellにおける印字範囲を問い合わせます。
使用例	> :DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:PRINt? < 1,20



## 4.4.5 CALCulate subsystem

CALCulateサブシステムでは、パフォーマンス測定の設定や測定結果の表示を行います。

機能	コマンド	パラメータ
<i>Page 4-239</i>		
Cell block size N を設定	:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB	numeric
Cell block size N の問い合わせ	:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB?	
SECB threshold M を設定	:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB	numeric
SECB threshold M の問い合わせ	:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB?	
AAL5 frame sizeの設定	:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE	numeric
AAL5 frame size の問い合わせ	:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE?	
<i>Page 4-240</i>		
パラメータに対応した測定結果の問い合わせ	:CALCulate:DATA?	string
<i>Page 4-246</i>		
Error/Alarmの分析結果の問い合わせ	:CALCulate:TGRaph:DATA?	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
<i>Page 4-247</i>		
Live monitorの結果の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:TRAFfic:DATA?	numeric
<i>Page 4-248</i>		
Live monitorの結果の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:DATA?	numeric
しきい値の位置を設定	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold	numeric character
しきい値の位置の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold ?	
Aのしきい値を設定	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:A	numeric character
Aのしきい値の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:A?	
Bのしきい値を設定	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:B	numeric character
Bのしきい値の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:B?	
Cのしきい値を設定	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:C	numeric character
Cのしきい値の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:C?	
Dのしきい値を設定	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:D	numeric character
Dのしきい値の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:D?	
Live monitor (Traffic)の結果の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforming:FM:DATA?	numeric1 numeric2
<i>Page 4-252</i>		
Live monitor (Traffic)の結果の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:FMSeCb:DATA?	numeric
Live monitorにおけるFM SECBしきい値の設定	:CALCulate:LMONitor:FMSeCb:THReshold[:DATA]	numeric character
Live monitorにおけるFM SECBしきい値の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:FMSeCb:THReshold[:DATA]?	numeric

## 4章 リモートコントロール

### Page 4-254

Live monitor (Traffic)の結果の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:NCONforming:BR:DATA?	numeric1 numeric2
---------------------------------	--	----------------------

### Page 4-255

Live monitor (Traffic)の結果を問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:BRSecb:DATA?	numeric1 numeric2
Live monitorにおけるBR SECBしきい値の設定	:CALCulate:LMONitor:BRSecb:THReshold[:DATA]	numeric character
Live monitorにおけるBR SECBしきい値の問い合わせ	:CALCulate:LMONitor:BRSecb:THReshold[:DATA]?	numeric

### Page 4-256

測定結果の問い合わせ	:CALCulate:TRAFfic:RESult?	
------------	----------------------------	--

### Page 4-257

Traffic monitorの分析結果の問い合わせ	CALCulate:TRAFfic:DATA?	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
----------------------------	-------------------------	--

### Page 4-259

Capture結果の問い合わせ	:CALCulate:CAPTure:LINE?	type numeric1 numeric2
-----------------	--------------------------	------------------------------

### Page 4-259

Captureされた行数の問い合わせ	:CALCulate:CAPTure:TOTal?	
--------------------	---------------------------	--

### Page 4-259

Captureされたトリガ行数の問い合わせ	:CALCulate:CAPTure:TRIGger?	
-----------------------	-----------------------------	--

### Page 4-260

1-point CDVの分析結果の問い合わせ	:CALCulate:CDV1:DATA?	numeric
------------------------	-----------------------	---------

### Page 4-260

2-point CDVの分析結果の問い合わせ	:CALCulate:CDV2:DATA?	numeric
------------------------	-----------------------	---------

### Page 4-261

Loopback測定の結果を問い合わせ	:CALCulate:LOOPback:RESult?	
---------------------	-----------------------------	--

**:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:N <numeric>**

パラメータ <numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 128, 256, 512, 1024, 2048, 4096, 8192

機能 Cell block size N を設定します。

制約 以下の場合，無効とします。  
 ・ :INSTrument:Config の設定が， <ATM>以外の場合。

使用例 Cell block size N を 128 に設定する場合。  
 > :CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:N 128

**:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:N?**

レスポンス <numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 Cell block size N を問い合わせます。

使用例 > :CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:N?  
 < 128

**:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:M <numeric>**

パラメータ <numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 8, 16, 32, 64, 128, 256, 512

機能 SECB threshold M を設定します。

制約 以下の場合，無効とします。  
 ・ :INSTrument:Config の設定が， <ATM>以外の場合。

使用例 SECB threshold M を 8 に設定する場合。  
 > :CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:M 8

**:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:M?**

レスポンス <numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機能 SECB threshold M を問い合わせます。

使用例 > :CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SECB:M?  
 < 8

**:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 65535

機能 AAL5 frame sizeを設定します。

制約 以下の場合，無効とします。  
 ・ :INSTrument:CONFIg の設定が <ATM>以外の場合。

使用例 AAL5 frame size を256に設定する場合。  
 > :CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE 256

**:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
:CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE と同じ。

機能 AAL5 frame sizeを問い合わせます。

使用例 > :CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE?  
< 256

**:CALCulate:DATA? <string>**

パラメータ <string> = <STRING PROGRAM DATA>  
"[CURRent:]<result>" 現在の測定結果  
"LAST:<result>" 直前の測定結果  
<result>の内容は次ページの表をご覧ください。

レスポンス <string> = <STRING RESPONSE DATA>  
次ページの表をご覧ください。

機能 パラメータに対応した測定結果を問い合わせます。

使用例 ビットエラーの EC 現在値を問い合わせる場合。  
> :CALCulate:DATA? "CURRent:EC:BIT", または  
> :CALCulate:DATA? "EC:BIT"  
< " 892"

Error/Alarm 測定			
	項目	<result>	レスポンス・フォーマット
EC	PLCP REI	"EC:REI:PLCP"	Form1
	CRC-4	"EC:CRC4"	Form1
	Cell Count	"EC:CELL"	Form1
	Corrected cell	"EC:CORR"	Form1
	Discarded cell	"EC:DISC"	Form1
	Nonconf	"EC:NONCONF"	Form1
	Errored cell	"EC:ERRORED"	Form1
	Lost cell	"EC:LOST"	Form1
	Misinserted	"EC:MISINS"	Form1
	2000	"EC:SB"	Form1
	SAR-PDU	"EC:SAR-PDU"	Form1
	SNP error	"EC:SNP"	Form1
	Uncorrectable SNP error	"EC:UCSNP"	Form1
	P error	"EC:P"	Form1
	OSF error	"EC:OSF"	Form1
	SN error	"EC:SN"	Form1
	CPS-Packet Count	"EC:CPSPKT"	Form1
	HEC error	"EC:CPSHC"	Form1
	Length Indicator error	"EC:LI"	Form1
	Segment type	"EC:ST"	Form1
	Length indicator error	"EC:LI"	Form1
	Length	"EC:LENGTH"	Form1
	CPCS-PDU count	"EC:CPCS"	Form1
	MID count	"EC:MID"	Form1
	CRC10 error	"EC:CRC10"	Form1
	Discardetype PDU	"EC:DISPDU"	Form1
	Segment type error	"EC : ST"	Form1
	Abort	"EC:ABORT"	Form1
	Undelivered PDU	"EC:UDLVPDU"	Form1
	CPI error	"EC:CPI"	Form1
	Btag/ETag mismatch	"EC:BETAG"	Form1
	BASize error	"EC:BASIZE"	Form1
	AL error	"EC:AL"	Form1
	Frame size error	"EC:FSize"	Form1
	CRC32 error	"EC:CRC32"	Form1
	PRBS/word ビット error	"EC:BIT"	Form1
	PM FM Lost Cell	"EC:FM:LOST"	Form1
	PM FM Misinserted Cell	"EC:FM:MISINS"	Form1
	PM FM BIPV	"EC:FM:BIPV"	Form1
	PM BR Lost Cell	"EC:BR:LOST"	Form1
	PM BR Misinserted Cell	"EC:BR:MISINS"	Form1
PM BR BIPV	"EC:BR:BIPV"	Form1	
PM BR SB	"EC:BR:SB"	Form1	
CID PKT	"EC:CIDPKT"	Form1	

#### 4章 リモートコントロール

	項目	<result>	レスポンス・フォーマット
ER	PLCP REI	"ER:REI:PLCP"	Form2
	CRC-4	"ER:CRC4"	Form2
	Cell	"ER:CELL"	Form2
	Corrected cell	"ER:CORR"	Form2
	Discarded cell	"ER:DISC"	Form2
	Nonconf	"ER:NONCONF"	Form2
	Errored cell	"ER:ERRORED"	Form2
	Lost cell	"ER:LOST"	Form2
	Misinserted	"ER:MISINS"	Form2
	SB	"ER:SB"	Form2
	SAR-PDU	"ER:SARPDU"	Form2
	SNP	"ER:SNP"	Form2
	Uncorrectable SNP	"ER:UCSNP"	Form2
	P	"ER:P"	Form2
	OSF	"ER:OSF"	Form2
	SN	"ER:SN"	Form2
	HEC error	"ER:CPSHC"	Form2
	Length Indicator	"ER:LI"	Form2
	Segment type	"ER:ST"	Form2
	Length indicator	"ER:LI"	Form2
	Length	"ER:LENGTH"	Form2
	CRC10 error	"ER:CRC10"	Form2
	Discardetype PDU	"ER:DISPDU"	Form2
	Segment type	"ER : ST"	Form2
	Abort	"ER:ABORT"	Form2
	Undeliverd PDU	"ER:UDLVPDU"	Form2
	CPI error	"ER:CPI"	Form2
	B/E mismatch	"ER:BETAG"	Form2
	BASize error	"ER:BASIZE"	Form2
	AL	"ER:AL"	Form2
	Frame size	"ER:FSIZE"	Form2
	CRC32	"ER:CRC32"	Form2
	PRBS/word ビット error	"ER:BIT"	Form2
	FM Lost	"ER:FM:LOST"	Form2
	FM Misinserted	"ER:FM:MISINS"	Form2
	FM BIPV	"ER:FM:BIPV"	Form2
	BR Lost	"ER:BR:LOST"	Form2
	BR Misinserted	"ER:BR:MISINS"	Form2
	BR BIPV	"ER:BR:BIPV"	Form2
	BR SB	"ER:BR:SB"	Form2
	CID PKT	"ER:CIDPKT"	Form1

## Error/Alarm測定 (Second)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
OOF	PLCP	"ASeconds:OOF:PLCP"	Form1
RAI	PLCP	"ASeconds:RAI:PLCP"	Form1
VP	AIS	"ASeconds:VP:AIS"	Form1
	RDI	"ASeconds:VP:RDI"	Form1
	LOC	"ASeconds:VP:LOC"	Form1
VC	AIS	"ASeconds:VC:AIS"	Form1
	RDI	"ASeconds:VC:RDI"	Form1
	LOC	"ASeconds:VC:LOC"	Form1
LCD		"ASeconds:LCD"	Form1

## Error/Alarm測定 (Count)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
VP	AIS	"ACounts:VP:AIS"	Form1
	RDI	"ACounts:VP:RDI"	Form1
	LOC	"ACounts:VP:LOC"	Form1
VC	AIS	"ACounts:VC:AIS"	Form1
	RDI	"ACounts:VC:RDI"	Form1
	LOC	"ACounts:VC:LOC"	Form1

## Performance測定

項目		<result>	レスポンス・フォーマット	
M.2100	Bit or FAS/CRC	RxES	"M2100:ES"	Form1
		TxES	"M2100:ES2"	Form1
		RxSES	"M2100:SES"	Form1
		TxSES	"M2100:SES2"	Form1
		RxUS	"M2100:US"	Form1
		RxTEST	"M2100:TEST"	Form4
		TxTEST	"M2100:TEST2"	Form4
	Parity	RxES	"M2100:PARITY:ES"	Form1
		RxSES	"M2100:PARITY:SES"	Form1
		RxUS	"M2100:PARITY:US"	Form1
		RxTEST	"M2100:PARITY:TEST"	Form4
	Errored cell	RxES	"M2100:ES:ERRored"	Form1
		RxSES	"M2100:SES:ERRored"	Form1
		RxUS	"M2100:US:ERRored"	Form1
		RxTEST	"M2100:TEST:ERRored"	Form4
	Lost cell	RxES	"M2100:ES:LOST"	Form1
		RxSES	"M2100:SES:LOST"	Form1
		RxUS	"M2100:US:LOST"	Form1
		RxTEST	"M2100:TEST:LOST"	Form4
	MisINS cell	RxES	"M2100:ES:MISINS"	Form1
		RxSES	"M2100:SES:MISINS"	Form1
		RxUS	"M2100:US:MISINS"	Form1
		RxTEST	"M2100:TEST:MISINS"	Form4

Performance測定				
項目		<result>	レスポンス・フォーマット	
G.826	MS-REI	ES SES BBE ESR SESR BBER SDP US	"G826:ES:REI:MS" "G826:SES:REI:MS" "G826:BBE:REI:MS" "G826:ESR:REI:MS" "G826:SESR:REI:MS" "G826:BBER:REI:MS" "G826:SDP:REI:MS" "G826:US:REI:MS"	Form1 Form1 Form1 Form2 Form2 Form2 Form1 Form1
	HP-REI	ES SES BBE ESR SESR BBER SDP US	"G826:ES:REI:HP" "G826:SES:REI:HP" "G826:BBE:REI:HP" "G826:ESR:REI:HP" "G826:SESR:REI:HP" "G826:BBER:REI:HP" "G826:SDP:REI:HP" "G826:US:REI:HP"	Form1 Form1 Form1 Form2 Form2 Form2 Form1 Form1
	LP-REI	ES SES BBE ESR SESR BBER SDP US	"G826:ES:REI:LP" "G826:SES:REI:LP" "G826:BBE:REI:LP" "G826:ESR:REI:LP" "G826:SESR:REI:LP" "G826:BBER:REI:LP" "G826:SDP:REI:LP" "G826:US:REI:LP"	Form1 Form1 Form1 Form2 Form2 Form2 Form1 Form1
	Parity	ES SES BBE ESR SESR BBER SDP US	"G826:ES:PARITY" "G826:SES:PARITY" "G826:BBE:PARITY" "G826:ESR:PARITY" "G826:SESR:PARITY" "G826:BBER:PARITY" "G826:SDP:PARITY" "G826:US:PARITY"	Form1 Form1 Form1 Form2 Form2 Form2 Form1 Form1
	Errored cell	ES SES BBE ESR SESR BBER SDP US	"G826:ES:ERRORED" "G826:SES:ERRORED" "G826:BBE:ERRORED" "G826:ESR:ERRORED" "G826:SESR:ERRORED" "G826:BBER:ERRORED" "G826:SDP:ERRORED" "G826:US:ERRORED"	Form1 Form1 Form1 Form2 Form2 Form2 Form1 Form1
	Lost cell	ES SES BBE ESR SESR BBER SDP US	"G826:ES:LOST" "G826:SES:LOST" "G826:BBE:LOST" "G826:ESR:LOST" "G826:SESR:LOST" "G826:BBER:LOST" "G826:SDP:LOST" "G826:US:LOST"	Form1 Form1 Form1 Form2 Form2 Form2 Form1 Form1
	MisINS cell	ES SES BBE ESR SESR	"G826:ES:MISINS" "G826:SES:MISINS" "G826:BBE:MISINS" "G826:ESR:MISINS" "G826:SESR:MISINS"	Form1 Form1 Form1 Form2 Form2

		BBER SDP US	"G826:BBER:MISINS" "G826:SDP:MISINS" "G826:US:MISINS"	Form2 Form1 Form1
--	--	-------------------	---	-------------------------

## 1-point CDV測定

項目	<result>	レスポンス・ フォーマット
Average	"CDV1:AVERAge"	Form12
Maximum	"CDV1:MAXimum"	Form12
Minimum	"CDV1:MINimum"	Form12

## 2-point CDV測定

項目	<result>	レスポンス・ フォーマット
Average	"CDV2:AVERAge"	Form12
Maximum	"CDV2:MAXimum"	Form12
Minimum	"CDV2:MINimum"	Form12
Offset	"CDV2:OFFSet"	Form12

**:CALCulate:TGRaph:DATA?<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5> [,<numeric6>]**

パラメータ

<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

読みだしデータの年月日時分秒

<numeric1> = 1994 ~ 2093 (year)

<numeric2> = 1 ~ 12 (month)

<numeric3> = 1 ~ 31 (day)

<numeric4> = 0 ~ 23 (hour)

<numeric5> = 0 ~ 59 (minute)

<numeric6> = 0 ~ 59 (second)

レスポンス

<time>,<alarm1s>,<alarm1c>,<alarm2s>,<alarm2c>,<alarm3s>,<alarm3c>,<alarm4s>,<alarm4c>,<alarm5s>,<alarm5c>,<error1>,<error2>

<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>

読みだしデータの年月日時分秒

<year> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<month> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<day> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<hour> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<Second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<alarm1s> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム1の発生時間(s)

(Form1)

<alarm2s> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム2の発生時間(s)

(Form1)

<alarm3s> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム3の発生時間(s)

(Form1)

<alarm4s> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム4の発生時間(s)

(Form1)

<alarm5s> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム5の発生時間(s)

(Form1)

<alarm1c> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム1の発生回数

(Form1)

<alarm2c> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム2の発生回数

Form(1)

<alarm3c> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム3の発生回数

(Form1)

<alarm4c> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム4の発生回数

(Form1)

<alarm5c> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム5の発生回数

(Form1)

<error1> = <STRING RESPONSE DATA>

エラーカウント値

(Form1)

<error2> = <STRING RESPONSE DATA>

エラーレート値

(Form2)

機能  
使用例

Error/Alarm の分析結果を問い合わせます。

2000年10月23日1時20分30秒の分析データを読み出す場合。

> :CALCulate:TGRaph:DATA? 2000,10,23,1,20,30

```
< 2000,10,23,1,30,"      0","      0","      14","      4",
"      4","      4"," 1.2E+06","      100","      0","      0",
"      111"," 1.3E-06"
```

### **:CALCulate:LMONitor:TRAFfic:DATA? <numeric>**

パラメータ

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 1023 No.

レスポンス

<vpi>,<vci>,<cps>,<bps>,<percent>,<type>,<alarm>

<vpi> = <STRING RESPONSE DATA>

VPI 値

(Form1)

<vci> = <STRING RESPONSE DATA>

VCI 値

(Form1)

<cps> = <STRING RESPONSE DATA>

Cell/s 値

(Form1)

<bps> = <STRING RESPONSE DATA>

kb/s 値

(Form1)

<percent> = <STRING RESPONSE DATA>

%値

(Form3)

<type> = <STRING RESPONSE DATA>

セルタイプ

"ATM"

"AAL1"

"AAL2"

"AAL3/4"

"AAL5"

<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム

"VP\_AIS"

"VP\_RDI"  
 "VP\_LOC"  
 "VC\_AIS"  
 "VC\_RDI"  
 "VC\_LOC"

※データが存在しない場合、または:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPEが<INDividual>のときには、Full画面で表示されている範囲以外の場合、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----","-----","-----">

機能

Live monitor の結果を問い合わせます。

使用例

No.が 100 のデータを読み出す場合。

> :CALCulate:LMONitor:TRAFfic:DATA? 100

< " 300"," 100"," 10"," 10"," 000.0","AAL1","VC\_AIS"

**:CALCulate:LMONitor:NCONforing:DATA? <numeric>**

パラメータ

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 1023 No.

レスポンス

<vpi>,<vci>,<count>,<cps>,<alarm>

<vpi> = <STRING RESPONSE DATA>

VPI 値

(Form1)

<vci> = <STRING RESPONSE DATA>

VCI 値

(Form1)

<count> = <STRING RESPONSE DATA>

count 値

(Form1)

<cps> = <STRING RESPONSE DATA>

Cell/s 値

(Form1)

<type> = <STRING RESPONSE DATA>

セルタイプ

"ATM"

"AAL1"

"AAL2"

"AAL3/4"

"AAL5"

<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム

"VP\_AIS"  
 "VP\_RDI"  
 "VP\_LOC"  
 "VC\_AIS"  
 "VC\_RDI"  
 "VC\_LOC"

※データが存在しない場合、または:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPEが<INDividual>のときには、Full画面で表示されている範囲以外の場合、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----","-----","-----"

機能  
 使用例

Live monitor の結果を問い合わせます。

No.が 100 のデータを読み出す場合。

> :CALCulate:LMONitor:NCONforing:DATA? 100

< " 300"," 100"," 1000"," 3000","AAL1","VC\_AIS"

#### **:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold <numeric>,<character>**

パラメータ

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1~1023

<character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

A,B,C,D

機能  
 使用例

しきい値の位置を設定します。

:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold 100,A

#### **:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold ?**

レスポンス

<numeric> = <STRING RESPONSE DATA>

<character> = <STRING RESPONSE DATA>

機能  
 使用例

しきい値の位置を問い合わせます。

>:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold ?

<100,A

#### **:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:A <numeric>,<character>**

パラメータ

<pcr> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0~999999 (kp/s)

<cdvt> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0~999 (cell)

機能  
 使用例

A のしきい値を設定します。

A のしきい値を設定します。

>:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:A 100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:A ?**

レスポンス <pcr> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <cdvp> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 A のしきい値を問い合わせます。

使用例 >:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:A ?  
 <:100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:B <numeric>,<character>**

パラメータ <pcr> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~999999 (kp/s)  
 <cdvt> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~999 (cell)

機能 B のしきい値を設定します。

使用例 B のしきい値を設定します。  
 >:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:B 100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:B ?**

レスポンス <pcr> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <cdvp> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 B のしきい値を問い合わせます。

使用例 >:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:B ?  
 <:100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:C <numeric>,<character>**

パラメータ <pcr> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~999999 (kp/s)  
 <cdvt> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~999 (cell)

機能 C のしきい値を設定します。

使用例 C のしきい値を設定します。  
 >:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:C 100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:C ?**

レスポンス <pcr> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>  
 <cdvp> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>

機能 C のしきい値を問い合わせます。

使用例 >:CALCulate:LMONitor:NCONforing:THReshold:C ?  
 <:100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:D <numeric>,<character>**

パラメータ            <pcr> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                           0~999999 (kp/s)  
                           <cdvt> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                           0~999 (cell)

機能                    D のしきい値を設定します。  
 使用例                D のしきい値を設定します。  
                           >:CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:D 100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:D ?**

レスポンス            <pcr> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>  
                           <cdvp> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>

機能                    D のしきい値を問い合わせます。  
 使用例                >:CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:D ?  
                           <:100,200

**:CALCulate:LMONitor:NCONforming:FM:DATA? <numeric1>[,<numeric2>]**

パラメータ            <numeric1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                           1 ~ 1023 No.  
                           <numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                           1 ~ ?            連続出力データ数

レスポンス            <vpi>,<vci>,<count>,<mis>,<los>,<cps>,<alarm>

                          <vpi> = <STRING RESPONSE DATA>  
                           VPI 値  
                           (Form1)

                          <vci> = <STRING RESPONSE DATA>  
                           VCI 値  
                           (Form1)

                          <count> = <STRING RESPONSE DATA>  
                           FM (Misinserted + Lost) cell count 値  
                           (Form1)

                          <mis> = <STRING RESPONSE DATA>  
                           FM Misinserted cell count 値  
                           (Form1)

                          <los> = <STRING RESPONSE DATA>  
                           FM Lost cell count 値  
                           (Form1)

                          <cps> = <STRING RESPONSE DATA>  
                           cell/s 値

(Form1)

<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム

"VP\_AIS"

"VP\_RDI"

"VP\_LOC"

"VC\_AIS"

"VC\_RDI"

"VC\_LOC"

※データが存在しない場合、または:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPEが<INDividual>のときには、Full画面で表示されている範囲以外の場合、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----","-----","-----","-----"

機能

Live monitor (Traffic)の結果を問い合わせます。

使用例

No.が 100 のデータを読み出す場合。

> :CALCulate:LMONitor:TRAFfic:FM:DATA? 100

< " 300"," 100"," 10000"," 183"," 111"," 35",  
"VC\_AIS"

**:CALCulate:LMONitor:FMSeCb:DATA? <numeric>**

パラメータ

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 1023 No.

レスポンス

<vpi>,<vci>,<count>,<mis-count>,<los-count>,<cps>,<alarm>

<vpi> = <STRING RESPONSE DATA>

VPI 値

(Form1)

<vci> = <STRING RESPONSE DATA>

VCI 値

(Form1)

<count> = <STRING RESPONSE DATA>

Count(Mis+Los)値

(Form1)

<mis-count> = <STRING RESPONSE DATA>

Count(Misinserted)値

(Form1)

<los-count> = <STRING RESPONSE DATA>

Count (Lost) 値

(From1)

<cps> = <STRING RESPONSE DATA>

Cell/s 値

(From1)

<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

アラーム

"VP\_AIS"

"VP\_RDI"

"VP\_LOC"

"VC\_AIS"

"VC\_RDI"

"VC\_LOC"

※データが存在しない場合、または:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPEが<INDividual>のときには、Full画面で表示されている範囲以外の場合、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----","-----","-----">

機能  
使用例

Live monitor (Traffic)の結果を問い合わせます。

No.が 100 のデータを読み出す場合。

> :CALCulate:LMONitor:FMSeCb:DATA? 100

< " 300"," 100"," 1000"," 3000","AAL1","VC\_AIS"

#### **:CALCulate:LMONitor:FMSeCb:THReshold[:DATA] <numeric>,<character>**

パラメータ

<numeric> = <NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ~ 1023 No.

<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

4, 8, 16, 32, 64, 128, 256 しきい値

機能  
使用例

Live monitorにおけるFM SECBしきい値を設定します。

No.1のしきい値を32に設定する。

> :CALCulate:LMONitor:FMSeCb:THReshold[:DATA] 1,32

#### **:CALCulate:LMONitor:FMSeCb:THReshold[:DATA]? <numeric>**

パラメータ

<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

:CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold と同じ。

レスポンス

<character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

:CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold と同じ。

機能  
使用例

Live monitorにおけるFM SECBしきい値を問い合わせます。

> :CALCulate:LMONitor:FMSeCb:THReshold? 1

< 32

**:CALCulate:LMONitor:NCONforming:BR:DATA? <numeric1>[,<numeric2>]**

パラメータ <numeric1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ 1023 No.

<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
1 ~ ? 連続出力データ数

レスポンス <vpi>,<vci>,<count>,<mis>,<los>,<cps>,<alarm>  
 <vpi> = <STRING RESPONSE DATA>  
 VPI 値  
 (Form1)  
 <vci> = <STRING RESPONSE DATA>  
 VCI 値  
 (Form1)  
 <count> = <STRING RESPONSE DATA>  
 FM (Misinserted + Lost) cell count 値  
 (Form1)  
 <mis> = <STRING RESPONSE DATA>  
 FM Misinserted cell count 値  
 (Form1)  
 <los> = <STRING RESPONSE DATA>  
 FM Lost cell count 値  
 (Form1)  
 <cps> = <STRING RESPONSE DATA>  
 cell/s 値  
 (Form1)  
 <alarm> = <STRING RESPONSE DATA>  
 アラーム  
 "VP\_AIS"  
 "VP\_RDI"  
 "VP\_LOC"  
 "VC\_AIS"  
 "VC\_RDI"  
 "VC\_LOC"

※データが存在しない場合、または:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPEが<INDividual>のときには、Full画面で表示されている範囲以外の場合、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----","-----","-----","-----"

機能 Live monitor(Traffic)の結果を問い合わせます。

使用例 No.が 100 のデータを読み出す場合。

> :CALCulate:LMONitor:TRAFfic:BR:DATA? 100  
 < " 300"," 100"," 10000"," 183,"----121","----555",  
 "VC\_AIS"

**:CALCulate:LMONitor:BRSecb:DATA? <numeric1>[,<numeric2>]**

パラメータ	<numeric1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ 1023 No.
	<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 1 ~ ? 連続出力データ数
レスポンス	<vpi>,<vci>,<count>,<cps>,<alarm> <vpi> = <STRING RESPONSE DATA> VPI 値 (Form1) <vci> = <STRING RESPONSE DATA> VCI 値 (Form1) <count> = <STRING RESPONSE DATA> BR SB count 値 (Form1) <cps> = <STRING RESPONSE DATA> cell/s 値 (Form1) <alarm> = <STRING RESPONSE DATA> アラーム "VP_AIS" "VP_RDI" "VP_LOC" "VC_AIS" "VC_RDI" "VC_LOC"

※データが存在しない場合、または:DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPEが<INDividual>のときには、Full画面で表示されている範囲以外の場合、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----","-----"

機能  
使用例

Live monitor(Traffic)の結果を問い合わせます。  
No.が 100 のデータを読み出す場合。

> :CALCulate:LMONitor:BRSecb:DATA? 100

< " 300"," 100"," 10000"," 183","VC\_AIS"

**:CALCulate:LMONitor:BRSecb:THReshold[:DATA] <numeric>,<character>**

パラメータ <numeric> = <NUMERIC PROGRAM DATA>  
 1 ~ 1023 No.  
 <character> = <CHARACTER PROGRAM DATA>  
 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256 しきい値

機能 Live monitorにおけるBR SECBしきい値を設定します。

使用例 No.1のしきい値を32に設定する。  
 > :CALCulate:LMONitor:BRSecb:THReshold[:DATA] 32

**:CALCulate:LMONitor:BRSecb:THReshold[:DATA]? <numeric>**

パラメータ <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 :CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold と同じ。

レスポンス <character> = <CHARACTER RESPONSE DATA>  
 :CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold と同じ。

機能 Live monitorにおけるBR SECBしきい値を問い合わせます。

使用例 > :CALCulate:LMONitor:BRSecb:THReshold? 1  
 < 32

**:CALCulate:TRAFfic:RESult?**

レスポンス <count>,<mean-bps>,<mean-cps>,<mean-%>,<max-bps>,<max-cps>,<max-%>,  
 <min-bps>,<min-bps>,<min-bps>

<count> = <STRING RESPONSE DATA>  
 捕獲セル数(Total)  
 (Form1)

<mean-bps> = <STRING RESPONSE DATA>  
 平均捕獲セル数(b/s)  
 (Form1)

<mean-cps> = <STRING RESPONSE DATA>  
 平均捕獲セル数(cell/s)  
 (Form1)

<mean-%> = <STRING RESPONSE DATA>  
 平均捕獲セル数(%)  
 (Form3' "100.0")

<max-bps> = <STRING RESPONSE DATA>  
 最大平均捕獲セル数(b/s)  
 (Form1)

<max-cps> = <STRING RESPONSE DATA>  
 最大平均捕獲セル数(cell/s)  
 (Form1)

<max-%> = <STRING RESPONSE DATA>

最大平均捕獲セル数(%)

(Form3' "100.0")

<min-bps> = <STRING RESPONSE DATA>

最小平均捕獲セル数(b/s)

(Form1)

<min-cps> = <STRING RESPONSE DATA>

最小平均捕獲セル数(cell/s)

(Form1)

<min-%> = <STRING RESPONSE DATA>

最小平均捕獲セル数(%)

(Form3' "100.0")

※データが存在しない場合は、以下の内容が出力されます。

< "-----","-----","-----","-----","-----","-----","-----","-----","-----","-----"

機能  
使用例

測定結果の問い合わせを行う。

Traffic monitor結果を問い合わせる場合。

> :CALCulate:TRAFfic:RESult?

< " 15892"," 1200"," 23"," 20.5"," 10000"," 200"," 88.5",  
" 1"," 1"," 0.5"

**:CALCulate:TRAFfic:DATA? <numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,  
numeric5>,<numeric6>**

パラメータ

<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

読みだしデータの年月日時分秒

<numeric1> = 1994 ~ 2093 (year)

<numeric2> = 1 ~ 12 (month)

<numeric3> = 1 ~ 31 (day)

<numeric4> = 0 ~ 23 (hour)

<numeric5> = 0 ~ 59 (minute)

<numeric6> = 0 ~ 59 (second)

レスポンス

<time>,<mean-bps>,<mean-cps>,<mean-%>,<max-bps>,<max-cps>,<max-%>,<min-bps>,<min-cps>,<min-%>

<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>

読みだしデータの年月日時分秒パラメータで指定した時間のデータがない場合、指定時間以降で最も近い時間のデータを出力する。測定開始時刻以前の時間を設定した場合、測定開始時刻のデータを出力する。また、ログ終了時刻以降の時間を設定した場合、ログ終了時刻のデータを出力する

<year> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0,1994 ~ 2093 年

<month> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0,1 ~ 12 月

<day> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0,1 ~ 31 日

<hour> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0 ~ 23 時

<minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0 ~ 59 分

<second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0 ~ 59 秒

<mean-bps> = <STRING RESPONSE DATA>  
平均捕獲セル数(bit/s)

(Form1)

<mean-cps> = <STRING RESPONSE DATA>  
平均捕獲セル数(cell/s)

(Form1)

<mean-%> = <STRING RESPONSE DATA>  
平均捕獲セル数(%)

(Form3' "100.0")

<max-bps> = <STRING RESPONSE DATA>  
最大平均捕獲セル数(bit/s)

(Form1)

<max-cps> = <STRING RESPONSE DATA>  
最大平均捕獲セル数(cell/s)

(Form1)

<max-%> = <STRING RESPONSE DATA>  
最大平均捕獲セル数(%)

(Form3' "100.0")

<min-bps> = <STRING RESPONSE DATA>  
最小平均捕獲セル数(bit/s)

(Form1)

<min-cps> = <STRING RESPONSE DATA>  
最小平均捕獲セル数(cell/s)

(Form1)

<min-%> = <STRING RESPONSE DATA>  
最小平均捕獲セル数(%)

(Form3' "100.0")

※データが存在しない場合、以下の内容が出力される。

< 0,0,0,0,0,0,"-----","-----","-----","-----",



**:CALCulate:CDV1:DATA? <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 -9000 ~ 9000

レスポンス <time>,<cell>,<count>,<rate>  
 <time> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セル間隔 ( $\mu$  s)  
 (Form12)  
 <cell> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セル間隔個数 (cell)  
 (Form12)  
 <count> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セル個数  
 (Form1)  
 <rate> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セルのレート (%)  
 (Form3)

機能 1-point CDV の分析結果を問い合わせます。  
 使用例 1-point CDV が 10Cell 目の分析データを読み出す場合。  
 > :CALCulate:CDV1:DATA? 10  
 < " 7"," 10"," 100," 50.0000"

**:CALCulate:CDV2:DATA? <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 -9000 ~ 9000

レスポンス <time>,<cell>,<count>,<rate>  
 <time> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セル間隔 ( $\mu$  s)  
 (Form12)  
 <cell> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セル間隔個数 (cell)  
 (Form12)  
 <count> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セル個数  
 (Form1)  
 <rate> = <STRING RESPONSE DATA>  
 セルのレート (%)  
 (Form3)

機能 2-point CDV の分析結果を問い合わせます。  
 使用例 2-point CDV が 10Cell 目の分析データを読み出す場合。  
 > :CALCulate:CDV2:DATA? 10  
 < " 7"," 10"," 100," 50.0000"

**:CALCulate:LOOPback:RESult?**

レスポンス            <loopback> = <STRING RESPONSE DATA>  
                              Form4, Form1, Form1

機能                    Loopback 測定の結果を問い合わせます。

使用例                 > :CALCulate:LOOPback:RESult?  
                              < " Acceptable", "        1", "        0"



## 4.4.6 SYSTem subsystem

SYSTemサブシステムでは、プリンタ、メモリ、およびブザーなどを設定します。

機能	コマンド	パラメータ
<i>Page 4-264</i>		
Analyzeメモリの登録状況を問い合わせます。	:SYSTem:MEMory:ANALysis:LABel?	numeric
データをアナライズメモリへ書き込み	:SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe	type title
<i>Page 4-264</i>		
フロッピーディスクにおいて、カレントディレクトリからファイルの読み出し	:SYSTem:MMEMory:RECall	file_name memorized
<i>Page 4-265</i>		
フロッピーディスクにおいて、カレントディレクトリへファイルの書き込み	:SYSTem:MMEMory:STORe	type file_name

**:SYSTem:MEMory:ANALysis:LABel? <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL PROGRAM DATA> 1~15                      メモリ No.1~No.15
レスポンス	<title>,<gtype>,<stime>,<use> <title> = <STRING RESPONSE DATA> メモリの名前(8文字固定) <gtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA> グラフの種別 <stime> = <STRING RESPONSE DATA> 測定開始時刻(19文字固定) <use> = <STRING RESPONSE DATA> メモリ使用量(パーセント) Form3
機能	Analyze メモリの登録状況を問い合わせます。
使用例	メモリ No.1 の登録状況を問い合わせます。 > :SYSTem:MEMory:ANALysis:LABel? 1 < "JITTER ",JTOL,,"2000.12.25 18:40:30"," 30.0000"

**:SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe <type>,<title>**

パラメータ	<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA> <title> = <STRING PROGRAM DATA> メモリの名前(最大 8 文字)
機能	データをアナライズメモリへ書き込みます。
制約	以下の場合、無効とします。 ・ アナライズデータが存在しない場合。
使用例	アナライズデータ(Error/Alarm) データを"DEMO1"の名前で書き込みます。 < :SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe EAlarm,"DEMO1"

**:SYSTem:MMEMory:RECall <file\_name>[,<memorized>]**

パラメータ	<file_name> = <STRING PROGRAM DATA> "ファイル名" (大小文字の区別なし。拡張子含む。) 文字列長は 1~12 文字とし、""は不可とします。 <memorized> = <CHARACTER PROGRAM DATA> CAPTure      Analyze:Recall 画面へリコールします。 MEMorized    Cell edit 画面(Memorized cell)へリコールします。 ※<memorized>は、Recall するファイルが Cell capture データのみ有効になります。
機能	フロッピーディスクにおいて、カレントディレクトリからファイルの

制 約	読み出しを行います。 以下の場合、無効とします。 ・ファイルが Cell capture データ以外時に、<memorized>パラメータを付けた場合。 ・ファイルが Cell capture データ時に、<memorized>パラメータを付けない場合。
使用例	"DEMO1.CND"というファイル設定状態へ読み出す場合。 > :SYSTem:MMEMory:RECall "DEMO1.CND"

### **:SYSTem:MMEMory:STORe <type>,<file\_name>**

パラメータ	<type> = <STRING PROGRAM DATA>
	"CONDition" 設定状態データ
	"MEMorized:MEMorized" Memorized cell データ
	"MEMorized:MTEXT" Memorized cell データ (テキスト形式)
	"PAYLoad:PAYLoad" Payload(65535byte)データ
	"PAYLoad:PTEXT" Payload(65535byte)データ (テキスト形式)
	"TSEarch:RTEXT" Result 画面の Trouble search 測定結果 (テキスト形式)
	"EALarm:RTEXT" Result 画面の Error/Alarm 測定結果 (テキスト形式)
	"DELay:RTEXT" Result 画面の DELay 測定結果 (テキスト形式)
	"EALarm:EALarm" Error/Alarm 画面のアナライズデータ
	"EALarm:EAText" Error/Alarm 画面のアナライズデータ (テキスト形式)
	"LMONitor:LMONitor" Live monitor 画面のアナライズデータ
	"LMONitor:CTEXT" Live monitor 画面のアナライズデータ (テキスト形式)
	"CAPTure:CAPTure" Cell capture 画面のアナライズデータ
	"CAPTure:CTEXT" Cell capture 画面のアナライズデータ (テキスト形式)
	"CDV1:CDV1" 1-point CDV 画面のアナライズデータ
	"CDV1:CTEXT" 1-point CDV 画面のアナライズデータ (テキスト形式)
	"CDV2:CDV2" 2-point CDV 画面のアナライズデータ
	"CDV2:CTEXT" 2-point CDV 画面のアナライズデータ (テキスト形式)
	"OHCapture:OHCapture" SOH 64frame 画面のアナライズデータ
	"OHCapture:OHText" SOH 64frame 画面のアナライズデータ

		(テキスト形式)
	"RECall:RECall"	Recall 画面のアナライズデータ
	"RECall:RTEXT"	Recall 画面のアナライズデータ
		(テキスト形式)
	<file_name> = <STRING PROGRAM DATA>	
	"ファイル名" (大小文字の区別なし。拡張子含む。)	
	文字列長は 12 文字まで, ""は不可とします。	
機能	フロッピーディスクにおいて、カレントディレクトリへファイルの書き込みを行います。	
制約	<p>以下の場合無効とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存すべきデータが存在しない時に, &lt;"CONDition"&gt;, &lt;"MEMorized:MEMorized"&gt;,&lt;"MEMorized:MTEXT"&gt;, &lt;"PAYLoad:PAYLoad"&gt;,&lt;"PAYLoad:PTEXT"&gt;以外を設定した場合。</li> <li>・:SENSe:ATM:MANual:LMONitor:TYPE が&lt;INDividual&gt;時に, &lt;"LMONitor:LMONitor"&gt;,&lt;"LMONitor:CTEXT"&gt;設定の場合。</li> </ul>	
使用例	<p>現在の設定状態を"DEMO1.CND"というファイルに書き込む場合。</p> <pre>&gt; :SYSTem:MMEMory:STORe "CONDition","DEMO1.CND"</pre>	

## 4.4.7 STATus subsystem

STATusサブシステムでは、ステータスレジスタの制御（設定および表示）を行います。

機能	コマンド	パラメータ
<i>Page 4-273</i>		
DS3 PLCPステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp[:EVENt]?	
DS3 PLCPステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:CONDition?	
DS3 PLCPステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:ENABLe	numeric
DS3 PLCPステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:ENABLe?	
DS3 PLCPステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:PTRansition	numeric
DS3 PLCPステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:PTRansition?	
DS3 PLCPステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:NTRansition	numeric
DS3 PLCPステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:NTRansition?	
<i>Page 4-275</i>		
ATMステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM[:EVENt]?	
<i>Page 4-275</i>		
ATMステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:CONDition?	
<i>Page 4-275</i>		
ATMステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:ENABLe	numeric
ATMステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:ENABLe?	

#### 4章 リモートコントロール

##### Page 4-276

ATMステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PTRansition	numeric
ATMステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PTRansition?	

##### Page 4-276

ATMステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:NTRansition	numeric
ATMステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:NTRansition?	

##### Page 4-277

ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP[:EVENT]?	
ATMのVPステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:CONDITION?	
ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:ENABLE	numeric
ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:ENABLE?	
ATMのVPステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:PTRansition	numeric
ATMのVPステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（正方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:PTRansition?	
ATMのVPステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:NTRansition	numeric
ATMのVPステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（負方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:NTRansition?	

##### Page 4-279

ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC[:EVENT]?	
ATMのVCステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:CONDITION?	
ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:ENABLE	numeric

ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:ENABle?	
ATMのVCステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:PTRansition	numeric
ATMのVCステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（正方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:PTRansition?	
ATMのVCステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:NTRansition	numeric
ATMのVCステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（負方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:NTRansition?	

## Page 4-281

ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:[.EVEnt]	
ATMのO191ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:CONdition?	
ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:ENABle	numeric
ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:ENABle?	
ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:PTRansition	numeric
ATMのO191ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（正方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:PTRansition?	
ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）に32767を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:NTRansition	numeric
ATMのO191ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（負方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:NTRansition?	

## Page 4-283

ATMのAAL1ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:[.EVEnt]	
ATMのAAL1ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:CONdition?	

#### 4章 リモートコントロール

ATMのAAL1ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:ENABle	numeric
ATMのAAL1ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:ENABle?	
ATMのAAL1ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:PTRansition	numeric
ATMのAAL1ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:PTRansition?	
ATMのAAL1ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:NTRansition	numeric
ATMのAAL1ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:NTRansition?	

#### Page 4-285

ATMのAAL2ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:[:EVENT]?	
ATMのAAL2ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:CONDition?	
ATMのAAL2ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:ENABle	numeric
ATMのAAL2ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:ENABle?	
ATMのAAL2ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:PTRansition	numeric
ATMのAAL2ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:PTRansition?	
ATMのAAL2ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)に32767を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:NTRansition	numeric
ATMのAAL2ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:NTRansition?	

#### Page 4-287

ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:[:EVENT]?	
--	---	--

ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:CO NDition?	
ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:EN ABLE	numeric
ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:EN ABLE?	
ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(正方向変化)を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:PT Ransition	numeric
ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:PT Ransition?	
ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(負方向変化)を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:NT Ransition	numeric
ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:NT Ransition?	

Page 4-289

ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:[EV ENTj?	
ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:CON Dition?	
ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:ENA Ble	numeric
ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:ENA Ble?	
ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(正方向変化)を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:PTR ansition	numeric
ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:PTR ansition?	
ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(負方向変化)を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:NTR ansition	numeric
ATMのAAL5ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:NTR ansition?	

ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:[:EVENt]?	
ATMのPMステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:CONDition?	
ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:ENABLe	numeric
ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:ENABLe?	
ATMのPMステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（正方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:PTRansition	numeric
ATMのPMステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（正方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:PTRansition?	
ATMのPMステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（負方向変化）を設定	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:NTRansition	numeric
ATMのPMステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ（負方向変化）の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:NTRansition?	

## &lt; TELecom2 Status Register &gt;

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:ENABLE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:ENABLE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:ENABLE?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:PTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:PTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせます。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:PTRansition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:NTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:NTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 DS3 PLCP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせます。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:DS3Plcp:NTRansition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMステータスレジスタのイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMステータスレジスタのコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:ENABLE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 ATMステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに32767を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:ENABLE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:ENABLE?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。

使用例 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。  
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PTRansition ?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。  
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PTRansition?  
< 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:NTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。

使用例 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。  
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:NTRansition ?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。  
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:NTRansition?  
< 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP[:EVENT]?**

レスポンス            <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
                           0~32767            イベントレジスタのビットの総和（十進数）

機能                    ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例                 ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。

```
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP[:EVENT]?
< 32767
```

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:CONDition?**

レスポンス            <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
                           0~32767            コンディションレジスタのビットの総和（十進数）

機能                    ATMのVPステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例                 ATMのVPステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。

```
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:CONDition?
< 32767
```

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:ENABle <numeric>**

パラメータ            <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
                           0~32767            イベントイネーブルレジスタのビットの総和（十進数）

機能                    ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例                 ATMのVPステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに32767を設定する場合。

```
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:ENABle 32767
```

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:ENABle?**

レスポンス            <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
                           0~32767            イベントイネーブルレジスタのビットの総和（十進数）

機能                    ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例                 ATMのVPステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。

```
> :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:ENABle?
< 32767
```

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:PTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の VP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。
使用例	ATM の VP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:PTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の VP ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の VP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:PTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:NTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の VP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。
使用例	ATM の VP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:NTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の VP ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の VP ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VP:NTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのVCステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのVCステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:ENABle <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 ATMのVCステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに32767を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:ENABle 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:ENABle?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのVCステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:ENABle?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:PTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。

使用例 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:PTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:PTRansition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:NTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。

使用例 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:NTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATM の VC ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:VC:NTRansition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:ENABLE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに32767を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:ENABLE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:ENABLE?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:PTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に32767を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:PTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:PTRansition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:NTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に32767を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:NTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのO191ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATMのO191ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:O191:NTRansition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:ENABLE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 ATM の AAL1 ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:ENABLE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:ENABLE?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:PTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL1 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL1 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:PTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL1 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:PTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:NTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL1 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL1 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:NTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL1 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL1:NTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:ENABLE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 ATM の AAL2 ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:ENABLE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:ENABLE?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:PTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL2 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL2 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:PTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL2 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:PTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:NTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL2 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL2 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:NTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL2 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL2 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL2:NTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:ENABLE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 ATMのAAL3/4ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに32767を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:ENABLE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATMのAAL3/4ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:ENABLE?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:PTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:PTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:PTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:NTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:NTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL3/4 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL34:NTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:[:EVENT]?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5[:EVENT]?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:CONDition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 コンディションレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:CONDition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:ENABLE <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します。

使用例 ATM の AAL5 ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:ENABLE?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767 イベントイネーブルレジスタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例 ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:ENABLE?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:PTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL5 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL5 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:PTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL5 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL5 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:PTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:NTRansition <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL5 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。
使用例	ATM の AAL5 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:NTRansition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)
機能	ATM の AAL5 ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。
使用例	ATM の AAL5 ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:AAL5:NTRansition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:[.EVENT]?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      イベントレジスタのビットの総和（十進数）
機能	ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容を問い合わせます。
使用例	ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントレジスタを問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM[.EVENT]? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:CONDition?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      コンディションレジスタのビットの総和（十進数）
機能	ATMのPMステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容を問い合わせます。
使用例	ATMのPMステータスレジスタにおけるコンディションレジスタを問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:CONDition? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:ENABLE <numeric>**

パラメータ	<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA> 0~32767      イベントイネーブルレジスタのビットの総和（十進数）
機能	ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタのマスク値を設定します（0でマスク）。
使用例	ATMのPMステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767を設定する場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:ENABLE 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:ENABLE?**

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> 0~32767      イベントイネーブルレジスタのビットの総和（十進数）
機能	ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。
使用例	ATMのPMステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタを問い合わせる場合。 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:ENABLE? < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:PTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の PM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を設定します。

使用例 ATM の PM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) に 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:PTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:PTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の PM ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (正方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATM の PM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (正方向変化) を問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:PTRansition?  
 < 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:NTRansition <numeric>**

パラメータ <numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>  
 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の PM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を設定します。

使用例 ATM の PM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) に 32767 を設定する場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:NTRansition 32767

**:STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:NTRansition?**

レスポンス <numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>  
 0~32767      トランジションフィルタのビットの総和 (十進数)

機能 ATM の PM ステータスレジスタにおけるトランジションフィルタ (負方向変化) の内容を問い合わせます。

使用例 ATM の PM ステータスレジスタのトランジションフィルタ (負方向変化) を問い合わせる場合。  
 > :STATus:QUEStionable:TELEcom2:ATM:PM:NTRansition?  
 < 32767

# 付録A 規格

ATM測定に関する規格を、以下に示します。

	項目	規格
1.	送信セル	
1.1	STM4/1/0	
1.1.1	フレーム	SOH preset(B1, B2, H1, H2, H3を除く) POH preset(B3を除く)
1.1.2	ポインタ	AUポインタ +/-Justification
1.1.3	パストレース設定	J0, J1
1.1.4	エラー挿入	FAS, B1, B2, B3, MS-REI, HP-REI
1.1.5	アラーム付加	LOF, MS-AIS, MS-RDI, AU-AIS, AU-LOP, HP-RDI
1.2	139M	
1.2.1	クロック	MP0121Aに準ずる
1.2.2	フレーム	G.832 OH preset(エラーモニタを除く)
1.2.3	パストレース設定	TR
1.2.4	エラー挿入	ビット全体, BIP-8, REI, FAS
1.2.5	アラーム付加	AIS, LOF
1.3	34M	
1.3.1	クロック	MP0121Aに準ずる
1.3.2	フレーム	G.832 OH preset(エラーモニタを除く)
1.3.3	パストレース設定	TR
1.3.4	エラー挿入	ビット全体, BIP-8, REI, FAS
1.3.5	アラーム付加	AIS, LOF
1.4	2M	
1.4.1	クロック	MP0121Aに準ずる
1.4.2	フレーム	G.704
1.5	45M	
1.5.1	クロック	MP0122Aに準ずる
1.5.2	フレーム	G.704
1.6	PLCP	
1.6.1	フレーム	G.832 OH preset
1.6.2.	エラー挿入	B1, FEBE, FAS, POI
1.6.3	アラーム付加	LOF

項目		規格
1.7	1.5M	
1.7.1	クロック	MP0122Aに準ずる
1.7.2	フレーム	G.704
1.8	フォアグランドセル	
1.8.1	トラヒックパターン	CBR, バースト, CDV付きCBR, ポアソン, 鋸歯状波
1.8.2	ヘッダパターン	任意
1.8.3	試験パターン	O.191 エディットパターン USER 16ビットワードパターン, シングルセル PRBS9, クロスセル PRBS9/15/23 エディットパターン, タイムスタンプ AAL1 16ビットワードパターン, シングルセル PRBS9, クロスセル PRBS9/15/23 エディットパターン, タイムスタンプ AAL2 CPS-PACKET:8ビットワードパターン, シングルセル PRBS7, エディットパターン, CPS-PDU :タイムスタンプ AAL3/4 CPCS-PDU :16ビットワードパターン, シングルセル PRBS9, クロスセル PRBS9/15/23 エディットパターン SAR-PDU :タイムスタンプ AAL5 16ビットワードパターン, シングルセル PRBS9, クロスセル PRBS9/15/23, エディットパターン, セル
1.8.4	エラー挿入	HECエラー(1ビット), HECエラー(2ビット), プログラムパターン O.191 廃棄セル, 誤り挿入セル, 誤りセル, SECB USER ビットエラー AAL1 廃棄セル, SNP, PRBS, ワード AAL2 P, SN, OFS, HEC(CRC5), PRBS, ワード AAL3/4 SN, CRC10, セグメントタイプ, LI, アポート, CPI, B/Eタグ不一致 BAサイズ, AL, レングス, PRBS, ワード AAL5 フレームサイズ, レングス, CRC32, アポート, PRBS, ワード
1.8.5	アラーム付加	LCD, VP-AIS, VP-RDI, VC-AIS, VC-RDI, VP-CC, VC-CC

	項目	規格
1.8.6	OAMセル(I.610)	AISセル タイミング : 0.1-10s RDIセル タイミング : 0.1-10s CCセル タイミング : 0.1-10s ループバックセル タイミング : シングル ユーザセル タイミング : 0.1-10s FMセル タイミング : 1セルブロック エラー : 廃棄セル, 誤り挿入セル, BIPV, SECB BRセル タイミング : 0.1-10s エラー : 廃棄セル, 誤り挿入セル, BIPV, SECB
1.8.7	バックグラウンドセル (10チャンネル)	ヘッダ, ペイロードパターン : 任意 Distribution : 0-100%
1.8.8	Fill セル	Idleセル/Unassingnedセル

付録A 規格

	項目	規格
2	受信セル	
2.1	STM4/1/0	
2.1.1	エラー測定	-
2.1.2	アラーム測定	-
2.2	139M	
2.2.1	エラー測定	FAS, BIP-8, REI
2.2.2	アラーム測定	LOF, RDI
2.2.3	誤り分析	G.826
2.3	34M	
2.3.1	エラー測定	FAS, BIP-8, REI
2.3.2	アラーム測定	LOF, RDI
2.3.3	誤り分析	G.826
2.4	2M	
2.4.1	エラー測定	-
2.4.2	アラーム測定	-
2.5	45M	
2.5.1	エラー測定	-
2.5.2	アラーム測定	-
2.6	PLCP	
2.6.1	エラー測定	FAS, B1, FEBE, EB
2.6.2	アラーム測定	OOF, LOF, Yellow
2.7	1.5M	
2.7.1	エラー測定	-
2.7.2	アラーム測定	-
2.8	フォアグラウンドセル	
2.8.1	フィルタ	ヘッダ4バイト with 4バイト マスク ペイロード1バイト with any Position (AAL1, ATM時) CID(AAL2時) MID(AAL3/4時)

	項目	規格
2.8.2	測定	<p>O.191 セルカウント, 補正可能HEC, 非補正HEC, ノンコンフォーミングセル, 誤りセル, 廃棄セル, 誤り挿入セル, SECB</p> <p>USER セルカウント, 補正可能HEC, 非補正HEC, ノンコンフォーミングセル, ビットエラー (PRBS/ワード)</p> <p>AAL1 補正可能HEC, 非補正HEC, ノンコンフォーミングセル, SAR-PDUカウント 廃棄セル, SNP, 非補正SNP, PRBS, ワード</p> <p>AAL2 補正可能HEC, 非補正HEC, ノンコンフォーミングセル, CPS-PDUカウント OSFエラー, SNエラー, CPSパケットカウント, CIDパケットカウントエラー, ビットエラー (PRBS/ワード)</p> <p>AAL3/4 補正可能HEC, 非補正HEC, ノンコンフォーミングセル, SAR-PDUカウント, CRC10エラー, MIDカウント, SNエラー, ST (セグメントタイプ) エラー, LIエラー, アボート, 廃棄PDU (SNエラー, LIエラー, アボート, COMのSTエラー, EOM9S7エラーのいずれか), CPCS-PDUカウント, CPIエラー, B/Eタグ不一致, BAサイズエラー, ALエラー, レングスエラー, アンデリバードPDU(CPIエラー, B/Eタグ不一致, BAサイズエラー, ALエラー, レングスエラーのいずれか), ビットエラー (PRBS/ワード)</p> <p>AAL5 セルカウント補正可能HEC, 非補正HEC, ノンコンフォーミングセル, CPCS-PDUカウントフレームサイズエラー, レングスエラー, CRC32エラー, アボート, 廃棄PDU (フレームサイズエラー, レングスエラー, CRC32エラー, アボートのいずれか), ビットエラー (PRBS/ワード)</p> <p>FM セル 廃棄セル, 誤り挿入セル, BIPV, SECB</p> <p>BRセル 廃棄セル, 誤り挿入セル, BIPV, SECB</p>
2.8.4	アラーム測定	<p>E3-LOF, E3-RDI(34M時のみ) E4-LOF, E4-RDI(139M時のみ) PLCP-LOF, PLCP-RDI(PLCP時のみ) LCD, VPセグメントAIS, VPセグメントRDI, VPセグメントLOC, VPエンドトゥエンドAIS, VPエンドトゥエンドRDI, VPエンドトゥエンドLOC VCセグメントAIS, VCセグメントRDI, VCセグメントLOC, VCエンドトゥエンドAIS, VCエンドトゥエンドRDI, VCエンドトゥエンドLOC パターンシンクロス (クロスセルPRBS/ワード時のみ)</p>
2.8.5	セルモニタ	<p>ヘッダ(5バイト)の表示 セルデータ(53バイト)の表示</p>

付録A 規格

	項目	規格
2.8.6	ライブモニタ	セルカウント VP/VCごとにデータ速度(cell/s, bit/s, %) ノンコンフォーミングセルカウント VP/VCごとにノンコンフォーミングセル数(Cell/s) forward Monitoring セル VP/VCごとに誤り挿入/廃棄セル数(cell/s)または, SECBを表示 アラーム(AIS, RDI, LOC)を表示
2.8.7	セル キャプチャ	1~2016セルのキャプチャ トリガ : ATMレイヤのエラーとアラーム マニュアル トリガポイント: 1~2016
2.8.8	1ポイントCDV	CDV測定 : +/-15000Cell
2.8.9	2ポイントCDV	CDV測定 : +/-15000Cell
3	スルー	
3.1	ループバックポイント	ATMレイヤ
3.2	アラーム付加	VP-AIS, VP-RDI, VC-AIS, VC-RDI
4	一般	
4.1	寸法, 質量	MP0123A:21(H)×255(W)×167.6(D)mm(突起物は含まず。), 約 1 kg
4.2	温度	0 ~ 50 °C 動作時 -20 ~ 60 °C 保管時

## 付録B 自己診断エラーコード表

---

本器の自己診断エラーコードについては、「MP1570A SONET/SDH/PDH/ATMアナライザ 取扱説明書 Vol.1 基本操作」をご覧ください。



## 付録C テキストファイル形式について

---

本器は、分析グラフデータをテキスト形式でフロッピーディスクに保存することができます。このデータを使用して、表計算ソフト（Excelなど）でデータの編集ができます。

ここでは、ATMユニットに関するテキストファイルについて、説明します。

### 注

- ATM以外の測定に関する内容については、MP1570A SONET/SDH/PDH/ATMアナライザ取扱説明書 Vol.1をご覧ください。
- フロッピーディスクの操作については、MP1570A SONET/SDH/PDH/ATMアナライザ取扱説明書 Vol.1をご覧ください。
- テキスト形式で保存されたデータファイルは、Analyze:Recall画面ではリコールできません。Analyze:Recall画面にリコールする場合は、バイナリ形式で保存してください。

## C.1 Live monitor アナライズデータ

「Live monitor アナライズデータ」は、Analyze:Live monitor副画面またはRecall副画面（Live monitorデータ表示のとき）で表示されている分析グラフデータ（Title, Thresholdを含む）を、示します。

### C.1.1 Traffic

```
[1] "ANRITSU;MP1570A;01.00;A;A_LMTRFC",Live monitor  ",","", "", "", "", "" ↓
[2] "VPI","VCI","DATA(CELL/S)","DATA(kbit/s)","DATA(%)","TYPE","ALARM" ↓
[3] ""AAL3/4","sVP-AIS" ↓
    0,5,120000,45000,50.0,,"AAL1","eVP-AIS" ↓
    0,10,4000,64,2.0,"ATM","", "" ↓
    :
    :
    4905,65535,80000,1500,20.0,"AAL5","", "" ↓
```

- すべての項目は、カンマ（,）で区切られます。
- 「↓」は改行をあらわします。

- [1] .....第1項目：管理情報，第2項目：Title 文字（15文字固定）
- [2] .....VSI, CPI, 平均データ個数（Cell/s）, kbit/s), (%), セルタイプ, およびアラームの計7項目を表示します。
- [3] .....[2]で示した項目の順にチャンネルサーチした個数分, 分析データを表示します。（最大1023個）

#### 注

測定結果が存在しない場合，または測定モードがIndividualのときは，保存できません。







## C.2 Traffic monitor アナライズデータ

「Traffic monitor アナライズデータ」は、Analyze画面のTraffic monitor副画面またはRecall副画面（Traffic monitorデータ表示のとき）で表示されている分析グラフデータ(Titleを含む)を、示します。

- [1] "ANRITSU;MP1570A;01.00;A;A\_TRAF","Traffic monitor","4095;FAB;65535;FFFF",3.6E8,  
"1/min","","","","","","" ↓
- [2] "Date","Time","Mean(Cell/s)","Mean(bit/s)","Mean(%)","Max(Cell/s)","Max(kb/  
","Max(%)","Min(Cell/s)","Min(bit/s)","Min (%)" ↓
- [3] "23/Dec/95","08,23,40",423,567,356,423,567,256,423,567,356 ↓  
"23/Dec/95","08:24:40",323,456,258,323,456,258,323,456,258 ↓

- すべての項目は、カンマ（,）で区切られます。
- 「↓」は改行をあらわします。

- [1] ..... 第1項目：管理情報  
第2項目：Title文字(15文字固定)  
第3項目：VPIフィルタ値, VPIフィルタマスク値, VCIフィルタ値, VCIフィルタマスク値  
第4項目：Receiveセル数  
第5項目：分析グラフの時間軸の設定（数値, 単位）
- [2] ..... 取り込み開始日付(1), 取り込み開始時刻(1), 平均セルルート (Cell/s, kbit/s, %), 最小セルルート(Cell/s, kbit/s, %), および最大セルルート(Cell/s, kbit/s, %)の計11項目を表示します。
- [3] ..... [2]で示した項目の順に、データを表示します。

### 注

測定結果が存在しない場合は、保存できません。



## C.4 1-point CDV測定 アナライズデータ

「1-point CDV測定アナライズデータ」は、Analyze画面の1-point CDV副画面またはRecall副画面(1-point CDVデータ表示のとき)で表示されている分析グラフデータ (Titleを含む) を、示します。

```
[1] "ANRITSU;MP1570A;01.00;A;A_1 CDV","1-point CDV ","4905;FFF;65535F0000",  
"100;Cell;100.0000;570;-345" ↓  
[2] "Time","Cell","Count","Rate" ↓  
[3] -400000,-6000,-1.4E06,100.0000 ↓  
:  
[3]の繰り返し  
:
```

- すべての項目は、カンマ ( , ) で区切られます。
- 「↓」は改行をあらわします。

- [1] ..... 第1項目：管理情報  
第2項目：Title文字 (15文字固定)  
第3項目：VPIフィルタ値, VPIフィルタマスク値,VCIフィルタ値,VCIフィルタ,マスク値  
第4項目：H-Interval,H-Interval unit, 測定対象セル受信率, 最大遅延データ位置, 最小遅延データ位置。
- [2] ..... 遅延時間, セル間隔数, 発生個数, および発生個数率の計4項目を表示します。
- [3] ..... [2]で示した項目の順にデータを表示します。

### 注

測定結果が存在しない場合は、保存できません。

## C.5 2-point CDV測定 アナライズデータ

「2-point CDV測定 アナライズデータ」は、Analyze画面の2-point CDV副画面またはRecall副画面(2-point CDVデータ表示のとき)で表示されている分析グラフデータ (Titleを含む) を、示します。

```
[1] "ANRITSU;MP1570A;01.00;A;A_1CDV","2-point CDV      ", "4095;FFF;65535;0000",
"100;Cell;100.000,256,570,-345" ↓
[2] "Time","Cell","Count","Rate" ↓
[3] -400000,-6000,1.4E06,100.0000 ↓
      :
[3]の繰り返し
      :
```

- すべての項目は、カンマ ( , ) で区切られます。
- 「↓」は改行をあらわします。

- [1] ..... 第1項目：管理情報  
           第2項目：Title文字(15文字固定)  
           第3項目：VPIフィルタ値, VPIフィルタマスク値, VCIフィルタ値, VCIフィルタマスク値  
           第4項目：H-Interval,H-Interval unit, 測定対象セル受信率, オフセット値, 最大遅延データ位置, 最小遅延データ位置
- [2] ..... 遅延時間, セル間隔数, 発生個数, 発生個数率の計4項目を表示します。
- [3] ..... [2]で示した項目の順にデータを表示します。

### 注

測定結果が存在しない場合は、保存できません。



## C.7 AAL3/4, ALL5ペイロード 設定データ

「AAL3/4, ALL5ペイロード設定データ」は、Setup画面のCell edit副画面で設定できるAAL3/4,AAL5ペイロード設定データを、示します。

- [1] "ANRITSU;MP1570A;01.00;A;PAYLOAD" ↓
- [2] "Data" ↓
- [3] "00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00" ↓
- :
- [4] [3]の繰り返し
- :

- すべての項目は、カンマ（,）で区切られます。
- 「↓」は改行をあらわします。

- [1] ..... 第1項目：管理情報
- [2] ..... セルデータの1項目を表示します。
- [3] ..... [2]で示した項目の順にデータを表示します。  
(データ個数は4096個に固定)



## 付録D OH Preset Data 初期値

Setup:OH Preset Data画面の「Default」を選択することにより、OH P reset Dataは以下の初期値に設定されます。

(1) E3

FAI [F6]					FA2 [28]
EM --					
TR --					
RDI [0]	REI [0]	Payload type [010]	Payload dependent [00]	Timing marker [0]	
NR [00]					
GC [00]					

(2) E4

FAI [F6]					FA2 [28]
EM --					P1 [00]
TR --					P2 [00]
RDI [0]	REI [0]	Payload type [010]	Payload dependent [00]	Timing marker [0]	
NR [00]					
GC [00]					

(3) DS3 PLCP

PLCP	Fram	POI	POH	PLCP Payload	
A1 [F6]	A2 [28]	P11 [2C]	Z6 [00]	First ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P10 [29]	Z5 [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P09 [25]	Z4 [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P08 [20]	Z3 [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P07 [1C]	Z2 [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P06 [19]	Z1 [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P05 [15]	X [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P04 [10]	B1 --	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P03 [0D]	G1 [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P02 [08]	X [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P01 [04]	X [00]	ATM cell -- -- -- -- ...	
A1 [F6]	A2 [28]	P00 [01]	C1 --	Twelfth ATM cell -- -- -- -- ...	Trailer 1100

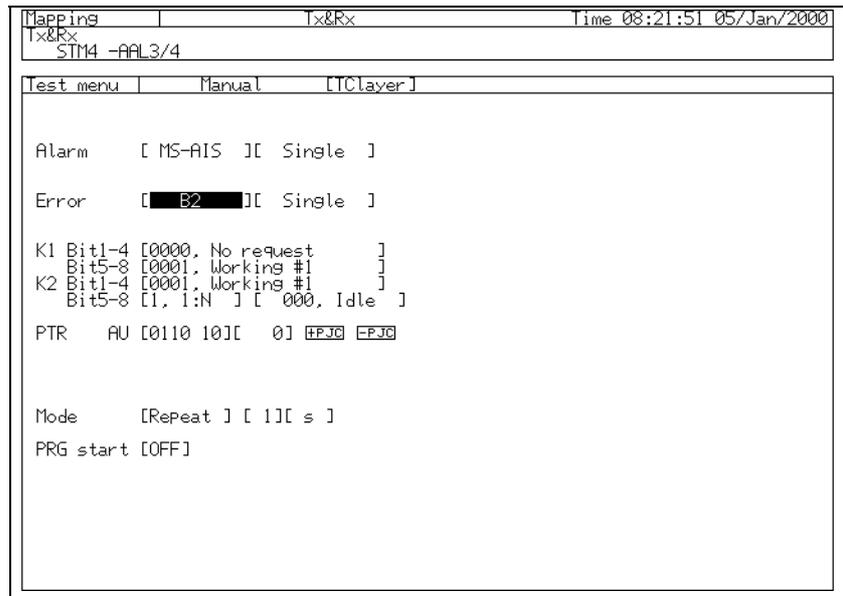
# 付録E プログラムコマンドと画面の対応

プログラムコマンドと画面の表示との対応を、下記に示します。

プログラムコマンドの詳細については、「4.4 装置固有コマンド」をご覧ください。

## E.1 Test menu主画面のコマンド対応

### E.1.1 Manual副画面



- (1):SOURCE:TELEcom:MSPMessages:REQuest
- (2):SOURCE:TELEcom:MSPMessages:CHANnel
- (3):SOURCE:TELEcom:MSPMessages:BRIDge
- (4):SOURCE:TELEcom:MSPMessages:ARCHitect
- (5):SENScE:TELEcom:MSPBits:REQuest
- (6):SENScE:TELEcom:MSPBits:CHANnel
- (7):SENScE:TELEcom:MSPBits:BRIDge
- (8):SENScE:TELEcom:MSPBits:ARCHitect
- (9):SENScE:TELEcom:MSPBits:REServed
- (10):SOURCE:TELEcom:PSETting:NDFSet
- (11):SOURCE:TELEcom:PSETting:SSSet
- (12):SOURCE:TELEcom:PSETting:IDSet
- (13):SOURCE:TELEcom:PSETting:PPJC
- (14):SOURCE:TELEcom:PSETting:NPJC
- (15):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:TYPE

- (16):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:MENorized:NUMBER
- (17):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:HEADer
- (18):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:PAYLoad:TYPE
- (19):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:WORD
- (20):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:DISTriBution
- (21):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:TYPE
- (22):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:BPS
- (23):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:CPS
- (24):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CBR:PERCent
- (25):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt
- (26):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:TYPE
- (27):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:TYPE
- (28):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPS
- (29):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:BPD
- (30):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:CPS
- (31):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMAX:PERCent
- (32):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:RMIN:PERCent
- (33):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T1
- (34):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:BURSt:T2
- (35):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:TYPE
- (36):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:BPS
- (37):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:CPS
- (38):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:PERCent
- (39):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:CWCDv:POISson
- (40):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:TYPE
- (41):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:BPS
- (42):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:BPS
- (43):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:CPS
- (44):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMAX:PERCent
- (45):SOURCE:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:RMIN:PRECent

(46):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T1  
(47):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:SAWTooth:T2  
(48):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:MODE  
(49):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:START  
(50):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STOP  
(51):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:TIMing:STATE  
(52):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKgrount:PERCent  
(53):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKgrount:CPS  
(54):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:BACKgrount:TYPE  
(55):SOURce:ATM:MANual:TRAFfic:FCELl  
(56):SOURce:ATM:MANual:EALarm:TYPE  
(57):SOURce:ATM:MANual:EALarm:TIMing  
(58):SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:TYPE  
(59):SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:BYTE  
(60):SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:PATtern  
(61):SOURce:ATM:MANual:EALarm:ERRor:CRC3  
(62):SOURce:ATM:MANual:EALarm:TIMing:MODE  
(63):SOURce:ATM:MANual:EALarm:TIMing:COUNt  
(64):SOURce:ATM:MANual:EALarm:CC:SEND  
(65):SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:TYPE  
(66):SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:START  
(67):SOURce:ATM:MANual:EALarm:LOOPback:STATe?  
(68):SOURce:ATM:MANual:PM:FM:SEND  
(69):SOURce:ATM:MANual:PM:FM:CBLOCK  
(70):SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TYPE  
(71):SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:MODE  
(72):SOURce:ATM:MANual:PM:FM:ERRor:TIMing:COUNt  
(73):SOURce:ATM:MANual:PM:BR:SEND  
(74):SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:TYPE  
(75):SOURce:ATM:MANual:PM:BR:ERRor:MODE

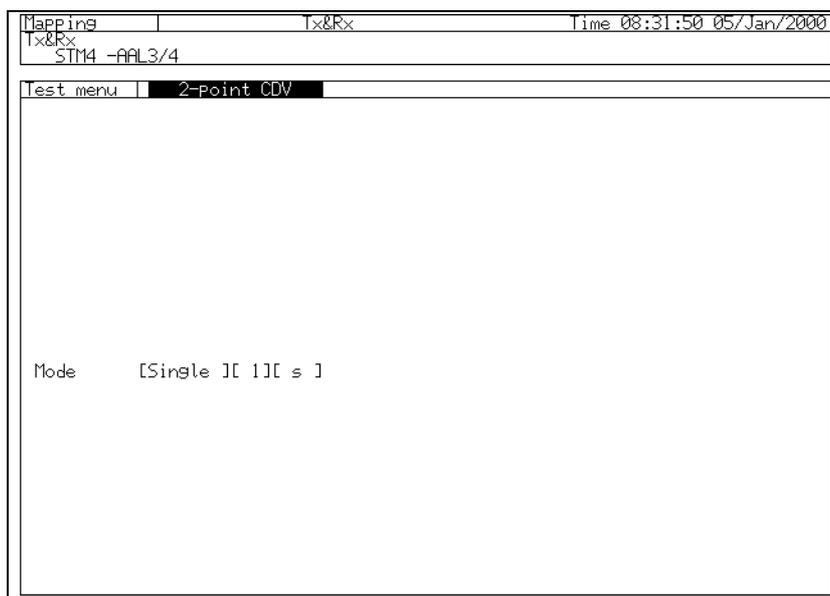
- (76):SENSE:MEASure:TYPE
- (77):SENSE:MEASure:PERiod
- (78):SENSE:MEASure:BTIME:SET
- (79):SENSE:MEASure:BTIME:START
- (80):SENSe:ATM:MANual:FILTer:HEADer:PATtern
- (81):SENSE:ATM:MANual:FILTer:HEADer:MASK
- (82):SENSE:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:PATtern
- (83):SENSE:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:MASK
- (84):SENSE:ATM:MANual:FILTer:PAYLoad:POsition
- (85):SENSE:ATM:MANual:FILTer:CID:PATtern
- (86):SENSE:ATM:MANual:FILTer:MID:PATtern
- (87):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:PCR:TYPE
- (88):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:PCR:BPS
- (89):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:PCR:CPS
- (90):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:PCR:PERCent
- (91):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:CDVT
- (92):DISPlay:TMENu[:NAME]
- (93):DISPlay:TMENu:MANual:SElect
- (94):SOURce:TELEcom:ERRor:TYPE
- (95):SOURce:TELEcom:ERRor:ERATE
- (96):SOURce:TELEcom:ERRor:PATtern
- (97):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:CBR:TYPE
- (98):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:CBR:BPS
- (99):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:CBR:CPS
- (100):SENSE:ATM:MANual:NCONforming:CBR:PERCent
- (101)結果の表示
  - :CALCulate:LOOPback:RESult?

## E.1.2 1-point CDV副画面

Mapping	Tx&Rx	Time 08:16:25 05/Jan/2000
Tx&Rx	STM4 -AAL3/4	
Test menu	1-Point CDV	
Ref. time [ kbit/s ]	[ 1198 ]kbit/s	
Mode	[Single ] [ 1 ] [ s ]	

- (1):DISPlay:TMENu[:NAME]
- (2):SENSe:ATM:CDV1:TYPE
- (3):SENSe:ATM:CDV1:PERiod
- (4):SENSe:ATM:CDV1:RTIME:TYPe
- (5):SENSe:ATM:CDV1:RTIME:BPS
- (6):SENSe:ATM:CDV1:RTIME:CPS
- (7):SENSe:ATM:CDV1:RTIME:PERCent

### E.1.3 2-point CDV副画面



- (1):DISPlay:TMENu[:NAME]
- (2):SENSe:ATM:CDV2:TYPE
- (3):SENSe:ATM:CDV2:PERiod

## E.2 Result主画面のコマンド対応

## E.2.1 Error/Alarm副画面

Mapping		Tx&Rx		Time 08:42:20 05/Jan/2000	
Tx&Rx		STM4 -AAL3/4			
Result		Error/Alarm		Start 08:38:58 05/Jan/2000	
Alarm [Second]		Error [Count]		Display data [Current]	
Section	HP(AU)	Information			
P-fail	0 a AIS	0 a			
LOS	0 a LOP	0 a			
LOF	0 a RDI	0 a			
OOF	0 a SLM	0 a			
AIS	0 a				
RDI	0 a				
B1	0 a B3	0 a			
B2	0 a				
REI	3.2E06 REI	0 a			
Alarm		Error			
VP-AIS	0 a VC-AIS	0 a	Correct	0 a CRC10	0 a JDIvPDU
VP-RDI	0 a VC-RDI	0 a	Discard	0 a	0 a CPI
VP-LOC	0 a VC-LOC	0 a	Nonconf	0 a SN	0 a B/Etag
			FM Lost	0 a DiscPDU	0 a Bsize
			FM Misin	0 a ST	0 a AL
			FM BIPV	0 a LI	0 a Length
			FM SECB	0 a Abort	0 a
			BR Lost	0 a	0 a Bit
			BR Misin	0 a	
			BR BIPV	0 a	
			BR SECB	0 a	
LCD	1.0E06 Sync.	0			

(1):DISPlay:RESult[:NAME]

(2):DISPlay:RESult:EALarm:MODE

(3):DISPlay:RESult:EALarm:UNIT

(4):DISPlay:RESult:EALarm:AUNit

(5):DISPlay:RESult:EALarm:TCLayer

(6):時間の表示

:DISPlay:RESult:TIME

E.2.2 Zoom副画面

Mapping	Tx&Rx	Time 08:13:39 14/Mar/2000
Tx&Rx STM1 -AAL1		
Result	Zoom	Start 08:10:32 14/Mar/2000
Alarm [Second ] Error [ Count ] Display data [Current]		
Alarm item [ LCD ]		
<b>LCD</b>		<b>1.6E07</b>
Error item [ Correct ]		
<b>Correct</b>		<b>99237</b>

- (1):DISPlay:RESult[:NAME]
- (2):DISPlay:RESult:ZOOM:MODE
- (3):DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT
- (4):DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit
- (5):DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm
- (6):DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor
- (7):時間の表示  
:DISPlay:RESult:TIME

E.2.3 1-point CDV副画面

Mapping	Tx&Rx	Time 16:44:41 13/Oct/2008
Tx&Rx STM1 -AAL1		
Result	1-Point CDV	Start 16:43:21 13/Oct/2008
<p>Average + 2010 <math>\mu</math>s</p> <p>Maximum + 37570 <math>\mu</math>s</p> <p>Minimum - 34625 <math>\mu</math>s</p>		

(1):DISPlay:RESult[:NAME]

(2)時間の表示

:DISPlay:RESult:TIME

(3)結果の表示

:CALCulate:DATA?

E.2.4 2-point CDV副画面

Mapping	Tx&Rx	Time 17:03:35 13/Mar/2000												
Tx&Rx														
STM1 -AAL1														
Result	2-Point CDV	Start 17:03:06 13/Mar/2000												
<table> <tr> <td>Average</td> <td></td> <td>0 μs</td> </tr> <tr> <td>Maximum</td> <td></td> <td>0 μs</td> </tr> <tr> <td>Minimum</td> <td>-</td> <td>2 μs</td> </tr> <tr> <td>Offset</td> <td></td> <td>22 μs</td> </tr> </table>			Average		0 μs	Maximum		0 μs	Minimum	-	2 μs	Offset		22 μs
Average		0 μs												
Maximum		0 μs												
Minimum	-	2 μs												
Offset		22 μs												

(1):DISPlay:RESult[:NAME]

(2)時間の表示

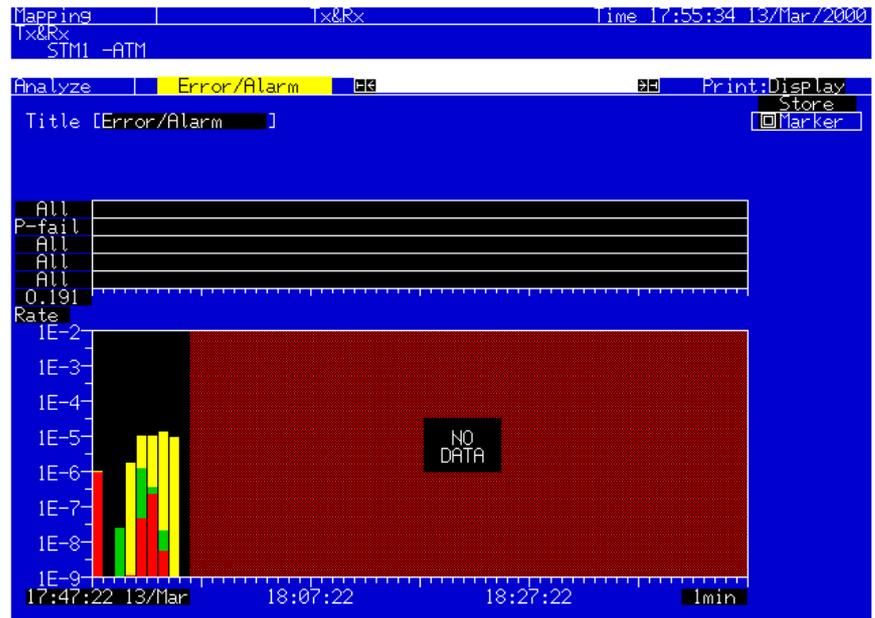
:DISPlay:RESult:TIME

(3)結果の表示

:CALCulate:DATA?

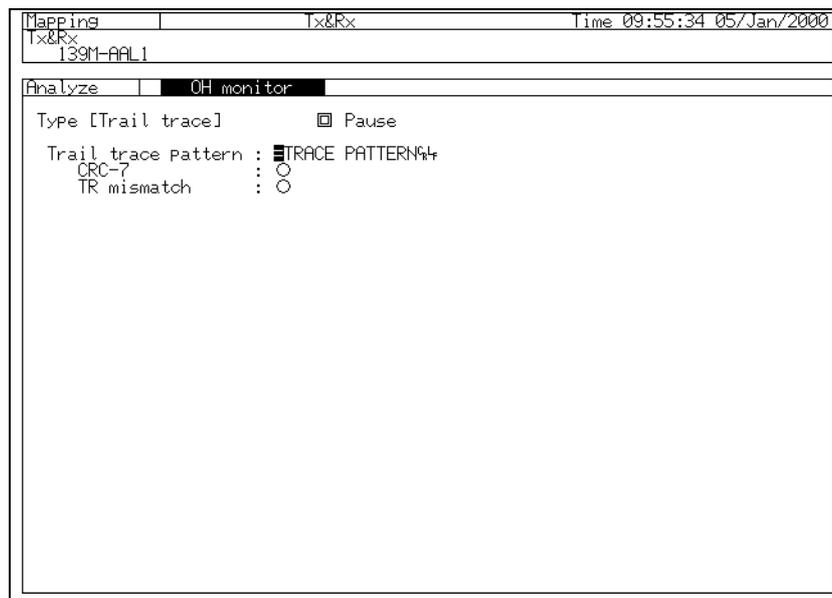
## E.3 Analyze主画面のコマンド対応

## E.3.1 Error/Alarm副画面



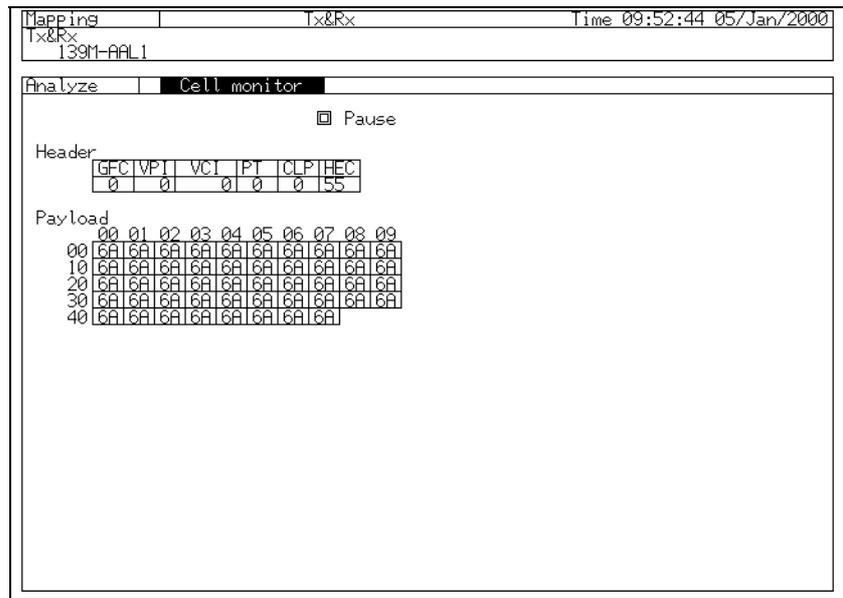
- (1):DISPlay:ANALysis[:NAME]
- (2):DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval
- (3):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor
- (4):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1
- (5):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2
- (6):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3
- (7):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4
- (8):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5
- (9):DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt
- (10):DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe
- (11):DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay
- (12):SYSTem:MEMory:ANALysis:LAVel?
- (13):SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe
- (14)結果の表示
  - :DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?
  - :CALCulate:DATA?
  - :CALCulate:TGRaph:DATA?

### E.3.2 OH monitor副画面



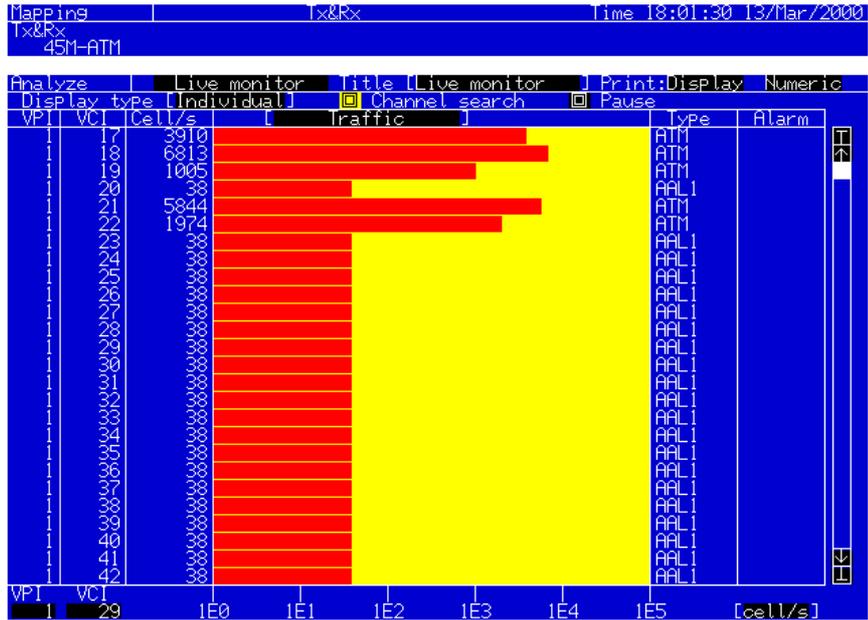
- (1):DISPlay:ANALysis[:NAME]
- (2):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE
- (3):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh
- (4):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SLABe
- (5):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSE
- (6):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:
- (7)結果の表示
  - :DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?
  - :CALCulate:DATA?

E.3.3 Cell monitor副画面



- (1):DISPlay:ANALysis[:NAME]
- (2):DISPlay:ANALysis:CMONitor:CELL?
- (3):DISPlay:ANALysis:CMONitor:PAUSE

E.3.4 Live monitor副画面



- (1):SENSE:ATM:MANual:LMONitor:TYPE
- (2):SENSE:ATM:MANual:LMONitor:CHSearch
- (3):SENSE:ATM:MANual:LMONitor:STATe?
- (4):DISPlay:ANALysis[:NAME]:
- (5):DISPlay:ANALysis:LMONitor:SCRoll
- (6):DISPlay:ANALysis:LMONitor:GRAPH
- (7):DISPlay:ANALysis:LMONitor:THReshold
- (8):DISPlay:ANALysis:LMONitor:NCONforming
- (9):DISPlay:ANALysis:LMONitor:PAUSe
- (10):DISPlay:ANALysis:LMONitor:INTerval
- (11):DISPlay:ANALysis:LMONitor:VPI
- (12):DISPlay:ANALysis:LMONitor:NUMBer
- (13):DISPlay:ANALysis:LMONitor:PRINt
- (14):DISPlay:ANALysis:LMONitor:PTYPE
- (15):DISPlay:ANALysis:LMONitor:TITLe
- (16):CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold
- (17):CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:A
- (18):CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:B
- (19):CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:C
- (20):CALCulate:LMONitor:NCONforming:THReshold:D

(21):CALCulate:LMONitor:FMSeCb:THReshold

(22):CALCulate:LMONitor:BRSeCb:THReshold

(23)結果の表示

:CALCulate:LMONitor:TRAFfic:DATA?

:CALCulate:LMONitor:FMSeCb:DATA?

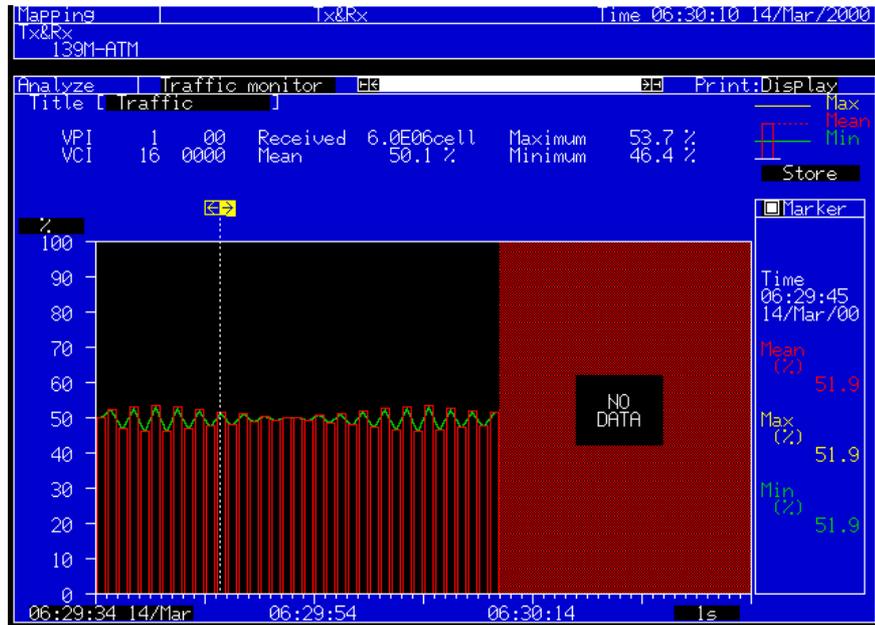
:CALCulate:LMONitor:DATA?

:CALCulate:LMONitor:FM:DATA?

:CALCulate:LMONitor:BR:DATA?

:CALCulate:LMONitor:BRSeCb:DATA?

E.3.5 Traffic monitor副画面



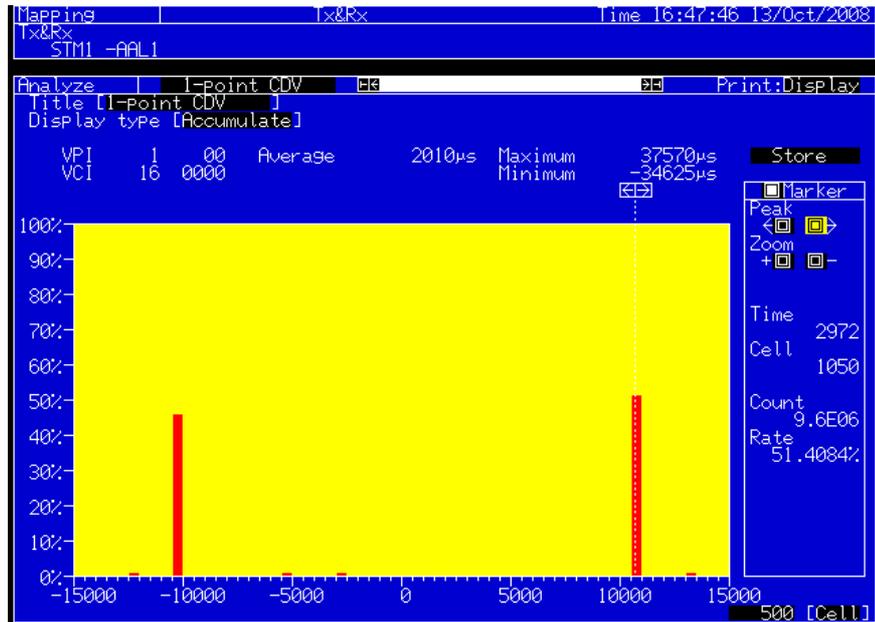
- (1):DISPlay:ANALysis[:NAME]
- (2):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCRoll
- (3):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MARKer
- (4):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:DATA?
- (5):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:INTerval
- (6):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:MDISplay
- (7):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:FROM
- (8):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:SCALe
- (9):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:PRINT
- (10):DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe
- (11)結果の表示
  - :CALCulate:TRAFfic:RESult?
  - :CALCulate:TRAFfic:DATA?

## E.3.6 Cell capture副画面

No.	GFCVPI	VCI	P	I	C	L	P	H	E	C	I	(17)	Pay load
0060	0	1	16	0	0	E2	CD	8A	91	06	05	C4	40
0061	0	1	16	0	0	E2	61	94	69	7F	45	0E	21
0062	0	1	16	0	0	E2	F8	14	FF	2E	F0	04	1F
0063	0	1	16	0	0	E2	FF	0F	F8	3D	F1	73	48
0064	0	1	16	0	0	E2	53	30	18	CA	34	03	67
0065	0	1	16	0	0	E2	F8	14	FF	2E	F0	73	48
0066	0	1	16	0	0	E2	0E	FF	0F	99	94	73	48
0067	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	48
0068	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0069	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0070	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0071	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0072	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0073	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0074	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0075	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0076	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0077	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0078	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0079	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0080	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0081	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0082	0	1	16	0	0	E2	53	B4	70	F3	02	74	10
0083	0	1	16	0	0	E2	50	0E	FF	0F	99	94	17
0084	0	1	16	0	0	E2	85	ED	9A	1D	E1	FF	07

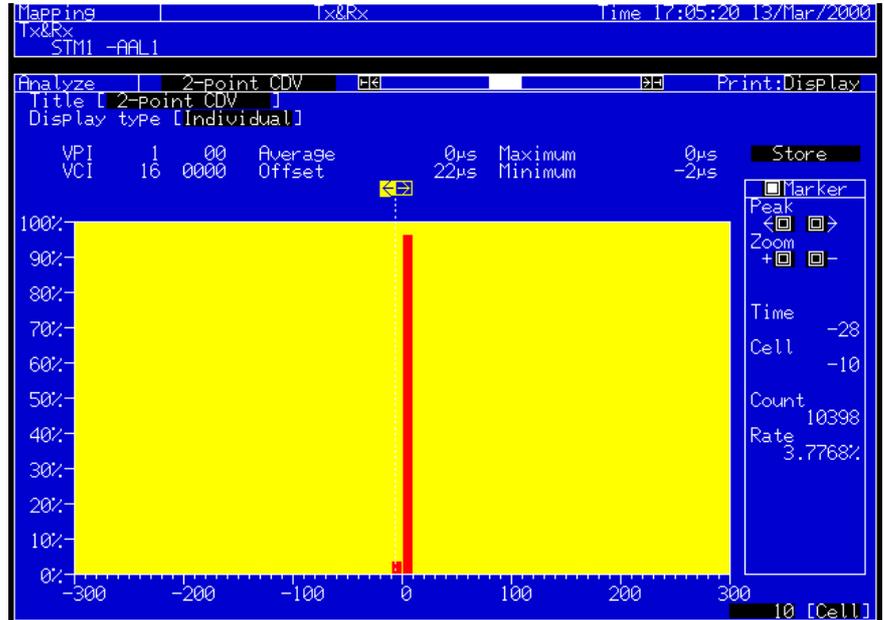
- (1):SENSe:ATM:MANual:CAPTurE:TRIGger
- (2):SENSe:ATM:MANual:CAPTurE:POSITion
- (3):SENSe:ATM:MANual:CAPTurE:STARt
- (4):SENSe:ATM:MANual:CAPTurE:STOP
- (5):SENSe:ATM:MANual:CAPTurE:STATe?
- (6):DISPlay:ANALySis[NAME]:
- (7):DISPlay:ANALySis:CAPTurE:JUMP:TYPE
- (8):DISPlay:ANALySis:CAPTurE:JUMP:LINE
- (9):DISPlay:ANALySis:CAPTurE:SCRoll
- (10):DISPlay:ANALySis:CAPTurE:PTYPe
- (11):DISPlay:ANALySis:CAPTurE:PRINt
- (12):DISPlay:ANALySis:CAPTurE:TITLe
- (13)結果の表示
  - :CALCulate:CAPTurE:LINE?
  - :CALCulate:CAPTurE:TOTAL?
  - :CALCulate:CAPTurE:TRIGger?

E.3.7 1-point CDV副画面



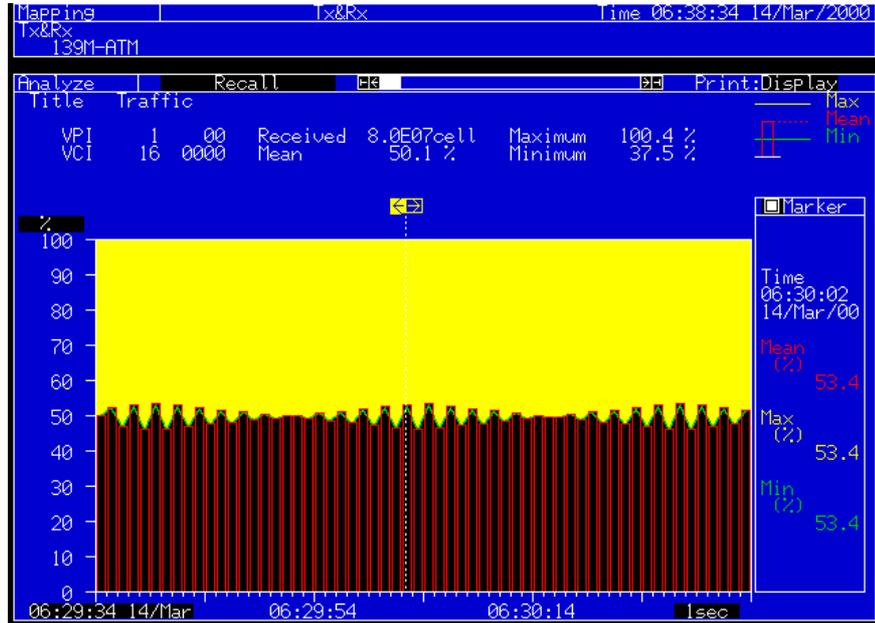
- (1):SENSE:ATM:MANual:1CDV:PCR
- (2):SENSE:ATM:MANual:1CDV:TYPE
- (3):SENSE:ATM:MANual:1CDV:PERiod
- (4):DISPlay:ANALysis[:NAME]
- (5):DISPlay:ANALysis:CDV1:SCRoll
- (6):DISPlay:ANALysis:CDV1:TYPE
- (7):DISPlay:ANALysis:CDV1:MARKer
- (8):DISPlay:ANALysis:CDV1:PEAK
- (9):DISPlay:ANALysis:CDV1:ZOOM
- (10):DISPlay:ANALysis:CDV1:DATA?
- (11):DISPlay:ANALysis:CDV1:INTerval
- (12):DISPlay:ANALysis:CDV1:IUNit
- (13):DISPlay:ANALysis:CDV1:MDISplay
- (14):DISPlay:ANALysis:CDV1:SCALE
- (15):DISPlay:ANALysis:CDV1:CELL
- (16):DISPlay:ANALysis:CDV1:US
- (17):DISPlay:ANALysis:CDV1:PRINt
- (18):DISPlay:ANALysis:CDV1:TITLe
- (19)結果の表示
  - :CALCulate:CDV1:DATA?

## E.3.8 2-point CDV副画面



- (1):SENSe:ATM:MANual:2CDV:TYPE
- (2):SENSe:ATM:MANual:2CDV:PERiod
- (3):DISPlay:ANALysis[:NAME]
- (4):DISPlay:ANALysis:CDV2:SCRoll
- (5):DISPlay:ANALysis:CDV2:TYPE
- (6):DISPlay:ANALysis:CDV2:MARKer
- (7):DISPlay:ANALysis:CDV2:PEAK
- (8):DISPlay:ANALysis:CDV2:ZOOM
- (9):DISPlay:ANALysis:CDV2:DATA?
- (10):DISPlay:ANALysis:CDV2:INTerval
- (11):DISPlay:ANALysis:CDV2:IUNit
- (12):DISPlay:ANALysis:CDV2:MDISplay
- (13):DISPlay:ANALysis:CDV2:SCALE
- (14):DISPlay:ANALysis:CDV2:CELL
- (15):DISPlay:ANALysis:CDV2:US
- (16):DISPlay:ANALysis:CDV2:PRINt
- (17):DISPlay:ANALysis:CDV2:TITLe
- (18)結果の表示  
:CALCulate:CDV2:DATA?

E.3.9 Recall副画面



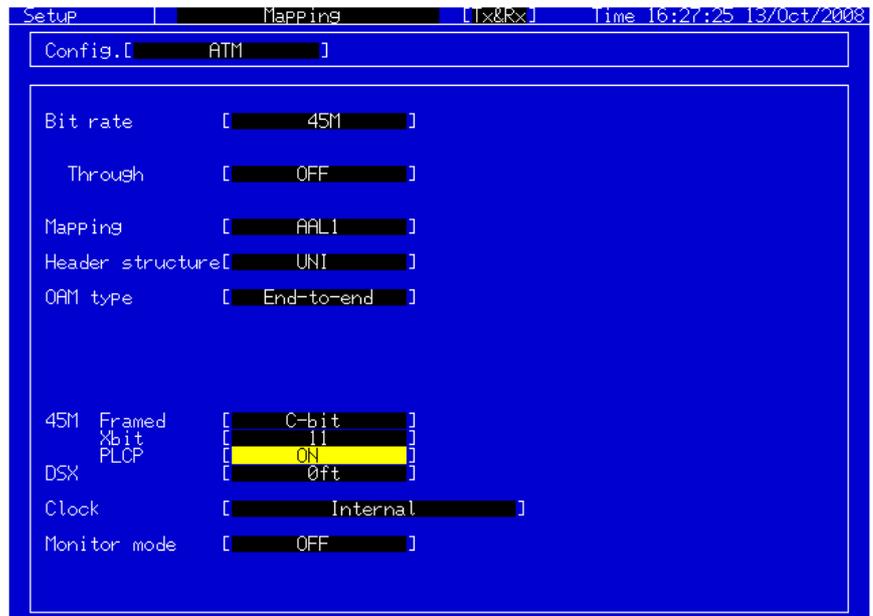
- (1):DISPlay:ANALysis[:NAME]
- (2):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor
- (3):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1
- (4):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2
- (5):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3
- (6):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4
- (7):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5
- (8):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt
- (9):DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:SCRoll
- (10):DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:INTerval
- (11):DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:VPI
- (12):DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:NUMBer
- (13):DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PRINt
- (14):DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:PTYPE
- (15):DISPlay:ANALysis:RECall:LMONitor:TITLe
- (16):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCRoll
- (17):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MARKer
- (18):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:DATA?
- (19):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:INTerval
- (20):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:MDISplay

(21):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:FROM  
(22):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:SCALe  
(23):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:PRINt  
(24):DISPlay:ANALysis:RECall:TRAFfic:TITLe  
(25):DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:TYPE  
(26):DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:JUMP:LINE  
(27):DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:SCRoll  
(28):DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PTYPE  
(29):DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:PRINt  
(30):DISPlay:ANALysis:RECall:CAPTure:TITLe  
(31):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:SCRoll  
(32):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TYPE  
(33):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MARKer  
(34):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PEAK  
(35):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:ZOOM  
(36):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:DATA?  
(37):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:INTerval  
(38):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:IUNit  
(39):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:MDISplay  
(40):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:SCALe  
(42):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:CELL  
(43):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:US  
(44):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:PRINt  
(45):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV1:TITLe  
(46):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:SCRoll  
(47):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TYPE  
(48):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MARKer  
(49):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PEAK  
(50):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:ZOOM

- (51):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:DATA?
- (52):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:INTerval
- (53):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:IUNit
- (54):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:MDISplay
- (55):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:SCALe
- (56):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:CELL
- (57):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:US
- (58):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:PRINt
- (59):DISPlay:ANALysis:RECall:CDV2:TITLe
- (59)結果の表示
  - :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:DATA?

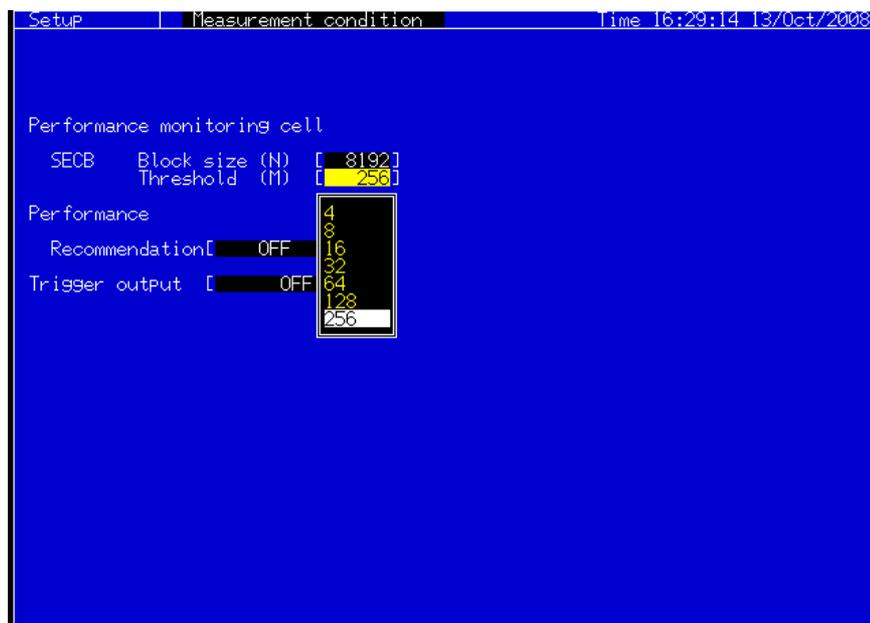
## E.4 Setup主画面のコマンド対応

## E.4.1 Mapping副画面



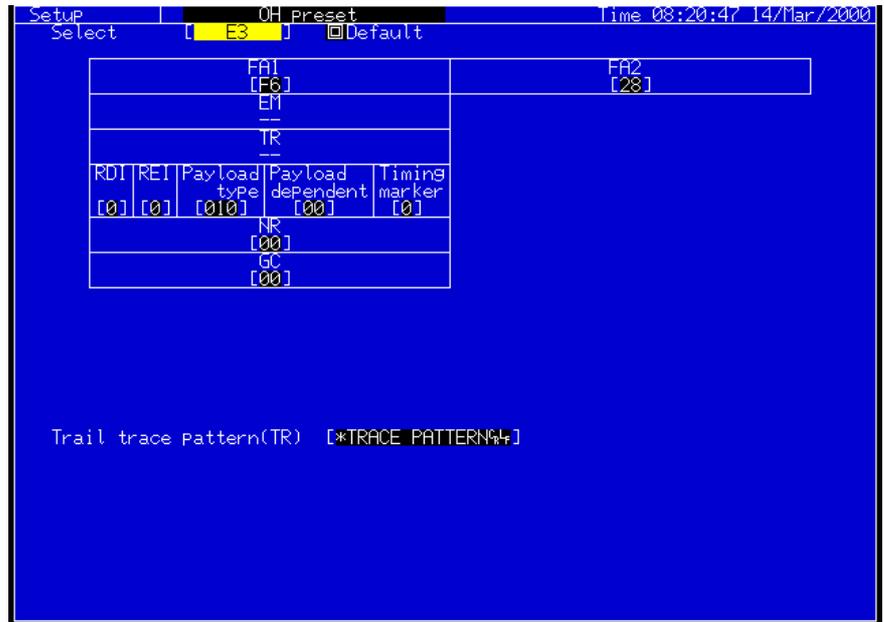
- (1):SOURCE:ATM:MAPPING
- (2):SOURCE:ATM:HSTRUCTURE
- (3):SENSE:ATM:MAPPING
- (4):SENSE:ATM:HSTRUCTURE
- (5):SENSE:ATM:OAM
- (6):DISPLAY:SETUP[:NAME]
- (7):CALCULATE:TELECOM:ATM:THRESHOLD:SECB:N
- (8):CALCULATE:TELECOM:ATM:THRESHOLD:SECB:M
- (9):SOURCE:TELECOM:OAM
- (10):SOURCE:TELECOM:M45:PLCP
- (11):SENSE:TELECOM:M45:PLCP

## E.4.2 Measurement condition副画面



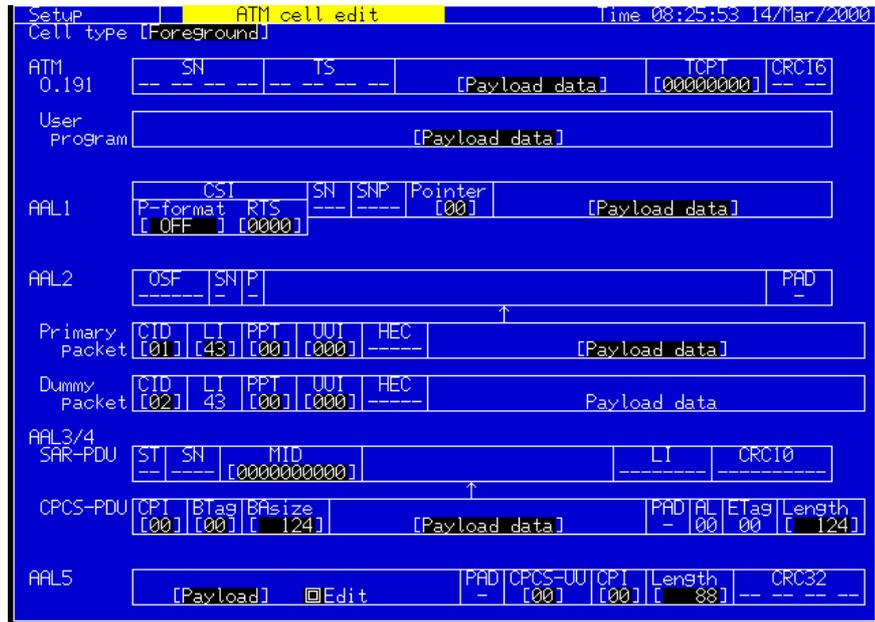
- (1) CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:FSIZE <numeric>
- (2) CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SB:N <numeric>
- (3) CALCulate:TELEcom:ATM:THReshold:SB:M <numeric>
- (4) CALCulate:TELEcom:PERFormance:TYPE <perform>
- (5) SYSTem:TRIGgerout <trg>

## E.4.3 OH Preset副画面



- (1):SOURCE:ATM:OHPReset:E3:PTTern
- (2):SOURCE:ATM:OHPReset:E3:PTYPE
- (3):SOURCE:ATM:OHPReset:E3:TRACe
- (4):SOURCE:ATM:OHPReset:E3:DEFault
- (5):SOURCE:ATM:OHPReset:E4:PTTern
- (6):SOURCE:ATM:OHPReset:E4:PTYPE
- (7):SOURCE:ATM:OHPReset:E4:TRACe
- (8):SOURCE:ATM:OHPReset:E4:DEFault
- (9):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:PLCP
- (10):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:FRAMe
- (11):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POI
- (12):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:POH
- (13):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:TSEQuence
- (14):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:DEFault
- (15):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:
- (16):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:
- (17):SOURCE:ATM:OHPReset:DS3Plcp:
- (18):DISPlay:SETup[:NAME]
- (19):DISPlay:SETup:OHPRset[:NAME]

E.4.3 ATM Cell edit副画面



- (1):SOURCE:ATM:PATTERN:ATM:0191:PAYLOAD
- (2):SOURCE:ATM:PATTERN:ATM:0191:DEFAULT
- (3):SOURCE:ATM:PATTERN:ATM:0191:TCPT
- (4):SOURCE:ATM:PATTERN:ATM:USER:PAYLOAD
- (5):SOURCE:ATM:PATTERN:ATM:USER:DEFAULT
- (6):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:POINTER
- (7):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PAYLOAD
- (8):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:DEFAULT
- (9):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:PFORMAT
- (10):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL1:RTS
- (11):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PCID
- (12):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:LI
- (13):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PPPT
- (14):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PUUi
- (15):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PAYLOAD
- (16):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DCID
- (17):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:PPT
- (18):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DUUi
- (19):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL2:DEFAULT
- (20):SOURCE:ATM:PATTERN:AAL34:MID

- (21):SOURce:ATM:PATtern:AAL34:CPI
- (22):SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BTAG
- (23):SOURce:ATM:PATtern:AAL34:BASize
- (24):SOURce:ATM:PATtern:AAL34:LENGth
- (25):SOURce:ATM:PATtern:AAL5:LENGth
- (26):SOURce:ATM:PATtern:AAL5:UU
- (27):SOURce:ATM:PATtern:AAL5:CPI
- (28):SOURce:ATM:PATtern:PAYload:PATtern
- (29):SOURce:ATM:PATtern:PAYload:DEFault
- (30):SOURce:ATM:PATtern:AIS:FSField
- (31):SOURce:ATM:PATtern:AIS:DEFauld
- (32):SOURce:ATM:PATtern:AIS:REServe
- (33):SOURce:ATM:PATtern:RDI:FSField
- (34):SOURce:ATM:PATtern:RDI:DEFault
- (35):SOURce:ATM:PATtern:RDI:REServe
- (36):SOURce:ATM:PATtern:USER:OAM
- (37):SOURce:ATM:PATtern:USER:FUNcToin
- (38):SOURce:ATM:PATtern:USER:FSField
- (39):SOURce:ATM:PATtern:USER:DEFault
- (40):SOURce:ATM:PATtern:USER:REServe
- (41):SOURce:ATM:PATtern:CC:FSField
- (42):SOURce:ATM:PATtern:CC:REServe
- (43):SOURce:ATM:PATtern:CC:DEFauld
- (44):SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:INDication
- (45):SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:CTAG
- (46):SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:LOCation
- (47):SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:SOURce
- (48):SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:UNUSed
- (49):SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:FSField:DEFault
- (50):SOURce:ATM:PATtern:LOOPback:REServe

(51):SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:TSTP  
(52):SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:UNISedl  
(53):SOURCE:ATM:PATTERN:FM:FSField:DEFault  
(54):SOURCE:ATM:PATTERN:FM:REServe  
(55):SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:UNUSedl  
(56):SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TUCO1  
(57):SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TUCO  
(58):SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:TSTP  
(59):SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:UNUSed2  
(60):SOURCE:ATM:PATTERN:BR:FSField:DEFault  
(61):SOURCE:ATM:PATTERN:BR:REServe  
(62):SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:HAERDer  
(63):SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:PAYLoad  
(64):SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:CRC10  
(65):SOURCE:ATM:PATTERN:BGRound:DEFault  
(66):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:HEADer  
(67):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:PAYLoad  
(68):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:CRC10  
(69):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:DEFault  
(70):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:PASTE  
(71):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:CUT  
(72):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:COPY  
(73):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:EDIT:INSert  
(74):SOURCE:ATM:PATTERN:MEMorized:CAPTURE  
(75):DISPLAY:SETup[:NAME]  
(76):DISPLAY:SETup:CELL[:NAME]  
(77):DISPLAY:SETup:CELL:MOMorized:SCROLL  
(78):DISPLAY:SETup:CELL:MOMorized:DSTsrt  
(79):DISPLAY:SETup:CELL:MOMorized:PRINT

## E.5 正面パネルおよびその他のコマンド対応

正面パネルのキー	Start/Stopキー	
	測定	:SENSe:MEASure:STARt :SENSe:MEASure:STOP :SENSe:MEASure:STATe?
	自己診断	:TEST:STARt :TEST:STOP :TEST:STATe?
	Printキー	:SYSTem:PRINt:ENABle
	Print Nowキー	:SYSTem:PRINt:COpy
	Paper Feedキー	:SYSTem:PRINt:FEED
	Historyキー	:SYSTem:LED:HISTory
History Resetキー	:SYSTem:LED:RESet	
その他		:SYSTem:PRINt:TEXT :SYSTem:ERRor? :SYSTem:VERsion? STARus Subsystem

